

保育学科

分類	授業科目	方法	必修	選択	年次	期	頁
基礎 教育 科目	大学教育入門	講義	1		1	前	—
	データサイエンス基礎	講義	1		1	前	—
	茶道文化Ⅰ	演習	1		1	前	—
	茶道文化Ⅱ	演習	1		1	後	—
	茶道文化Ⅲ	演習	1		2	前	—
	茶道文化Ⅳ	演習	1		2	後	—
	日本国憲法	講義	2		1	前	752
	ジェンダー論	講義		2	1	後	755
	実践国語演習	演習		2	1	後	758
	英語Ⅰ	演習	2		1	前	761
	国際コミュニケーション演習	演習		2	1	後	763
	保育学特別演習	演習		2	1	後	765
	スポーツ科学	講義	1		2	前	766
	スポーツ実習	実技	1		2	後	768
	コンピュータ演習	演習		2	1	前	770
	保育のICT	演習		2	1	後	772
専門 教育 科目	保育原理	講義	2		1	前	775
	教育原理	講義	2		2	前	777
	子ども家庭福祉	講義	2		1	前	—
	社会福祉	講義	2		1	前	780
	社会的養護Ⅰ	講義	2		1	後	782
	保育者論	講義		2	2	前	784
	教育方法論	講義		2	2	後	786
	教育経営論	講義		2	2	前	788
	保育の心理学	講義	2		1	後	791
	子ども家庭支援の心理学	講義		2	2	後	794
	子どもの理解と援助	演習	1		2	後	797
	臨床心理学	演習		2	2	前	—
	子どもの保健	講義	2		1	前	799
	子どもの健康と安全	演習	1		2	前	801
	子どもの食と栄養	演習	2		1	後	803
	子ども家庭支援論	講義		2	2	後	805
	カリキュラム論	講義	2		1	後	808
	保育内容総論	演習	2		1	前	810
	保育内容演習Ⅰ(健康)	演習		1	1	前	813
	保育内容演習Ⅰ(表現音楽活動)	演習		1	2	前	816
	保育内容演習Ⅰ(表現造形活動)	演習		1	2	前	818
	保育内容演習Ⅰ(人間関係)	演習		1	2	後	820
保育内容演習Ⅰ(環境)	演習		1	2	前	822	
保育内容演習Ⅰ(言葉)	演習		1	1	後	—	

日本国憲法

更新日：2026/05/26 17:42:16

開講年度	2026	開講期	前期	ナンバリング	BS102
担当教員	中野 明人				

配当	学部/学科	短期大学 長崎短期大学 保育学科			
	配当年	単位	科目必選区分	授業形態	
	1年	2	必修	講義	

アクティブラーニングの類型	①発見学習（事実を発見する過程から学習者に体験させる手法）	
	②問題解決学習（PBL：自ら問題を発見し解決する能力を養うことを目的とした教育法）	
	③体験学習（実際の活動体験を通して学ぶことを狙った学習形態）	
	④調査学習（課題について調査し結論をまとめる学習法）	<input checked="" type="checkbox"/>
	⑤グループ・ディスカッション（議論まで）	
	⑥ディベート（特定の論題について、あえて異なる立場に分かれて議論をする手法）	
	⑦グループ・ワーク（議論+成果物（プレゼンなど））	

授業概要

保育に携わる人材にはさまざまな資質が求められるが、この講義においては、日本国憲法の意義を理解し、主として2つの柱「基本的人権」「日本の国の仕組み(三権分立)」について学ぶ。

具体的には、

- ①明治憲法と日本国憲法との違いを理解する。日本国憲法の三大原則について理解する。天皇制について理解する。
- ②明治憲法における人権について理解する。日本国憲法の主体について理解する。近代憲法の特徴について理解する。
- ③平等権について理解する。自由権について理解する。社会権について理解する。
- ④新しい人権の生まれた背景について理解する。新しい人権について具体的に知る。新しい人権について事例を通して学ぶ。
- ⑤国会の仕組みについて理解する。内閣の仕組みについて理解する。裁判所の仕組みについて理解する。三権分立について理解する。

授業における到達目標

1	・人権の基本的な意義を理解し、子どもたちをめぐるさまざまな人権について説明することができる。
2	・授業で得た知識をもとの自分の考えを授業の最後に行うコミュニケーションシートに表現することができる。
3	・日本国憲法が幼稚園教諭に必要な専門知識であることを理解し、積極的な学習ができる。

評価方法

資質・能力	授業における到達目標（番号のみ記載）	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力	1	・筆記試験	40%
確かな専門的知識や技能	2	・筆記試験	40%
コミュニケーション能力	3	・授業後アンケート（コミュニケーションシート）	10%
課題解決能力			
主体的に学ぶ力	4	授業への参加・態度	10%
合計			100%

補足事項

- ・授業に関する質問は直接のほかClassroomでも受け付け、web上あるいは以降の授業回で答える。
- ・本授業では、定期試験80%、授業後アンケート10%、授業への参加・態度10%の割合で評価する。
- ・授業後に行うコミュニケーションシート以外にも、「Google Classroom」での質問も大いに歓迎します。

授業計画

	授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1	1回目	「ガイダンス この授業が目指すもの」 ・保育学科でなぜ「日本国憲法」を学ぶのか、資格要件の観点や、実際に保育者に求められる視点を説明する。 ・15回を通して何を学ぶのかを概観し、説明する。	面接授業	・予習：「幼稚園教諭」の免許取得には何を学ぶことが求められるか調べる（2時間） ・復習：保育学科で日本国憲法を学ぶ意義についてまとめる（2時間）
2	2回目	「憲法制定の歴史的経緯を振り返る」 ・明治憲法から日本国憲法に移り変わる経緯について説明する。 ・民主主義について説明する。 ・日本国憲法と明治憲法の違いについて説明する。	面接授業	・予習：明治憲法の特徴を調べる（2時間） ・復習：明治憲法の問題点についてまとめる（2時間）

3	3回目	「国民主権と象徴天皇」 ・「国民主権」について説明する。 ・「象徴」について説明する。 ・天皇の権能について説明する。 ・天皇制の今と今後の課題について説明する。	面接授業	・予習：平成天皇の退位と令和天皇の即位を調べる（2時間） ・復習：天皇制の歴史と仕組みについてまとめる（2時間）
4	4回目	「基本的人権総論」 ・人権の確立の歴史について説明する。 ・基本的人権が何故生まれてきたのか説明する。	面接授業	・予習：これまで学んできた人権についてまとめる（2時間） ・復習：基本的人権誕生の歴史的経緯をまとめる（2時間）
5	5回目	「包括的基本権」 ・人権の拡大について説明する。 ・社会権について説明する。 ・新しい人権について説明する。	面接授業	・予習：新しい人権という言葉調べる（2時間） ・復習：新しい人権についてまとめる（2時間）
6	6回目	「平等権」 ・平等権が生まれてきた歴史的背景について説明する。 ・平等権にはどのようなものがあるか説明する。 ・「不平等」について説明する。	面接授業	・予習：「差別」について調べる（2時間） ・復習：平等権の具体的内容をまとめる（2時間）
7	7回目	「精神的自由権」 ・思想・良心の自由について説明する。 ・信教の自由について説明する。 ・学問の表現の自由について説明する。	面接授業	・予習：自分が考えると「表現」についてまとめる（2時間） ・復習：表現の自由がなぜ重要なのかについてまとめる（2時間）
8	8回目	「経済的自由権」 ・居住移転の自由について説明する。 ・職業選択の自由について説明する。 ・財産権について説明する。	面接授業	・予習：自分のなりたい職業についてまとめる（2時間） ・復習：職業選択の意義についてまとめる（2時間）
9	9回目	「身体的自由権」 ・その必要性、重要性について説明する。 ・刑事手続き全般そして基本原則について説明する。 ・被疑者、被告人の人権について説明する。 ・死刑制度について説明する。	面接授業	・予習：黙秘権という言葉について調べる（2時間） ・復習：死刑制度について自分の考えをまとめる（2時間）
10	10回目	「参政権」 ・意義について説明する。 ・選挙制度について説明する。 ・選挙制度の問題点について説明する。	面接授業	・予習：最近の選挙の結果について調べる（2時間） ・復習：投票に行く意義についてまとめる（2時間）
11	11回目	「社会権」 ・生存権が生まれてきた経緯について説明する ・意義について説明する。 ・教育を受ける権利について説明する。 ・勤労権について説明する。 ・労働基本権について説明する。	面接授業	・予習：生活保護という言葉について調べる（2時間） ・復習：生存権の意義についてまとめる（2時間）
12	12回目	「国会」 ・三権分立について説明する。 ・国会の組織と権能について説明する。 ・国会議員の実際の活動を説明する。	面接授業	・予習：自分の住んでいる街の国会議員について調べる（2時間） ・復習：衆議院と参議院の違いについてまとめる（2時間）
13	13回目	「内閣」 ・内閣制度やこれまでの内閣の変遷について説明する。 ・内閣の組織と権能について説明する。 ・現在の政権を例に、内閣の実際について説明する。	面接授業	・予習：首相官邸のホームページを見る（2時間） ・復習：内閣総理大臣の役割についてまとめる（2時間）
14	14回目	「裁判所」 ・裁判所の組織について説明する。 ・裁判官の権能について説明する。 ・裁判員裁判について説明する。	面接授業	・予習：裁判員裁判という言葉調べておく（2時間） ・復習：裁判所の基本的な機能についてまとめる（2時間）
15	15回目	まとめ ・本講義で何を学んだのかについて振り返る。 ・学んだことがこれからの保育士や幼稚園教諭としてどのような観点から役立つのかについて整理し説明する。 ・日本国憲法を学び、この15回を通して何を身につけたかを各人が考える。	面接授業	・予習：これまでのノートをふりかえる（2時間） ・これからの学生生活や卒業後の社会人としての生活にどのように生かすのかまとめる（2時間）
16				授業外学修 60時間

その他

科目（教職課程用）	①領域及び保育内容の指導法に関する科目
-----------	---------------------

教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	①領域に関する専門的事項	
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項		
教科書	【教科書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【教科書】ISBN
	テキスト：「日本国憲法講義用テキスト」(中野明人著)	
参考書	【参考書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【参考書】ISBN
	授業内容に合わせて別途指示する。	
履修条件		
履修上の注意	日頃からニュースなど時事問題に関心を持つことが大切です。必ずニュースに目を通して授業に臨んでください。	
オフィスアワー	・木曜日の放課後をオフィスアワーとして設定しています。事前に予約を取って研究室を訪問してくださると助かります。	
備考・メッセージ		

ジェンダー論

更新日：2026/05/19 15:13:23

開講年度	2026	開講期	後期	ナンバリング	BS201
担当教員	川原 ゆかり				

配当	学部/学科	短期大学 長崎短期大学 保育学科			
	配当年	単位	科目必選区分	授業形態	
	1年	2	選択	講義	

アクティブラーニングの類型	①発見学習（事実を発見する過程から学習者に体験させる手法）	
	②問題解決学習（PBL：自ら問題を発見し解決する能力を養うことを目的とした教育法）	
	③体験学習（実際の活動体験を通して学ぶことを狙った学習形態）	
	④調査学習（課題について調査し結論をまとめる学習法）	
	⑤グループ・ディスカッション（議論まで）	<input checked="" type="checkbox"/>
	⑥ディベート（特定の論題について、あえて異なる立場に分かれて議論をする手法）	
	⑦グループ・ワーク（議論+成果物（プレゼンなど））	

授業概要

ジェンダーとは何か、教育とは何か？ジェンダーと教育はどのようにつながるのか考える。歴史的・文化的・社会的に作られた「女」「男」の性別による「当たり前さ」や「常識」「自然」という考え方の中での性別に捉われる生き方について基本的な知識を修得する。

性に不随した「ジェンダー役割り」についての理解を深め、エンパワメントについて見識を高めることができる。

各論として、女性と家族、母子世帯と社会福祉、貧困、結婚、子育て・労働・高齢者問題、DV、児童虐待などについての理解に必要な知識を養う。また、LGBTなどセクシャリティの多様性についての知識や理解を深めることで、多様な生き方を受け入れる事ができるようになる。

授業における到達目標

1	多様な生き方・様々な考え方・価値観を知り、受容・共生できるようになる。
2	男女を取り巻く社会情勢の中での様々な課題や問題点、福祉制度などについて理解し、自らの生き方の考察に繋げることができる。
3	多様な生き方・様々な考え方・価値観を知るために、グループディスカッションを通して、自己覚知することができる。
4	講義で得た知識や他の生き方を通して、自己課題を発見し、問題解決する力をレポート等で言語化して再認識し、行動する力を身に付けることができる。
5	積極的に他とディスカッションし、新聞記事等の関連情報に自らリサーチできるようになる。

評価方法

資質・能力	授業における到達目標（番号のみ記載）	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力	1	レポート	10%
確かな専門的知識や技能	2	定期試験	60%
コミュニケーション能力	3	グループディスカッション	10%
課題解決能力	4	定期試験 レポート	10%
主体的に学ぶ力	5	予習・復習力 レポート	10%
合計			100%

補足事項

定期試験（60%） レポート（30%） グループ討議（10%） を総合して評価する。

①オンラインで実施する場合は、事前に配布します。保育者としての自分を認識するため予習・復習をして受講して下さい。

②保育者としての自分を認識するための各種の心理テスト等は予習・復習として実施して下さい。対面授業時に説明及び自己採点と解釈をします。

③オンライン授業時は、カメラは基本的に「ON」、発言時以外は、マイクは「OFF」にして下さい。

④課題やレポートはWordやExcelを必要に応じて活用して下さい。

⑤授業開始から15分以前の早退及び授業時間中15分以上離席した際は欠席扱い、授業開始から15分経過した遅刻3回で欠席1回とみなします。

授業計画

	授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1	1回目	ジェンダー総論 現代を取り巻く社会構造・概論とジェンダー	面接授業	予習：まずは女性の生き方のモデルに触れる（2時間） 復習：女性から見た社会構造をまとめる（2時間）
2	2回目	ジェンダーの発達心理学 「女」になる、「男」になることは？	面接授業	予習：学友と、性別・性差等についてディスカッションする（4時間）
3	3回目	性同一性の形成① 性の多様性（LGBT等）について理解を深める。 実話「ボーイズ・ドントクライ」を視聴する。	面接授業	予習：LGBTの文献を読む（2時間） 復習：資料を読み、LGBTの認識を深める（2時間）

4	4回目	性同一性の形成② トランスジェンダーについて理解を深める。	面接授業	予習：女性のトランスジェンダーに関する記事を読む（2時間） 復習：女性のトランスジェンダーの生きづらさをまとめる（2時間）
5	5回目	ジェンダーフリーと結婚 ジェンダーと結婚について考え、世界の結婚・日本の結婚の定義について学ぶ。	面接授業	復習：結婚とは何か、結婚の意義や社会的意味について学友とディスカッションする（4時間）
6	6回目	ジェンダーと出産について 世界10か国の女性の出産のドキュメンタリーを視聴し、性と生について考える。	面接授業	予習：出産に関する正しい知識を学ぶ（2時間） 復習：命がこの世に生まれる神秘をまとめる（2時間）
7	7回目	ジェンダーについて 社会的・文化的・歴史的慣習の中のジェンダー意識を理解する。差別と区別を知る。	面接授業	予習：自分と身近なジェンダー意識に気づく（2時間） 復習：女性誌研史を読む（2時間）
8	8回目	男子の生きる世界とジェンダー 配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する（DV法）法律について学ぶ。DVD「DV」を視聴する。	面接授業	予習：DVに関する文献を読む（2時間） 復習：DV法の趣旨とDVに対する自分の考えをまとめる（2時間）
9	9回目	生と性のグラデーション（共依存） 男女間の交際関係で陥りやすい共依存について認識を深める。自立と依存について学ぶ。	面接授業	予習：依存に関する文献を読む（2時間） 復習：DV被害者の保護・その社会資源について知る（2時間）
10	10回目	老いとジェンダー革命 少子高齢社会の中の生き方を考える。一生の時間軸と人生の一般的なエピソードについて理解する。	面接授業	予習：人口構造について調べる（2時間） 復習：自分の10年後・30年後の人生をイメージしてまとめる（2時間）
11	11回目	ひとり親家庭と養育放棄 実話「誰も知らない」を視聴。ひとり親家庭の親子の生きざまや実態を理解する。	面接授業	予習：子どもにとっての親とは何か、学友とディスカッションする（2時間） 復習：親の立場から子育ての困難性を想像する（2時間）
12	12回目	ひとり親家庭と養育 経済的・社会的・法的・社会構造からみたひとり親家庭の位置づけを考える。	面接授業	予習：養育放棄・ネグレクト関連の図書を読む（2時間） 復習：子どもの予後を理解し、社会的養護に関する文献を読む（2時間）
13	13回目	女性のジェンダー意識と「幸せな家庭の幻想」 女性の就業と社会的自立に伴う人生設計・自立の困難性及び子育て環境の変化、保育制度について理解する。	面接授業	予習：多様な働き方と保育ニーズについて調べる（2時間） 復習：現代社会における保育制度と保育者を目指す自己理解をするために考えをまとめる（2時間）
14	14回目	総活・まとめ ジェンダー概論から各論にいたる一連の学びを整理し、時代と共に変化するデータ（数値）や概念をまとめる。	面接授業 オンライン可	予習：1～13回の資料を読む（2時間） 復習：諸々の概念や数値を理解し、記憶する（2時間）
15	15回目	模擬テスト 各種制度や概念、時代と共に変化する数値の意味と社会構造を理解し、総まとめとして正しい知識を得る。	面接授業 オンライン可	予習：記憶するための「穴空きプリント」を勉強する（1時間） 復習：定期試験の準備（3時）
16	16回目	定期試験		授業外学修 60時間

その他

科目（教職課程用）		
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等		
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項		
教科書	【教科書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など 少子化時代のジェンダーと母親意識、目黒依子・矢澤澄子編、2000年、新曜社	【教科書】ISBN 9.78479E+12
参考書	【参考書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【参考書】ISBN
履修条件		
履修上の注意		
オフィスアワー	特に定めません。質問がある場合は昼休み・放課後に行います。	

備考・メッセージ	<p>①原則対面授業ですが、オンライン授業を行う場合もあります。オンライン授業時は、カメラは基本的に「ON」、発言時以外は、マイクは「OFF」にしてください。</p> <p>②オンライン授業のパワーポイント資料は事前に配布します。オンライン授業は課題提出を義務化し、出席とみなし、レポートの内容から教育効果の検証を行います。</p> <p>③ジェンダー論の観点から女性のリアルな生きざまと女性特有の取り巻く環境・価値感を指南しながら、実例や現状と課題を通して、自立した女性の生き方を探っていきます。</p> <p>④一人の人間・女性としての自立の先にある保育者としての子育て支援の視点を体現できる授業を通して、理論に結びつけていきます。</p> <p>⑤課題やレポートはWordやExcelを必要に応じて活用して下さい。</p>
----------	--

実践国語演習

更新日：2026/05/19 15:13:24

開講年度	2026	開講期	前期,3Q/7Q	ナンバリング	BS202
担当教員	山本 みづほ				

配当	学部/学科	短期大学 長崎短期大学 保育学科			
	配当年	単位	科目必選区分	授業形態	
	1年	2	選択	演習	

アクティブラーニングの類型	①発見学習（事実を発見する過程から学習者に体験させる手法）	<input checked="" type="checkbox"/>
	②問題解決学習（PBL：自ら問題を発見し解決する能力を養うことを目的とした教育法）	<input checked="" type="checkbox"/>
	③体験学習（実際の活動体験を通して学ぶことを狙った学習形態）	<input checked="" type="checkbox"/>
	④調査学習（課題について調査し結論をまとめる学習法）	
	⑤グループ・ディスカッション（議論まで）	<input checked="" type="checkbox"/>
	⑥ディベート（特定の論題について、あえて異なる立場に分かれて議論をする手法）	
	⑦グループ・ワーク（議論+成果物（プレゼンなど））	<input checked="" type="checkbox"/>

授業概要

保育者としてふさわしい国語力を修得するために、「会話表現」と「文章表現」の基礎を学び、応用力を身に付ける。子ども、保護者、職場の人それぞれに対する言葉遣いと気遣いができる人間力を養う。

本講義では、①保育現場において正しい言葉遣いで応対することができる、②広い視野で物事を捕らえ保育の実践をすることができる、③読みやすい文字で順序立てた文章を書くことができることを目標とする。

授業における到達目標

1	ビブリオバトルを通して自分の思いを伝えることができる
2	総合的な国語力を身に付けている
3	保育士としての思いを的確に文章で表現できる
4	グループ内で協力して「事例カード」による寸劇を作り上げることができる
5	保育に関する新聞記事を読み、有効な解決策を考えることができる
6	毎回の講義の感想や質問を文章で表現できる

評価方法

資質・能力	授業における到達目標（番号のみ記載）	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力	1	授業での発表	10%
確かな専門的知識や技能	2,3	定期試験	60%
コミュニケーション能力	4	グループディスカッションと授業での発表	5%
課題解決能力	5	レポート	5%
主体的に学ぶ力	6	授業への参加・態度 振り返りのメモ	20%
合計			100%

補足事項

- ・本授業では、定期試験60%、毎回の授業の振り返り感想・質問メモと授業への参加・態度20%、及びビブリオバトル、グループディスカッション+レポート各10%の割合で評価する。
- ・課題のフィードバックは授業内またはGoogle Classroomで行う。

授業計画

	授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1	1回目	「オリエンテーション」 講義の進め方、保育士に求められる国語力について説明する。	対面授業	予習：自己紹介（保育園・幼稚園時代の思い出エピソード）を考えておくこと（2時間） 復習：シラバスを再度確認しておく（2時間）
2	2回目	「会話表現1」 聞き取りやすい話し方の基本について説明する。 ・正しい発声、アクセント、プロミネンス	対面授業	予習：P20～P25を読んでおく（2時間） 復習：早口言葉を書き、声に出して言う（2時間）
3	3回目	「会話表現2」ビブリオバトル 4人グループで予選を行い、チャンプ本を決め、全体で代表者による決戦大会を行う。 ・本を持参（図書館で借りても良い）	対面授業	予習：紹介する本を準備し、5分間で話す練習をしておく（2時間） 復習：チャンプ本のどこに惹かれたかについてまとめる（2時間）

4	4回目	「会話表現3」 敬語について説明する。 ・敬語の種類 ・二重敬語に注意	対面授業	予習：P26～P30を読んでおく（1時間） 復習：敬語の種類についてまとめる（3時間）
5	5回目	「会話表現4」 実習先での自己紹介について説明する。（先生方、子ども、保護者の3つのパターン） 演習シートを用いて授業の理解を深める。	対面授業	予習：P32～P36を読んでおく（1時間） 復習：発表した内容の振り返りをする（3時間）
6	6回目	「会話表現5」 電話の対応について説明する。 ・ロールプレイ式 ・伝言メモの取り方	対面授業	予習：P37～P39、P55～P56を読んでおく（2時間） 復習：的確な対応に必要な知識をまとめる（2時間）
7	7回目	「会話表現6」 保育現場での話し方について説明する。 事例カードごとに園児役、先生役に分かれての寸劇 ・役になりきることが重要	対面授業	予習：P40～P45を読んでおく（2時間） 復習：各グループの良かった点をまとめる（2時間）
8	8回目	「文章表現1」 文字を正しく書くことについて説明する。 ・ペンの正しい持ち方 ・正しい表記	対面授業	予習：P58～P65を読んでおく（2時間） 復習：自分の文字の癖を再認識する（2時間）
9	9回目	「文章表現2」 文章作成上の留意点について説明する。 ・当て字、隠語、記号の用い方、重複表現、同じ言葉の多用	対面授業	予習：P66～P71を読んでおく（2時間） 復習：自分の文章の癖を再認識する（2時間）
10	10回目	「文章表現3」 文章の基本的な書き方について説明する。 ・毎回書いている振り返りメモを参考	対面授業	予習：P72～P76を読んでおく（2時間） 復習：自分の文章の癖を文章化する（2時間）
11	11回目	「文章表現4」 実習日誌の書き方を説明する。 ・ある保育士の1日のビデオを参照	対面授業	予習：P78～P87を読んでおく（2時間） 復習：実習日誌を完成させる（2時間）
12	12回目	「文章表現5」 指導計画、連絡帳の書き方について説明する。 ・指導計画の見本から学ぶ ・連絡帳を実際を書く	対面授業	予習：P88～P92及びP125～P132を読んでおく（2時間） 復習：グループで交換して見た連絡帳の長所をまとめる（2時間）
13	13回目	「文章表現6」 小論文の書き方を説明する。 ・原稿用紙の使い方、作文と小論文の違い、構成 ・過去に出されたタイトルから一つを選び実際に書く	対面授業	予習：P112～P124を読んでおく（2時間） 復習：時間内に提出した小論文の振り返りをする（2時間）
14	14回目	「文章表現7」 手紙、はがき、メールの書き方を説明する。 ・年賀状を書く	対面授業	予習：P93～P106を読んでおく（1時間） 復習：実際に年賀状を書いて出す（3時間）
15	15回目	「文章表現8」「会話表現7」 履歴書の書き方と面接の受け方を説明する。 ・履歴書を書き、それをもとにグループで面接練習をする。	対面授業	予習：P107～P111及びP46～P50を読んでおく（2時間） 復習：今日の学びの振り返りをする（2時間）
16	16回目	定期試験		授業外学修 60時間

その他

科目（教職課程用）		
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等		
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項		
教科書	【教科書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【教科書】ISBN
	『保育者になるための国語表現』2020改訂版4刷 萌文書林	9.78489E+12
参考書	【参考書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【参考書】ISBN
	参考書、資料に関しては授業で提示する	
履修条件		
履修上の注意		
オフィスアワー	授業の前で質問に対応します	

備考・メッセージ

- ・座席指定とする
- ・欠席の場合は欠席願（届）を必ず提出すること
- ・常に保育関連の新聞記事やニュースに注目しておくこと
- ・演習形式の授業なので、積極的に取り組み国語力を養おうとする意欲のある学生を望みます

英語 I

更新日：2026/05/19 15:13:25

開講年度	2026	開講期	前期	ナンバリング	BS103
担当教員	本土 源太郎				

配当	学部/学科	短期大学 長崎短期大学 保育学科			
	配当年	単位	科目必選区分	授業形態	
	1年	2	必修	演習	

アクティブラーニングの類型	①発見学習（事実を発見する過程から学習者に体験させる手法）	
	②問題解決学習（PBL：自ら問題を発見し解決する能力を養うことを目的とした教育法）	
	③体験学習（実際の活動体験を通して学ぶことを狙った学習形態）	
	④調査学習（課題について調査し結論をまとめる学習法）	
	⑤グループ・ディスカッション（議論まで）	<input checked="" type="checkbox"/>
	⑥ディベート（特定の論題について、あえて異なる立場に分かれて議論をする手法）	
	⑦グループ・ワーク（議論+成果物（プレゼンなど））	<input checked="" type="checkbox"/>

授業概要

保育現場で役立つ英語表現（以下参照）の学習。

手遊び英語歌（Ten Little Pumpkins など）、保護者との英会話、ネイティブ講師との打合せに必要な英語、アレルギーや医療品に関する英語、園行事や遊具に関する英語などを学ぶ。また実習形式で、スクラブル等の教具の体験、浦島太郎などの洋書の読み聞かせを行う。さらに、各国のクリスマス事情などの調べ学習を通し異文化理解を深め、教養の涵養も促す。

授業における到達目標

1	社会の様々な立場の人に親和的な態度で積極的に働きかけることができる
2	英語で保育現場に役立つ身近な表現と語彙を用いて活用することができる
3	英語で相手や目的・場面に応じて自らの意志を的確に表現、理解することができる
4	指示を待つのではなく、自らやるべきことを見つけて積極的に取り組むことができる
5	自己について深く理解し、興味関心に基づき保育について考えることができる

評価方法

資質・能力	授業における到達目標（番号のみ記載）	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力	1	授業への参加・態度	20%
確かな専門的知識や技能	2	定期試験・小テスト	80%
コミュニケーション能力	3	グループディスカッション プレゼンテーション	
課題解決能力	4	レポート	
主体的に学ぶ力	5		
合計			100%
補足事項			
授業中の携帯電話の使用は禁止します。 課題のフィードバックは授業内またはGoogle Classroomで行う。			

授業計画

	授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1	1回目	オリエンテーション 英語の会話に最低限必要な表現	面接授業	予習・復習の内容を説明PreUnitの予習（2h）
2	2回目	Unit 1 自己紹介に関する英語表現	面接授業	Unit1の復習とUnit2の予習（4h）
3	3回目	Unit 2 場所に関する表現を説明する	面接授業	Unit2の復習とUnit3の予習（4h）
4	4回目	Unit 3 体調に関する英語表現を学習する	面接授業	Unit3の復習とUnit4の予習（4h）
5	5回目	Unit 4 好き嫌いに関する英語表現	面接授業	Unit4の復習とUnit5の予習（4h）
6	6回目	Unit 5 存在・状態に関する英語表現	面接授業	Unit5の復習とUnit6の予習（4h）
7	7回目	Unit 6 時間に関する英語表現	面接授業	Unit6の復習とUnit7の予習（4h）
8	8回目	Unit 7 病気・アレルギーに関する表現	面接授業	Unit7の復習とUnit8の予習（4h）
9	9回目	Unit 8 緊急事態に関する英語表現	面接授業	Unit8の復習とUnit9の予習（4h）
10	10回目	Unit 9 行事に関する英語表現	面接授業	Unit9の復習とUnit10の予習（4h）
11	11回目	Unit 10 天気に関する英語表現	面接授業	Unit10の復習とUnit11の予習（4h）
12	12回目	Unit 11 禁止・助言に関する英語表現	面接授業	Unit11の復習とUnit12の予習（4h）

13	13回目	Unit 12 病気に関する英語表現	面接授業	Unit12の復習とUnit13の予習 (4h)
14	14回目	Unit 13 電話での応対に関する英語表現	面接授業	Unit13の復習とUnit14の予習 (4h)
15	15回目	Unit 14 感謝の気持ちを表す英語表現	面接授業	Unit4の復習と試験勉強 (6h)
16	16回目	定期試験		授業外学修 60時間

その他

科目 (教職課程用)			
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等			
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項			
教科書	【教科書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【教科書】ISBN	
	Happy English for Childcare 保育のための基礎英語	9.78476E+12	
参考書	【参考書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【参考書】ISBN	
履修条件	教科書を忘れないこと		
履修上の注意			
オフィスアワー	(前期) 月曜日の3～4限目		
備考・メッセージ	授業中の携帯電話の使用は禁止 毎回小テストを行うので必ず既習内容の復習を行うこと		

国際コミュニケーション演習

更新日：2026/05/19 15:13:26

開講年度	2026	開講期	後期	ナンバリング	BS203
担当教員	ERNIE AFICIONADO KAKEHASHI				

配当	学部/学科	短期大学 長崎短期大学 保育学科			
	配当年	単位	科目必選区分	授業形態	
	1年	2	選択	演習	

アクティブラーニングの種類	①発見学習（事実を発見する過程から学習者に体験させる手法）	
	②問題解決学習（PBL：自ら問題を発見し解決する能力を養うことを目的とした教育法）	
	③体験学習（実際の活動体験を通して学ぶことを狙った学習形態）	
	④調査学習（課題について調査し結論をまとめる学習法）	
	⑤グループ・ディスカッション（議論まで）	<input checked="" type="checkbox"/>
	⑥ディベート（特定の論題について、あえて異なる立場に分かれて議論をする手法）	
	⑦グループ・ワーク（議論+成果物（プレゼンなど）	

授業概要

This course is designed to provide students with basic English conversation skills and targeted English needed for working in a childcare environment. Students will learn daily, practical vocabularies, and phrases. Students will engage in various activities such as role playing, learning games, songs and nursery rhymes that will help them develop situation-specific language and skills that can be used in the working environment. In addition, students will learn how to use story-telling in teaching to make English more fun for children to learn. At the end of the course, students will gain solid foundation of the necessary teaching and English speaking skills and develop strong confidence to use English on the job.

授業における到達目標

1	英語が保育士又は保育関係者に必要な専門知識であることを理解し、積極的な学習ができる
2	Learn basic communication with non-Japanese children and study childcare contents in English.
3	Improve English communication skill required for nursery schools.
4	実際の受験を念頭に授業を進めるので文法と語彙の復習ができる
5	相手の意思を理解・自らの意思を表現ができる

評価方法

資質・能力	授業における到達目標（番号のみ記載）	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力	1	授業への参加・態度	10%
確かな専門的知識や技能	2,3	スピーキングテスト プレゼンテーションレポート レッスンプラン	60%
コミュニケーション能力	4	課題の提出	10%
課題解決能力	5	グループワーク 授業への参加・態度	20%
主体的に学ぶ力			
合計			100%

補足事項

本授業では、参加度10% スピーキングテスト 60% 課題の提出10%、グループワーク20%の割合で評価する。

授業計画

	授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1	1回目	Intro about the course, self-introduction	面接授業	予習：Check vocabulary and grammar from Unit 1(2H) 復習：N/A
2	2回目	First Step to Childcare English	面接授業	予習：Check vocabulary and grammar from the next unit.(2H) 復習：Assignment(2H)
3	3回目	Welcome to Minato Nursery School!	面接授業	予習：Check vocabulary and grammar from the next unit.(2H) 復習：Assignment(2H)
4	4回目	Time and Numbers/ Story-telling (The Hungry Caterpillar)	面接授業	予習：Check vocabulary and grammar from the next unit.(2H) 復習：Assignment(2H)

5	5回目	Directions	面接授業	予習 : Check vocabulary and grammar from the next unit.(2H) 復習 : Assignment(2H)
6	6回目	Dream Nursery School Project 1	面接授業	予習 : Draw your dream nursery school(4H)
7	7回目	Davy Meets His classmate Takashi	面接授業	予習 : Prepare for the presentation(4H)
8	8回目	Group presentation: えいごであそぶ Review Unit 1 - 4	面接授業	予習 : Prepare for the presentation(2H) 復習 : Assignment(2H)
9	9回目	Dropping Davy Off and Picking him up	面接授業	予習 : Check vocabulary and grammar from the next unit.(2H) 復習 : Assignment(2H)
10	10回目	Jobs at Nursery School	面接授業	予習 : Check vocabulary and grammar from the next unit.(2H) 復習 : Assignment(2H)
11	11回目	Lunchtime/ Story-telling (Brown Bear, Brown Bear, What Do You See?)	面接授業	予習 : Check vocabulary and grammar from the next unit.(2H) 復習 : Assignment(2H)
12	12回目	Toilet Dialog	面接授業	予習 : Check vocabulary and grammar from the next unit.(2H) 復習 : Assignment(2H)
13	13回目	Fighting	面接授業	予習 : Check vocabulary and grammar from the next unit.(2H) 復習 : Assignment(2H)
14	14回目	Injuries and Illnesses / Explanation on how to make lesson plan in teaching English to children	面接授業	予習 : Check vocabulary and grammar from the next unit.(2H) 復習 : Assignment(2H)
15	15回目	Group Activity: Making original lesson plan in teaching English to children Final Speaking test	面接授業	予習 : Check vocabulary and grammar from the next unit.(2H) 復習 : Assignment(4H)
16	16回目	定期試験		授業外学修 60時間

その他

科目 (教職課程用)		
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等		
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項		
教科書	【教科書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【教科書】ISBN
	教科書 : 「保育の英会話 Childcare English」 赤松直子・久富陽子 萌文書林	9.78489E+12
参考書	【参考書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【参考書】ISBN
履修条件		
履修上の注意	授業の際は必ず教科書、ハンドアウト、辞書を持参すること	
オフィスアワー	授業の前後・メールで質問や聞き合わせ。学生の希望によって相談可能。 (ernie.k@njcawesome.education)	
備考・メッセージ	<p>授業に関する質問は直接のほかGoogle Classroomでも受け付け、web上あるいは以降の授業回で答える。</p> <p>対面授業が出来ない状況にはリモートで授業の対応可能</p> <p>必ず予習・復習して授業に参加する。</p> <p>課題提出は締切厳守</p> <p>授業計画 (シラバス)に沿って授業を進行するのが原則であるが、受講している学生の理解度・実態によってスケジュールや内容等をやむを得ず変更する場合があります。</p> <p>This class will be conducted primarily in English. Students should have a strong desire and willingness to learn and use English. Please note that this syllabus is subject to change based on the needs of the class.</p>	

保育学特別演習

更新日：2025/12/22 16:33:18

開講年度	2026	開講期	後期	ナンバリング	BS205
担当教員	中尾 健一郎				

配当	学部/学科	短期大学 長崎短期大学 保育学科			
	配当年	単位	科目必選区分	授業形態	
	1年	2	選択	演習	

アクティブラーニングの類型	①発見学習（事実を発見する過程から学習者に体験させる手法）	
	②問題解決学習（PBL：自ら問題を発見し解決する能力を養うことを目的とした教育法）	
	③体験学習（実際の活動体験を通して学ぶことを狙った学習形態）	
	④調査学習（課題について調査し結論をまとめる学習法）	
	⑤グループ・ディスカッション（議論まで）	
	⑥ディベート（特定の論題について、あえて異なる立場に分かれて議論をする手法）	
	⑦グループ・ワーク（議論+成果物（プレゼンなど））	

授業概要

授業における到達目標

評価方法

資質・能力	授業における到達目標 （番号のみ記載）	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力			
確かな専門的知識や技能			
コミュニケーション能力			
課題解決能力			
主体的に学ぶ力			
合計			
補足事項			

授業計画

その他

科目（教職課程用）		
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等		
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項		
教科書	【教科書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【教科書】ISBN
参考書	【参考書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【参考書】ISBN
履修条件		
履修上の注意		
オフィスアワー		
備考・メッセージ		

スポーツ科学

更新日：2026/05/19 15:13:28

開講年度	2026	開講期	4Q/8Q	ナンバリング	BS301
担当教員	中尾 健一郎				

配当	学部/学科	短期大学 長崎短期大学 保育学科			
	配当年	単位	科目必選区分	授業形態	
	2年	1	必修	講義	

アクティブラーニングの類型	①発見学習（事実を発見する過程から学習者に体験させる手法）	<input checked="" type="checkbox"/>
	②問題解決学習（PBL：自ら問題を発見し解決する能力を養うことを目的とした教育法）	<input checked="" type="checkbox"/>
	③体験学習（実際の活動体験を通して学ぶことを狙った学習形態）	<input checked="" type="checkbox"/>
	④調査学習（課題について調査し結論をまとめる学習法）	
	⑤グループ・ディスカッション（議論まで）	
	⑥ディベート（特定の論題について、あえて異なる立場に分かれて議論をする手法）	
	⑦グループ・ワーク（議論+成果物（プレゼンなど））	

授業概要

- ①スポーツと人との関わりについて理解する
- ②体力テストのデータを分析し、全国的な傾向と自らの体力の現状を理解する。
- ③健康と運動との関わり、効果的な体力維持向上の方法について理解する。
- ④日本のスポーツの現状、スポーツ基本法、スポーツ基本計画について理解する
- ⑤自らの生活とスポーツとの関わりについて振り返り、生涯スポーツについて理解する

授業における到達目標

1	する・みる・支える・創るなど人とスポーツの関わりと生涯スポーツについて説明できる
2	スポーツ基本法、スポーツ基本計画について理解できる
3	健康・体力づくりに果たす運動・スポーツの役割について説明できる
4	健康体力を維持する方法について説明できる
5	保育者を目指すものとして、自らの生活と運動やスポーツとの関わりについて説明できる

評価方法

資質・能力	授業における到達目標（番号のみ記載）	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力	1,2,3,4	定期試験(レポート)	40%
確かな専門的知識や技能			
コミュニケーション能力			
課題解決能力			
主体的に学ぶ力	5	定期試験(レポート) リフレクションカード 授業への参加・態度	20% 20% 20%
合計			100%

補足事項

オンライン・オンデマンド配信授業については、課題提出で出席とみなす
 毎回、授業のポイント、意見・質問、授業態度の自己評価をリフレクションカードとして提出
 リフレクションカードの意見・質問はgoogle classroom等や授業内にてコメントする
 定期試験(レポート)60%、リフレクションカード20%、授業への参加・態度20%の割合で評価する
 【面接授業における遅刻、早退、欠席について】
 ・授業開始15分までを遅刻とし、それ以降は欠席とする。また、早退については75分間授業を受けていない場合は欠席とする。遅刻3回で1回の欠席としてカウントする

授業計画

	授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1		「オリエンテーション・スポーツと人の関わりと生涯スポーツの考え方について」 これまでの自分の運動やスポーツへの関わりについて考える	面接授業： 講義	予習：これまでの自分の運動やスポーツへの関わりについて振り返る(1.5時間) 復習：配布資料を参考に運動やスポーツとの関わりについてまとめる(1.5時間)
2		「健康・体力づくりに果たす運動・スポーツの役割について1」 新体力テストを実施し、自らの体力の現状を理解する	面接授業： 実技	予習：新体力テストについて調べる(0.5時間) 復習：新体力テストの結果を振り返る(0.5時間)

3	「健康・体力づくりに果たす運動・スポーツの役割について2」 新体力テストの結果についてデータを分析し、自身の健康づくりに向けて運動やスポーツに関わるきっかけとする	面接授業： 講義	予習：新体力テストのデータを振り返る(0.5時間) 復習：運動やスポーツとテスト結果の関りについて考える(0.5時間)
4	「健康・体力づくりに果たす運動・スポーツの役割について3」 健康づくりの観点から休養・栄養・運動について理解し、有酸素運動の効果、筋力トレーニングの効果について学ぶ	面接授業： 講義	予習：健康・体力づくりと食生活との関りについて調べる(0.5時間) 復習：配布資料を参考に健康体力づくりに果たす運動・スポーツの役割についてまとめる(0.5時間)
5	「健康・体力づくりに果たす運動・スポーツの役割について4」 生涯スポーツ観点からニュースポーツに取り組み、その効果について学ぶ①	面接授業： 実技	予習：ニュースポーツについて調べる(0.5時間) 復習：ニュースポーツの実践について振り返る(0.5時間)
6	「健康・体力づくりに果たす運動・スポーツの役割について5」 生涯スポーツ観点からニュースポーツに取り組み、その効果について学ぶ②	面接授業： 実技	予習：ニュースポーツについて調べる(0.5時間) 復習：ニュースポーツの実践について振り返る(0.5時間)
7	「健康・体力づくりに果たす運動・スポーツの役割について5」 生涯スポーツ観点から地域のスポーツ環境について学ぶ	面接授業： 講義	予習：地域のスポーツ環境について調べる(0.5時間) 復習：配布資料を参考に健地域のスポーツ環境についてまとめる(0.5時間)
8	「日本のスポーツの現状と課題、日本のスポーツ推進策について」 統計データから日本のスポーツの現状と課題、スポーツ基本法、スポーツ基本計画について学ぶ	面接授業： 講義	予習：日本のスポーツ振興の現状について調べる(0.5時間) 復習：配布資料を参考にスポーツ振興の現状と課題についてまとめる(0.5時間)
9	定期試験(レポート)		授業外学修時間 8時間

その他

科目(教職課程用)		
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等		
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項	データを読む・説明する・扱う,社会で活用されているデータ,データ・AIの活用領域	
教科書	【教科書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【教科書】ISBN
	必要に応じて資料を配布する	
参考書	【参考書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【参考書】ISBN
	身体運動・健康科学ベーシック／東京大学身体運動科学研究室(編集)(2022) 東京大学出版会	9.78413E+12
履修条件	オンライン等の授業、または必要に応じてはPC、タブレット(パソコン)等を準備し、対応できるようにすること	
履修上の注意	実技の際は、運動のできる服装を準備して臨むこと	
オフィスアワー	質問等は授業の前後に教室にてまたはgoogle classroom等で受け付ける	
備考・メッセージ	自分の健康に関心を持ち、運動やスポーツとの関わりを振り返りながら取り組むこと	

スポーツ実習

更新日：2026/05/19 15:13:33

開講年度	2026	開講期	後期	ナンバリング	BS401
担当教員	釜元 晶子				

配当	学部/学科	短期大学 長崎短期大学 保育学科			
	配当年	単位	科目必選区分	授業形態	
	2年	1	必修	実技	

アクティブラーニングの類型	①発見学習（事実を発見する過程から学習者に体験させる手法）	
	②問題解決学習（PBL：自ら問題を発見し解決する能力を養うことを目的とした教育法）	
	③体験学習（実際の活動体験を通して学ぶことを狙った学習形態）	<input checked="" type="checkbox"/>
	④調査学習（課題について調査し結論をまとめる学習法）	
	⑤グループ・ディスカッション（議論まで）	
	⑥ディベート（特定の論題について、あえて異なる立場に分かれて議論をする手法）	
	⑦グループ・ワーク（議論+成果物（プレゼンなど））	<input checked="" type="checkbox"/>

授業概要

本実習は、生涯スポーツに繋がる種目を実施することで、スポーツの楽しさと大切さを学び、スポーツを取り入れた豊かなライフスタイルについて考えることをねらいとしている。本実習では、①体力テストなどから自分の現状が分かる ②さまざまなスポーツのルールが分かる ③自分にあうトレーニングのやり方が分かる ④スポーツを通じたコミュニケーションができる ⑤運動の大切さが分かる ⑥試合を通して協力、協調、公正さを養い、喜びや楽しさを知る ことを目標とする。

授業における到達目標

1	自身の健康に興味を持ち、スポーツに積極的に取りくむことができる。
2	自身にふさわしいスポーツ活動を選び、豊かなスポーツライフを考えることができる。
3	スポーツのルールを理解して、試合に生かすことができる。
4	生涯スポーツ種目を体験することで、誰とでも交流を深め、楽しさを味わうことができる。
5	実践を通して、自分の課題を見つけ、改善する方法を考えることができる。
6	自分の体力やスポーツ技術を高めようと努力することができる。

評価方法

資質・能力	授業における到達目標（番号のみ記載）	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力	1,2	授業への参加態度	50
確かな専門的知識や技能	3	確認テスト	10
コミュニケーション能力	4	試合などのチーム活動	10
課題解決能力	5	レポート	10
主体的に学ぶ力	6	スポーツテスト（2回）	20
合計			100

補足事項

毎回のゲーム形式のチーム活動 10%、スポーツテスト 20%、ルール確認テスト 10%、レポート 10%、授業への参加・態度 50%を評価する。それらについては、都度指導及び評価についてフィードバックを行う。その際は Web 等で個別に対応もおこなう。
本授業では、遅刻 3 回で欠席 1 回とする。
課題のフィードバックは授業内またはGoogle Classroomで行う。

授業計画

	授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1	1回目	体力テストの実施	面接授業	予習：ストレッチなどを行い、けがの予防について調べる（0.5時間） 復習：体力テストの結果から自分の生活を見直す（0.5時間）
2	2回目	バドミントンのルールの理解と用具の扱い方（シングルス・ダブルス）	面接授業	予習：ルール・用具について調べる（0.5時間） 復習：ルール・用具について復習する（0.5時間）
3	3回目	バドミントンのサーブを中心とした基本練習 リーグ戦形式でのゲーム	面接授業	予習：サーブについて調べる（0.5時間） 復習：試合を観戦する（0.5時間）
4	4回目	バドミントンのスマッシュ・カットを中心とした基本練習 リーグ戦形式でのゲーム	面接授業	予習：スマッシュ・カットについて調べる（0.5時間） 復習：試合を観戦する（0.5時間）
5	5回目	バレーボール及びソフトバレーボールのルールの理解と用具の扱い方	面接授業	予習：ルール・用具について調べる（0.5時間） 復習：ルール・用具について復習する（0.5時間）

6	6回目	バレーボール及びソフトバレーボールのパスを中心とした基本練習 リーグ戦でのゲーム	面接授業	予習：パスについて調べる 復習：試合を観戦する（0.5時間）（0.5時間）
7	7回目	バレーボール及びソフトバレーボールのアタック、レシーブを中心とした基本練習 リーグ戦でのゲーム	面接授業	予習：アタック、レシーブについて調べる（0.5時間） 復習：試合を観戦して感想を書く（0.5時間）
8	8回目	卓球のルールと用具の扱い方 （シングルス・ダブルス）	面接授業	予習：ルール・用具について調べる（0.5時間） 復習：ルール・用具について復習する（0.5時間）
9	9回目	卓球のサーブを中心とした基本練習リーグ戦でのゲーム （シングルス・ダブルス）	面接授業	予習：サーブについて調べる（0.5時間） 復習：試合を観戦して感想を書く（0.5時間）
10	10回目	卓球のスマッシュ、カットを中心とした基本練習 リーグ戦でのゲーム	面接授業	予習：スマッシュ、カットについて調べる（0.5時間） 復習：試合を観戦した感想を書く（0.5時間）
11	11回目	バスケットのルールと用具の扱い方	面接授業	予習：ルール・用具について調べる（0.5時間） 復習：ルール・用具について復習する（0.5時間）
12	12回目	バスケットのパス、ドリブルを中心とした基本練習 リーグ戦でのゲーム	面接授業	予習：パス、ドリブルについて調べる（0.5時間） 復習：試合を観戦して感想を書く（0.5時間）
13	13回目	バスケットのシュートを中心とした基本練習 リーグ戦でのゲーム	面接授業	予習：シュートについて調べる（0.5時間） 復習：試合を観戦して感想を書く（0.5時間）
14	14回目	フットサルのシュートを中心とした基本練習 連携プレー練習 ゲーム 各スポーツの基礎技術の確認	面接授業	予習：シュートや連携プレー、ゲームについて調べる（0.5時間） 復習：基礎技術の確認（0.5時間）
15	15回目	フットサル他各競技のルールについて確認 ライフスタイル及びスポーツ実践	面接授業	予習：フットサル他各競技のルールを調べる（0.5時間） 復習：自分にあうスポーツを実践する（0.5時間）
16	16回目	定期試験		授業外学修 15時間

その他

科目（教職課程用）		
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等		
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項		
教科書	【教科書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【教科書】ISBN
参考書	【参考書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【参考書】ISBN
履修条件		
履修上の注意		
オフィスアワー		
備考・メッセージ		

コンピュータ演習

更新日：2026/05/19 15:13:35

開講年度	2026	開講期	前期	ナンバリング	BS104
担当教員	小浦 康平, 是澤 祐介				

配当	学部/学科	短期大学 長崎短期大学 保育学科			
	配当年	単位	科目必選区分	授業形態	
	1年	2	選択	演習	

アクティブラーニングの類型	①発見学習（事実を発見する過程から学習者に体験させる手法）	<input checked="" type="checkbox"/>
	②問題解決学習（PBL：自ら問題を発見し解決する能力を養うことを目的とした教育法）	
	③体験学習（実際の活動体験を通して学ぶことを狙った学習形態）	
	④調査学習（課題について調査し結論をまとめる学習法）	
	⑤グループ・ディスカッション（議論まで）	
	⑥ディベート（特定の論題について、あえて異なる立場に分かれて議論をする手法）	
	⑦グループ・ワーク（議論+成果物（プレゼンなど））	<input checked="" type="checkbox"/>

授業概要

- ①パソコンの基本操作や各種設定方法を身につけ、タッチタイピングを習得する。
- ②インターネットを使用する上で必要な社会ルールやマナー、著作権について理解する。ホームページ閲覧や検索方法などを身につける。
- ③Wordを使い、正確かつスピーディな文書作成が行えるよう、基本操作を学習する。保育現場で必要となる園だよりやポスターなどを作成する。
- ④Excelを使い、計算式や関数の組み立て、表やグラフの作成、データベースの整理・集計などを学習する。行事カレンダーや出席簿などを作成する。
- ⑤PowerPointを使い、プレゼンテーションの仕方および注意点等を学習する。電子絵本を作成し発表する。

授業における到達目標

1	パソコンの基本操作を身につけ、正確なタイピングができる。
2	保育士として必要なWord、Excel、PowerPointの基本的な使い方を学ぶ。
3	Office系アプリケーションを活用して、相手に伝わる資料やプレゼンテーションを構築する。
4	授業態度や完成まで取り組む姿勢を身に付ける。

評価方法

資質・能力	授業における到達目標（番号のみ記載）	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力	1	課題作成、提出 10分間測定	20% 10%
確かな専門的知識や技能	2	課題提出	30%
コミュニケーション能力			
課題解決能力	3	課題提出、成果発表	30%
主体的に学ぶ力	4	課題提出	10%
合計			100%
補足事項			
本授業では毎回10分間のタイピング練習を行う。課題は指定した形式（データもしくは印刷物）での提出とする。 課題のフィードバックは授業内またはGoogle Classroomで行う。			

授業計画

	授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1	1回目	オリエンテーション Googleクラスルーム コンピュータの基礎知識：パソコンの基本操作、各種設定、ファイル保存、タイピングの基本	面接授業	予習：スマートフォンにGoogleアプリ（ドライブ、メール、ドキュメント、スプレッドシート、スライド）をインストールしてくる、パソコンがどのような仕組みで構成されているか、また、一般的な操作方法やファイルの保存方法などを確認する、タイピング練習を行う（4時間）
2	2回目	文書作成（1）：Wordの基本操作、画面構成、タイピング、文字入力（ひらがな、カタカナ、漢字変換）	面接授業	復習：ホームポジションを守ったタッチタイピングを継続的に学習する、Wordでの図形の扱いに慣れる（2時間） 予習：Wordで文字装飾の機能について調べておく（2時間）
3	3回目	文書作成（2）：ビジネス文書の作成（あいさつ文の挿入、文字の装飾、書式設定、拡張書式設定）	面接授業	復習：中央揃えやインデントなど文字の配置や飾りつけの練習課題を行う（2時間） 予習：Wordでの表の扱い方について慣れておく（2時間）

4	4回目	文書作成(3):表枠作成(表の挿入、列の分割・結合、罫線の装飾)	面接授業	復習:表挿入のボタンの位置および完成例をもとにした表枠作成の練習課題を行う(2時間) 予習:図形の操作、画像の取り扱い方、加工の仕方について調べておく(2時間)
5	5回目	文書作成(4):図形の操作(図形の基本操作、クリップアート、オートシェイプ、写真)	面接授業	復習:図形の拡大縮小・移動などの基本操作の確認と、図形を含む練習課題を行う(2時間) 予習:文字書式、画像、図形、表、の複合的な扱いに慣れておく(2時間)
6	6回目	Wordのまとめ:総復習・課題作成(園だより)課題提出	面接授業	復習:レイアウトを整え、イラストや表枠を入れた見やすく楽しいオリジナルの園だよりを完成させる(2.5時間) 予習:Excelの入力方法に慣れておく(1.5時間)
7	7回目	Excelの基礎(1):表計算の基本用語と概念、画面構成、データ入力の基本、オートフィル、セルの書式設定	面接授業	復習:効率の良い範囲選択や曜日などの自動入力など、テキストを見なおして例題を解く(2時間) 予習:よく使う関数について調べて練習しておく(2時間)
8	8回目	Excelの基礎(2):データを表に整理して集計、計算式(加減乗除、割合計算)、関数(合計、平均、カウント、最大、最小)適切なグラフ グラフからデータの結果を記述	面接授業	復習:計算式の作成と関数の使用の練習課題を行う(2時間) 予習:やや複雑な関数について扱い方を調べておく(2時間)
9	9回目	Excelの基礎(3):いろいろな関数、データベースサンプルからデータの並べ替えと集計 適切なグラフ グラフからデータの結果を記述	面接授業	復習:目的に応じた関数の使用、住所録などの並べ替えの練習課題を行う(2時間) 予習:テクニックを駆使して総合的な課題に取り組みよう復習しておく(2時間)
10	10回目	Excelのまとめ:総復習・課題作成(行事カレンダー・出席簿)	面接授業	復習:適切な関数を活用し、レイアウトを整えた見やすい行事カレンダーや出席簿の作成を行う(2時間) 予習:インターネットやSNSを活用する上でのリスクについて調べておく(2時間)
11	11回目	情報モラルおよびインターネットの活用:インターネット社会のルール・マナー、著作権の保護、情報検索方法	面接授業	復習:インターネットを活用する際の危険な行為を再度認識し、ネット活用を行う(2時間) 予習:PowerPointのスライドの作り方を調べておく(2時間)
12	12回目	PowerPointの基礎(1):スライドの作成、テキスト・図の挿入、アニメーションの設定	面接授業	復習:文字や図を活用したスライド作成の練習課題を行う(2時間) 予習:電子絵本の構成を考える(2時間)
13	13回目	PowerPointの基礎(2):スライドショー操作および発表の注意点、印刷・配布資料の作成、電子絵本作りの課題内容説明	面接授業	復習・予習:電子絵本の構成を考え、PowerPointでどう表現するか、下書きなどを利用しながら考える(4時間)
14	14回目	PowerPointのまとめ:課題作成(電子絵本)	面接授業	復習・予習:電子絵本作りに必要な素材集めや、資料作成を行う(4時間)
15	15回目	PowerPointのまとめ・発表:電子絵本のプレゼンテーション発表	面接授業	復習:プレゼンテーション発表を振り返り、より効果的な手法など改善点を考える(4時間)
16				授業外学修 60時間

その他

科目(教職課程用)		
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等		
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項	データを読む・説明する・扱う	
教科書	【教科書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【教科書】ISBN
	テキスト:コンピュータ演習(保育)(テキスト代:1,000円)	
参考書	【参考書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【参考書】ISBN
履修条件		
履修上の注意	学生証を毎回持ってくる。(ログインに使います)	
オフィスアワー	授業の前後で対応します。	
備考・メッセージ	毎回の提出課題が評価に繋がるため、休んだ場合も課題を提出すること。	

保育のICT

更新日：2026/05/27 11:53:07

開講年度	2026	開講期	後期	ナンバリング	BS204
担当教員	小浦 康平				

配当	学部/学科	短期大学 長崎短期大学 保育学科			
	配当年	単位	科目必選区分	授業形態	
	1年	2	選択	演習	

アクティブラーニングの類型	①発見学習（事実を発見する過程から学習者に体験させる手法）	<input checked="" type="checkbox"/>
	②問題解決学習（PBL：自ら問題を発見し解決する能力を養うことを目的とした教育法）	
	③体験学習（実際の活動体験を通して学ぶことを狙った学習形態）	
	④調査学習（課題について調査し結論をまとめる学習法）	
	⑤グループ・ディスカッション（議論まで）	
	⑥ディベート（特定の論題について、あえて異なる立場に分かれて議論をする手法）	
	⑦グループ・ワーク（議論+成果物（プレゼンなど））	<input checked="" type="checkbox"/>

授業概要

- ① 保育現場でのICT活用について現状を知る
- ② デバイスの違いや活用方法、情報セキュリティについて知り、上手に使いこなす
- ③ アンケートデータの取り扱い・まとめ方を学び、実践力を身に付ける
- ④ グループワークによるお互いを尊重し合う協働性により課題解決を達成する

授業における到達目標

1	Excelを使い、計算式の組み立てやグラフの作成ができる。パソコンの基本操作を身につけ、正確なタイピングができる。
2	保育者として必要なWord、Excelの基本的な使い方を実践する。情報セキュリティや動画作成方法などを身に付ける。
3	データの収集からまとめ方を学ぶ。情報発信や管理についての実践方法を身に付ける。
4	完成まで取り組む姿勢を身に付ける。

評価方法

資質・能力	授業における到達目標（番号のみ記載）	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力	1	10分間測定 課題提出	10% 10%
確かな専門的知識や技能	2	課題提出	40%
コミュニケーション能力			
課題解決能力	3	課題提出、成果発表	40%
主体的に学ぶ力	4	課題提出	10%
合計			100%

補足事項

課題は指定した形式（データもしくは印刷物）での提出とする。
 課題のフィードバックは授業内またはGoogle Classroomで行う。
 毎回の授業の終わりに、Googleクラスルームでシェアした学習報告書を記入しお互いの学習状況を確認する。クラス全体の学びの状況に応じて授業内容のバランスを変化させる場合もある。

授業計画

	授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1	1回目	【保育のICTについて、オリエンテーション】 保育園幼稚園でのICTの活用状況など現状を知る	面接授業	予習：情報セキュリティについて予習しておく、タイピング練習を行う（4h）
2	2回目	【Excelの機能活用】 保育のICTについて 時短で名簿を作成 Excelの印刷時の特徴や注意点	面接授業	予習：Excelの基本操作（セルの書式設定、簡単な関数、グラフの作成と編集。）について復習しておく（2h） 復習：タイピング練習（2h）
3	3回目	【保育者用アプリケーションについて】 保育現場で活用されているアプリケーション 解説とデモンストレーション 特徴や注意点	面接授業	予習：保育者用のアプリケーションについて調べてくる（2h） 復習：タイピング練習（2h）
4	4回目	【保育のICTについて考える1】 レポート課題 Googleクラスルームの機能の活用	面接授業	予習：保育業界でのICT活用の場面について調べてくる（2h） 復習：タイピング練習（2h）

5	5回目	【保育のICTについて考える2】 前回のレポート課題についてシェア 実践的なタイピングの練習	面接授業	予習：保育業界でのICT活用の場面について調べてくる(2h) 復習：タイピング練習(2h)
6	6回目	【Excelデータベースの扱い1】 データの入力と整理、並び替え、抽出、	面接授業	予習：テーブル形式とSubtotal関数について調べておく(2h) 復習：タイピング練習(2h)
7	7回目	【Excelデータベースの扱い2】 データから得られる結果、散布図、ヒストグラム、相関、	面接授業	予習：様々なグラフの使い分け、書式設定に慣れておく(2h) 復習：テーブル形式とSubtotal関数を組み合わせた集計を復習する(2h)
8	8回目	【Googleドライブの活用1】 GoogleとMicrosoftについて、メリットデメリット、 表示の違い 様々なデバイスの違いと特徴と活用	面接授業	予習：Googleの様々なサービス、活用方法について調べておく(2h) 復習：googleの様々なサービスを試してみる(2h)
9	9回目	【Googleドライブの活用2】 スプレッドシートとExcel、特徴の違いと上手な使い分け タイピング練習	面接授業	予習：Googleの様々なサービス、活用方法について調べておく(1h) 画面の解像度とインチについて調べておく(1h) 復習：課題を基にアンケート内容を考えておく(2h)
10	10回目	【アンケート練習】 アンケートフォームの作成、様々な質問形式、質問項目と選択肢の設定 QRコードの作成 アンケートの集計と結果のシェア	面接授業	予習：Googleの様々なサービス、活用方法について調べておく(2h) 復習：課題を基にアンケート内容を考えておく(2h)
11	11回目	【Wordの実践演習】 テーマに沿ったWordの便利な機能の活用	面接授業	予習：wordでの文書作成を予習する、特にスタイル機能を使った見出し、様々な図や表の挿入方法などの操作方法を予習しておく(2h) 復習：文字書式、画像、図形、表、の複合的な扱いに慣れる(2h)
12	12回目	【動画作成演習1】 撮影と編集について、撮影の注意点、データの著作権・プライバシー・セキュリティ 個人で動画作成演習 グループメンバー形成	面接授業	予習：課題を基に動画の構成をを考えておく(2h) 復習：個人動画を完成させておく(2h)
13	13回目	【動画作成演習2】 グループワーク、動画作成演習、カット割りについて、オープニングとエンディング	面接授業	予習：グループメンバーを形成し、グループで課題を基に動画の構成をを考えておく(2h) 復習：動画の構成をグループで見直す(2h)
14	14回目	【動画作成演習3】 動画作成演習、エフェクト、カット、フェードイン/アウト、BGMについて、動画の完成	面接授業	予習：動画撮影の準備(2時間) 復習：動画の撮影・編集を進めておく(2h)
15	15回目	【動画作成演習4】 youtubeへのアップロード、動画の保存形式、アップロードの手順と注意点、シェア、振り返り	面接授業	予習：動画の撮影・編集を進めておく(3h) 復習：youtubeのアップロードとチャンネル運営について手順を復習する(1h)
16				授業外学修 60時間

その他

科目(教職課程用)		
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等		
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項	データを読む・説明する・扱う	
教科書	【教科書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【教科書】ISBN
	テキスト：必要に応じてプリントや参考URLを配信	
参考書	【参考書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【参考書】ISBN
履修条件	自分専用のスマートフォン、タブレット、パソコンなどの端末を1つ以上所有していることが望ましい。	
履修上の注意	IDとパスワードを大事にすること。 授業課題で作成した成果物は授業担当者が授業後も管理します。	
オフィスアワー	水木の放課後	

備考・メッセージ	<p>近年の急速なICTの発達により、現場の保育者も園のホームページを更新したり、動画の配信や様々なデータ集計を行わなければならない時代です。</p> <p>この授業では主にアンケートデータの集計、動画作成・編集（youtubeの利用）、保育者用アプリのデモを行います。情報リテラシーや知識を個人個人で身に付けながら、授業後半にはグループワークとなるため、将来の自分の為にも協力的に参加してください。</p> <p>前期のコンピュータ演習（保育）よりも難易度が高い授業ですが、その分達成感は大きいです。他では手に入らない知識やスキルをここで身に付けましょう！</p>
----------	---

保育原理

更新日：2026/05/19 15:14:30

開講年度	2026	開講期	後期	ナンバリング	EP101
担当教員	戸田 恵理子, 安部 恵美子, 川原 ゆかり				

配当	学部/学科	短期大学 長崎短期大学 保育学科			
	配当年	単位	科目必選区分	授業形態	
	1年	2	必修	講義	

アクティブラーニングの類型	①発見学習（事実を発見する過程から学習者に体験させる手法）	
	②問題解決学習（PBL：自ら問題を発見し解決する能力を養うことを目的とした教育法）	<input checked="" type="checkbox"/>
	③体験学習（実際の活動体験を通して学ぶことを狙った学習形態）	
	④調査学習（課題について調査し結論をまとめる学習法）	<input checked="" type="checkbox"/>
	⑤グループ・ディスカッション（議論まで）	<input checked="" type="checkbox"/>
	⑥ディベート（特定の論題について、あえて異なる立場に分かれて議論をする手法）	
	⑦グループ・ワーク（議論+成果物（プレゼンなど））	

授業概要

本科目の目的は、保育の本質にかかわる専門的知識や考え方を習得し、保育者として自己探求できる力の基礎を養うことである。前半では、保育とは何かを考え、保育の意義や制度を学び、保育指針や教育要領に拠りながら保育の内容や方法について理解する。後半では、保育の思想や歴史の変遷について取り上げ、現代の保育や子どもをめぐる状況を保護者支援など多角的に捉える視点を養い、現在とこれからの保育を考えていく力の基盤を養うことを目指す。

授業における到達目標

1	保育者の基盤となる人間性について理解し、考えを述べることができる
2	保育の意義及び目的について理解している
3	保育に関する法令及び制度を理解している。
4	保育指針・教育要領における保育の基本について理解している
5	保育の思想と歴史の変遷について理解している
6	子どもや保育に関して、他者と意見を交わしたり、話し合ったりすることができる
7	保育における課題について、自身の関心に基づき探究することができる
8	自らがめざす保育や保育者について考え、論じることができる

評価方法

資質・能力	授業における到達目標（番号のみ記載）	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力	1	課題	5%
確かな専門的知識や技能	2,3,4,5	課題 定期試験	5% 60%
コミュニケーション能力	6	課題 グループ討議	5% 10%
課題解決能力	7	課題	5%
主体的に学ぶ力	8	課題	10%
合計			100%

補足事項

- 定期試験（60%）、課題（30%）、グループ討議（10%）を総合して評価する。
- ①資料・課題はオンラインで実施する前に配布します。保育者としての自分を認識するため予習・復習をして受講するようお願いします。
 - ②対面授業時に説明及び自己採点と解釈をします。定期試験後に解答を開示します。
 - ③オンライン授業時は、カメラは基本的に「ON」、発言時以外は、マイクは「OFF」にします。
 - ④課題やレポートはドキュメント等を必要に応じて活用願います。
 - ⑤授業開始から15分以前の早退及び授業時間中15分以上離席した際は欠席扱い、授業開始から15分経過した遅刻3回で欠席1回とみなします。

授業計画

	授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1	戸田	「保育の理念と目的」 ・「保育」について ・理念や目的、概念の理解について	面接授業・オンライン可	予習：テキスト第1章を読んでおく（2h） 復習：自身が考える保育・保育者について考えをまとめる（2h）
2	戸田	「子ども理解」 ・保育における子どもの理解について ・子どもとのかかわりを通した保育について	面接授業・オンライン可	予習：テキスト第2章を読んでおく（2h） 復習：授業を振り返り、重要事項を確認する（2h）

3	安部	「子ども観・保育観」 ・西欧の保育思想について ・日本の幼稚園の創始者 フレーベルについて	面接授業・オンライン可	予習：テキスト第3章を読んでおく（2h） 復習：授業を振り返り、重要事項を確認する（2h）
4	川原	「保育の理念を支える法規」 ・児童の基盤となる法規について ・こども基本法の成立について	面接授業・オンライン可	予習：テキスト第4章を読んでおく（2h） 復習：授業を振り返り、重要事項を確認する（2h）
5	戸田	「幼稚園・保育所・認定こども園の制度と機能」 ・幼稚園・保育所・認定こども園について	面接授業・オンライン可	予習：テキスト第5章を読んでおく（2h） 復習：授業を振り返り、重要事項を確認する（2h）
6	安部	「保育の現場」 ・現代の保育の場について ・様々な保育の場について	面接授業・オンライン可	予習：テキスト第6章を読んでおく（2h） 復習：授業を振り返り、重要事項を確認する（2h）
7	戸田	「保育の目標と内容」 ・保育の目標について ・保育内容のねらいについて	面接授業・オンライン可	予習：テキスト第7章を読んでおく（2h） 復習：授業を振り返り、重要事項を確認する（2h）
8	川原	「保育の方法」 ・環境を通して行う保育について ・保育者チームによる役割・機能分担について	面接授業・オンライン可	予習：テキスト第8章を読んでおく（2h） 復習：授業を振り返り、重要事項を確認する（2h）
9	戸田	「子どもの発達と保育」 ・発達過程に応じた保育について ・3歳未満児の保育について ・3・4・5歳児クラスの保育について ・個別支援の必要な子どもの保育について	面接授業・オンライン可	予習：テキスト第9章を読んでおく（2h） 復習：授業を振り返り、重要事項を確認する（2h）
10	戸田	「保育の計画と評価」 ・保育の計画について ・全体的な計画・教育課程・教育及び保育の内容並びに子育て支援等に関する全体的な計画の編成について	面接授業・オンライン可	予習：テキスト第10章を読んでおく（2h） 復習：授業を振り返り、重要事項を確認する（2h）
11	川原	「子どもの育ち・学びの連続性」 ・幼・保・小連携の現状と課題について	面接授業・オンライン可	予習：テキスト第11章を読んでおく（2h） 復習：授業を振り返り、重要事項を確認する（2h）
12	川原	「日本の保育の現状と課題」 ・待機児童問題について ・子どもの貧困問題について	面接授業・オンライン可	予習：テキスト第12章を読んでおく（2h） 復習：授業を振り返り、重要事項を確認する（2h）
13	戸田	「子育て支援」 ・子育て支援の必要性について ・保育現場における子育て支援について ・地域における子育て支援について	面接授業・オンライン可	予習：テキスト第13章を読んでおく（2h） 復習：授業を振り返り、重要事項を確認する（2h）
14	安部	「海外の保育事情」 ・海外の保育について	面接授業・オンライン可	予習：テキスト第14章を読んでおく（2h） 復習：授業を振り返り、重要事項を確認する（2h）
15	戸田	「保育者のあり方」 ・保育者に求められる内容について ・成長し続ける保育者になるために	面接授業・オンライン可	予習：テキスト第15章を読んでおく（2h） 復習：授業を振り返り、重要事項を確認する（2h）
16		定期試験		筆記試験実施 授業外学修 60時間

その他

科目（教職課程用）	②教育の基礎的理論に関する科目	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	③教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項	データを読む・説明する・扱う,社会で活用されているデータ,データ・AIの活用領域	
教科書	【教科書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【教科書】ISBN
	生活事例からはじめる保育原理 第6版ミネルヴァ書房	9.7849E+12
参考書	【参考書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【参考書】ISBN
	令和5年度最新版 幼児期までのこどもの育ちに係る基本的なビジョン/幼稚園教育要領/保育所保育指針/幼保連携型認定こども園教育・保育要領<原本>	9.78481E+12
履修条件		
履修上の注意	A4サイズのファイル準備 課題のフィードバックは授業内またはGoogle Classroomで行う	
オフィスアワー	授業、会議、実習巡回等が入っていない場合は随時対応いたします。	

備考・メッセージ	<p>①テキストを用いる他に、適宜プリントを配布します</p> <p>②子ども・保育・子育て等に関する社会の動向に関心をもち、報道等にも目を向けておきましょう</p> <p>③授業回毎にリフレクションカード記入を実施します</p> <p>④オンデマンドの場合は課題提出等をもって対応します</p>
----------	--

教育原理 1年生

更新日：2026/05/19 15:14:31

開講年度	2026	開講期	前期	ナンバリング	EP301
担当教員	澤田 忠義				

配当	学部/学科	短期大学 長崎短期大学 保育学科			
	配当年	単位	科目必選区分	授業形態	
	1	2	必修	講義	

アクティブラーニングの類型	①発見学習（事実を発見する過程から学習者に体験させる手法）			
	②問題解決学習（PBL：自ら問題を発見し解決する能力を養うことを目的とした教育法）			
	③体験学習（実際の活動体験を通して学ぶことを狙った学習形態）			
	④調査学習（課題について調査し結論をまとめる学習法）			
	⑤グループ・ディスカッション（議論まで）			<input checked="" type="checkbox"/>
	⑥ディベート（特定の論題について、あえて異なる立場に分かれて議論をする手法）			
	⑦グループ・ワーク（議論+成果物（プレゼンなど））			

授業概要

- ①人間について考察し、人はなぜ教育を必要とするのか等、教育の意味・意義についての理解を深める。
- ②現在の日本、欧米、アジアにおける幼稚園、保育所、学校に関する教育の歴史・思想について知り、将来の在り方を探る。
- ③学校（幼児教育・保育を含む）における教育（保育）計画、評価、カリキュラムの歴史について具体的に理解する。
- ④ケアリングとしての教育や発達障害と特別支援教育等、幼稚園、保育所、学校における今日的課題について考える。
- ⑤教師の仕事、子どもや家庭が望む教師像、教師と権威について考え、自己の教師像を確認する。

授業における到達目標

1	教育原理のねらいを十分に理解し、教育者として必要な資質・能力について自分の考えを述べることができる
2	講義内容についての知識・技能を身につけ、教育についての意義を高めることができる
3	指名や指示に対して、あいさつや返事が出来たり、自分の考えを発表することができる
4	授業で課題提示された内容について、その解決に向けて、ディスカッションを通して共に考え、自らの考えを述べるができる
5	人はなぜ教育を必要とするのか等、教育の意味や意義についての理解を深め、幼児教育について自分の考えを持ち積極的に学修ができる
6	多様な教育方法の知識を身に付け、実践的に遂行できる

評価方法

資質・能力	授業における到達目標（番号のみ記載）	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力	1	受講者の発表	5%
確かな専門的知識や技能	2	授業ごとの小テスト	30%
コミュニケーション能力	3	発問に対する応答	5%
課題解決能力	4	受講者の発表	10%
主体的に学ぶ力	5,6	授業ごとの小論文 講義全体のまとめのレポート	30% 20%
合計			100%

補足事項

- ・ 授業に関する質問等は直接のほかGoogle Classroomで受け付け、直接あるいは以降の授業回で答える。
- ・ 本授業では、授業ごとの小論文30%、講義全体のまとめのレポート20%、各授業への参加態度・発表50%の割合で評価する。
- ・ レポートは紙媒体とする。
- ・ 授業に遅刻したり、授業を早退したりする場合は、事前又は事後に届け出ること。

授業計画

	授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1	1回目	・「リインテリション」授業の進め方と授業内容の概要を説明する。 ・「原理としての教育」について学習し、教育の必要性について考察する。	面接授業	シラバスをよく読み（2.5時間）、人間と教育に関する学習内容を確認する（1.5時間）。
2	2回目	・「育ち・学びと教育」について学習し、人間と教育に関する関連性を考察する。	面接授業	講義内容を復習し（2時間）、学習課題「虐待について」を考察し授業に備える（2時間）。
3	3回目	・「学校の歴史」について学習し、学校の歴史とこれからについて考察する。	面接授業	講義内容を復習し（2時間）、学習課題「学校の歴史とこれから」を考察し授業に備える（2時間）
4	4回目	・「学校のしくみ」について学習し、学校を取り巻く様々な環境について考察する。	面接授業	講義内容を復習し（2時間）、学習課題「学校を取り巻く様々な環境について」を考察し授業に備える（2時間）。

5	5回目	・「学習・教育課程」について学習し、学ぶことの意義を考察する。	面接授業	講義内容を復習し（2時間）、学習課題「学ぶということ」を考察し授業に備える（2時間）。
6	6回目	・「学習指導要領・教科書・評価・学力」について学習し、指導と学力の関連について考察する。	面接授業	講義内容を復習し（2時間）、学習課題「学力について」を考察し授業に備える（2時間）。
7	7回目	・「教えるという仕事」について学習し、教師としての在り方を考察する。	面接授業	講義内容を復習し（2時間）、学習課題「学級担任とは」を考察し授業に備える（2時間）。
8	8回目	・「教えるという仕事と学校文化」について学習し、生徒指導や学級の在り方を考察する。	面接授業	講義内容を復習し（2時間）、学習課題「学級集団について」を考察し授業に備える（2時間）。
9	9回目	・「教師としての成長」について学習し、子どもたちと共に成長する教師の在り方を考察する。	面接授業	講義内容を復習し（2時間）、学習課題「どんな教師に」を考察し授業に備える（2時間）。
10	10回目	・「子どもへの支援と学校」について学習し、学校と臨床教育学、発達障害と特別支援教育について考察する。	面接授業	講義内容を復習し（2時間）、学習課題「特別支援教育について」を考察し授業に備える（2時間）。
11	11回目	・「子どもへの支援と学校」について学習し、不登校、いじめ、学級崩壊、非行問題などについて考察する。	面接授業	講義内容を復習し（2時間）、学習課題「いじめについて」を考察し授業に備える（2時間）。
12	12回目	・「地域・社会と学校」について学習し、地域の役割について考察する。	面接授業	講義内容を復習し（2時間）、学習課題「地域の役割について」を考察し授業に備える（2時間）。
13	13回目	・「地域・社会と学校」について学習し、学校の安全とリスクマネジメントについて考察する。	面接授業	講義内容を復習し（2時間）、学習課題「学校の安全」を考察し授業に備える（2時間）。
14	14回目	・集団討論会「研究発表（1）」 教育に関するテーマについて個人研究を行い、研究レポートにまとめる。 6人程度の小グループで話し合い、互いの考えを深め合う。	面接授業	既習事項だけでなく、自分が気になっている教育課題などを取り上げ（1時間）、研究し、レポートにまとめる（4時間）。
15	15回目	・集団討論会「研究発表（2）」 小グループでの研究協議の内容について、主なものをグループの代表が全体に発表する。 集団討論を行い、研究内容を共有する。	面接授業	これまでの学習を振り返り（1時間）、目指す教師像についてまとめる（2時間）。
16	16回目			授業外学習 60時間

その他

科目（教職課程用）	②教育の基礎的理論に関する科目	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	③教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項		
教科書	【教科書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【教科書】ISBN
参考書	【参考書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など やわらかアカデミズム・〈わかる〉シリーズ『よくわかる教育原理』 幼稚園教育要領 保育所保育指針 幼保連携型認定子ども園教育・保育要領 小・中学校学習指導要領総則	9.78462E+12
履修条件		
履修上の注意	講義終了後は、教育原理に関する知識の定着や自分の考えをまとめるなど、予習・復習を十分に行い次の講義に備えること。	
オフィスアワー	授業の前後で対応します。	
備考・メッセージ	幼稚園等での実習経験をふまえ、日常生活の中で自ら教育に対する考えをもち授業に臨むこと。	

子ども家庭福祉 令和8（2026）年度不開講

更新日：2025/12/22 16:33:19

開講年度	2026	開講期	前期	ナンバリング	EP102
担当教員	その他				

配当	学部/学科	短期大学 長崎短期大学 保育学科			
	配当年	単位	科目必選区分	授業形態	
	2	2	必修	講義	

アクティブラーニングの類型	①発見学習（事実を発見する過程から学習者に体験させる手法）	
	②問題解決学習（PBL：自ら問題を発見し解決する能力を養うことを目的とした教育法）	
	③体験学習（実際の活動体験を通して学ぶことを狙った学習形態）	
	④調査学習（課題について調査し結論をまとめる学習法）	
	⑤グループ・ディスカッション（議論まで）	
	⑥ディベート（特定の論題について、あえて異なる立場に分かれて議論をする手法）	
	⑦グループ・ワーク（議論+成果物（プレゼンなど）	

授業概要

授業における到達目標

評価方法

資質・能力	授業における到達目標 （番号のみ記載）	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力			
確かな専門的知識や技能			
コミュニケーション能力			
課題解決能力			
主体的に学ぶ力			
合計			
補足事項			

授業計画

その他

科目（教職課程用）		
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等		
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項		
教科書	【教科書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【教科書】ISBN
参考書	【参考書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【参考書】ISBN
履修条件		
履修上の注意		
オフィスアワー		
備考・メッセージ		

社会福祉

更新日：2026/05/19 15:14:29

開講年度	2026	開講期	2Q/6Q	ナンバリング	EP103
担当教員	西 司				

配当	学部/学科	短期大学 長崎短期大学 保育学科			
	配当年	単位	科目必選区分	授業形態	
	1年	2	必修	講義	

アクティブラーニングの類型	①発見学習（事実を発見する過程から学習者に体験させる手法）	
	②問題解決学習（PBL：自ら問題を発見し解決する能力を養うことを目的とした教育法）	
	③体験学習（実際の活動体験を通して学ぶことを狙った学習形態）	
	④調査学習（課題について調査し結論をまとめる学習法）	
	⑤グループ・ディスカッション（議論まで）	
	⑥ディベート（特定の論題について、あえて異なる立場に分かれて議論をする手法）	
	⑦グループ・ワーク（議論+成果物（プレゼンなど））	

授業概要

“福祉＝人権” 全体を通した大きな柱として、社会福祉を学ぶ視点、社会福祉の現状・役割、わが国の課題を理解できることを目標とする。一人ひとりが自身の“社会福祉観”を育て形成することにつながっていくような授業を行う。①社会福祉と日本国憲法の関係を説明できる②国民の生活を守る社会保障制度について説明できる。③社会福祉行政のしくみと社会福祉財政について理解できる。④福祉6法の現状と課題を理解できる。⑤「社会福祉の専門性とは」について、各専門職種の内容と、社会福祉の職業倫理が理解できるように。これら5つの課題への考えを深めていき、保育士として、対人サービスを担う専門職としての理解を深めていくことを目標に学習を進めていきます。人権を基軸とし、学んだ知識を実践につなげる能力を培う。

授業における到達目標

1	社会福祉の専門性と人間性について理解できる。
2	社会福祉の法体系と社会保障制度の具体的な内容を説明できる。
3	社会福祉の対象者の人権侵害について現状と課題を理解し、利用者を支援するための専門的技術を理解できる。
4	社会福祉における相談援助の意義と役割を理解できる。
5	社会福祉にかかわる様々な社会問題を通して、現状・課題を的確にとらえる能力、問題解決・改善につながる知識と方法について考えることができる。
6	社会福祉を実践する保育士として人と関わる専門性の必要性を理解できる。

評価方法

資質・能力	授業における到達目標（番号のみ記載）	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力	1	定期試験	20
確かな専門的知識や技能	2,3,4	定期試験	50
コミュニケーション能力			
課題解決能力	5	定期試験	20
主体的に学ぶ力	6	授業への参加・態度	10
合計			100

補足事項

授業は毎回PowerPointを使って、教科書、配布資料を中心に進めます。
社会福祉にかかわる社会問題等に関心をもって、学校で学んだこととの関連性をしっかり考えることができる、このことを、授業を通して学生への意識化を図っていく。

授業計画

	授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1	1回目	オリエンテーション 全体的な講義内容の説明 社会福祉を学ぶ意義について	面接授業	予習：教科書「社会福祉とは」を読んでおく 復習：講義内容を振り返り復習：講義内容を振り返り理解を深める。各2時間
2	2回目	社会福祉とは ①社会福祉と憲法・人権について ②社会福祉と社会保障	面接授業	予習：特に社会福祉と憲法P3-6を読んでおく。 復習：講義内容を振り返り理解を深める。各2時間
3	3回目	「社会福祉の歴史と背景」について 特に、日本の社会福祉基礎構造改造について、理解を深めることができる。	面接授業	予習：特に日本の社会福祉の歴史について事前学習を行う。 復習：社会福祉基礎構造改革について理解を深める。各2時間

4	4回目	「社会保障と社会福祉制度」について 特に、日本の社会保障のしくみについて理解を深めることができる。	面接授業	予習：私たちの生活を支える社会保障制度について事前学習を。P34～ 復習：社会保障と社会福祉の関係について。各2時間
5	5回目	「社会保障と社会福祉制度」について。特に、社会福祉を支えるための法制度について理解を深めることができる。	面接授業	予習：社会福祉制度について事前学習を。P42～ 復習：特に、社会福祉を支えるための法制度について理解を深める。各2時間
6	6回目	「社会福祉の行財政と実施機関」について 特に、社会福祉を支える行政のしくみと社会福祉財政について理解を深めることができる。	面接授業	予習：社会福祉の行財政について配布資料と教科書を互いに見ておく。 復習：講義内容を振り返って理解を深めておく。各2時間
7	7回目	「社会福祉の施設と専門職」について 特に「社会福祉の専門性とは」について、考えを深め、福祉専門職の職業倫理について理解できる。	面接授業	予習：福祉の施設と専門職にはどんなものがあるか。 復習：社会福祉専門職の職業倫理とは、考えを深める。各2時間
8	8回目	「子どもと女性の福祉」について 特に女性を取り巻く社会状況と支援制度について考えを深める、日本の現状社会でなぜ子どもと女性の問題が社会問題化してきているのかを理解できる。	面接授業	予習：なぜ、「子どもと女性の福祉」というタイトルがついているのか、考える。 復習：講義内容を振り返って理解を深めておく。各2時間
9	9回目	「障がい者の福祉」について 特に ・障がいの概念について理解できる。 ・障がい者と人権について理解を深めることができる	面接授業	予習：障がいの概念ICFとは何か、考えておく。P103 復習：障がいと人権問題について理解を深める。各2時間
10	10回目	「高齢者の福祉」について 特に ・高齢化と少子化について、それぞれの現状と課題を理解できる。 ・介護保険制度のしくみを理解できる。	面接授業	予習：教科書と配布資料を互いに見て、高齢社会の課題を考えておく。 復習：講義内容を振り返って理解を深めておく。各2時間
11	11回目	「生活困窮・貧困と福祉」 ・現代における貧困についての考え方を理解できる。	面接授業	予習：貧困とは何か、教科書をよく読んでおく。 復習：講義内容を振り返って理解を深めておく。各2時間
12	12回目	「社会福祉における相談援助」について 特に保育士として、なぜ相談援助技術が求められているのか、理解を深めることができる。	面接授業	予習：教科書を読んで、相談援助の意義と役割について考えておく。 復習：講義内容を振り返って理解を深めておく。各2時間
13	13回目	「社会福祉における利用者の保護」 特に ・社会福祉と人権、権利侵害について ・利用者の権利擁護について なぜ、この事案が社会福祉に携わる者にとって重要なのか考えることができる。	面接授業	予習：福祉と人権について、日本の社会における現状を考えてみる。P170～ 復習：福祉サービス利用者の権利擁護についてを振り返って理解を深めておく。各2時間
14	14回目	「社会福祉の動向と課題」について 特に少子高齢化と人口減少が同時進行する日本社会の現状と課題・対策について理解を深めることができる。	面接授業	予習：教科書と資料を互いに見比べて、事前学習を。 復習：講義内容を振り返って理解を深めておく。各2時間
15	15回目	講義全体の振り返りを行う。	面接授業	これまでの復習をして、試験に備える。4時間
16	16回目	定期試験		授業外学修 60時間

その他

科目（教職課程用）		
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等		
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項		
教科書	【教科書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【教科書】ISBN
	「はじめて学ぶ社会福祉」建帛社	978-4767951515
参考書	【参考書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【参考書】ISBN
履修条件		
履修上の注意		
オフィスアワー	講義の前後	
備考・メッセージ	今、私たちの社会で起きていることをしっかり見つめ、考えて、「社会福祉」を身近なこと、自分のこととして考えられるようになってほしい。学びを通して、「私の社会福祉観」を育ててください。	

社会的養護Ⅰ

更新日：2026/05/19 15:14:41

開講年度	2026	開講期	後期	ナンバリング	EP201
担当教員	花城 暢一				

配当	学部/学科	短期大学 長崎短期大学 保育学科			
	配当年	単位	科目必選区分	授業形態	
	1年	2	必修	講義	

アクティブラーニングの類型	①発見学習（事実を発見する過程から学習者に体験させる手法）	<input checked="" type="checkbox"/>
	②問題解決学習（PBL：自ら問題を発見し解決する能力を養うことを目的とした教育法）	
	③体験学習（実際の活動体験を通して学ぶことを狙った学習形態）	
	④調査学習（課題について調査し結論をまとめる学習法）	
	⑤グループ・ディスカッション（議論まで）	
	⑥ディベート（特定の論題について、あえて異なる立場に分かれて議論をする手法）	
	⑦グループ・ワーク（議論+成果物（プレゼンなど））	

授業概要

現代社会における社会的養護の現状と課題および基本的な考え方を理解し、保育士に必要な知識を養う。本講義では以下の事項を目標とする。

- ①現代社会における社会的養護の意義と歴史的な変遷について理解する
- ②社会的養護の基本的な考え方について理解する
- ③社会的養護の制度や実施体系等について理解する
- ④社会的養護の対象、関係機関および専門職等について理解する
- ⑤社会的養護の現状と課題、保育士の役割について理解する

授業における到達目標

1	社会的養護における保育士の役割や必要な資質について理解することができる。
2	社会的養護における保育士に求められる専門的な知識や技能について理解することができる。
3	社会的養護における対象を理解し、関係者と協働する必要性について理解を深めることができる。
4	現代社会の社会的養護の現状と課題を踏まえ、課題解決に必要な実践力を身につけることができる。
5	社会的養護の歴史の変遷を踏まえ、今日の社会的養護の課題を理解することができる。

評価方法

資質・能力	授業における到達目標（番号のみ記載）	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力	1	・レポート課題 ・学習に取り組む姿勢	10% 10%
確かな専門的知識や技能	2	・レポート課題 ・定期試験	5% 25%
コミュニケーション能力	3	・レポート課題	10%
課題解決能力	4	・レポート課題 ・事例検討	5% 10%
主体的に学ぶ力	5	・定期試験	25%
合計			100%

補足事項

- 授業内で実施するレポート課題（30%）
- 定期試験・事例検討（60%）
- 事例検討など、授業全体を通じた学習に取り組む姿勢（10%）を総合して評価を行う。

授業計画

	授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1	1回目	オリエンテーション 講義のねらいと進め方について	面接授業	予習：シラバスを読んで授業内容を確認する（2時間） 復習：配布資料を読む（2時間）
2	2回目	社会的養護と保育士 社会的養護の意味、目標、視点を学習する	面接授業	予習：社会的養護の意義を考える（2時間） 復習：配布資料を読む（2時間）
3	3回目	社会的養護の成り立ちと最近の動向 社会的養護の歴史を学ぶ	面接授業	予習：児童福祉の歴史を振り返る（2時間） 復習：配布資料を読む（2時間）
4	4回目	社会的養護の基本的な考え方 子どもの権利、自立支援等について学ぶ	面接授業	予習：子どもの権利について振り返る（2時間） 復習：配布資料を読む（2時間）

5	5回目	社会的養護の形態1 社会的養護の形態を学ぶ	面接授業	予習：児童福祉の体系を振り返る（2時間） 復習：配布資料を読む（2時間）
6	6回目	社会的養護の形態2 施設養護の内容を学ぶ～養護系施設～	面接授業	予習：児童福祉施設を振り返る（2時間） 復習：配布資料を読む（2時間）
7	7回目	社会的養護の形態3 施設養護の内容を学ぶ～養護系施設～	面接授業	予習：児童福祉施設を振り返る（2時間） 復習：配布資料を読む（2時間）
8	8回目	社会的養護の形態4 施設養護の内容を学ぶ～障がい系施設～	面接授業	予習：児童福祉施設を振り返る（2時間） 復習：配布資料を読む（2時間）
9	9回目	社会的養護の形態5 施設養護の内容を学ぶ～障がい系施設～	面接授業	予習：児童福祉施設を振り返る（2時間） 復習：配布資料を読む（2時間）
10	10回目	社会的養護の形態6 施設養護の内容を学ぶ～治療・育成系施設～	面接授業	予習：児童福祉施設を振り返る（2時間） 復習：配布資料を読む（2時間）
11	11回目	社会的養護の形態7 家庭的養護の種類と内容を学ぶ	面接授業	予習：グループホーム等の役割を振り返る（2時間） 復習：配布資料を読む（2時間）
12	12回目	社会的養護の形態8 家庭養護の種類と内容を学ぶ	面接授業	予習：里親制度を振り返る（2時間） 復習：配布資料を読む（2時間）
13	13回目	施設と関係機関 施設と児童相談所等の関係機関の関わりを学ぶ	面接授業	予習：児童相談所の機能を振り返る（2時間） 復習：配布資料を読む（2時間）
14	14回目	地域における家庭への支援 家庭の養育機能、地域子育て支援における保育士の役割を学習する	面接授業	予習：家庭の機能について考える（2時間） 復習：配布資料を読む（2時間）
15	15回目	保育士の役割と専門性 社会的養護における保育士の役割と専門性について学ぶ	面接授業	予習：これまでの授業内容を振り返る（2時間） 復習：配布資料を読む（2時間）
16	16回目	定期試験		授業外学修 60時間

その他

科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項	データを読む・説明する・扱う,社会で活用されているデータ
教科書	【教科書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など 参考資料をその都度配布します。
参考書	【参考書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など 『保育と社会的養護原理』大竹智 他 編集 みらい 『保育福祉小六法』みらい
履修条件	
履修上の注意	原則、指定された座席で受講すること。（席の移動を希望する場合はご相談下さい） 授業時間のうち、15分以上退室すると欠席扱いとなります。 課題のフィードバックは授業内またはGoogle Classroomで行います。
オフィスアワー	授業、会議、実習巡回、出張等が入っていない場合は随時対応します。
備考・メッセージ	授業の出欠確認は出席カード（感想記入シート等）を活用して実施します。

保育者論

更新日：2026/05/19 15:14:43

開講年度	2026	開講期	2Q/6Q	ナンバリング	EP302
担当教員	安部 恵美子, 川原 ゆかり				

配当	学部/学科	短期大学 長崎短期大学 保育学科			
	配当年	単位	科目必選区分	授業形態	
	2年	2	選択	講義	

アクティブラーニングの類型	①発見学習（事実を発見する過程から学習者に体験させる手法）	
	②問題解決学習（PBL：自ら問題を発見し解決する能力を養うことを目的とした教育法）	
	③体験学習（実際の活動体験を通して学ぶことを狙った学習形態）	
	④調査学習（課題について調査し結論をまとめる学習法）	
	⑤グループ・ディスカッション（議論まで）	<input checked="" type="checkbox"/>
	⑥ディベート（特定の論題について、あえて異なる立場に分かれて議論をする手法）	
	⑦グループ・ワーク（議論+成果物（プレゼンなど））	

授業概要

保育制度の変遷や先達の軌跡をたどり、保育職が携わるフィールドや保育・教育者の社会的意義を理解する素養を育て、子どもとの関係構築の基本や公教育の目的とその担い手である保育・教育者の存在意識の理解力を向上させる。保育資格の位置づけ、関連諸法令・規則・「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」「保育・教育要領」を理解することができる。さらに、子育て支援の場に求められる保育者の資質向上を目指し、保育職の社会的使命を会得するために仲間と共に学びあい、考察に繋げることができる。

授業における到達目標

1	グループで子育て支援の事例等をディスカッションし、「保育職の保育職による保育支援」について意見交換し、異なる意見を聴いて、感じる取る感受性を豊かにする。
2	保育制度の変遷と先達の軌跡を学び、保育資格の位置づけ、関連諸法令・規則・「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」「保育・教育要領」を理解する。さらに、子育て支援の場に求められ保護者支援の基本を学び、考察する。
3	子育て支援や保護者支援に不可欠なコミュニケーション能力を醸成するために、グループ討議や意見交換・意見発表を行い、自己見聞を広げる。
4	対人援助職に必要な能力の考察と洞察を行い、自分の考えを言語化する力を養う。決められた時間・期限内に課題レポートをまとめる事ができる。
5	保育職の専門性を認識し、ワークやグループディスカッションに積極的に取り組むことができる。

評価方法

資質・能力	授業における到達目標（番号のみ記載）	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力	1	レポート	
確かな専門的知識や技能	2	定期試験	80%
コミュニケーション能力	3	レポート	
課題解決能力	4	レポート	10%
主体的に学ぶ力	5	レポート	10%
合計			100%
補足事項			
保育者としての自分を認識するための各種の課題等は予習・復習として実施して下さい。			

授業計画

	授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1	1回目	保育者像を描く 保育者に必要な10か条を自己採点する。1年後の自分に手紙を書き、将来の保育者像をイメージする。	面接授業	予習：保育者に必要な要素をまとめる（1時間） 復習：採点結果を確認し、努力すべき項目に関連する図書を読む（2時間）
2	2回目	具体的な保育者像の目標を掲げる 目指す保育者像の主な具体的項目を掲げ、自分の課題を考え、深めていく。 先輩たちのメッセージに学ぶ。	面接授業	予習：テキストのP13～19を読み込む（1時間） 復習：課題に対する取り組みをまとめる（2時間）
3	3回目	保育者の仕事と役割 幼稚園・保育所・幼保連携型認定こども園・児童養護施設の仕事と役割を理解する。	面接授業 オンライン対応可	予習：テキストの（P19～45）を読み、児童福祉施設における保育者の業務を理解する（2時間） 復習：保育施設の実習に必要な要素を理解する（2時間）
4	4回目	保育士・幼稚園教諭になるために 「保育所・幼稚園の1日」のDVD等を視聴し、子どもと保育者の1日をイメージし、保育観（保育者の役割・使命）を作っていく。	面接授業 オンライン対応可	予習：保育者としての保育所・幼稚園の1日の動きと流れをまとめる（2時間） 復習：自己課題を発見後、修正する（2時間）

5	5回目	現役の保育者の現状（本音）を知る 現役の3人の保育者のインタビュー内容から保育職の意義や役割、やり甲斐や課題を理解する。	面接授業	予習：保育者に求められる資質（P71～82）を読む（1時間） 復習：3人の保育者のインタビュー内容を熟読し、自己課題をまとめる（2時間）
6	6回目	保育者を取り巻く現状を知る 全国保育士・幼稚園教諭3万人調査を読み、現状を分析すると共に保育者像を作りあげる。	面接授業	予習：発達年齢毎の保育者の役割の違いを知る（2時間） 復習：現場の実態をイメージして、自分の課題と対策をまとめる（2時間）
7	7回目	幼稚園教育要領 幼稚園教育要領を読み、保育・教育の理念や役割の理解を深める。	面接授業	予習：幼稚園教育要領を読む（2時間） 復習：幼稚園教育要領開設を熟読し、仕事をイメージする（2時間）
8	8回目	保育制度の変遷と保育者の先達（1） 公的な教育・保育制度の派生要因と、西欧の保育の先達たち（コメニウス・ルソー・オーエン・ペスタロッチ）の業績とその後の社会に与えた影響を理解する。	面接授業	予習：テキスト第9章（151p～）を下読みする（2時間） 復習：授業時配布資料を確認し、まとめのプリント①を完成させる（2時間）
9	9回目	保育制度の変遷と保育者の先達（2） 幼児教育に影響を与えたフレーベル・モンテッソーリ・エレンケイの思想を、現代の保育理論に当てはめながら理解を深める	面接授業	予習：テキスト第9章（151P～）を8回目授業の内容と関連させて読む（2時間） 復習：授業時配布資料を確認し、まとめプリント②を完成させる（2時間）
10	10回目	保育制度の変遷と保育者の先達（3） 現代の保育者の役割と機能 近代以降のわが国の保育思想や実践の先達の業績を理解し、現代の保育制度や保育内容方法への影響についての知見を深める。 現代が求める保育者の役割や機能について考え、意見をまとめる	面接授業	予習：テキスト第9章（151P～）を9回目授業の内容と関連させて読む（2時間） 復習：授業時配布資料を確認し、まとめプリント③を完成させる（2時間）
11	11回目	現代社会の変化と保育者の仕事や役割 現代社会に求められる保育者の資質と子育て支援の専門性を高める。	面接授業	予習：今時の保育ニーズに関する文献を読む（2時間） 復習：配布資料をもとに自分の課題をまとめる（2時間）
12	12回目	子どもの育ちの危機と子育て支援 気になる子どもと育ちの変化について理解を深める	面接授業	予習：テキストP116～129を読み、子育て環境の変化をまとめる（2時間） 予習：配布プリントをまとめる（2時間）
13	13回目	子どもの育ちの危機と子育て支援 気になる子どもと特別支援教育及び子育て支援と保育者の役割について理解を深める。	面接授業	予習：特別支援教育について知る（2時間） 復習：子育て支援の観点をまとめる（2時間）
14	14回目	保育者の職務と生活 子育て・子育て支援と保護者支援の理解を深める	面接授業	予習：テキストP129～136を読む（2時間） 復習：保護者支援の困難性の文献を読む（2時間）
15	15回目	卒業生と業界研究誌による保育の仕事 卒業生によるメッセージと業界研究による保育士に求められる7つの力を理解する。	面接授業	予習：卒業のメッセージを読む（2時間） 復習：業界研究誌からママたちが求める保育士の要件をまとめる、試験勉強（5時間）
16	16回目	定期試験		授業外学修 60時間

その他

科目（教職課程用）		
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等		
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項		
教科書	【教科書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【教科書】ISBN
	新時代の保育双書 今に生きる～保育者論・第4版～、秋田喜代美・西山薫・菱田隆昭編、2019、みらい	9.78486E+12
参考書	【参考書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【参考書】ISBN
	幼稚園教育要領他配布資料を読み理解を深める	
履修条件		
履修上の注意		
オフィスアワー	特に定めませんが、質問がある場合は授業前後・昼休みに行います。	
備考・メッセージ	原則対面授業です。 保育教育現場のリアルな実際と実践例、保護者支援現状と課題を通して、子育て・子育て支援の視点から体現できる授業を通して、理論に結びつけていきます。	

教育方法論

更新日：2026/05/19 15:14:34

開講年度	2026	開講期	後期	ナンバリング	EP401
担当教員	川上 知子				

配当	学部/学科	短期大学 長崎短期大学 保育学科			
	配当年	単位	科目必選区分	授業形態	
	2年	2	選択	講義	

アクティブラーニングの類型	①発見学習（事実を発見する過程から学習者に体験させる手法）	
	②問題解決学習（PBL：自ら問題を発見し解決する能力を養うことを目的とした教育法）	<input checked="" type="checkbox"/>
	③体験学習（実際の活動体験を通して学ぶことを狙った学習形態）	
	④調査学習（課題について調査し結論をまとめる学習法）	
	⑤グループ・ディスカッション（議論まで）	<input checked="" type="checkbox"/>
	⑥ディベート（特定の論題について、あえて異なる立場に分かれて議論をする手法）	
	⑦グループ・ワーク（議論+成果物（プレゼンなど）	

授業概要

人格形成の基礎を培う乳幼児期にふさわしい保育方法への理解を深め、この学びが保育現場での実践に生かされることを目標とする

授業における到達目標

1	日々のあいさつ、返事が笑顔ででき、コミュニケーション能力を培う
2	肯定的なものの見方・考え方ができ、豊かな人間性を培う
3	実習等で学んだことを授業の中にフィードバックし、正しく検証することができる
4	専門的なことを、日々の保育に生かす工夫ができ、発達年齢に応じた保育の方法を創意することができる
5	対指導者ときちんとあいさつ、返事、応答等ができる
6	グループワーク（ディスカッション）で、相手の意見を傾聴し、受容でき、自分の意見を明確に伝えることができる
7	常に相手の思いに寄り添いながら聴くことができる
8	課題に対して、自分なりの考えを明確に述べるができる
9	諸エピソードについて、自分なりの解決方法を考えることができる

評価方法

資質・能力	授業における到達目標（番号のみ記載）	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力	1,2	授業への参加・態度	5
確かな専門的知識や技能	3,4	授業への参加・態度 プリント 定期試験 レポート	5 5 20 10
コミュニケーション能力	5,6,7	グループワーク（またはディスカッション）	5
課題解決能力	8	定期試験 レポート	30 10
主体的に学ぶ力	9	レポート プリント	5 5
合計			100

補足事項

- ・本授業は対面授業を主として展開するが、状況に応じて一部zoomを用いたオンライン授業を行うこともある。
- ・本授業では、定期試験50%、レポート・プリント35%、授業への参加・態度、グループワーク 15%の割合で評価する。
- ・オンライン授業を実施する場合は、課題をレポートとして提出したことにより出席とみなす。
- ・授業の予習としてのレポート課題を課すことがあり、テーマについては随時授業で連絡する。
- ・グループディスカッションでの気づきやレポートのフィードバックは毎回の授業で行う。

授業計画

	授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1	1回目	「保育方法とは何か？」について理解する	面接授業	テキストのエピソードについて復習する(4h)
2	2回目	保育の方法は子ども理解が出発点であることを知る	面接授業	子ども理解の方法について予習する(4h)
3	3回目	環境を通しての保育とは何かを理解する	面接授業	実習でどんな環境構成があったか予習する(4h)
4	4回目	遊び＝学びであることを理解し、そのための援助の仕方考えさせる	面接授業	“遊び”をどう捉えるか予習する(4h)
5	5回目	乳幼児期の集団の育ちについて理解させる	面接授業	個と集団の育ちについて復習する(4h)

6	6回目	子どもにとってふさわしい園生活について考えさせる	面接授業	実習で学んだことを予習しておく(4h)
7	7回目	3.4.5 才児の発達と保育方法を考えさせる	面接授業	保育の原理と方法を振り返る(4h)
8	8回目	0.1.2 才児の発達と保育方法を考えさせる	面接授業	保育の原理と方法を振り返る(4h)
9	9回目	PDCAのサイクルを説明し、実践への理解を図る	面接授業	保育の方法のステップアップを考えておく(4h)
10	10回目	実際に部分保育の計画をパソコンで作らせる	面接授業	保育計画のテーマを決めておく(4h)
11	11回目	保育におけるメディアの活用とメディアとの向き合い方を理解させる	面接授業	前回作成した計画案を準備しておく(4h)
12	12回目	具体的な実践事例について考察する	面接授業	実習での経験例を考えておく(4h)
13	13回目	社会や家庭との連携の必要性とその方法を理解させる	面接授業	なぜ連携なのか考えておく(4h)
14	14回目	幼・保・小連携のあり方について理解させる	面接授業	小学校学習指導要領にふれておく(4h)
15	15回目	“ちょっと気になる子”への保育の実際を理解する	面接授業	「ちょっと気になる子」の意味を考えておく(4h)
16	16回目	レポートにより確かな保育観が確立できたか確認		授業外学修 60時間

その他

科目（教職課程用）	③道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目		
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	⑨教育の方法及び技術		
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項	社会で活用されているデータ		
教科書	【教科書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【教科書】ISBN	
	保育方法・指導法 ミネルヴァ書房（2年前期：教育経営論で使用する教科書）	9.78462E+12	
参考書	【参考書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【参考書】ISBN	
履修条件			
履修上の注意			
オフィスアワー	授業前後で対応可能		
備考・メッセージ	各自が確かな保育観・子ども観を確立できるよう、まじめに授業に臨むこと。また、教育的な愛着をもって具体的な子どもをイメージしながら学びを深めるとともに、自分の良さを生かした保育の在り方についての考えも深めていきましょう。		

教育経営論

更新日：2026/05/19 15:14:35

開講年度	2026	開講期	前期	ナンバリング	EP303
担当教員	川上 知子				

配当	学部/学科	短期大学 長崎短期大学 保育学科			
	配当年	単位	科目必選区分	授業形態	
	2年	2	選択	講義	

アクティブラーニングの類型	①発見学習（事実を発見する過程から学習者に体験させる手法）	
	②問題解決学習（PBL：自ら問題を発見し解決する能力を養うことを目的とした教育法）	<input checked="" type="checkbox"/>
	③体験学習（実際の活動体験を通して学ぶことを狙った学習形態）	
	④調査学習（課題について調査し結論をまとめる学習法）	
	⑤グループ・ディスカッション（議論まで）	<input checked="" type="checkbox"/>
	⑥ディベート（特定の論題について、あえて異なる立場に分かれて議論をする手法）	
	⑦グループ・ワーク（議論+成果物（プレゼンなど）	

授業概要

- ①社会状況の変化を踏まえ学級経営や教育経営の概要・理念について理解する。
- ②子どもの生活の変化や幼児の発達について理解し教育運営の具体的な展開について計画立案する。
- ③5 領域の保育内容に関する基本原理や活動を理解し学級づくりの進め方が分かる。
- ④幼稚園教育要領・保育所保育指針・幼保連携型子ども園教育・保育要領等の関係法規・教育行政の理念について理解し保育記録の書き方や要録の記入方法が分かる。
- ⑤個に応じた指導、地域社会や家庭との連携など保育の背景と広がりについて理解する。
- ⑥保育施設を取り巻く安全管理について具体的な取り組みを理解する。

授業における到達目標

1	学級経営及び保育について理解し 成果として制作及び表現ができる。
2	講義内容を理論的に考察できる。
3	グループ内で協議し内容をまとめ 表現することができる。
4	課題を考察しレポートを作成できる。
5	教育経営論が保育教諭にとって必要な専門知識であることを理解し積極的な学習ができる。

評価方法

資質・能力	授業における到達目標（番号のみ記載）	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力	1	定期試験 レポート 課題制作の成果	10 5 2.5
確かな専門的知識や技能	2	定期試験 レポート 課題制作の成果	10 5 2.5
コミュニケーション能力	3	グループディスカッション及び発表	10
課題解決能力	4	レポート 定期試験	10 30
主体的に学ぶ力	5	授業への参加・態度 プリント	5 10

合計	
補足事項	<ul style="list-style-type: none"> ・本授業は対面授業を主として展開するが、状況に応じてzoomを用いてオンライン授業を行うこともある。 ・本授業では、定期試験50%、レポート・課題・プリントの成果35%、授業への参加・態度、グループディスカッション 15%の割合で評価する。 ・オンライン授業を実施する場合は、課題をレポートあるいは創作物として提出したことにより出席とみなす。 ・授業の予習としてのレポート課題を課すことがあり、テーマについては随時授業で連絡する。 ・グループディスカッションでの気づきやレポートのフィードバックは毎回の授業で行う。

授業計画

	授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1	1回目	オリエンテーション 学級経営の概要・教育政策 理想の保育士像について考察する	面接授業	本時の復習、次時予習：朝の会の内容を構想する（毎回4時間）

2	2回目	学級経営の理念 学級経営の理念と信頼される保育者の在り方 朝の会の内容を決定する	面接授業	復習、次時予習：学級経営計画準備の確認
3	3回目	学級経営計画準備 5領域の保育内容に関する基本原理や教育・保育課程 指導計画の立案	面接授業	復習、次時予習：メダルの構想を練り計画書を書く
4	4回目	学級経営計画運営1 【心を育てる場としてのクラス】 園児に贈るメダルを作成する	面接授業	復習、予習：学級経営計画と運営の確認、教科書を読みプリントにまとめる
5	5回目	学級経営計画運営2 3～5歳児の発達とクラス運営 【仲間関係と共同的活動】	面接授業	復習、予習：保育内容と領域別活動、教科書を読みプリントにまとめる
6	6回目	保育内容と領域別活動 5領域の保育内容と実践事例の理解 保育者の関わりについてまとめる	面接授業	復習、予習：人との関わり・言葉の獲得につき教科書を読みプリントにまとめる
7	7回目	集団形成の過程と学級づくり 人とのかかわり・言葉の獲得に関する育ちと活動について の理解と事例対応	面接授業	復習、予習：環境の構成と再構成について教科書を読みまとめる
8	8回目	学級づくりの進め方 環境の構成と再構成、感性と表現に関する育ちと活動 についての理解、保育者の関わりについてまとめる	面接授業	復習、予習：発達に課題のある子についてネットで調べプリントにまとめる
9	9回目	個に応じた指導 個の特性及び発達に課題のある子どもの指導について 理解する	面接授業	予習：安全教育の確認 危険個所や行為についてネットで調べまとめる
10	10回目	安全教育 危機管理や事例を基にした事故対応を含む学校安全について まとめる	面接授業	予習：保育指針、こども園教育・保育要領を読みアンダーラインを引く
11	11回目	幼稚園と保育所、認定こども園 幼稚園教育要領、保育所指針、認定こども園教育・ 保育要領を踏まえた関係法規・教育理念等の理解	面接授業	復習、予習：保護者向けのお便りの構想を練る
12	12回目	保育の記録と評価 指導要領をもとにした評価資料の記録の在り方と保育 要録の記入方法の理解 保護者連携 保護者向けの学年だよりを作成する	面接授業	復習、予習：保育の背景と広がりについて教科書を読みプリントにまとめる
13	13回目	保育の背景と広がり 先駆者たちの教育思想と保育施設の関わり、地域社会 や家庭との連携について	面接授業	復習、予習：連携教育について教科書を読みプリントにまとめる
14	14回目	連携教育について 保幼小連携の在り方、家庭との連携及び保護者との関 りについての理解	面接授業	復習、予習：保育者の研修の確認とスピーチの構想をねり練習する
15	15回目	保育者の研修と評価 保育者の自己研鑽と研修体制及び自己評価	面接授業	総復習 定期試験に備えて教科書や資料、レポートを見直す
16	16回目	定期試験		授業外学修 60時間

その他

科目（教職課程用）	②教育の基礎的理論に関する科目	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	⑤教育に関する社会的、制度的又は経営的事項	
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項	社会で活用されているデータ	
教科書	【教科書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【教科書】ISBN
	保育方法・指導法 ミネルヴァ書房（2年後期：教育方法論でも使用）	9.78462E+12
参考書	【参考書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【参考書】ISBN
	幼稚園教育要領 保育所保育指針 幼保連携型認定こども園教育・保育要領	
履修条件		
履修上の注意		
オフィスアワー	授業の前後で対応します	

備考・メッセージ	授業・課題には真摯に取り組む、社会的な保育・教育の動向にも注視してください。また、教育的な愛着をもって具体的な子ども像，集団形成をイメージしながら学びを深めるとともに，自分の良さを生かした保育の在り方，学級経営の在り方についての考えも深めていきましょう。
----------	---

保育の心理学

更新日：2026/05/19 15:14:44

開講年度	2026	開講期	3Q/7Q	ナンバリング	UC201
担当教員	園田 文香				

配当	学部/学科	短期大学 長崎短期大学 保育学科			
	配当年	単位	科目必選区分	授業形態	
	1年	2	必修	講義	

アクティブラーニングの類型	①発見学習（事実を発見する過程から学習者に体験させる手法）	<input checked="" type="checkbox"/>
	②問題解決学習（PBL：自ら問題を発見し解決する能力を養うことを目的とした教育法）	<input checked="" type="checkbox"/>
	③体験学習（実際の活動体験を通して学ぶことを狙った学習形態）	
	④調査学習（課題について調査し結論をまとめる学習法）	
	⑤グループ・ディスカッション（議論まで）	<input checked="" type="checkbox"/>
	⑥ディベート（特定の論題について、あえて異なる立場に分かれて議論をする手法）	
	⑦グループ・ワーク（議論+成果物（プレゼンなど））	<input checked="" type="checkbox"/>

授業概要

保育の心理学は、乳幼児の発達や行動を心理学的に理解し、保育目標の達成に向けた関わり方や環境づくりを探究する学問である。本講義では、発達心理学の理論を基礎に、アタッチメントや感情調整、レジリエンスなどの視点から、乳幼児の成長発達を支える原理と現代の保育実践への応用について学ぶ。

授業における到達目標

1	子どもの発達の過程や基本原理を理解し、発達を捉える視点を説明できる。
2	子どもの発達に影響を与える家庭・保育環境などの要因について、発達の視点から理解し説明できる。
3	心理学の理論や知見を踏まえ、発達に即した援助や保育の在り方について自分なりの考えを述べるができる。
4	心理学の知見を保育の文脈の中でどのように活用するかを考え、保育者としての判断につなげることができる。
5	自ら課題を設定し、子どもの発達や保育に関する学びを主体的に深めることができる。

評価方法

資質・能力	授業における到達目標（番号のみ記載）	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力	4	ミニツツペーパー(授業中の関心・興味・疑問・理解等数分で記入)	10
確かな専門的知識や技能	1 2	レポート課題（発達理論・心理学的知見の理解）、リアクションペーパー(授業後に講義に対する気づき・理解)	40
コミュニケーション能力	3	グループワーク/ ディスカッションへの参加	20
課題解決能力	4	事例課題レポート（心理学的知見の保育実践への応用）	20
主体的に学ぶ力	5	課題への取り組み、リフレクションジャーナル(学びの気づき・振り返り)	10
合計			100
補足事項			
本科目では、知識理解のみならず、授業への参加状況や学習過程における気づき、他者との対話を通じた学びを重視して評価を行う。ミニツツペーパーやリアクションペーパー、リフレクションジャーナルは、授業内容の理解度や関心の深まり、保育実践へのつながりを確認するために用い、量的評価ではなく内容を重視して総合的に評価する。			

授業計画

	授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1	1回	1. 発達を捉える視点（1） 発達とは何か(定義、基本原理)、子どもの発達を理解することの意義	対面	・予習：教科書のもくじとシラバスを読む（2時間） ・復習：「発達とは」の配布資料と教科書の整理（2時間）
2	2回	1. 発達を捉える視点（2） 子どもの発達と環境 遺伝論 vs. 環境論、 行動遺伝学からみる遺伝と環境	対面	・予習：自分の好きな食べ物、行動(癖や趣味等)、性格や両親の好きな食べ物や行動、性格等、ピックアップしてみる（2時間） ・復習：発達を規定する要因（2時間）
3	3回	1. 発達を捉える視点（3） 発達理論と子ども観・保育観	対面	・予習：人の一生における発達の变化を絵で表してみよう」絵は必ずしも「人間で表さなくてもよい(花、動物等)」(2時間) ・復習：発達理論について整理する（2時間）

4	4回	Ⅱ．子どもの発達過程（1） 赤ちゃんの能力、身体的機能と運動機能の発達 ①胎児期・乳児期：原始反射 ②乳児期・幼児期：身体・運動発達	対面	・予習：原始反射とは何か、発達すると統合され消失していくが何のためにあるのか調べておく（2時間） ・復習：社会性等の心の発達と身体・運動の関係についてまとめる。また保育場面における身体・運動機能を高める関わりを整理する（2時間）
5	5回	Ⅱ．子どもの発達過程（2） 非認知的スキル(社会情動的スキル) ①情動表出	対面	・予習：5回までの講義を踏まえて「自身の子ども観・保育観」についてまとめておく（2時間） ・復習：非認知(社会情動的スキルとは何か整理する（2時間）
6	6回	Ⅱ．子どもの発達過程（3） 社会的情動発達 ②認知的スキルと社会情動的スキル	対面	・予習：「粘り強さ」はどうしたら発揮できるのか、自分の場合を考えておく（2時間） ・復習：子どもが「粘り強い」行動を発揮する保育者サポート、環境設定についてまとめておく（2時間）
7	7回	Ⅱ．子どもの発達過程（4） 自我の芽生えから自己の発達へ	対面	・予習：子どもの自己理解に関する資料を読む（2時間） ・復習：2～3歳児の「ブラブラ」行動についてどのような意味があるのか整理しておく（2時間）
8	8回	Ⅱ．子どもの発達過程（5） 認知・社会性の発達	対面	・予習：これまで見たこともない物体を理解するときの反応を調べる（2時間） ・復習：子どもが未知なる世界を垣間見た時の「ワクワク感」に対する保育者の立ち位置についてまとめておく（2時間）
9	9回	Ⅱ．子どもの発達過程（6） 道徳・正義感の発達	対面	・予習：善悪の判断やルールについて幼児の発達のな特徴を調べておく（2時間） ・復習：心の理論、道徳性の発達をまとめる（2時間）
10	10回	Ⅱ．子どもの発達過程(7) 乳幼児期の学びを支える理論 思考力の芽生え	対面	・予習：乳幼児期の思考・認知の発達について調べておく（2時間） ・復習：子どもの思考力を引き出す環境とは何か、物的環境、人的環境、知的環境のあり方についてまとめる（2時間）
11	11回	Ⅲ．子どもの発達と環境(1) 保育における自然との関わり・生命尊重	対面	・予習：生活している地域の自然についてマップを描いて子どもたちの散歩や遊び場となりそうな場所、どのような自然に気づいて欲しいか考えてみよう（2時間） ・復習：アニミズム、生命観(擬人化的生命観、生気論的生命観)についてまとめておく（2時間）
12	12回	Ⅲ．子どもの学びと保育（1） 乳幼児期の学びを支える保育 数量や図形、標識・文字への関心	対面	・予習：子どもが文字に関心を示す時期、子どもが読み書きの前兆となる行動について調べておく（2時間） ・復習：子どもの言葉の選択が間違っていた時(読み間違い・書き間違い、数え間違い)に保育者はどのように対応するのが良いかとまとめておく(2時間)
13	13回	Ⅳ．子どもの学びと保育(2) 言葉の発達とコミュニケーション	対面	・予習：家族や周囲の人から初めて話した言葉について調査する(2時間) ・復習：言葉の発達過程で生じる問題をまとめる(2時間)
14	14回	Ⅳ．発達を支える保育 ①乳幼児期の発達の特徴と遅れ ②乳幼児期の子どもを持つ保護者を支える	対面	・予習：具体的な保育場面で見た「子どもの問題行動」について思い出してノートにまとめておく（2時間） ・復習：予習で取り上げた「子どもの問題行動」について講義を踏まえその意味や機能を推測する（2時間）
15	15回	期末レポート	対面	・予習：第1回から第14回までまとめたノート配布資料、テキストを読み返し、まとめておく（2時間） ・復習：心理学の視点をすることで子ども理解がどのように変化したかをまとめ、これからの学び、やるべきことについてもあげる(2時間)
16	16回	期末レポート フィードバック	オンデマンド配信	予習：課題作成と提出のためのこれまでのまとめ(1時間) 復習：これまでの講義資料・ノートのまとめ(1時間)
17				授業外学修 62時間

その他

科目（教職課程用）	
-----------	--

教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等		
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項		
教科書	【教科書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【教科書】ISBN
	※授業時に資料を配布。必要に応じて文献を紹介する	
参考書	【参考書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【参考書】ISBN
	片桐正敏・藤本 諭・川口めぐみ編『保育の心理学』2022	1.04522E+11
履修条件		
履修上の注意	<ul style="list-style-type: none"> ・授業計画は受講者の理解状況等により変更する場合がある ・発達に関する用語を具体的事象との関連から理解していく 	
オフィスアワー	授業の前後で教室または研究室で質問を受け付ける	
備考・メッセージ	発達理論等の心理学的知識を踏まえて、育てる・教えるだけでなく、個々の子どもの育つ過程や発達をとらえる視点や姿勢を学んでください	

子ども家庭支援の心理学

更新日：2026/05/19 15:15:31

開講年度	2026	開講期	前期	ナンバリング	UC301
担当教員	園田 文香				

配当	学部/学科	短期大学 長崎短期大学 保育学科			
	配当年	単位	科目必選区分	授業形態	
	2年	2	選択	講義	

アクティブラーニングの類型	①発見学習（事実を発見する過程から学習者に体験させる手法）	<input checked="" type="checkbox"/>
	②問題解決学習（PBL：自ら問題を発見し解決する能力を養うことを目的とした教育法）	<input checked="" type="checkbox"/>
	③体験学習（実際の活動体験を通して学ぶことを狙った学習形態）	
	④調査学習（課題について調査し結論をまとめる学習法）	
	⑤グループ・ディスカッション（議論まで）	<input checked="" type="checkbox"/>
	⑥ディベート（特定の論題について、あえて異なる立場に分かれて議論をする手法）	
	⑦グループ・ワーク（議論+成果物（プレゼンなど）	<input checked="" type="checkbox"/>

授業概要

本講義では、児童虐待をはじめとする子ども家庭を取り巻く課題を背景に、家族システムや養育環境を心理学的視点から理解する。生態学的システム論を手がかりに、家庭・地域・関係機関との連携を含めた子ども家庭支援の在り方を学び、将来の保育者として求められる支援の視点と専門職としての役割意識を養う。

授業における到達目標

1	子どもや家庭への支援を行う上で、支援者自身の心理的安定や心のゆとりの重要性を理解し、カウンセリングマインドの意義を説明できる。
2	生涯発達心理学の視点から、子どもの発達や家族関係に関する基礎的知識を理解し、それを保育実践にどのようにつなげるか説明できる。
3	保育者として、子ども家庭支援における関係機関との連携の重要性を理解し、コワーカーとしての態度や役割を説明できる。
4	乳幼児やその家族の悩みに寄り添う姿勢や、エンパワメントの視点に基づく支援の役割を説明できる
5	子どもや家庭の問題について、行動の背景や要因に着目し、課題を多面的に捉えて考察することができる。

評価方法

資質・能力	授業における到達目標（番号のみ記載）	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力	1、4	ミニッツペーパー・振り返りシート(社会的課題への理解・気づき)	10
確かな専門的知識や技能	2	レポート課題（発達・家族・支援に関する心理学的理解	30
コミュニケーション能力	1、3、4	グループワーク／ディスカッションへの参加（事例検討・連携の視点）	30
課題解決能力	5	事例課題レポート(支援方針・関係機関との連携の検討)	20
主体的に学ぶ力	5	課題への取り組み、リフレクションジャーナル(学びの振り返り)	10
合計			100

補足事項

・本科目では、子ども家庭支援に関する心理学的知識の理解に加え、事例を基に考える力や他者との対話を通じた学びを重視して評価を行う。グループワークやディスカッション、ミニッツペーパー、リフレクションジャーナル等は、授業への参加状況や学習過程における気づき・理解の深まりを確認するために用い、単なる出席や記述量ではなく内容を重視して総合的に評価する。
 ・なお、事例課題においては、特定の「正解」を求めるのではなく、子どもや家庭の背景を多面的に捉え、支援者としての考えを論理的に説明できているかを評価の観点とする。

授業計画

	授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1	1回	オリエンテーション／子ども家庭支援の心理学の位置づけ ・授業の目的・進め方・評価方法の説明 ・生涯発達心理学の視点から考える子ども家庭支援	対面	・予習：なぜ「子供」ではなく「子ども」と表記するのかについて考え、簡単にメモする（2時間） ・復習：オリエンテーション資料を読み返し、授業内容を整理する（2時間）
2	2回	生涯発達と環境の視点 ・エリクソンのライフサイクル論 ・ブロンフェンブレンナーの生態学的システム論と子どもの発達	対面	・予習：E.H.エリクソンおよびU.ブロンフェンブレンナーについて調べる（2時間） ・復習：配布資料を整理し、発達と環境の関係をまとめる(2時間)
3	3回	家族・家庭の理解とライフサイクル ・家族・家庭の意義と機能 ・家族システムのライフサイクル 授業内小レポート：家族・家庭のライフサイクルの理解整理	対面	・予習：家族および家庭の意義について調べる（2時間） ・復習：配布資料を整理し、家族ライフサイクルの特徴をまとめる（2時間）

4	4回	現代社会と家族① ・心理的歪みをもつ家族・家庭 ・世代間伝達、IP (Identified Patient) の視点	対面	・予習：ニュース等から現代の家族・家庭問題を挙げてみる (2時間) ・復習：配布資料を整理し、家族システムの問題点をまとめる (2時間)
5	5回	現代社会と家族② ・現代の家族システムを巡る課題 ・児童虐待の増加とその背景	対面	・予習：現代社会における家族問題を家族システムの視点から考える (2時間) ・復習：配布資料を整理し、児童虐待の背景要因をまとめる (2時間)
6	6回	親子関係・家族関係の理解と援助 ・家族ライフサイクルと形態の維持・変化 ・ジェノグラム・エコマップを用いた家族理解 ・親子関係と養育態度	対面	・予習：家族の形が変化する場面について考える (2時間) ・復習：配布資料を整理し、親子関係と養育態度の特徴をまとめる (2時間)
7	7回	子育て経験と親としての発達 ・親になることによる心理的变化 ・親の発達と多様な子育て支援	対面	・予習：親になると何が変化するのか考える (2時間) ・復習：配布資料を整理し、親の発達についてまとめる (2時間)
8	8回	多様な家族への理解と支援 ・ひとり親家庭とステップファミリー ・里親制度 ・外国にルーツをもつ家族への支援	対面	・予習：子ども支援に関わる専門機関を調べる (2時間) ・復習：専門機関の役割と支援内容を整理する (2時間)
9	9回	保育現場と児童虐待防止における連携 ・児童虐待防止法の概要 ・児童虐待の種類と対応機関 (児童相談所・保健所・子ども家庭支援センター等)	対面	・予習：子ども支援に関わる諸専門機関を調べる (2時間) ・復習：各専門機関の連携の在り方について整理する (2時間)
10	10回	リスク要因をもつ保護者への対応① ・保育者としての自己理解とメタ認知 ・カウンセリングマインド ・C.R.ロジャーズの来談者中心療法 ・TEGを用いた自己理解	対面	・予習：カウンセリングマインドについて調べる (2時間) ・復習：配布資料と演習を通じた自身の気づきを整理する (2時間)
11	11回	リスク要因をもつ保護者への対応② ・エンカウンターグループ ・授業内小レポート② (自己理解と対人関係の整理)	対面	・予習：前回の自己理解を踏まえ、より良い関わりについて考える (2時間) ・復習：対人関係における自身の課題を整理する (2時間)
12	12回	リスク要因をもつ保護者への対応③ ・カウンセリング演習 ・事例検討(言葉の遅れ、吃音、構音障害、夜尿等)	対面	・予習：生涯発達心理学の視点から子どもの問題行動を整理する (2時間) ・復習：事例への対応方法についてまとめる (2時間)
13	13回	リスク要因をもつ保護者への対応④ ・事例検討：保護者対応の実際 ・カウンセリング演習	対面	・予習：保護者が抱える課題と対応について考える(2時間) ・復習：保護者対応の留意点を整理する(2時間)
14	14回	リスク要因をもつ保護者への対応⑤ ・神経発達症(発達障害)の理解 ・各種神経発達症への対応と支援	対面	・予習：神経発達症について調べる(2時間) ・復習：神経発達症への支援の在り方をまとめる(2時間)
15	15回	まとめ/期末レポート ・これまでの学びの整理 ・期末レポート作成	対面	・予習：配布資料・ノートを読み返し整理する (2時間) ・復習：授業全体の学びを振り返る (2時間)
16	16回	・期末レポートの講評 ・学びの振り返りと今後の課題整理	オンデマンド配信	復習：今後の課題についてまとめる 授業外学修 60時間

その他

科目 (教職課程用)		
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等		
数値・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項		
教科書	【教科書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【教科書】ISBN
	※授業時に資料を配布、必要に応じて文献を紹介する。【参考書】：小原倫子/小林佐智子 著『エピソードで学ぶ子どもの家庭支援の心理学』ミネルヴァ書房、2024	【参考書】 ISBN-10. 4623096661 ISBN-13. 978-623096664
参考書	【参考書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【参考書】ISBN
	幼稚園教育要領 保育所保育指針 幼保連携型認定こども園教育保育要領	
履修条件		
履修上の注意		

オフィスアワー	授業の前後にGoogle class、教室、研究室で質問を受け付ける
備考・メッセージ	授業に関する質問や要望については、授業終盤にリアクションペーパー（授業内容に関する気づきや感想を記入する用紙）を用いて受け付ける。授業についての意見や疑問、子どもや家庭に関する学びの気づき等を自由に記述してほしい。提出された内容は、次回の授業において一部紹介・共有することがある。

子どもの理解と援助

更新日：2026/05/19 15:15:30

開講年度	2026	開講期	3Q/7Q	ナンバリング	UC401
担当教員	園田 文香				

配当	学部/学科	短期大学 長崎短期大学 保育学科			
	配当年	単位	科目必修区分	授業形態	
	2年	1	必修	演習	

アクティブラーニングの類型	①発見学習（事実を発見する過程から学習者に体験させる手法）	<input checked="" type="checkbox"/>
	②問題解決学習（PBL：自ら問題を発見し解決する能力を養うことを目的とした教育法）	<input checked="" type="checkbox"/>
	③体験学習（実際の活動体験を通して学ぶことを狙った学習形態）	
	④調査学習（課題について調査し結論をまとめる学習法）	
	⑤グループ・ディスカッション（議論まで）	<input checked="" type="checkbox"/>
	⑥ディベート（特定の論題について、あえて異なる立場に分かれて議論をする手法）	
	⑦グループ・ワーク（議論+成果物（プレゼンなど）	<input checked="" type="checkbox"/>

授業概要

本科目では、乳幼児の発達理解を基盤に、発達上の特性をもつ子どもの行動観察や援助の在り方について演習的に学ぶ。神経発達症に関する基礎的知識を踏まえ、保育現場における記録や専門機関との連携を通して、子どもを支える実践的視点と多職種連携の意識を養う。

授業における到達目標

1	発達理論・エビデンスに基づき発達を捉える視点を説明できる。
2	自身の実習や体験との連続性を踏まえ、心理学の知識を基盤として、子ども・保護者・保育者それぞれへの支援の可能性を多角的に考える視点をもつことができる。
3	子どもの姿や行動、発達の特徴について、適切な言葉を用いて他者に分かりやすく説明することができる。
4	子どもとの関係性だけでなく、遊びやどの活動の在り方にも着目し、発達を内的要因のみに帰属させない視点をもつことができる。
5	演習全体を通じた現場理解ができています。

評価方法

資質・能力	授業における到達目標（番号のみ記載）	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力	5	ミニッツペーパー・振り返りシート（演習での気づき・現場理解）	10
確かな専門的知識や技能	1	課題レポート（発達理論・心理学的視点の理解）	30
コミュニケーション能力	3	演習・グループワークへの参加、発表・共有	20
課題解決能力	4	事例検討課題（観察・記録を基にした援助の検討）	30
主体的に学ぶ力	2	課題への取り組み、リフレクションシート(体験を振り返り学びや気づきの活かし方)	10
合計			100

補足事項

評価は、期末にある発達理論や心理学的視点の理解を問う課題レポート（30%）、事例や観察記録を基に援助の在り方を検討する事例課題（30%）、演習やグループワークへの参加状況および発表・共有（20%）、演習での気づきをまとめたミニッツペーパー（10%）、課題への取り組みや体験を振り返り学びや気づきを今後どう活かしていくかのリフレクションシート（10%）を総合して行う。

授業計画

	授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1	1回	オリエンテーション／子どもの実態に応じた発達と学びの捉え方 ・保育における子ども理解の意義 ・実習で体験した子どもの行動とその理解 ・授業全体の目的・進め方・評価方法の確認	対面	・予習：実習日誌や記録を準備し、印象に残った子どもの行動を振り返る（1時間） ・復習：配布資料を見直し、授業内容を整理する（1時間）
2	2回	子どもの理解に基づく養護および教育の展開 ・実習経験を踏まえた養護と教育の一体的理解 ・子どもの理解に基づく保育の展開	対面	・予習：実習経験における養護と教育の場面を振り返り、教育目標との関連を整理する（1時間） ・復習：配布資料を見直し、養護と教育の関係を整理する（1時間）
3	3回	子どもへの共感的理解の視点と保育者の関わり ・子どもの姿を捉えるための共感的理解の視点 ・保育者の関わりと子どもの行動理解	対面	・予習：実習経験において、子どもに十分に対応できなかった場面を振り返る（1時間） ・復習：配布資料を見直し、共感的理解の視点を整理する（1時間）

4	4回	子どもの生活や遊びから理解する視点 ・子どもの生活と遊びの意味 ・模倣行動の発達の意義と学び	対面	・予習：実習経験における子どもの模倣行動を整理する(1時間) ・復習：配布資料を見直し、遊びと発達の間を整理する(1時間)
5	5回	子ども相互の関わりと関係づくり ・子ども同士の関わりの特徴 ・遊びの終わり方と関係の調整	対面	・予習：実習経験における子ども同士のいざこざや関わり場面を振り返る(1時間) ・復習：配布資料を見直し、子ども相互の関係理解を整理する(1時間)
6	6回	集団の中で育つ経験と子どもの自己発揮 ・集団における子どもの経験 ・自己発揮と対話の意味	対面	・予習：実習経験における子どもとの対話場面を整理する(1時間) ・復習：配布資料を見直し、集団経験と発達の間を整理する(1時間)
7	7回	人的環境としての保育者と子どもの発達 ・保育者の存在が子どもの発達に与える影響 ・試し行動の理解と保育者の関わり	対面	・予習：実習経験における子どもの試し行動を振り返り整理する(1時間) ・復習：配布資料を見直し、人的環境としての保育者の役割を整理する(1時間)
8	8回	試し行動への対応とまとめ ・試し行動への保育者の対応 ・事例動画の視聴とディスカッション ・演習全体の振り返りと今後の学び	対面	予習：実習経験における試し行動への対応を整理する(1時間) 復習：配布資料を見直し、演習全体の学びを振り返る(1時間)
9				授業外学修 16時間

その他

科目（教職課程用）		
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等		
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項		
教科書	【教科書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など 授業時に資料を配布、必要に応じて文献を紹介する。	【教科書】ISBN
参考書	【参考書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【参考書】ISBN
履修条件		
履修上の注意	実習経験を扱うので、日誌や記録を活用すること。 事例発表の際は個人が特定されないようプライバシーの保護について配慮すること。	
オフィスアワー	授業後に直接あるいはミニッツペーパーで質問を受け付ける。	
備考・メッセージ	実習を振り返り、具体的な子どもの行為・行動について知識を用い、考え・語り合いを核とする授業です。本授業では、「わかる」や「気づく」ことよりも「どうなのか」と「考える」こと、「わかってもらう」ことが重要となります。「子どもはこうだ」と決めつけず、「わからない、理解できない」という気持ちを「もっとよく見よう、考えよう」という思いへ向かわせる、保育者の重要な視点を養うことがねらいとなります。	

子どもの保健

更新日：2026/05/19 15:14:46

開講年度	2026	開講期	前期	ナンバリング	UC101
担当教員	滝川 由香里				

担当	学部/学科	短期大学 長崎短期大学 保育学科			
	担当年	単位	科目必選区分	授業形態	
	1年	2	必修	講義	

アクティブラーニングの類型	①発見学習（事実を発見する過程から学習者に体験させる手法）	
	②問題解決学習（PBL：自ら問題を発見し解決する能力を養うことを目的とした教育法）	
	③体験学習（実際の活動体験を通して学ぶことを狙った学習形態）	
	④調査学習（課題について調査し結論をまとめる学習法）	
	⑤グループ・ディスカッション（議論まで）	<input checked="" type="checkbox"/>
	⑥ディベート（特定の論題について、あえて異なる立場に分かれて議論をする手法）	
	⑦グループ・ワーク（議論+成果物（プレゼンなど））	

授業概要

子どもの心身の健康と保健の意義・子どもの身体発育について理解する。さらに子どもの疾病とその予防についての知識を習得し、適切な対応について学びを深める。

授業における到達目標

1	子どもの発達・発育、健康や保健活動の意義について理解し、述べることができる。
2	子どもの健康増進に関する課題について、グループで協力して議論することができる。
3	子どもの疾病と予防、健康増進に関する適切な対応について述べるすることができる。
4	授業を受講する際に、質問や発言をするなど、積極的に授業に参加することができる。

評価方法

資質・能力	授業における到達目標（番号のみ記載）	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力			
確かな専門的知識や技能	1	定期試験 小テスト	70% 10%
コミュニケーション能力	2	グループディスカッションおよび発表	5%
課題解決能力	3	レポート	10%
主体的に学ぶ力	4	授業参加の意欲・態度	5%
合計			100%
補足事項			
本授業では、定期試験70%、小テスト10%、レポート10%、グループディスカッションおよび発表5%、授業参加の意欲・態度5%で評価する。 ① 授業内容の理解を促すために、予習・復習をすること。 ② 欠席時は、次の授業開始前日までに資料を受け取り、欠席時の授業内容の理解に努める事。 ③ オンライン授業時は、G-CRに資料を添付するため、各自事前に準備をし、受講する事。 ④ 授業開始から15分以上経過した遅刻および授業時間中15分以上離席した際は欠席扱い、遅刻3回で欠席1回とみなす。			

授業計画

	授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1	滝川	保健活動の意義と目的、健康の概念、健康指標、母子保健の現状	オンライン等で行う場合がある	予習：教科書p9～18を読み、内容をノートにまとめ、疑問点を抽出し、質問の用意をする。(2時間) 復習：授業内容を復習し、ノートに要点をまとめ、p18の「やってみよう」を解く。(2時間)
2	滝川	生物としての成り立ち、身体測定、発育曲線、運動機能の発達	オンライン等で行う場合がある	予習：教科書p19～29、p66～69を読み、内容をノートにまとめ、疑問点を抽出し、質問の用意をする。(2時間) 復習：授業内容授業内容を復習し、ノートに要点をまとめる。(2時間)
3	滝川	子どもの貧困、医療的ケア児、インクルーシブ保育、児童虐待について	オンライン等で行う場合がある	予習：教科書p13～18を読み、内容をノートにまとめ、疑問点を抽出し、質問の用意をする。(2時間) 復習：子どもの貧困、医療的ケアのいずれかについて、レポートを作成する。(2時間)

4	滝川	呼吸機能、循環機能、免疫機能、	オンライン等で行う場合がある	予習：教科書 p30-32を読み、内容をノートにまとめ、疑問点を抽出し、質問の用意をする。(2時間) 復習：授業内容を復習し、ノートに要点をまとめる。(2時間)
5	滝川	消化機能、排泄機能、水分代謝、体温調節	オンライン等で行う場合がある	予習：教科書 p32-35を読み、内容をノートにまとめ、疑問点を抽出し、質問の用意をする。(2時間) 復習：授業内容を復習し、ノートに要点をまとめる。(2時間)
6	滝川	内分泌の発達、睡眠・覚醒リズム、感覚・神経機能	オンライン等で行う場合がある	予習：教科書 p35-40を読み、内容をノートにまとめ、疑問点を抽出し、質問の用意をする。(2時間) 復習：授業内容を復習し、ノートに要点をまとめる。(2時間)
7	滝川	健康観察と対応について、体調不良時によくみられる症状、健康診断、身体発育についての評価、保護者との健康情報の共有	オンライン等で行う場合がある	予習：教科書 p59-71を読み、内容をノートにまとめ、疑問点を抽出し、質問の用意をする。(2時間) 復習：授業内容をノートに要点をまとめる。(2時間)
8	滝川	子どもの疾病の特徴、感染症、予防接種 ウィルス性感染症①	オンライン等で行う場合がある	予習：教科書 p73-81を読み、内容をノートにまとめ、疑問点を抽出し、質問の用意をする。(2時間) 復習：感染経路とその予防法、それぞれのウィルス感染症の特徴をまとめ整理する。(2時間)
9	滝川	ウィルス性感染症②、細菌性感染症	オンライン等で行う場合がある	予習：教科書 p82-84を読み、内容をノートにまとめ、疑問点を抽出し、質問の用意をする。(2時間) 復習：授業内容を復習し、それぞれの感染症の特徴についてまとめ、整理する。(2時間)
10	滝川	先天異常、アレルギー	オンライン等で行う場合がある	予習：教科書 p84-89を読み、内容をノートにまとめ、疑問点を抽出し、質問の用意をする。(2時間) 復習：授業内容を復習し、特にそれぞれのアレルギーの特徴と予防法、対処法についてまとめる(2時間)
11	滝川	消化器疾患、呼吸器疾患、循環器疾患、血液疾患	オンライン等で行う場合がある	予習：教科書 p89-92を読み、内容をノートにまとめ、疑問点を抽出し、質問の用意をする。(2時間) 復習：授業内容を復習し、各疾患について整理する。
12	滝川	悪性腫瘍、神経疾患、腎・泌尿器疾患	オンライン等で行う場合がある	予習：教科書 p92-95を読み、内容をノートにまとめ、疑問点を抽出し、質問の用意をする。(2時間) 復習：授業内容を復習し、各疾患の特徴について整理する。P100の「やってみよう」③を解く。(2時間)
13	滝川	感覚器の疾患、整形外科疾患、内分泌・代謝疾患	オンライン等で行う場合がある	予習：教科書 p96-100を読み、内容をノートにまとめ、疑問点を抽出し、質問の用意をする。(2時間) 復習：授業内容を復習し、ノートに要点をまとめる。(2時間)
14	滝川	発達に即応した基本的な生活習慣の形成 生活リズム形成における睡眠の意義について	オンライン等で行う場合がある	予習：教科書 p41-50を読み、内容をノートにまとめ、疑問点を抽出し、質問の用意をする。(2時間) 復習：授業内容を復習し、ノートに要点をまとめる。(2時間)
15	滝川	清潔習慣、歯磨きについて	オンライン等で行う場合がある	予習：教科書 p50-58を読み、内容をノートにまとめ、疑問点を抽出し、質問の用意をする。(2時間) 復習：授業内容を復習し、ノートに要点をまとめ、p57の演習問題を解く。(2時間)
16				授業外学修 60時間

その他

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
数値・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項	データを読む・説明する・扱う
教科書	【教科書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など 子どもの保健／中根順子・佐藤直子／2019／ななみ書房
参考書	【参考書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など
履修条件	特になし
履修上の注意	必ず予習を行い、専門用語等不明なところは積極的に質問する事。
オフィスアワー	授業時間前後に教室で質問を受けつける。
備考・メッセージ	保育士には子どもの命を守る責任があります。覚えることが沢山ありますが、真摯な態度で学びを深めて下さい。

子どもの健康と安全 1年生

更新日：2026/05/19 15:14:47

開講年度	2026	開講期	後期	ナンバリング	CM301
担当教員	井田 裕子				

配当	学部/学科	短期大学 長崎短期大学 保育学科			
	配当年	単位	科目必選区分	授業形態	
	1	1	必修	演習	

アクティブラーニングの類型	①発見学習（事実を発見する過程から学習者に体験させる手法）	
	②問題解決学習（PBL：自ら問題を発見し解決する能力を養うことを目的とした教育法）	
	③体験学習（実際の活動体験を通して学ぶことを狙った学習形態）	<input checked="" type="checkbox"/>
	④調査学習（課題について調査し結論をまとめる学習法）	
	⑤グループ・ディスカッション（議論まで）	
	⑥ディベート（特定の論題について、あえて異なる立場に分かれて議論をする手法）	
	⑦グループ・ワーク（議論+成果物（プレゼンなど））	

授業概要

1. 乳幼児の日常生活の養護の実際を学び実習する。
2. バイタルサインの測定・記録および評価の実際、体調不良や障害が発生した場合の対応とケアについて学ぶ。
3. 感染予防の3原則を理解する。排泄物の処理方法を理解する。効果的な手洗い・うがいを体験する。
4. 子どもの事故と発生要因を理解する。気道内異物時の模擬演習、心肺蘇生法の模擬演習、包帯法などを実習する。
5. 集団保育における年間保健安全計画、施設設備の消毒、保育者自身の生活習慣の整え方と健康管理にふれる。

授業における到達目標

1	保育における保健的観点を踏まえた保育環境や援助について理解する。
2	保育における衛生管理・事故防止および安全対策・危機管理・災害対策について、具体的に理解する。
3	子どもの体調不良等に対する適切な対応について、具体的に理解できる。
4	保育における感染症対策について、具体的に理解する。
5	保育における保健的対応の基本的な考え方を踏まえ、関連するガイドラインや近年のデータ等に基づく子どもの発達や状態等に即した適切な対応について具体的に理解する。
6	子どもの健康および安全の管理に関わる組織的取組や保健活動の計画および評価等について、具体的に理解する。
7	積極的に授業に参加できる。

評価方法

資質・能力	授業における到達目標（番号のみ記載）	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力			
確かな専門的知識や技能	1,2,3,4,5,6	筆記試験 実習・提出物	50 40
コミュニケーション能力			
課題解決能力			
主体的に学ぶ力	7	学習への取り組み・態度	10
合計			
補足事項	筆記試験（50%）、実習・提出物（40%）、学習への取り組み・態度（10%）を総合して評価を行う。 課題のフィードバックは授業内またはGoogle Classroomで行う。		

授業計画

	授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1	1回目	保育的観点を踏まえた保育環境及び援助	面接授業	予習:授業内容の部分を読んでおく(1時間) 復習:授業で学習したところをまとめておく(2時間)
2	2回目	保育における健康及び安全管理①	面接授業	予習:授業内容の部分を読んでおく(1時間) 復習:授業で学習したところをまとめておく(2時間)
3	3回目	保育における健康及び安全管理②	面接授業	予習:授業内容の部分を読んでおく(1時間) 復習:授業で学習したところをまとめておく(2時間)
4	4回目	保育における健康及び安全管理③	面接授業	予習:授業内容の部分を読んでおく(1時間) 復習:授業で学習したところをまとめておく(2時間)
5	5回目	感染症対策 (感染症の種類・症状を知る)	面接授業	予習:授業内容の部分を読んでおく(1時間) 復習:授業で学習したところをまとめておく(2時間)

6	6回目	子どもの体調不良に対する適切な対応①	面接授業	予習:授業内容の部分を読んでおく(1時間) 復習:授業で学習したところをまとめておく(2時間)
7	7回目	子どもの体調不良に対する適切な対応②	面接授業	予習:授業内容の部分を読んでおく(1時間) 復習:授業で学習したところをまとめておく(2時間)
8	8回目	子どもの体調不良に対する適切な対応③	面接授業	まとめを作成・提出(2時間)
9	9回目	保育における保健的対応①	面接授業	お人形で練習(1時間)
10	10回目	保育における保健的対応②	面接授業	お人形で練習(1時間)
11	11回目	保育における保健的対応③	面接授業	お人形で練習(1時間)
12	12回目	保育における保健的対応④	面接授業	パンフレット作成、提出(3時間)
13	13回目	保育における保健的対応⑤	面接授業	予習:授業内容の部分を読んでおく(1時間) 復習:授業で学習したところをまとめておく(2時間)
14	14回目	保育における保健的対応⑥	面接授業	予習:授業内容の部分を読んでおく(1時間) 復習:授業で学習したところをまとめておく(2時間)
15	15回目	健康および安全の管理の実施体制	面接授業	保健活動の年間計画の作成 学習したことを振り返りまとめておく(5時間)
16	16回目	定期試験		授業外学修 40時間

その他

科目(教職課程用)		
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等		
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項		
教科書	【教科書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【教科書】ISBN
	「子どもの健康と安全」中根淳子/佐藤直子 編著 ななみ書房	9.7849E+12
参考書	【参考書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【参考書】ISBN
	「子どもの健康と安全 演習ノート」小林美由紀 編著 診断と治療社	9.78479E+12
履修条件		
履修上の注意	子どもの保健をふまえておく	
オフィスアワー	後期:月曜日3・4限目	
備考・メッセージ	実技の練習を自分で実践したり、教科書をよく復習しておくこと。	

子どもの食と栄養

更新日：2026/05/19 15:14:49

開講年度	2026	開講期	後期	ナンバリング	UC202
担当教員	小玉 智章, 菊池 亮子				

配当	学部/学科	短期大学 長崎短期大学 保育学科			
	配当年	単位	科目必選区分	授業形態	
	1年	2	必修	演習	

アクティブラーニングの類型	①発見学習（事実を発見する過程から学習者に体験させる手法）	<input checked="" type="checkbox"/>
	②問題解決学習（PBL：自ら問題を発見し解決する能力を養うことを目的とした教育法）	
	③体験学習（実際の活動体験を通して学ぶことを狙った学習形態）	<input checked="" type="checkbox"/>
	④調査学習（課題について調査し結論をまとめる学習法）	
	⑤グループ・ディスカッション（議論まで）	
	⑥ディベート（特定の論題について、あえて異なる立場に分かれて議論をする手法）	
	⑦グループ・ワーク（議論+成果物（プレゼンなど））	

授業概要

保育士が接する乳幼児期は人生の始まりの時期であり、適切な発育のために栄養は必要不可欠である。本科目では、保育士が子どもの発育を栄養面からも支援できるように、栄養学の基礎を理解し、実践できることを目指す。また、近年は栄養面で特別な配慮を必要とする子どもが増えており、特にアレルギー対応は一歩間違えると命に関わる。本科目ではアレルギーについて、その成り立ちから対応を理解し、保育所で他の業種と関わりながら実践できることも目指す。

授業における到達目標

1	栄養学の基礎知識を理解し、説明できる
2	子どもの成長に合った栄養を理解し、実践できる
3	アレルギーの基礎と保育所における対応を理解し、説明できる
4	特別な配慮が必要な子どもにおける栄養を理解し、説明できる
5	他者と協働し、適切に調理実習ができる

評価方法

資質・能力	授業における到達目標（番号のみ記載）	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力			
確かな専門的知識や技能	1, 2, 3, 4	定期試験（筆記）	80%
コミュニケーション能力	5	提出物	20%
課題解決能力			
主体的に学ぶ力			
合計			

補足事項

- ・本授業は面接授業を基本とするが、状況に応じてMeetによるオンライン授業を行うことがある。
- ・授業外の質問はGoogle Classroomで受け答えすることができる。
- ・授業は収録し、YouTubeで限定公開するので復習等に利用すること。
- ・本授業では、定期試験（筆記）80%、提出物20%で評価する。
- ・課題のフィードバックは授業内またはGoogle Classroomで行う。

授業計画

	授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1	1回目	オリエンテーション 本授業の進め方、評価の観点等の説明 栄養の基礎知識① 消化吸収のしくみ	面接授業（状況によってMeetで行う）	予習：シラバスを読んでおく、教科書P26～27を読んでおく 復習：YouTubeの配信を見返す（合わせて4時間）
2	2回目	栄養の基礎知識② 栄養とは？ 五大栄養素のはたらき①	面接授業（状況によってMeetで行う）	予習：教科書P28～35を読んでおく 復習：配布プリントをまとめる・YouTubeの配信を見返す（合わせて4時間）
3	3回目	栄養の基礎知識② 五大栄養素のはたらき② 食事摂取基準	面接授業（状況によってMeetで行う）	予習：教科書P36～43を読んでおく 復習：配布プリントをまとめる・YouTubeの配信を見返す（合わせて4時間）
4	4回目	乳児期の栄養① 乳児の特徴	面接授業（状況によってMeetで行う）	予習：教科書P50～61を読んでおく 復習：配布プリントをまとめる・YouTubeの配信を見返す（合わせて4時間）

5	5回目	調理実習 実習室使用の仕方 調乳	面接授業（状況によって Meetで行う）	予習：教科書P65～68を読んでおく 復習：配布プリントをまとめる・YouTubeの配信を見返す（合わせて4時間）
6	6回目	調理実習 離乳の準備	面接授業（状況によって Meetで行う）	予習：教科書P69～73を読んでおく 復習：配布プリントをまとめる・YouTubeの配信を見返す（合わせて4時間）
7	7回目	調理実習 離乳初期の食事①	面接授業（状況によって Meetで行う）	予習：教科書P50～73を読んでおく 復習：配布プリントをまとめる・YouTubeの配信を見返す（合わせて4時間）
8	8回目	調理実習 離乳初期の食事②	面接授業（状況によって Meetで行う）	予習：教科書P69～73を読んでおく 復習：配布プリントをまとめる・YouTubeの配信を見返す（合わせて4時間）
9	9回目	乳児期の栄養② 乳児の栄養補給 離乳食とは	面接授業（状況によって Meetで行う）	予習：教科書P62～73を読んでおく 復習：配布プリントをまとめる・YouTubeの配信を見返す（合わせて4時間）
10	10回目	幼児期の栄養 幼児の特徴と食生活	面接授業（状況によって Meetで行う）	予習：教科書P74～79を読んでおく 復習：配布プリントをまとめる・YouTubeの配信を見返す（合わせて4時間）
11	11回目	調理実習 離乳後期の食事①	面接授業（状況によって Meetで行う）	予習：教科書P69～73を読んでおく 復習：配布プリントをまとめる・YouTubeの配信を見返す（合わせて4時間）
12	12回目	調理実習 離乳後期の食事②	面接授業（状況によって Meetで行う）	予習：教科書P69～73を読んでおく 復習：配布プリントをまとめる・YouTubeの配信を見返す（合わせて4時間）
13	13回目	食物アレルギー 食物アレルギーとは 食物アレルギーの対応	面接授業（状況によって Meetで行う）	予習：教科書P136～138を読んでおく 復習：配布プリントをまとめる・YouTubeの配信を見返す（合わせて4時間）
14	14回目	調理実習 幼児期のおやつ	面接授業（状況によって Meetで行う）	予習：教科書P74～79を読んでおく 復習：配布プリントをまとめる （合わせて4時間）
15	15回目	調理実習 幼児期のおやつ	面接授業（状況によって Meetで行う）	予習：教科書74～79を読んでおく 復習：配布プリントをまとめる（合わせて4時間）
16				授業外学習 60時間

その他

科目（教職課程用）		
教育職員免許法施行 規則に定める科目区 分または事項等		
数理・データサイエ ンス・AI教育プログ ラムに関する事項		
教科書	【教科書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など 子どもの食と栄養 第3版 保育現場で活かせる食の基本／太田百合子、堤ちはる編（2025）羊土社	【教科書】ISBN 9.78476E+12
参考書	【参考書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【参考書】ISBN
履修条件		
履修上の注意	調理実習の際は、エプロン、三角巾、上履きを持参すること	
オフィスアワー	小玉：火・金曜日昼休み（12：20～13：10）@研究室 菊池：実習の前後または授業および実習以外の時間であればいつでも対応可能です。	
備考・メッセージ	積極的な受講態度、自主学修への取り組みを期待します。	

子ども家庭支援論

更新日：2026/05/19 15:14:50

開講年度	2026	開講期	4Q/8Q	ナンバリング	EP402
担当教員	永吉 史典				

配当	学部/学科	短期大学 長崎短期大学 保育学科			
	配当年	単位	科目必選区分	授業形態	
	2年	2	選択	講義	

アクティブラーニングの類型	①発見学習（事実を発見する過程から学習者に体験させる手法）	<input checked="" type="checkbox"/>
	②問題解決学習（PBL：自ら問題を発見し解決する能力を養うことを目的とした教育法）	<input checked="" type="checkbox"/>
	③体験学習（実際の活動体験を通して学ぶことを狙った学習形態）	
	④調査学習（課題について調査し結論をまとめる学習法）	<input checked="" type="checkbox"/>
	⑤グループ・ディスカッション（議論まで）	
	⑥ディベート（特定の論題について、あえて異なる立場に分かれて議論をする手法）	
	⑦グループ・ワーク（議論+成果物（プレゼンなど））	

授業概要

本科目においては、こどもや家族を対象とした支援のあり方について学ぶ。導入として、家庭保育を取り巻く社会的状況の理解（社会的養育）、社会全体での子育て支援の必要性について考える。それを前提として、子育て支援の体制と方法、さまざまな子育て支援の場における支援の在り方、多様な支援の展開と関係機関との連携などについて学習する。最後に、子育て支援サービスの課題について考察し、今後の支援の在り方について検討し、保育士の役割について理解したうえで、こどもや家庭が抱える課題を考えていく。

授業における到達目標

1	子ども家庭支援の意義と必要性を理解し、その目的・機能を理解できる。
2	保育士の専門性を生かした子ども家庭支援の基本的な考え方を理解できる。
3	子育て家庭に対する多様な支援の展開と関係機関との連携の方法などについて理解できる。
4	子どもと家庭への支援方法を理解し、事例に基づいて考察できる。
5	近年の社会情勢に関心を持ち、子どもと家庭を取り巻く社会的課題を把握し、既習内容との関連させて考える視点をもつことができる。
6	子どもと家庭の尊厳・権利を尊重する態度を理解し、保育者としての倫理的判断の重要性を理解する。

評価方法

資質・能力	授業における到達目標（番号のみ記載）	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力			
確かな専門的知識や技能	1 2 3	定期試験	40
コミュニケーション能力	6	授業への参加・態度	5
課題解決能力	3 4	リアクションペーパー・ミニレポート	10
主体的に学ぶ力	5 6	授業への参加・態度 ノート作り	5 20.
合計			100

補足事項

本授業では、定期試験40%、授業中の小テスト（2回実施）20%、毎回授業後のリアクションペーパー・ミニレポート+ノート作り（予習・復習）30%、授業への参加・態度10%の割合で評価する。内容が良い場合は加点を行う。

なお、欠席や小テスト未受験ならびにミニレポート・ノート未提出が1度でもあれば、科目全体の評価が下がっていくことはご理解いただきたい。

授業計画

	授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1	1回目	オリエンテーション 全体的な講義内容の説明 子ども家庭支援の意義と必要性 (第1章)	面接授業	予習：テキストから次の授業内容箇所を探して読む (2h) 復習：リアクションペーパー（ミニレポート）・ノート作りに取り組む（2h）
2	2回目	子ども家庭支援の目的と機能 (第2章)	面接授業	予習：テキストから次の授業内容箇所を探して読む (2h) 復習：リアクションペーパー（ミニレポート）・ノート作りに取り組む（2h）

3	3回目	子ども家庭支援の対象と内容 (第3章)	面接授業	予習：テキストから次の授業内容箇所を探して読む (2h) 復習：リアクションペーパー（ミニレポート）・ノート作りに取り組む（2h）
4	4回目	子どもと親の育ち (第4章)	面接授業	予習：テキストから次の授業内容箇所を探して読む (2h) 復習：リアクションペーパー（ミニレポート）・ノート作りに取り組む・小テスト対策（3.5h）
5	5回目	さまざまな家庭の姿（第5章） 小テスト①	面接授業	予習：テキストから次の授業内容箇所を探して読む (2h) 復習：リアクションペーパー（ミニレポート）・ノート作りに取り組む（2h）
6	6回目	子どもと家庭を支える専門機関や地域活動（第6章）	面接授業	予習：テキストから次の授業内容箇所を探して読む (2h) 復習：リアクションペーパー（ミニレポート）・ノート作りに取り組む（2h）
7	7回目	地域の資源活用と自治体・関係機関等との連携・協力 (第7章)	面接授業	予習：テキストから次の授業内容箇所を探して読む (2h) 復習：リアクションペーパー（ミニレポート）・ノート作りに取り組む（2h）
8	8回目	特別な対応を要する支援① (第8章)	面接授業	予習：テキストから次の授業内容箇所を探して読む (2h) 復習：リアクションペーパー（ミニレポート）・ノート作りに取り組む（2h）
9	9回目	特別な対応を要する支援② (第8章)	面接授業	予習：テキストから次の授業内容箇所を探して読む (2h) 復習：リアクションペーパー（ミニレポート）・ノート作りに取り組む・小テスト対策（3.5h）
10	10回目	特別な対応を要する支援③（第8章） 小テスト②	面接授業	予習：テキストから次の授業内容箇所を探して読む (2h) 復習：リアクションペーパー（ミニレポート）・ノート作りに取り組む（2h）
11	11回目	地域の子育て家庭の意義と考え方 (第9章)	面接授業	予習：テキストから次の授業内容箇所を探して読む (2h) 復習：リアクションペーパー（ミニレポート）・ノート作りに取り組む（2h）
12	12回目	家庭の状況の応じた支援 (第10章)	面接授業	予習：テキストから次の授業内容箇所を探して読む (2h) 復習：リアクションペーパー（ミニレポート）・ノート作りに取り組む（2h）
13	13回目	保育の特性を生かした支援 (第11章)	面接授業	予習：テキストから次の授業内容箇所を探して読む (2h) 復習：リアクションペーパー（ミニレポート）・ノート作りに取り組む（2h）
14	14回目	保育士に求められる基本的態度 (第12章)	面接授業	予習：テキストから次の授業内容箇所を探して読む (2h) 復習：リアクションペーパー（ミニレポート）・ノート作りに取り組む・定期テストに向けた対策（4h）
15	15回目	これからの子ども家庭支援 (第13章)	面接授業	予習：テキストから次の授業内容箇所を探して読む (2h) 復習：授業内容に関するノート作り・定期テストに向けた対策（4.5h）
16	16回目	定期試験		授業内学修時間：22.5時間 授業外学修時間：67.5時間

その他

科目（教職課程用）		
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等		
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項	データを読む・説明する・扱う,社会で活用されているデータ	
教科書	【教科書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【教科書】ISBN
	七木田敦・上村真生・岡花祈一郎（2025）『子ども家庭支援論—子どもを中心とした家庭支援—（第2版）』教育情報出版	9.78491E+12

	【参考書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【参考書】ISBN
参考書	<ul style="list-style-type: none"> ・立花 直樹, 安田 誠人 (2025) 『こどもまんなか社会に活かす「子ども家庭支援論」』晃洋書房 ・渡邊 暁, 橋本 翼 (2024) 『実践で役立つ 子ども家庭支援論』ミネルヴァ書房 ・宮本 文雄, 富樫 ひとみ, 他 (2025) 『子ども家庭まるごと支援テキスト 垣根を越えた重層的支援論』明石書店 ・守巧 (2025) 『子ども家庭支援論 保育の専門性を子育て家庭の支援に生かす』萌文書林 ・原 信夫, 松倉佳子, 他 (2024) 『子ども家庭支援論 (第2版)』北樹出版 ・畠山由佳子, 福井充 (2023) 『パーマナンスをめざす子ども家庭支援 共通理念に基づくケースマネジメントとそれぞれの役割』岩崎学術出版社 ・公益財団法人児童育成協会, 松原 康雄, 他 (2022) 『子ども家庭支援論 第2版 (新・基本保育シリーズ 5)』中央法規出版 	9784771038998 9784623097067 9784750359076 9784893474308 9784779307461 9784753312344 9784805887882
履修条件		
履修上の注意	<ul style="list-style-type: none"> ・指定された座席で受講すること。 ・教科書、B5ノート（もしくはB5のルーズリーフが綴れるファイル）、はさみ、のりなどを持参すること。 ・授業時間のうち、15分以上退室すると欠席扱いとなる。 ・欠席した場合は、次回授業の準備に不足が無いよう、自ら考えて行動すること（事前に欠席連絡もするように）。 ・遅刻や授業態度の悪さなど減点の対象とする。 ・予習→授業→復習のサイクルを確立し、授業外においても学ぶ意欲を持続けること。 ・課題のフィードバックは次回以降の授業においてできる限り取扱う、もしくはGoogle Classroomで行う。 ・時折、子育て中の方や児童養護施設職員にも話をしてもらう予定にしているため、まもなく社会人となるものとして失礼のない態度で受講すること。 	
オフィスアワー	疑問・質問・追加で教えてほしいこと、いつでも構わないので、講師メール（nagayoshi@njcawesome.education もしくは wakatak e-nagayoshi4121@outlook.com）または電話をすること。 適宜、クラスルームより指示を出すため、確認を。	
備考・メッセージ	B5ノート（もしくはB5のルーズリーフが綴れるファイル）を用意し、教科書の内容や適宜配布するA4用紙2段組みのプリントを切り貼りして整理をし、さらには自ら調べたことなどをノートにまとめる。この自作のノートのみ定期試験に持込可とする（プリントを切り貼りせずにファイルに綴じている場合は、テストへの持ち込みを禁ずる）。 「子ども家庭支援論」という科目名称から、みなさんは何を想像するだろうか？保育士の離職率は、とあるデータによると保育士の離職率は、3年以内で約24.9%、5年以内で42.2%だとされている。その中でも少なからず、「保護者支援」「家庭支援」の難しさ・苦しさなどが理由であることもあるだろう。 本科目では、児童養護施設に勤務しつつ、長崎県児童養護施設協議会事務局をしている講師が、保護者や家庭に対してどのような対応をしているのか実践を踏まえて講義を行う。たくさんのデータや画像・映像から考えてもらうため、内容は非常に難しいだろうが、是非自らの力とするべく向き合ってください。	

カリキュラム論

更新日：2026/05/19 15:16:26

開講年度	2026	開講期	2Q/6Q	ナンバリング	CM201
担当教員	高以良 結衣				

配当	学部/学科	短期大学 長崎短期大学 保育学科			
	配当年	単位	科目必選区分	授業形態	
	1年	2	必修	講義	

アクティブラーニングの類型	①発見学習（事実を発見する過程から学習者に体験させる手法）	<input checked="" type="checkbox"/>
	②問題解決学習（PBL：自ら問題を発見し解決する能力を養うことを目的とした教育法）	<input checked="" type="checkbox"/>
	③体験学習（実際の活動体験を通して学ぶことを狙った学習形態）	<input checked="" type="checkbox"/>
	④調査学習（課題について調査し結論をまとめる学習法）	
	⑤グループ・ディスカッション（議論まで）	<input checked="" type="checkbox"/>
	⑥ディベート（特定の論題について、あえて異なる立場に分かれて議論をする手法）	
	⑦グループ・ワーク（議論+成果物（プレゼンなど）	<input checked="" type="checkbox"/>

授業概要

教育・保育の計画と評価に関する意義や基本的な考え方を学ぶ。その後、教育課程・全体的な計画を基盤に、子ども理解を踏まえた指導計画を作成する力をつける。また、カリキュラム・マネジメントの考え方を理解し、保育の質を高めていく方法を学ぶ。これらを通して、保育者としての専門性を身につけるとともに、学び続けることのできる保育者になるための基盤となる力を養うことを目指す。

授業における到達目標

1	子どもを理解しようとし、健やかな発達を願う気持ちをもって、学びに向かうことができる
2	保育における計画と評価について、基本的理論を理解し、実践的に取り組むことができる
3	他者と意見を交わし、互いに高め合うことができる
4	質の高い保育を目指して、試行錯誤を重ねながら指導計画の作成や評価に取り組むことができる
5	保育の計画の立案やカリキュラム・マネジメントが、保育者にとって重要な職務であることを理解し、積極的に学ぶことができる

評価方法

資質・能力	授業における到達目標（番号のみ記載）	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力	1	授業への参加・態度	10%
確かな専門的知識や技能	2	課題（指導計画の作成）	50%
コミュニケーション能力	3	グループワーク	10%
課題解決能力	4	模擬保育	10%
主体的に学ぶ力	5	小レポート（コメントペーパー）	20%
合計			100%

補足事項

- ・本授業は面接授業を基本とするが、状況によってオンライン等で行う場合がある。
- ・本授業では、授業への参加・態度10%、課題提出（指導案の作成50%、グループワーク10%、模擬保育10%、小レポート10%の割合で評価する。
- ・授業開始から15分以上経過しての遅刻、また授業中の離席が15分を超えた場合は欠席とする。遅刻3回で1回の欠席とみなす。
- ・授業に関する質問は、直接またはメールでも受け付け、個別または授業の際に回答する。

授業計画

	授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1	1回目	「保育の計画・幼児教育課程とは何か」 ・授業の進め方について確認する。 ・教育・保育における計画と評価の意義やカリキュラムの基礎理論を学ぶ。	面接授業	予習：教科書第1章を読んでおく。(2時間) 復習：授業を振り返り、重点と考えをまとめる。(2時間)
2	2回目	「保育の計画・幼児教育課程とは何か」 ・教育・保育における計画と評価の意義やカリキュラムの基礎理論を学ぶ。 ・教育課程・保育課程の変遷と社会的背景について学ぶ。	面接授業	予習：教科書第1章を読んでおく。(2時間) 復習：授業を振り返り、重点と考えをまとめる。(2時間)
3	3回目	「幼稚園における教育課程/指導計画」 ・幼稚園教育要領等に基づく教育課程・指導計画について理解する。	面接授業	予習：教科書第2章を読んでおく。(2時間) 復習：授業を振り返り、重点と考えをまとめる。(2時間)
4	4回目	「保育所における計画と評価」 ・保育所保育指針等に基づく計画や評価について理解する。	面接授業	予習：教科書第3章を読んでおく。(2時間) 復習：授業を振り返り、重点と考えをまとめる。(2時間)

5	5回目	「こども園における教育課程の特徴」 ・認定こども園の設立の経緯や特徴を理解し、認定こども園における教育課程や計画、評価について理解する。	面接授業	予習：教科書第4章を読んでおく。(2時間) 復習：授業を振り返り、重点と考えをまとめる。(2時間)
6	6回目	「乳児保育のカリキュラムの実際」 ・0歳児のカリキュラムについて理解する。	面接授業	予習：教科書第5章を読んでおく。(2時間) 復習：授業を振り返り、重点と考えをまとめる。(2時間)
7	7回目	「1歳以上3歳未満児のカリキュラムの実際」 ・1歳以上3歳未満児のカリキュラムについて理解する。	面接授業	予習：教科書第6章を読んでおく。(2時間) 復習：授業を振り返り、重点と考えをまとめる。(2時間)
8	8回目	「3歳児のカリキュラムの実際」 ・3歳児のカリキュラムについて理解する。	面接授業	予習：教科書第7章を読んでおく。(2時間) 復習：授業を振り返り、重点と考えをまとめる。(2時間)
9	9回目	「4歳児のカリキュラムの実際」 ・4歳児のカリキュラムについて理解する。	面接授業	予習：教科書第8章を読んでおく。(2時間) 復習：授業を振り返り、重点と考えをまとめる。(2時間)
10	10回目	「5歳児のカリキュラムの実際」 ・5歳児のカリキュラムについて理解する。	面接授業	予習：教科書第9章を読んでおく。(2時間) 復習：授業を振り返り、重点と考えをまとめる。(2時間)
11	11回目	「指導計画の実際」 ・模擬保育を体験する。 ・PDCAサイクルを用いて、模擬保育を振り返る。	面接授業	予習：各年齢のこどもの姿について復習しておく。(2時間) 復習：授業を振り返り、重点と考えをまとめる。(2時間)
12	12回目	「教育・保育の評価と改善」 ・教育・保育における評価と改善の重要性を学ぶ。	面接授業	予習：教科書第1章を読んで振り返りをしておく。(2時間) 復習：授業を振り返り、重点と考えをまとめる。(2時間)
13	13回目	「特別な配慮を必要とする子どもの指導計画」 ・子ども理解や子どもに合わせた保育を考える。 ・子どもを取り巻く家庭・園・専門家の連携を理解する	面接授業	予習：教科書コラムを読んでおく。(2時間) 復習：授業を振り返り、重点と考えをまとめる。(2時間)
14	14回目	「指導計画（日案）の作成」 ・指導計画（日案）について理解し、子どもの育ちと保育者の配慮を考えながら、立案する。	面接授業	予習：指導計画（日案）について調べておく。(2時間) 復習：指導計画を作成する。(5時間)
15	15回目	「指導計画（日案）の作成」 ・指導計画（日案）を完成させる。 ・自身で見直し、指導計画作成の留意点を明確にする。	面接授業	予習：指導計画を作成する。(2時間) 復習：指導計画を完成させる。(2時間)
16	16回目			授業外学修 63時間

その他

科目（教職課程用）	②教育の基礎的理論に関する科目	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	⑧教育課程の意義及び編成の方法	
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項	データを読む・説明する・扱う,社会で活用されているデータ	
教科書	【教科書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【教科書】ISBN
	河邊貴子編著(2019)『幼児教育・保育 カリキュラム論』東京書籍	9.78449E+12
参考書	【参考書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【参考書】ISBN
	令和5年度最新版 幼児期までの子どもの育ちに係る基本的なビジョン 幼稚園教育要領 保育所保育指針 幼保連携型認定こども園教育・保育要領<原本>チャイルド本社	
履修条件		
履修上の注意		
オフィスアワー	研究室在室中はいつでも対応する。	
備考・メッセージ		

保育内容総論

更新日：2026/05/19 15:14:52

開講年度	2026	開講期	前期	ナンバリング	CM101
担当教員	高以良 結衣				

配当	学部/学科	短期大学 長崎短期大学 保育学科			
	配当年	単位	科目必選区分	授業形態	
	1年	2	必修	演習	
アクティブラーニングの類型	①発見学習（事実を発見する過程から学習者に体験させる手法）				<input checked="" type="checkbox"/>
	②問題解決学習（PBL：自ら問題を発見し解決する能力を養うことを目的とした教育法）				<input checked="" type="checkbox"/>
	③体験学習（実際の活動体験を通して学ぶことを狙った学習形態）				<input checked="" type="checkbox"/>
	④調査学習（課題について調査し結論をまとめる学習法）				<input checked="" type="checkbox"/>
	⑤グループ・ディスカッション（議論まで）				<input checked="" type="checkbox"/>
	⑥ディベート（特定の論題について、あえて異なる立場に分かれて議論をする手法）				
	⑦グループ・ワーク（議論+成果物（プレゼンなど）				<input checked="" type="checkbox"/>

授業概要

幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領における幼児教育・保育の基本と構造を理解し、子どもの発達や実態に即した保育の展開を学ぶ。子どもの生活を取り巻く社会背景、保育内容の歴史の変遷を学び、保育内容の基本的な考え方を理解する。これらを通して、子ども理解を深め、保育力を高める観察と、記録・保育計画・省察など保育者として必要な知識と技術を身に付けていく。

授業における到達目標

1	子どもにかかわる際の基本的な態度を身につけている
2	保育において重要な専門用語や基本的な考え方を理解し、説明することができる
3	他者と意見を交わし、互いに高め合うことができる
4	内容に関する諸課題の解決を目指して取り組むことができる
5	子どもの発達を支える保育について、学習成果をもとに考えを述べるることができる
6	保育者に必要な専門性を理解し、意欲的に学習できる

評価方法

資質・能力	授業における到達目標（番号のみ記載）	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力	1	授業内レポート	10%
確かな専門的知識や技能	2	定期試験	60%
コミュニケーション能力	3	グループワーク 授業での発表	10%
課題解決能力	4	授業内レポート	10%
主体的に学ぶ力	5,6	確認試験	10%
合計			100%

補足事項

- ・本授業は面接授業を基本とするが、状況によってオンライン等で行う場合がある。
- ・本授業では、授業内レポート20%、定期試験60%、グループワークや授業での発表10%、確認試験10%の割合で評価する。
- ・授業に関する質問は、直接またはメールでも受け付け、個別または授業の際に回答する。
- ・授業開始から15分以上経過しての遅刻、また授業中の離席が15分を超えた場合は欠席とする。遅刻3回で1回の欠席とみなす。

授業計画

	授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1	1回目	「保育内容とは何か」 ・授業の進め方について確認する。 ・保育内容と保育の基本を学ぶ。	面接授業	予習：教科書pp.3-15を読んでおく。(2時間) 復習：授業を振り返り、重点と考えをまとめる。(2時間)
2	2回目	「保育内容の捉え方」 ・幼稚園教育要領等について学ぶ。 ・5領域の考え方や「ねらい及び内容」、保育における「養護」の重要性を理解する。	面接授業	予習：教科書pp.19-30を読んでおく。(2時間) 復習：授業を振り返り、重点と考えをまとめる。(2時間)
3	3回目	「子ども理解と評価の考え方」 ・子どもを「主体的な学び手」として捉える視点を学ぶ。 ・主体的な学びを生み出す保育、それを支える評価について理解する。	面接授業	予習：教科書pp.33-49を読んでおく。(2時間) 復習：授業を振り返り、重点と考えをまとめる。(2時間)

4	4回目	「指導計画の作成の理解」 ・保育における計画の必要性を理解する。 ・PDCAサイクルを活用し、省察の方法について学ぶ。	面接授業	予習：教科書pp.53-69を読んでおく。(2時間) 復習：授業を振り返り、重点と考えをまとめる。(2時間)
5	5回目	「遊びや生活を通じた学び」 ・保育における観察の視点と記録の意義や記録と保育のつながりについて学ぶ。	面接授業	予習：教科書pp.73-88を読んでおく。(2時間) 復習：授業を振り返り、重点と考えをまとめる。(2時間)
6	6回目	「養護と教育が一体的に展開する保育」 ・幼児教育・保育における養護と教育の関係を理解し、養護と教育が一体的に展開する保育について考える。	面接授業	予習：教科書pp.91-102を読んでおく。(2時間) 復習：授業を振り返り、重点と考えをまとめる。(2時間)
7	7回目	「子どもの主体性を尊重する保育」 ・アクティブ・ラーニングの視点について学ぶ。 ・主体性を育む環境構成について考える。	面接授業	予習：教科書pp.105-117を読んでおく。(2時間) 復習：授業を振り返り、重点と考えをまとめる。(2時間)
8	8回目	「授業の振り返りと確認試験」	面接授業	これまでの授業の復習をしておく。(4時間)
9	9回目	「環境を通して行う保育」 ・環境を通して行う教育・保育の意義を理解し、環境構成と保育の展開について考える。 遊びの本質を捉え、幼児教育・保育における遊びの実際や課題を考える。	面接授業	予習：教科書pp.121-137を読んでおく。(2時間) 復習：授業を振り返り、重点と考えをまとめる。(2時間)
10	10回目	「個と集団の育ちを支える保育」 ・指針・要領等を基に、個と集団の発達を理解する。 生活と発達の関係性を理解し、生活と発達の連続性を踏まえた保育を考える。	面接授業	予習：教科書pp.141-154を読んでおく。(2時間) 復習：授業を振り返り、重点と考えをまとめる。(2時間)
11	11回目	「家庭や地域との連携を踏まえた保育」 ・家庭、地域との連携について理解する。 ・保育や子育て家庭の現状を理解し、それぞれの課題について考える。	面接授業	予習：教科書pp.157-170を読んでおく。(2時間) 復習：授業を振り返り、重点と考えをまとめる。(2時間)
12	12回目	「小学校への接続を踏まえた保育」 ・乳児保育の意義と、保育者として乳児保育に臨む基本的な姿勢について学ぶ。	面接授業	予習：教科書pp.173-189を読んでおく。(2時間) 復習：授業を振り返り、重点と考えをまとめる。(2時間)
13	13回目	「長時間保育、多文化共生の保育」 ・多様な社会の現状と、子どもの人権を踏まえ、幼児期における多文化共生の保育について理解する。	面接授業	予習：教科書pp.193-196を読んでおく。(2時間) 復習：授業を振り返り、重点と考えをまとめる。(2時間)
14	14回目	「特別な配慮を要する子どもの保育」 ・特別な支援を必要とする子どもについて理解し、保育者の関わりや保育を考える。	面接授業	予習：教科書pp.197-208を読んでおく。(2時間) 復習：授業を振り返り、重点と考えをまとめる。(2時間)
15	15回目	「保育の歴史の変遷と社会的背景」 ・保育内容の変遷を振り返りながら、保育内容を構成する原理や原則について理解する。	面接授業	予習：教科書pp.211-228を読んでおく。(2時間) 復習：授業を振り返り、重点と考えをまとめる。(2時間)
16	16回目	定期試験		授業外学修 60時間

その他

科目（教職課程用）	①領域及び保育内容の指導法に関する科目	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	②保育内容の指導法	
数値・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項	データを読む・説明する・扱う,社会で活用されているデータ	
教科書	【教科書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【教科書】ISBN
	渡邊英則・大豆生田啓友編著(2020)『新しい保育講座④ 保育内容総論』ミネルヴァ書房	9.78462E+12
参考書	【参考書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【参考書】ISBN
	令和5年度最新版 幼児期までのこどもの育ちに係る基本的なビジョン 幼稚園教育要領 保育所保育指針 幼保連携型認定こども園教育・保育要領<原本>チャイルド本社	
履修条件		

履修上の注意	
オフィスアワー	研究室在室中はいつでも対応する。
備考・メッセージ	

保育内容演習Ⅰ（健康）

更新日：2026/05/19 15:14:53

開講年度	2026	開講期	後期	ナンバリング	CM202
担当教員	中尾 健一郎				

配当	学部/学科	短期大学 長崎短期大学 保育学科			
	配当年	単位	科目必選区分	授業形態	
	1年	1	選択	演習	

アクティブラーニングの類型	①発見学習（事実を発見する過程から学習者に体験させる手法）	
	②問題解決学習（PBL：自ら問題を発見し解決する能力を養うことを目的とした教育法）	
	③体験学習（実際の活動体験を通して学ぶことを狙った学習形態）	<input checked="" type="checkbox"/>
	④調査学習（課題について調査し結論をまとめる学習法）	
	⑤グループ・ディスカッション（議論まで）	<input checked="" type="checkbox"/>
	⑥ディベート（特定の論題について、あえて異なる立場に分かれて議論をする手法）	
	⑦グループ・ワーク（議論+成果物（プレゼンなど））	<input checked="" type="checkbox"/>

授業概要

「領域『健康』に関する専門的事項」として「保育内容『健康』の指導法」について、「子どもの健康と運動」との関係を中心に環境構成や教材等の実践例を参考に専門的事項や理論を踏まえた根拠に基づく指導ができるよう以下を目標にして知識や技術を学ぶ。

- ①子どもの健康と運動との関係について理解する
- ②子どもの体力・運動能力の現状と課題について理解する
- ③運動遊びの指導及び日常生活における身体活動について理解する
- ④子どもの運動に関する安全教育・安全管理について理解する
- ⑤子どもの健康と運動に関する指導場面を想定した保育を構想する方法を理解する

授業における到達目標

1	領域「健康」における運動の位置づけについて説明できる
2	子どもの体力・運動能力の現状と課題について説明できる
3	子どもの運動に関する安全教育・安全管理について説明できる
4	運動遊びの指導のポイントについて理解し、運動遊びの計画を立案できる
5	保育者を目指す者として、健康を意識し積極的な学習ができる

評価方法

資質・能力	授業における到達目標（番号のみ記載）	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力			
確かな専門的知識や技能	1,2,3	定期試験	30%
コミュニケーション能力			
課題解決能力	4	定期試験	30%
主体的に学ぶ力	5	リフレクションカード 授業への参加・態度	20% 20%
合計			100%

補足事項

オンライン・オンデマンド配信授業については、課題提出で出席とみなす
 毎回、googleclassroom等を使って、授業のポイント、意見質問、授業態度の自己評価をリフレクションカードとして提出すること
 リフレクションカードの意見・質問はgoogleclassroom等や授業内にてコメントする。
 定期試験(レポート)60%、リフレクションカード20%、授業への参加・態度20%の割合で評価する
 【面接授業における遅刻、早退、欠席について】
 授業開始15分までを遅刻とし、それ以降は欠席とする。また、早退については75分間授業を受けていない場合は欠席とする。遅刻3回で1回の欠席としてカウントする

授業計画

	授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1		「オリエンテーション・領域「健康」における運動の位置づけについて」 本科目の位置づけ、到達目標や授業内容、評価方法について学ぶ	面接授業：教室での講義 (オンライン等の対応可能)	予習：シラバスに目を通しておく(0.5時間) 復習：配布資料を参考に領域「健康」における運動の位置づけについて復習する(0.5時間)

2	「子どもの運動に関する安全教育・安全管理について」 子どもの運動場面における安全教育と安全管理について学ぶ	面接授業：教室での講義 (オンライン等の対応可能)	予習：安全教育・管理について調べる これまでの授業内容について配布資料を参考に振り返っておく(0.5時間) 復習：配布資料を参考に安全教育・管理について復習する(0.5時間)
3	「運動遊びに関わる指導について」 幼児期運動能力検査による運動能力の測定評価方法の実践を通して、子どもの運動能力の特徴について学ぶ	面接授業：体育館での実技	予習：子どもの運動能力の現状について調べる(0.5時間) 復習：配布資料を参考に運動能力検査の方法について復習する(0.5時間)
4	「運動遊びに関わる指導について」 ネイチャーゲームの体験を通して自然環境を利用した遊びについて学ぶ①	面接授業：体育館または屋外での実技	予習：自然環境でどのような遊びを体験してきたか振り返る(0.5時間) 復習：ネイチャーゲームのポイントについてまとめる(0.5時間)
5	「運動遊びに関わる指導について」 移動系の運動遊びの体験を通して環境構成と指導のポイントについて学ぶ	面接授業：体育館での実技	予習：体験したことのある鬼ごっこ遊びを振り返る(0.5時間) 復習：移動系の運動遊びのポイントについてまとめる(0.5時間)
6	「運動遊びに関わる指導について」 平衡系の運動遊びの体験を通して環境構成と指導のポイントについて学ぶ	面接授業：体育館での実技	予習：体験したことのある鉄棒、平均台、跳び箱等を使った遊びを振り返る(0.5時間) 復習：平衡系の運動遊びの環境構成と指導のポイントについてまとめる(0.5時間)
7	「運動遊びに関わる指導について」 操作系の運動遊びの体験を通して環境構成と指導のポイントについて学ぶ	面接授業：体育館での実技	予習：体験したことのある用具を使った遊びについて振り返る(0.5時間) 復習：操作系の運動遊びの環境構成と指導のポイントについてまとめる(0.5時間)
8	「運動遊びの計画と発表 1」 サーキット遊びをグループで計画する	面接授業：教室での講義 (オンライン等の対応可能)	予習：サーキット遊びについて調べておく(0.5時間) 復習：サーキット遊びの留意点についてまとめる(0.5時間)
9	「運動遊びの計画と発表 2」 企画したサーキット遊びを発表し、評価する	面接授業：体育館の実技	予習：企画した内容を確認しておく(0.5時間) 復習：実施した内容を振り返り、改善点を見つける(0.5時間)
10	「運動遊びに関わる指導について」 パラバルーンの体験を通して環境構成と指導のポイントについて学ぶ	面接授業：体育館の実技	予習：パラバルーンを使った遊びについて知ら調べておく(0.5時間) 復習：パラバルーンの環境構成と指導のポイントについてまとめる(0.5時間)
11	「運動遊びの計画と発表 3」 パラバルーン遊びをグループで計画する①	面接授業：体育館の実技	予習：パラバルーン遊びについて調べておく(0.5時間) 復習：パラバルーン遊びの留意点についてまとめる(0.5時間)
12	「運動遊びの計画と発表4」 パラバルーン遊びをグループで計画する①	面接授業：体育館の実技	予習：パラバルーン遊びについて調べておく(0.5時間) 復習：パラバルーン遊びの留意点についてまとめる(0.5時間)
13	「運動遊びの計画と発表 5」 パラバルーン遊びを発表し、評価する	面接授業：体育館の実技	予習：企画した内容を確認しておく(0.5時間) 復習：実施した内容を振り返り、改善点を見つける(0.5時間)
14	「運動遊びの計画と発表6」 運動会種目をグループで計画する①	面接授業：教室での講義 (オンライン等の対応可能)	予習：運動会種目について調べておく(0.5時間) 復習：運動会企画の留意点についてまとめる(0.5時間)
15	「運動遊びの計画と発表 7」 企画した運動会種目の内容を発表し、評価する	面接授業：体育館での実技	予習：企画した内容を確認しておく(0.5時間) 復習：実施した内容を振り返り、改善点を見つける(0.5時間)
16			授業外学修 15時間

その他

科目（教職課程用）	①領域及び保育内容の指導法に関する科目	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	②保育内容の指導法	
数値・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項	データを読む・説明する・扱う,社会で活用されているデータ	
教科書	【教科書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【教科書】ISBN
	必要に応じて資料を配布する	

	【参考書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【参考書】ISBN
参考書	乳幼児教育・保育シリーズ 保育内容 健康／吉田伊津美 砂川史子 松寄洋子編著(2018) 光生館 幼児期における運動発達と運動遊びの指導／杉原 隆／河邊貴子編著(2014) ミネルヴァ書房	9784332701842 9784623070220
履修条件		
履修上の注意	実技の際は、必ず運動ができる服装に着替え、体育館シューズも準備すること（できれば学科指定のジャージ、シューズが望ましい） オンライン授業、または面接授業においてはPC、タブレット（パソコン）等を準備し、対応できるようにすること	
オフィスアワー	質問等は授業の前後に教室にてまたはgoogle classroom等で受け付ける	
備考・メッセージ	保育者を目指す者として自分の健康にも関心も持ち、身体を動かす習慣を身につけ、健康維持に努めること	

保育内容演習Ⅰ（表現音楽活動）

更新日：2026/05/19 15:14:54

開講年度	2026	開講期	前期	ナンバリング	CM302
担当教員	友廣 憲子				

配当	学部/学科	短期大学 長崎短期大学 保育学科			
	配当年	単位	科目必選区分	授業形態	
	2年	1	選択	演習	

アクティブラーニングの類型	①発見学習（事実を発見する過程から学習者に体験させる手法）	
	②問題解決学習（PBL：自ら問題を発見し解決する能力を養うことを目的とした教育法）	
	③体験学習（実際の活動体験を通して学ぶことを狙った学習形態）	<input checked="" type="checkbox"/>
	④調査学習（課題について調査し結論をまとめる学習法）	
	⑤グループ・ディスカッション（議論まで）	
	⑥ディベート（特定の論題について、あえて異なる立場に分かれて議論をする手法）	
	⑦グループ・ワーク（議論+成果物（プレゼンなど））	<input checked="" type="checkbox"/>

授業概要

『幼稚園教育要領』や保育所保育指針に示された教育、養護の基本を踏まえ、幼児の発達や学習の過程を考慮できる保育者としての資質を養う。幼児の身体的発達、音楽的感性の育ちなどの理解を踏まえつつ、その年齢や発達段階に合った遊びや表現の技法を学ぶ。手あそび、絵かき歌、歌あそび、リズムあそび、リトミック、身体表現など、具体的な指導において活用できる表現技法の基礎を身につけるとともに、そうした表現技法を組み込んだ表現作品を制作、発表する。

授業における到達目標

1	年齢や発達段階に合った遊びや表現の技法を理解することができる。
2	手あそび、絵かき歌、歌あそび、リズムあそび、身体表現、リトミックを理解することができる。
3	具体的に活用できる表現技法の基礎を身につけることができる。
4	表現技法を組み込んだ表現作品を制作、発表することができる。

評価方法

資質・能力	授業における到達目標（番号のみ記載）	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力			
確かな専門的知識や技能	3	実技発表 ①音楽絵本の発表 ②表現活動発表	30% 30%
コミュニケーション能力	4	仲間とコミュニケーションを取りながら活動できる	5%
課題解決能力	2	課題に向けて取り組むことができる	5%
主体的に学ぶ力	1	演習活動に対する意欲	30%
合計			
補足事項			

授業計画

	授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1	1	授業の進め方、評価方法を説明する。世界の音楽教育メソッドについて知る。	対面授業	世界の音楽教育について調べておく。予習30分 本日の授業について読み込む。復習30分
2	2	手で奏でる活動1 手あそび・手話の歌	対面授業	手で奏でる活動について調べる。予習30分 本日の授業について読み込む。復習30分
3	3	手で奏でる活動2 手あそび・手話の歌	対面授業	手で奏でる活動について調べる。予習30分 本日の授業について読み込む。復習30分
4	4	歌う活動①～童謡を使った活動	対面授業	歌う活動について調べる。予習30分 本日の授業について読み込む。復習30分
5	5	歌う活動②～童謡を使った活動、絵かき歌	対面授業	絵かき歌について調べる。予習30分 本日の授業について読み込む。復習30分
6	6	リトミック①(リズム活動)	対面授業	リトミックについて調べる。予習30分 本日の授業について読み込む。復習30分
7	7	リトミック②(リズム活動)	対面授業	リトミックについて調べる。予習30分 本日の授業について読み込む。復習30分
8	8	オルフ・コダーイの音楽活動	対面授業	オルフ・コダーイ音楽活動について調べる。予習30分 本日の授業について読み込む。復習30分

9	9	身体表現	対面授業	身体表現について調べる。予習30分 本日の授業について読み込む。復習30分
10	10	絵本と音楽①～絵本と音楽の関係について考え、絵本に音・音楽をつける（ICTの活用）	対面授業	音楽絵本について調べる。 予習30分 本日の授業について確認 復習30分
11	11	第9回 絵本と音楽②～絵本に音・音楽をつけながらの読み聞かせの発表（ICTの活用）	実技発表	音楽絵本について調べる。 予習30分 本日の授業について確認 復習30分
12	12	合奏をしよう①～童謡曲で楽器合奏をしよう。	対面授業	楽器について調べる。 予習30分 本日の授業について確認 復習30分
13	13	合奏をしよう②～リズムあそびを考えてみよう	対面授業	リズムあそびについて調べる。 予習30分 本日の授業について確認 復習30分
14	14	表現活動① グループ活動	対面授業	表現活動について調べる 予習30分 本日の授業について練習 復習30分
15	15	表現活動② グループ発表	実技発表	表現活動について調べる 予習30分 本日の授業について練習 復習30分
16				授業外学修 15時間

その他

科目（教職課程用）	①領域及び保育内容の指導法に関する科目	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	②保育内容の指導法	
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項	データ・AIの活用領域	
教科書	【教科書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【教科書】ISBN
	資料(プリント)を配布します。	
参考書	【参考書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【参考書】ISBN
	保育者のための表現あそび 若谷啓子編 2023年 大学図書出版	978-4-909655-70-7
履修条件	(1) 受講時の基本姿勢（マナー） 受講時は、私語を慎み、授業に集中すること。 (2) 遅刻・欠席・早退の扱い 遅刻・早退の場合は申し出ること。15分を超える遅刻は欠席とし、20分を超える早退は欠席扱いとする。欠席した場合は、配布資料等を受け取ること。 (3) 課題や発表について 課題の発表や提出の期日を厳守すること。	
履修上の注意		
オフィスアワー	授業の前後で対応します。	
備考・メッセージ		

保育内容演習Ⅰ（表現造形活動）

更新日：2026/05/19 15:14:55

開講年度	2026	開講期	前期	ナンバリング	CM303
担当教員	陣内 敦				

配当	学部/学科	短期大学 長崎短期大学 保育学科			
	配当年	単位	科目必選区分	授業形態	
	2年	1	選択	演習	

アクティブラーニングの類型	①発見学習（事実を発見する過程から学習者に体験させる手法）	
	②問題解決学習（PBL：自ら問題を発見し解決する能力を養うことを目的とした教育法）	
	③体験学習（実際の活動体験を通して学ぶことを狙った学習形態）	<input checked="" type="checkbox"/>
	④調査学習（課題について調査し結論をまとめる学習法）	
	⑤グループ・ディスカッション（議論まで）	
	⑥ディベート（特定の論題について、あえて異なる立場に分かれて議論をする手法）	
	⑦グループ・ワーク（議論+成果物（プレゼンなど））	<input checked="" type="checkbox"/>

授業概要

- ①保育現場における造形活動のねらいと内容を理解する 造形活動による幼児の発達について理解する 造形活動における人間関係の構築について考察する
 ②幼児の造形の目的を理解する 幼児の造形の喜びを理解する 望ましい幼児の造形活動を計画する
 ③造形活動を活性化させる保育者の役割を考察する 年齢に応じた事前準備を理解する 対象児と場に応じた環境構成を理解する
 ④幼児の思考の展開を促す支援内容を理解する 幼児の安全な活動を支える支援方法を理解する 子ども達の状況や発達に望ましい造形活動のあり方を考察する
 ⑤保育教材の役割を理解する 保育教材の考案法を理解する 保育教材を用いた保育実践をおこなう

授業における到達目標

1	・幼児の造形活動を計画する方法を習得する
2	・幼児の造形活動を支える事前準備と環境構成について理解する
3	・幼児の造形活動に対する保育者の支援内容（指導法）を修得する
4	・幼児の造形活動についての重要性を理解する
5	・保育の様々な活動を支える造形の役割を体験する

評価方法

資質・能力	授業における到達目標（番号のみ記載）	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力	1		
確かな専門的知識や技能	2	作品の成果	80%
コミュニケーション能力	3	学修の取り組み	20%
課題解決能力	4		
主体的に学ぶ力	5		
合計			100%
補足事項			

授業計画

	授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1	1	はじめに 手づくりおもちゃ① 子どもとの造形活動のねらいと内容についてのイントロダクション 身近な材料（紙コップ）で手づくりおもちゃを制作する「紙コップのおもちゃ」 ※課題提出方法ならびに提出日は別途指示する	面接授業	予習：造形のねらいと内容について、自分なりの考えを持つ（2時間） 復習：造形の意義について確認する（2時間）
2	2	小さな自然観察 近所を散策し、子どもの視点で自然を観察する。草花や虫などを写真に撮り、感想をまとめる「小さな自然観察レポート」 ※課題提出方法ならびに提出日は別途指示する	面接授業	予習：子どもの自然に触れる様子についてイメージしておく（2時間） 復習：自然の豊かさに関心を持つ（2時間）
3	3	手づくりおもちゃ② 丸いうちわの材料を用いて手づくりおもちゃを制作する「いないいないばあ！orへんし〜ん！」 ※課題提出方法ならびに提出日は別途指示する	面接授業	予習：子どもたちが遊ぶ様子をイメージしていく（2時間） 復習：子どもの発達と遊方について考える（2時間）

4	4	手づくりおもちゃ③ 「紙コップのおもちゃ」の発表 紙皿を用いて手づくりおもちゃを制作する 「皿コプター」 ※課題提出方法ならびに提出日は別途指示する	面接授業	予習：子どもたちが遊ぶ様子をイメージしていく（2時間） 復習：子どもの発達と遊び方について考える（2時間）
5	5	手づくりおもちゃ④ 「小さな自然観察レポート」の掲示発表 ジャバラに折った画用紙を用いて手づくりおもちゃを制作する「パクパクおもちゃ」 ※課題提出方法ならびに提出日は別途指示する	面接授業	予習：子どもたちが遊ぶ様子をイメージしていく（2時間） 復習：子どもの発達と遊び方について考える（2時間）
6	6	フィールドマップ① 自分の思い出の場所や現在の生活地域の地図を制作する「フィールドマップ」	面接授業	予習：周辺の風景を概観しておく（2時間） 復習：学生それぞれの感性（2時間）
7	7	フィールドマップ② 自分の思い出の場所や現在の生活地域の地図を制作する「フィールドマップ」	面接授業	予習：場の中にある思い出や想いを記録する（2時間） 復習：子どもの場に対する感性を想像する（2時間）
8	8	想像あそび 切り紙とらくがきを組み合わせたあそび 「これなんだ」 ※課題提出方法ならびに提出日は別途指示する	面接授業	予習：子どもの発想についてイメージしてみる（2時間） 復習：子どもの想像性について考える（2時間）
9	9	粘土あそび 「フィールドマップ」の発表 粘土あそびをして、子どもの心の動きを知る ※課題提出方法ならびに提出日は別途指示する	面接授業	予習：子どもの頃の粘土遊びの様子を思い出す（2時間） 復習：創造性や癒しの大切さについて考える（2時間）
10	10	手づくりおもちゃ⑤-1 ダンボールとプラネジを用い手作りおもちゃを制作する「くねくねペープサート」 ※課題提出方法ならびに提出日は別途指示する	面接授業	予習：これからおこなう保育の場面を想定する（2時間） 復習：子どもとの語らいの中での遊びの展開を考える（2時間）
11	11	手づくりおもちゃ⑤-2 ダンボールとプラネジを用い手作りおもちゃを制作する「くねくねペープサート」 ※課題提出方法ならびに提出日は別途指示する	面接授業	予習：これからおこなう保育の場面を想定する（2時間） 復習：子どもとの語らいの中での遊びの展開を考える（2時間）
12	12	造形材料探索 小石と木っ端の収集	面接授業	予習：子どもが様々な物を収集する好奇心についてイメージしておく（2時間） 復習：自然物の形や手触りや形のおもしろさに関心を持つ（2時間）
13	13	石ころアート 収集した小石にペイント「石ころアート」 ※課題提出方法ならびに提出日は別途指示する	面接授業	予習：収集した物をしっかりと見つめ、想像性を働かせる（2時間） 復習：子どもの想像性について考える（2時間）
14	14	木の工作① 収集した木っ端を用いて工作する「木の工作」	面接授業	予習：収集した物をしっかりと見つめ、想像性を働かせる（2時間） 復習：子どもの想像性について考える（2時間）
15	15	木の工作② 「木の工作」 まとめ ※課題提出方法ならびに提出日は別途指示する	面接授業	予習：保育に携わる心の準備をおこなう（2時間） 復習：自らの造形支援方法について反省をおこなう（2時間）
16				授業外学修 60時間

その他

科目（教職課程用）	①領域及び保育内容の指導法に関する科目	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	②保育内容の指導法	
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項		
教科書	【教科書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【教科書】ISBN
参考書	【参考書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など 参考書：幼稚園教育要領 保育所保育指針 幼保連携型認定こども園教育・保育要領	【参考書】ISBN
履修条件	特になし	
履修上の注意	自らの創造力を活性化させるよう、感性を磨くことに心掛けること。	
オフィスアワー	授業時間前後に教室で質問を受け付ける。任意に研究室を訪ね質問することも可能である。	
備考・メッセージ	課題ごとの材料と道具は、一括購入する物と各自準備する物との別があり、事前連絡に留意すること。 また、課題ごとに設けた作品提出期限を厳守すること。	

保育内容演習Ⅰ（人間関係）

更新日：2026/05/19 15:14:57

開講年度	2026	開講期	後期	ナンバリング	CM401
担当教員	下池 洸史朗				

配当	学部/学科	短期大学 長崎短期大学 保育学科			
	配当年	単位	科目必選区分	授業形態	
	2年	1	選択	演習	

アクティブラーニングの類型	①発見学習（事実を発見する過程から学習者に体験させる手法）	
	②問題解決学習（PBL：自ら問題を発見し解決する能力を養うことを目的とした教育法）	
	③体験学習（実際の活動体験を通して学ぶことを狙った学習形態）	
	④調査学習（課題について調査し結論をまとめる学習法）	
	⑤グループ・ディスカッション（議論まで）	<input checked="" type="checkbox"/>
	⑥ディベート（特定の論題について、あえて異なる立場に分かれて議論をする手法）	<input checked="" type="checkbox"/>
	⑦グループ・ワーク（議論+成果物（プレゼンなど）	<input checked="" type="checkbox"/>

授業概要

この授業では、人間関係の基盤を築いていく乳幼児期において、子どもたちがいかにして人や環境とかかわりながら、人間関係を形成していき、その中でどのような体験を経験することが必要なのかということについて考えてもらいます。また子どもは、乳幼児期からの他者とのかかわりやつながりを通して、さまざまな知識や技能、態度を身につけていきます。このような子どもの育ちを支える保育者としての専門的な知識や関わり、環境構成の視点を養うことを目指します。この授業が終了した際に、受講者のみなさんが次のような知識、技能、態度を身につけることを目標とします。

- ①乳幼児期の教育及び保育に関する基本的な知識を説明できる。
- ②乳幼児期の「人間関係」に関連する子どもの発達について説明できる。
- ③乳幼児期の子どもと他者（子ども・保育者）との関係性を「人間関係」の視点で考察することができる。
- ④子どもの遊びから子どもの他者とのやりとりにおける心情・意欲・態度について整理・考察することができる。
- ⑤乳幼児期の人間関係の形成を援助する保育者としての自己理解と向上心を持って課題に取り組むことができる。

授業における到達目標

1	子どもの人間関係を中心とした発達についての基本的な知識を説明できる
2	乳幼児期の子どもと他者(子ども・保育者)との関係を「人間関係」の視点で考察することができる。
3	子どもの遊びから子どもの他者とのやり取りにおける心情・意欲・態度について整理・考察することができる。
4	乳幼児期の人間関係の形成を援助する保育者としての自己理解と向上心を持って課題に取り組むことができる。

評価方法

資質・能力	授業における到達目標（番号のみ記載）	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力			
確かな専門的知識や技能	①	定期試験	60%
コミュニケーション能力	②	ディスカッション	10%
課題解決能力	③	課題・レポート	20%
主体的に学ぶ力	④	参加・取り組み	10%
合計			100%

補足事項

授業に関する質問は、直接のほか Google classroom でも受け付け、Web上または授業回で答える
 本授業は、定期試験60%、ディスカッション10%、課題・レポート10%、参加・取り組み10%の割合で評価する。
 事例作成は、MicrosoftのWordを使用して作成し、提出すること。
 各授業で出された課題について、授業終了時に回収します。また、課題の内容については、授業内で取り扱います。

授業計画

	授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1	1回目	オリエンテーション 事例を通した学び（作成）①	面接授業	予習：教科書を通読しておく。（1時間） 復習：配布された課題に取り組む。（1時間）
2	2回目	これからの子どもたちに求められる保育と「人間関係」	面接授業 オンライン授業対応可	予習：教科書P10-39を通読しておく。（1時間） 復習：授業内で配布された資料で復習する。（1時間）
3	3回目	子どもの人間関係をめぐる課題と将来像	面接授業 オンライン授業対応可	予習：教科書P40-50を通読しておく。（1時間） 復習：授業内で配布された資料で復習する。（1時間）
4	4回目	子どもの人間関係①—おおむね0歳から3歳未満—	子どもの人間関係①—おおむね0歳から3歳未満—	予習：教科書P51-73を通読しておく。（1時間） 復習：授業内で配布された資料を復習する。（1時間）
5	5回目	子どもの人間関係①—おおむね0歳から3歳未満—	面接授業 オンライン授業対応可	予習：教科書P51-73を通読しておく。（1時間） 復習：授業内で配布された資料で復習する。（1時間）

6	6回目	子どもの人間関係②—おおむね3歳以上—	面接授業 オンライン授業対応可	面接授業 オンライン授業対応可
7	7回目	子どもの人間関係②—おおむね3歳以上—	面接授業 オンライン授業対応可	予習：教科書P74-87を通読する。(1時間) 復習：授業内で配布された資料で復習する。(1時間)
8	8回目	遊びと人間関係の発達	面接授業 オンライン授業対応可	予習：教科書P88-99を通読する。(1時間) 復習：授業内で配布された資料で復習する。(1時間)
9	9回目	事例を通した学び(作成)②	面接授業 オンライン授業対応可	予習：指定された課題に取り組む。(1時間) 復習：指定された課題に取り組む(1時間)
10	10回目	保育者に求められるもの	面接授業 オンライン授業対応可	予習：教科書P100-112を通読する。(1時間) 復習：授業内で配布された資料で復習する。(1時間)
11	11回目	保育者に求められる援助の視点①—自立に向けて—	面接授業 オンライン授業対応可	予習：教科書P113-135を通読する。(1時間) 復習：授業内で配布された資料で復習する。(1時間)
12	12回目	保育者に求められる援助の視点②—協同に向けて—	面接授業 オンライン授業対応可	予習：教科書P136-152を通読する。(1時間) 復習：授業内で配布された資料で復習する。(1時間)
13	13回目	事例を通した学び(検討)③	面接授業	予習：指定された課題に取り組む。(1時間) 復習：課題の振り返りを行う。(1時間)
14	14回目	人間関係を結ぶ保育	面接授業 オンライン授業対応可	予習：教科書P153-170を通読する。(1時間) 復習：授業内で配布された資料で復習する。(1時間)
15	15回目	授業全体の総括	面接授業 オンライン授業対応可	予習：教科書P200-212を通読する。(1時間) 復習：授業内で配布された資料で復習する。(1時間)
16	16回目	定期試験		授業外学修時間 30時間

その他

科目(教職課程用)	①領域及び保育内容の指導法に関する科目	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	②保育内容の指導法	
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項		
教科書	【教科書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【教科書】ISBN
	保育内容 人間関係[第2版](新時代の保育双書) 濱名 浩(編集) みらい	978-4-86015-445-5
参考書	【参考書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【参考書】ISBN
	幼稚園教育要領, 保育所保育指針, 幼保連携型認定こども園教育・保育要領とその解説	978-4-8054-0330-3
履修条件		
履修上の注意		
オフィスアワー	授業時間後の時間もしくは教員の空き時間等に対応します(研究室)	
備考・メッセージ	授業を受講するにあたり、他の受講者の権利を阻害する行為、もしくは受講する学生としての規範を逸脱する行為を行った場合は厳しく対応を行います。	

保育内容演習Ⅰ（環境）

更新日：2026/05/19 15:14:58

開講年度	2026	開講期	前期	ナンバリング	CM304
担当教員	黒崎 朗				

配当	学部/学科	短期大学 長崎短期大学 保育学科			
	配当年	単位	科目必選区分	授業形態	
	2年	1	選択	演習	

アクティブラーニングの類型	①発見学習（事実を発見する過程から学習者に体験させる手法）	<input checked="" type="checkbox"/>
	②問題解決学習（PBL：自ら問題を発見し解決する能力を養うことを目的とした教育法）	
	③体験学習（実際の活動体験を通して学ぶことを狙った学習形態）	<input checked="" type="checkbox"/>
	④調査学習（課題について調査し結論をまとめる学習法）	
	⑤グループ・ディスカッション（議論まで）	
	⑥ディベート（特定の論題について、あえて異なる立場に分かれて議論をする手法）	
	⑦グループ・ワーク（議論+成果物（プレゼンなど））	<input checked="" type="checkbox"/>

授業概要

- ①幼児にとっての環境のとらえ方、環境の変化と幼児の生活、変化した環境と保育問題について、課題意識を持つことができる。
- ②環境との関わり方や保育者に必要な資質と配慮について理解し、授業設定の知識や能力の素地を育てる。
- ③季節や身の回りの変化に関心を持ち、自然のものを使った遊びや作品づくり、動物の飼育や植物の栽培に積極的に関わることができる。
- ④幼児期の環境活動の重要性を理解し、将来の保育者として主体的に学び続ける意欲を養う。

授業における到達目標

1	将来の保育者として誠意を持って幼児に関わる心構えを育てる
2	幼児の置かれている環境について理解し、教育的観点から望ましい園環境を理解することができる
3	身近な環境に親しみ、自然の様々な事象に興味を持ち、積極的に関わることができる
4	様々な意見・アイデアを取り入れながら、グループ活動に積極的に取り組むことができる
5	幼児の置かれている現状をつかみ、解決に向けた取り組みを話し合うことができる
6	主体的に実習や演習に関わろうとする意欲を養う

評価方法

資質・能力	授業における到達目標（番号のみ記載）	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力	1		
確かな専門的知識や技能	2,3	定期試験 課題の提出物	60% 20%
コミュニケーション能力	4		
課題解決能力	5	レポート	20%
主体的に学ぶ力	6		
合計			100%

補足事項

授業の中で PC の活用を推進する。（野草の名前、野菜の栽培の様子、科学遊びの検索 等）
Google classroom、Gmail の効果的な活用を行っていく
課題のフィードバックは授業内または Google Classroom で行う。

授業計画

	授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1	1回目	オリエンテーション 授業の進め方についての説明 夏野菜を栽培について	面接授業	予習：シラバスを見て、講義の流れを把握しておく（2時間） 復習：プランターで栽培する作物を決め、準備する（2時間）
2	2回目	（第1章） 領域「環境」の意義 幼児が「環境とかかわる」ことの意味と意義について学ぶ	面接授業	予習：幼児の発達と環境の関係について調べておく（2時間） 復習：配布資料に目を通し、理解できなかったところを調べる（2時間）
3	3回目	（第2章） 幼児の発達と環境 幼児期の発達特性を踏まえての環境がもつ意味について	面接授業	予習：保育内容の5分野について確認しておく（2時間） 復習：配布資料に目を通し、理解できなかったところを調べる（2時間）

4	4回目	実習 自然に学ぶ 春の草花で遊ぶ 春の野原の散策・昆虫等の観察と採集	面接授業	予習：春の野草や昆虫についてネットで調べておく(2時間) 復習：春の草花で遊ぶ(2時間)
5	5回目	(第3章) 幼児の発達と自然環境① 保育における動植物の役割	面接授業	予習：飼育栽培活動における保育者の役割について調べておく(2時間) 復習：配布資料に目を通し、理解できなかったところを調べる(2時間)
6	6回目	(第3章) 幼児の発達と自然環境② 保育における動植物の役割・動植物の生き方、育ち方を知ろう	面接授業	予習：飼育栽培活動における保育者の役割について調べておく(2時間) 復習：配布資料に目を通し、理解できなかったところを調べる(2時間)
7	7回目	(第4章) 幼児の発達と園の環境① 園内環境が発達に及ぼす影響について考える	面接授業	予習：園内環境保育者の役割と専門性について調べておく(2時間) 復習：配布資料に目を通し、理解できなかったところを調べる(2時間)
8	8回目	(第4章) 幼児の発達と園の環境② 環境による教育の実践について 七夕について	面接授業	予習：七夕について調べておく(2時間) 復習：配布資料に目を通し、理解できなかったところを調べる(2時間)
9	9回目	(第5章) 人的環境としての友だち・保育者の役割 保育者の役割と専門性について考える	面接授業	予習：保育者の役割と専門性について調べておく(2時間) 復習：配布資料に目を通し、理解できなかったところを調べる(2時間)
10	10回目	(第7章) 好奇心・興味・関心を育てる環境① 園児に好奇心や関心を持たせる方について作成した作品をもとに話し合う	面接授業	予習：作成した遊具の提示法について考えておく(2時間) 復習：配布資料に目を通し、理解できなかったところを調べる(2時間)
11	11・12回目	演習 「科学遊び」をしよう 紙、ゴム、ストロー、プラスチック容器、(ペットボトル)を使った遊具を作成する	面接授業	予習：「科学遊び」の内容を考えておく(2時間) 復習：「科学遊び」の作品を完成させる(4時間)
12	13回目	(第6章) 幼児の発達と物的環境の役割 園内の物的環境とその働きについて理解する	面接授業	予習：遊びが幼児の発達に与える影響を調べておく(2時間) 復習：配布資料に目を通し、理解できなかったところを調べる(2時間)
13	14回目	(第7章) 好奇心・興味・関心を育てる環境② 園児に好奇心や関心を持たせる方についているいろいろな素材をもとに話し合う	面接授業	予習：栽培活動のまとめ方について考えておく(2時間) 復習：配布資料に目を通し、理解できなかったところを調べる(2時間)
14	15回目	(第8章) これからの幼児教育と課題 幼児を取り巻く問題から保育活動の見直し	面接授業	予習：幼稚園教育実習への抱負についてまとめておく(2時間) 復習：教科書や配布資料に目を通し、定期試験に備える(4時間)
15	16回目	定期試験		授業外学修 60時間

その他

科目(教職課程用)	①領域及び保育内容の指導法に関する科目	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	①領域に関する専門的事項	
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項	データ・AIの活用領域	
教科書	【教科書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【教科書】ISBN
	『保育内容・環境 第三版』横山 文樹編著 同文書院	9.78481E+12
参考書	【参考書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【参考書】ISBN
履修条件		
履修上の注意		
オフィスアワー	授業の前後に対応、Gmailの活用	
備考・メッセージ	様々な活動を通して身近な素材の活用を促していく	

保育内容演習Ⅰ（言葉）令和8（2026）年度不開講

更新日：2026/05/19 15:14:59

開講年度	2026	開講期	後期	ナンバリング	CM203
担当教員	新井 悦子				

配当	学部/学科	短期大学 長崎短期大学 保育学科			
	配当年	単位	科目必選区分	授業形態	
	2	1	選択	演習	

アクティブラーニングの類型	①発見学習（事実を発見する過程から学習者に体験させる手法）	
	②問題解決学習（PBL：自ら問題を発見し解決する能力を養うことを目的とした教育法）	
	③体験学習（実際の活動体験を通して学ぶことを狙った学習形態）	
	④調査学習（課題について調査し結論をまとめる学習法）	
	⑤グループ・ディスカッション（議論まで）	
	⑥ディベート（特定の論題について、あえて異なる立場に分かれて議論をする手法）	
	⑦グループ・ワーク（議論+成果物（プレゼンなど））	

授業概要

- ①言葉の機能・言葉の獲得・発達の基礎を作るものを踏まえ、幼児教育において育みたい資質・能力を理解する。
- ②幼稚園教育要領・保育所保育指針の領域「言葉」のねらいや内容について理解を深める。
- ③幼児の発達に即した初語の頃までの発達の特徴、乳幼児期の発達の特徴および乳幼児期の言葉の発達過程について概観し、主体的・対話的な保育を構想する方法を身に付ける。
- ④幼児期の発達や学びの過程を理解し、遊びの中での関わり方・活動の中での関わり方を学ぶ。
- ⑤絵と言葉の豊かな世界（絵本、紙芝居）、劇や物語（パネルシアター、エプロンシアター、ペープサート等）、想像や言葉のリズム（素話・言葉遊び）を学ぶ。

授業における到達目標

1	言葉の役割、領域「言葉」について理解ができる
2	子どもの言葉の発達と保育者の関わりについて理解ができる
3	言葉を育む児童文化財について知識を持ち、素話などの大切さを理解し、発表できる
4	グループ内で協力をし、手遊び、シアター系、劇遊び等の児童文化財の発表ができる
5	子どもの言葉を育てる環境、児童文化財の大切さを理解し、積極的な学習ができる

評価方法

資質・能力	授業における到達目標（番号のみ記載）	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力			
確かな専門的知識や技能	1,2,3	定期試験 小レポート 個人での発表	60 10 10
コミュニケーション能力	4	グループディスカッション グループでの発表	5 10
課題解決能力			
主体的に学ぶ力	5	授業への参加・態度	5
合計			100
補足事項			
提出物は次回以降の授業にて返却するものもある			

授業計画

	授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1	1回目	「オリエンテーション」 領域「言葉」のねらいと内容言葉とは何か	面接授業	復習 領域「言葉」のねらいと内容に関する学習内容の確認(0.5h) 予習 新生児の持つ力と話し言葉出現以前の行動の確認(0.5h)
2	2回目	「言葉の発達 ①初語のころまで」 新生児の持つ力を知り、話しことば出現以前の行動を知る	面接授業	復習 新生児の持つ力と話し言葉出現以前の行動に関して振り返る(0.5h) 予習 幼児期前期の言葉の発達の特徴についてと、子どもの発語意欲をどのように育てるか考える(0.5h)
3	3回目	「言葉の発達 ②幼児期前期」 幼児期前期の言葉の発達の特徴を知り、子どもの発語意欲をどのように育てるか話し合う	面接授業	復習 幼児期前期の言葉の発達についてと、子どもの発語意欲をどのように育てるかに関する学習内容の確認(0.5h) 予習 幼児期後期の言葉の特徴について知る(0.5h)

4	4回目	「言葉の発達③幼児期後期」 幼児期後期の言葉の発達の特徴を知り、子どもの発語意欲をどのように育てるか話し合う	面接授業	復習 幼児期後期の言葉の発達についてと、子どもの発語意欲をどのように育てるかに関する学習内容の確認(0.5h) 予習 言葉の発達を支える環境について調べる(0.5h)
5	5回目	「言葉の発達④言葉の背景にあるもの」 言葉の発達を支える環境について考える	面接授業	復習 言葉の発達を支える環境について振り返る(0.5h) 予習 子どもとの信頼関係を強める共感の言葉について考える(0.5h)
6	6回目	「子どものことばと保育者」 子どもとの信頼関係を強める共感の言葉について考える	面接授業	復習 子どもとの信頼関係を強める共感の言葉について振り返る(0.5h) 予習 特別な配慮の必要な子どもについて調べる(0.5h)
7	7回目	「子どものことばと保育者」 子どもとの信頼関係を強める共感の言葉について考える	面接授業	復習 援助の仕方や対応の仕方と情報機器等の有効的な活用法について振り返る(0.5h) 予習 わらべうたや手遊びなどについて調べる(0.5h)
8	8回目	「児童文化と内容①歌や触れ合いを楽しむ遊び」 わらべうたや手遊びなどが育てるものについて理解する	面接授業	復習 わらべうたや手遊びなどが育てるものについて振り返る(0.5h) 予習 絵本や紙芝居にはどのようなものがあるか調べる(0.5h)
9	9回目	「児童文化と内容①歌や触れ合いを楽しむ遊び」 わらべうたや手遊びなどが育てるものについて理解する	面接授業	復習 わらべうたや手遊びなどが育てるものについて振り返る(0.5h) 予習 絵本や紙芝居にはどのようなものがあるか調べる(0.5h)
10	10回目	「児童文化と内容②絵と言葉の世界」 絵本や紙芝居は何を育てるか考える	面接授業	復習 絵本や紙芝居が育てるものについて振り返る(0.5h) 予習 パネルシアター、エプロンシアター、ペープサート、人形劇とは何か調べる(0.5h)
11	11回目	「児童文化と内容③劇や物語」 パネルシアター、エプロンシアター、ペープサート、人形劇の実演技術を身につける	面接授業	復習 パネルシアター、エプロンシアター、ペープサート、人形劇の実演について振り返る(0.5h) 予習 素話・言葉遊びについて調べる(0.5h)
12	12回目	「児童文化と内容③劇や物語」 パネルシアター、エプロンシアター、ペープサート、人形劇の実演技術を身につける	面接授業	復習 パネルシアター、エプロンシアター、ペープサート、人形劇の実演について振り返る(0.5h) 予習 素話・言葉遊びについて調べる(0.5h)
13	13回目	「児童文化と内容④想像や言葉のリズム」 素話・言葉遊びの教育的効果について整理し、発表する	面接授業	復習 素話・言葉遊びの教育的効果について振り返る(0.5h) 予習 素話を覚える(0.5h)
14	14回目	「児童文化と内容④想像や言葉のリズム」 素話の発表（語り）をする	面接授業	復習 素話・言葉遊びの教育的効果について振り返る(0.5h) 予習 劇遊びについて調べる(0.5h)
15	15回目	「復習・総まとめ」 これまで学習してきた内容の確認 学習課題	面接授業	復習 これまで学習してきた内容を振り返る(1h)
16	16回目	定期試験		授業外学修 15時間

その他

科目（教職課程用）	①領域及び保育内容の指導法に関する科目	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	②保育内容の指導法	
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項		
教科書	【教科書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【教科書】ISBN
	『保育内容・言葉』 太田光洋 編著 同文書院（前期の「子どもと言語」と同じ教科書）	978-4-8103-1471-7
参考書	【参考書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【参考書】ISBN
	必要に応じて資料を配布 幼稚園教育要領 保育所保育指針 幼保連携型認定子ども園教育・保育要領	
履修条件		
履修上の注意		
オフィスアワー	授業の前後で対応します。	
備考・メッセージ	個人での発表、グループでの討議・発表において、積極的な参加を期待します。	

乳児保育 I

更新日：2026/05/19 15:16:43

開講年度	2026	開講期	3Q/7Q	ナンバリング	CM204
担当教員	戸田 恵理子				

配当	学部/学科	短期大学 長崎短期大学 保育学科			
	配当年	単位	科目必選区分	授業形態	
	1年	2	必修	講義	
アクティブラーニングの類型	①発見学習（事実を発見する過程から学習者に体験させる手法）				<input checked="" type="checkbox"/>
	②問題解決学習（PBL：自ら問題を発見し解決する能力を養うことを目的とした教育法）				<input checked="" type="checkbox"/>
	③体験学習（実際の活動体験を通して学ぶことを狙った学習形態）				
	④調査学習（課題について調査し結論をまとめる学習法）				<input checked="" type="checkbox"/>
	⑤グループ・ディスカッション（議論まで）				<input checked="" type="checkbox"/>
	⑥ディベート（特定の論題について、あえて異なる立場に分かれて議論をする手法）				
	⑦グループ・ワーク（議論+成果物（プレゼンなど））				<input checked="" type="checkbox"/>

授業概要

1. 乳児保育の意義・目的と歴史の変遷及び役割等について理解する。
2. 保育所、乳児院等多様な保育の場における乳児保育の現状と課題について理解する。
3. 3歳未満児の発育・発達を踏まえた保育の内容と運営体制について理解する。
4. 乳児保育における職員間の連携・協働及び保護者や地域の関係機関との連携について理解する。

授業における到達目標

1	乳児の心や体の育ちを丁寧に理解しようとする努力ができる
2	保育所や乳児院における乳児保育の現状を理解し、3歳未満時における乳児保育の役割と機能を理解できる
3	3歳未満児の発育・発達の個人差を理解し、それに応じた知識・技術に基づく援助や関わりができる。
4	グループ活動に積極的に取り組むことができる
5	乳児保育の計画と記録・評価について模擬保育や保育実践の振り返りから課題を明確にできる
6	乳児保育の環境づくりについて理解できる。
7	子どもの発達や学びの過程、子育て支援等に関する様々な事柄に常に問題意識を持ちながら積極的に学ぶことができる

評価方法

資質・能力	授業における到達目標（番号のみ記載）	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力	1	・レポート ・定期試験	10% 10%
確かな専門的知識や技能	2,3	・定期試験	30%
コミュニケーション能力	4	・レポート	5%
課題解決能力	5,6	・レポート ・定期試験	20% 20%
主体的に学ぶ力	7	・レポート	5%
合計			100%
補足事項			
①評価に関しては、定期試験 60% レポート 40% を総合して行う ②オンライン・オンデマンド授業の場合、授業時やGoogle Classroomにて資料の配布・配信を行う ③オンライン授業時は、カメラは基本的に「ON」、発言時以外はマイクは「OFF」で対応する ④レポートに関しては、ドキュメント等に対応する・課題等のフィードバックに関しては、授業時またはGoogle Classroomで行う			

授業計画

	授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1	1回目	乳児保育の意義・目的と歴史の変遷について ・乳児保育の定義について説明できる ・乳児保育の背景や歴史の変遷について説明できる ・乳幼児の教育・保育を行う施設の種類と機能について理解する ・乳児期における養護及び教育の一体性について説明できる	面接授業・オンライン可	予習:内容を確認しておくこと(2時間) 復習:乳幼児の施設について整理する(2時間)

2	2回目	乳児保育および子育て家庭に対する支援をめぐる社会的状況と課題について ・子育て世代を取り巻く社会的状況について説明できる ・乳児保育への関心の高まりと背景について理解する ・乳児保育と子育て支援について説明できる	面接授業・ オンライン可	予習:子育て世代が抱える諸問題について調べておくこと(2時間) 復習:乳児保育のニーズが高まった背景について整理する(2時間)
3	3回目	保育所における乳児保育について ・保育所の位置づけや役割について説明できる ・保育所における乳児保育の現状・課題について説明できる	面接授業・ オンライン可	予習:保育所の役割について確認しておくこと(2時間) 復習:保育所における乳児保育の課題に関連する記事を収集する(2時間)
4	4回目	保育所以外の児童福祉施設(乳児院等)における乳児保育について ・児童福祉施設と乳児保育について説明できる ・乳児院の現状と課題について ・乳児院の勤務について理解する	面接授業・ オンライン可	予習:児童福祉施設の種類について調べておくこと(2時間) 復習:乳児院で生活する子どもを支える保育士の役割について整理する(2時間)
5	5回目	家庭的保育・小規模保育における乳児保育について ・家庭的保育・小規模保育の位置づけの説明ができる ・乳児及び1歳以上3歳未満児の保育の重要性について説明できる	面接授業・ オンライン可	予習:家庭的保育・小規模保育の施設の特徴について理解しておく(2時間) 復習:家庭的保育・小規模保育における保護者との対応の課題を挙げ整理する(2時間)
6	6回目	3歳未満児とその家庭を取り巻く環境と子育て支援の場について ・子育て支援の現状について説明できる ・子ども理解から保護者の理解について説明できる ・地域子育て支援拠点における支援の実際について説明できる	面接授業・ オンライン可	予習:保育所・保育者に対する保護者の多様なニーズに関する記事を収集しておく(2時間) 復習:収集記事を整理する(2時間)
7	7回目	3歳未満児の生活と環境について ・乳児保育における生活の場としての環境の整え方について説明できる ・応答的で豊かな言語環境について理解する	面接授業・ オンライン可	予習:乳児が生活するにふさわしい環境についてまとめておくこと(2時間) 復習:子どもとの個別的・応答的なかわり際の丁寧な声掛けについてまとめておく(2時間)
8	8	3歳未満児の遊びと環境について ・環境を通して行う保育・遊びについて説明できる ・0歳児の遊び環境の安全配慮について説明できる ・1歳以上3歳未満児の遊び(学び)環境の整え方について説明できる	面接授業・ オンライン可	予習:環境を通して行う保育や遊びの重要性についてまとめておくこと(2時間) 復習:3歳未満児の生活と遊びの際の環境構成について整理する(2時間)
9	9回目	3歳以上児の保育に移行する時期の保育について ・0歳児から1歳児の移行の検討事項について説明できる ・3つの視点にみえる0歳児から1歳児の移行について説明できる	面接授業・ オンライン可	予習:乳児保育の前提について確認しておくこと(2時間) 復習:乳児保育の中の「移行」における子ども及び保護者に対する具体的な配慮について整理する(2時間)
10	10回目	3歳未満児の発育・発達を踏まえた保育者による援助やかかわりについて ・保育所保育指針改定にみる保育の特性と援助の実際について説明できる ・0歳児の保育の配慮事項について説明できる ・1歳以上3歳未満児の保育の配慮事項について説明できる	面接授業・ オンライン可	予習:保育所保育指針を参照し3歳未満児の保育の原則について内容をまとめておくこと(2時間) 復習:3歳未満児の保育を展開する上で留意すべき点を整理する(2時間)
11	11回目	3歳未満児の保育・発達をふまえた保育における配慮について ・乳児の保育において特に配慮する事項について説明できる。 ・1歳以上3歳未満児の保育において特に配慮する事項について説明できる ・保育中の安全管理について説明できる	面接授業・ オンライン可	予習:保育全般にかかわる配慮事項についてまとめておくこと(2時間) 復習:保育中における子どもの健康状態を把握する視点を掲げた一覧表を作成する(2時間)
12	12回目	乳児保育の計画・記録・評価とその意義について・保育の計画と実践について説明できる ・実践の記録から評価へつなげる重要性について説明できる ・記録と保育の質の向上について説明できる	面接授業・ オンライン可	予習:なぜ乳児保育における計画が柔軟に対応する必要があるのかを考える(2時間) 復習:保育におけるPDCAサイクルを再度確認する(2時間)
13	13回目	職員間の連携・協働について ・乳児保育における保育者の業務と役割について説明できる ・チームで進める保育について説明できる ・保育者の最も重要な専門性について説明できる	面接授業・ オンライン可	予習:乳児保育における保育者の専門性について自分の考えをまとめておく(2時間) 復習:保育者を目指すためにこれから準備できる内容の考案及び関連情報を収集する(2時間)

14	14回目	保護者との連携・協働について ・子育て支援の必要性と保育者の役割について説明できる ・保護者に対する相談援助の原則について説明できる ・事例を通して保護者との連携・協働について説明できる	面接授業・ オンライン可	予習:実習依頼施設の子育て支援活動について調べておくこと(2時間) 復習:保育所における保護者への支援について整理する(2時間)
15	15回目	自治体や地域の関係機関との連携・協働・保育所と地域の社会資源について ・保育所における関係機関との連携について説明できる ・家庭的保育・小規模保育との連携について説明できる	面接授業・ オンライン可	予習:地域の社会資源について調べておくこと(2時間) 復習:子どもを取り巻く関係諸機関との連携方法についてまとめる(2時間)
16				授業外学修 60時間

その他

科目(教職課程用)	①領域及び保育内容の指導法に関する科目	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	①領域に関する専門的事項	
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項	社会で活用されているデータ	
教科書	【教科書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【教科書】ISBN
	教科書：講義で学ぶ乳児保育	9.78491E+12
参考書	【参考書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【参考書】ISBN
	令和5年度最新版 幼児期までの子どもの育ちに係る基本的なビジョン・幼稚園教育要領・保育所保育指針・幼保連携型認定こども園教育・保育要領< 原本 >	9.78481E+12
履修条件		
履修上の注意	<ul style="list-style-type: none"> ・課題等のフィードバックに関しては、授業時またはGoogle Classroomで行います ・乳幼児の保育に携わるため、日ごろの生活及び受講態度や身だしなみにも十分配慮しましょう 	
オフィスアワー	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的に、授業前後の時間をオフィスアワーとして設定しています。 ・事前に訪問の連絡があると、会議や学外研修以外の時間は対応可能です。 	
備考・メッセージ	<ul style="list-style-type: none"> ・次回の授業内容を予習し、内容に応じた準備(服装・身なり・資料等)し受講しましょう ・学習内容の定着化を図るため、必ず予習・復習を行いましょ ・専門用語等の意味等を調べておきましょう 	

乳児保育Ⅱ

更新日：2026/05/19 15:16:27

開講年度	2026	開講期	1Q/5Q	ナンバリング	CM402
担当教員	滝川 由香里				

配当	学部/学科	短期大学 長崎短期大学 保育学科			
	配当年	単位	科目必選区分	授業形態	
	2年	1	選択	演習	

アクティブラーニングの類型	①発見学習（事実を発見する過程から学習者に体験させる手法）	
	②問題解決学習（PBL：自ら問題を発見し解決する能力を養うことを目的とした教育法）	<input checked="" type="checkbox"/>
	③体験学習（実際の活動体験を通して学ぶことを狙った学習形態）	<input checked="" type="checkbox"/>
	④調査学習（課題について調査し結論をまとめる学習法）	
	⑤グループ・ディスカッション（議論まで）	<input checked="" type="checkbox"/>
	⑥ディベート（特定の論題について、あえて異なる立場に分かれて議論をする手法）	
	⑦グループ・ワーク（議論+成果物（プレゼンなど））	<input checked="" type="checkbox"/>

授業概要

- 3歳未満児の発達・発育の過程や特性を踏まえた援助や関わりの方の基本的な考え方について理解する。
- 養護及び教育の一体性を踏まえ、3歳未満児の子どもの生活や遊びと保育の方法及び環境について、具体的に理解する。
- 乳児保育における配慮の実践について、具体的に理解する。
- 上記1～3を踏まえ、乳児保育における計画の作成について、具体的に理解する。

授業における到達目標

1	● 豊かな愛情と感性にあふれ、情緒の安定を保ちながら、乳幼児への関わりを持つことができる。
2	● 3歳未満児の発達・発育を踏まえた生活と遊びの援助について具体的な理解ができる。 ● 子どもの心身の健康・安全と情緒の安定を図るための配慮等について理解できる。
3	● 3歳未満児の発達・発育を踏まえた生活と遊びの援助について具体的な理解ができる。 ● 子どもの心身の健康・安全と情緒の安定を図るための配慮等について理解できる。
4	● 演習を通して、反省・課題点を抽出しながら、改善できる方法・手段を考えることができる。
5	● 学習内容ごとに課題意識を持ちながら積極的に学ぶことができる。

評価方法

資質・能力	授業における到達目標（番号のみ記載）	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力	1	課題（演習含む）	10%
確かな専門的知識や技能	2	確認テスト（実技含む） 課題（演習含む）	30% 10%
コミュニケーション能力	3	グループワーク	10%
課題解決能力	4	課題（演習含む）	10%
主体的に学ぶ力	5	グループワーク 確認テスト（実技含む）	10% 20%
合計			

補足事項

- 確認テスト（50%） 課題（演習含む）（30%） グループワーク（20%）を総合して評価する。
 ※課題は、Google Class Room（G-CR）での提出を求める場合がある。授業前後にはG-CRの確認を必ず行うこと
 ① 演習を円滑に行い、理解を深めるためにも予習・復習をすること。
 ② 欠席時は、次の授業開始前日までに資料を受け取り、欠席時の授業内容の理解に努める事。
 ③ 課題提出後は、その後の授業にて振り返りを行う。
 ④ オンライン授業時は、G-CRに資料を添付するため、各自事前に準備をし、受講する事。
 ⑤ 授業開始から15分以上経過した遅刻および授業時間中15分以上離席した際は欠席扱い、遅刻3回で欠席1回とみなす。

授業計画

	授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1	1回目	乳児保育の意義・0～3歳までの発達・発育	面接授業 (オンライン等の対応可能)	予習：p14～35を読み、内容をノートにまとめ、疑問点を抽出し、質問の用意をする。(2時間) 復習：授業内容を復習し、ノートに要点をまとめる。(2時間)

2	2回目	0～3歳までの発育・発達を踏まえた排泄・着脱・清潔の援助と環境	面接授業 (オンライン等の対応可能)	予習：p50～59、p68～89に目を通し、発達・発育についての内容をノートにまとめ、疑問点を抽出し、質問の用意をする。(2時間) 復習：授業内容を復習し、ノートに要点をまとめる。(2時間)
3	3回目	0～3歳までの発育・発達を踏まえた排泄・着脱・清潔の援助の実際と配慮点	面接授業 (オンライン等の対応可能)	予習：p50～59、p68～89を読み、内容をノートにまとめ、疑問点を抽出し、質問の用意をする。(2時間) 復習：授業内容を復習し、ノートに要点をまとめる。(2時間)
4	4回目	0～3歳までの発育・発達を踏まえた食事・睡眠の援助と環境	面接授業	予習：p36～49、60～67を読み、内容をノートにまとめ、疑問点を抽出し、質問の用意をする。(2時間) 復習：授業内容を復習し、ノートに要点をまとめる。(2時間)
5	5回目	乳児保育における健康と安全 3歳未満児の保育内容	面接授業	予習：p90-119を読み、内容をノートにまとめ、疑問点を抽出し、質問の用意をする。(2時間) 復習：授業内容を復習し、ノートに要点をまとめる。(2時間)
6	6回目	3歳未満児の保育内事故防止の留意点と防災について	面接授業	予習：p90～97を読み、内容をノートにまとめ、疑問点を抽出し、質問の用意をする。(2時間) 復習：授業内容を復習し、ノートに要点をまとめる。(2時間)
7	7回目	乳児保育における指導計画 1. 長期的な指導計画と短期的な指導計画 2. 個別的な指導計画と集団の計画	面接授業 (オンライン等の対応可能)	予習：p120～136を読み、疑問点を抽出し、質問の用意をする。(2時間) 復習：授業内容を復習し、ノートに要点をまとめる。(2時間)
8	8回目	まとめ 演習内容の確認	面接授業 (オンライン等の対応可能)	予習：これまでの演習内容を確認し、安心安全な保育技術を身に着ける。(2時間) 復習：実習に向けて乳児保育における留意点をまとめる。(2時間)
9				授業外学修 32時間

その他

科目（教職課程用）		
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等		
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項		
教科書	【教科書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【教科書】ISBN
	演習で学ぶ乳児保育／善本真弓／2020／わかば社	9.78491E+12
参考書	【参考書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【参考書】ISBN
履修条件	履修条件 特になし	
履修上の注意	必ず予習を行い、専門用語等不明なところは積極的に質問する事。	
オフィスアワー	授業時間前後に教室で質問を受け付ける。	
備考・メッセージ	乳児の発達を促す援助方法をしっかりと身に着けられるよう積極的に学びを深めてください。	

特別支援教育概論 1年生

更新日：2026/05/19 15:15:32

開講年度	2026	開講期	後期	ナンバリング	CM403
担当教員	下池 洸史朗				

配当	学部/学科	短期大学 長崎短期大学 保育学科			
	配当年	単位	科目必選区分	授業形態	
	1	2	選択	演習	

アクティブラーニングの類型	①発見学習（事実を発見する過程から学習者に体験させる手法）			
	②問題解決学習（PBL：自ら問題を発見し解決する能力を養うことを目的とした教育法）			
	③体験学習（実際の活動体験を通して学ぶことを狙った学習形態）			<input checked="" type="checkbox"/>
	④調査学習（課題について調査し結論をまとめる学習法）			
	⑤グループ・ディスカッション（議論まで）			<input checked="" type="checkbox"/>
	⑥ディベート（特定の論題について、あえて異なる立場に分かれて議論をする手法）			<input checked="" type="checkbox"/>
	⑦グループ・ワーク（議論+成果物（プレゼンなど））			<input checked="" type="checkbox"/>

授業概要

この授業では、障害のある子どもおよび保育における気になる子どもについて専門的な知識と理解、援助の方法について身につけていきます。また、障害のある子どもの保護者に対する理解と支援や、障害のある子どもを取り巻く社会・医療・福祉・教育のつながりについても取り扱っていきます。この授業が終了した際に、受講者のみなさんが次のような知識、技能、態度を身につけることを目標とします。

- ①障害児の教育や保育についての基本的な理念を説明できる。
- ②障害のある子どもについての専門的な知識および援助方法を説明できる。
- ③障害のある子どもの活動および環境構成について計画・記録を行うことができる。
- ④障害のある子どもに関連する機関、家庭、園との協働について説明できる。
- ⑤障害のある子どもとその保護者に対して積極的な関心を向けることができる。

授業における到達目標

1	障害のある子どもや保護者についての基本的な知識および理解、援助について説明できる。
2	障害のある子ども・その家族への支援・援助について効果的な方法を考えることができる。
3	インクルーシブ保育・特別支援教育について積極的に関心を向けることができる。

評価方法

資質・能力	授業における到達目標（番号のみ記載）	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力			
確かな専門的知識や技能	①	定期試験	60%
コミュニケーション能力			
課題解決能力	②	課題	20%
主体的に学ぶ力	③	レポート	20%
合計			100%

補足事項

授業に関する質問は、直接のほか Google classroom でも受け付け、Web上または授業回で答える。
 本授業は、定期試験60%、課題20%、レポート20%の割合で評価する。
 課題に取り組む際は、スマホ・PC・タブレットを積極的に活用して行うこと。
 各授業で出された課題について、授業終了時に回収します。また、課題の内容については、授業内で取り扱います。

授業計画

	授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1	1回目	オリエンテーション 障害児保育・特別支援教育の基本	面接授業 オンライン授業対応可	予習：事前に配布された課題に取り組む。(2時間) 復習：授業内で配布された資料で復習する。(2時間)
2	2回目	子どもの育ちと発達のアセスメント	面接授業 オンライン授業対応可	予習：事前に配布された課題に取り組む。(2時間) 復習：授業内で配布された資料で復習する。(2時間)
3	3回目	知的発達症の理解と保育での援助	面接授業 オンライン授業対応可	予習：事前に配布された課題に取り組む。(2時間) 復習：授業内で配布された資料で復習する。(2時間)
4	4回目	自閉スペクトラム症の理解と保育での援助	面接授業 オンライン授業対応可	予習：事前に配布された課題に取り組む。(2時間) 復習：授業内で配布された資料で復習する。(2時間)
5	5回目	注意欠如多動症の理解と保育での援助	面接授業 オンライン授業対応可	予習：事前に配布された課題に取り組む。(2時間) 復習：授業内で配布された資料で復習する。(2時間)
6	6回目	限局性学習症の理解と保育での援助	面接授業 オンライン授業対応可	予習：事前に配布された課題に取り組む。(2時間) 復習：授業内で配布された資料で復習する。(2時間)

7	7回目	言語症の理解と保育での援助	面接授業 オンライン授業対応可	予習：事前に配布された課題に取り組む。(2時間) 復習：授業内で配布された資料で復習する。(2時間)
8	8回目	肢体不自由（運動障害）の理解と保育での援助	面接授業 オンライン授業対応可	予習：事前に配布された課題に取り組む。(2時間) 復習：授業内で配布された資料で復習する。(2時間)
9	9回目	視覚障害・聴覚障害の理解と保育	面接授業 オンライン授業対応可	予習：事前に配布された課題に取り組む。(2時間) 復習：授業内で配布された資料で復習する。(2時間)
10	10回目	多様な支援を必要とする子どもの特徴と保育での支援 ①	面接授業 オンライン授業対応可	予習：事前に配布された課題に取り組む。(2時間) 復習：授業内で配布された資料で復習する。(2時間)
11	11回目	多様な支援を必要とする子どもの特徴と保育での支援 ②	面接授業 オンライン授業対応可	予習：事前に配布された課題に取り組む。(2時間) 復習：授業内で配布された資料で復習する。(2時間)
12	12回目	保護者支援と家庭・関係機関との連携	面接授業 オンライン授業対応可	予習：事前に配布された課題に取り組む。(2時間) 復習：授業内で配布された資料で復習する。(2時間)
13	13回目	子ども理解に基づく計画の作成と記録・評価 個々の 発達を促す生活や遊びの環境	面接授業 オンライン授業対応可	予習：事前に配布された課題に取り組む。(2時間) 復習：授業内で配布された資料で復習する。(2時間)
14	14回目	事例検討	面接授業 オンライン授業対応可	予習：事前に配布された課題に取り組む。(2時間) 復習：授業内で配布された資料で復習する。(2時間)
15	15回目	全体の総括	面接授業 オンライン授業対応可	予習：事前に配布された課題に取り組む。(2時間) 復習：授業内で配布された資料で復習する。(2時間)
16	16回目	定期試験		授業外学修時間 60時間

その他

科目（教職課程用）	②教育の基礎的理論に関する科目	
教育職員免許法施行 規則に定める科目区 分または事項等	⑦特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	
数理・データサイエ ンス・AI教育プログ ラムに関する事項		
教科書	【教科書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【教科書】ISBN
参考書	【参考書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など よくわかる障害児教育【第4版】石部元雄（編集）、上田征三（編集）、高橋実（編集）、柳本雄 次（編集） ミネルヴァ書房	978-4-623-08983-3
履修条件		
履修上の注意		
オフィスアワー	授業時間後の時間もしくは教員の空き時間等に対応します（研究室）	
備考・メッセージ	授業を受講するにあたり、他の受講者の権利を阻害する行為、もしくは受講する学生としての規範を逸脱する行為を行った場合は厳しい対応を行います。	

社会的養護Ⅱ

更新日：2026/05/19 15:14:43

開講年度	2026	開講期	1Q/5Q	ナンバリング	CM305
担当教員	永吉 史典				

配当	学部/学科	短期大学 長崎短期大学 保育学科			
	配当年	単位	科目必選区分	授業形態	
	2年	1	選択	演習	
アクティブラーニングの類型	①発見学習（事実を発見する過程から学習者に体験させる手法）				<input checked="" type="checkbox"/>
	②問題解決学習（PBL：自ら問題を発見し解決する能力を養うことを目的とした教育法）				
	③体験学習（実際の活動体験を通して学ぶことを狙った学習形態）				
	④調査学習（課題について調査し結論をまとめる学習法）				<input checked="" type="checkbox"/>
	⑤グループ・ディスカッション（議論まで）				<input checked="" type="checkbox"/>
	⑥ディベート（特定の論題について、あえて異なる立場に分かれて議論をする手法）				
	⑦グループ・ワーク（議論+成果物（プレゼンなど））				

授業概要

社会的養護Ⅰでの基礎的な学習を踏まえて、こどもの権利や保育士等の倫理・責務について理解を深め、社会的養育について理解することをねらいとする。この講義では、社会的養護のもとで生活することもへの支援（日常生活支援・治療的支援・自立支援など）において必要な知識、考え方を養う。必要に応じて学生が経験してきた保育実習Ⅰ（施設）の内容や、講師が現場経験してきた事例を通して、実践力を高めるための「考察する力」についても考える機会としたい。

授業における到達目標

1	社会的養護における“あたり前の生活”について考えることができる。
2	社会的養護におけるソーシャルワークの視点・保育士の役割・実践力をつける学びの方法を理解できる。
3	社会的養護を必要とするこどもの実態や社会的養護の実際について説明できる。
4	与えられた課題に対して、学習したことが活かされ、支援方法を検討することができる。
5	聴く意識・意見発表・質問・自主学習など、積極的な学習に取り組み、「保育士」として社会的養育の視点をもつことができる。

評価方法

資質・能力	授業における到達目標（番号のみ記載）	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力			
確かな専門的知識や技能	1	授業中の小テスト	10
	2	ミニレポート	5
	3	ノート 定期試験	10 40
コミュニケーション能力	3 5	授業への参加・態度	5
課題解決能力	4	ミニレポート	10
主体的に学ぶ力	5	授業への参加・態度 ミニレポート ノート	5 5 10
合計			100
補足事項			
本授業では、定期試験40%、授業中の小テスト（1回実施）10%、毎回授業後のリアクションペーパー（ミニレポート）＋ノート作り（予習・復習）40%、授業への参加・態度10%の割合で評価する。内容が良い場合は加点を行う。 なお、欠席や小テスト未受験ならびにリアクションペーパー（ミニレポート）・ノート未提出が1度でもあれば、科目全体の評価が下がっていくことはご理解いただきたい。			

授業計画

	授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1	1回目	<ul style="list-style-type: none"> 講義のポイントと進め方 社会的養護Ⅰの復習 保育実習Ⅰ（施設）の事後学習 社会的養護の理解と実際 	面接授業	予習：テキストから次の授業内容箇所を探して読む（2h） 復習：リアクションペーパー（ミニレポート）・ノート作りに取り組む（2h）
2	2回目	<ul style="list-style-type: none"> こどもの権利擁護（アドボカシー） 社会的養護の下で生活するこどもの理解 養育の過程と自立支援計画の概要 アセスメントの視点・記録の方法 社会的養護における日常生活支援① 	面接授業	予習：テキストから次の授業内容箇所を探して読む（2h） 復習：リアクションペーパー（ミニレポート）・ノート作りに取り組む（2h）

3	3回目	・社会的養護における日常生活支援② ・事例検討1	面接授業	予習：テキストから次の授業内容箇所を探して読む(2h) 復習：リアクションペーパー(ミニレポート)・ノート作りに取り組む・小テスト対策(2h)
4	4回目	・社会的養護における治療的支援 ・事例検討2 ・小テスト	面接授業	予習：テキストから次の授業内容箇所を探して読む(2h) 復習：リアクションペーパー(ミニレポート)・ノート作りに取り組む(2h)
5	5回目	・社会的養護に求められる専門職 ・社会的養護における家庭支援 ・事例検討3	面接授業	予習：テキストから次の授業内容箇所を探して読む(2h) 復習：リアクションペーパー(ミニレポート)・ノート作りに取り組む(2h)
6	6回目	・社会的養護における自立支援	面接授業	予習：テキストから次の授業内容箇所を探して読む(2h) 復習：リアクションペーパー(ミニレポート)・ノート作りに取り組む(2h)
7	7回目	・社会的養護における保育士の役割 ・社会的養護に求められる相談援助の知識・技術・多機関連携 ・社会的養護実践における評価	面接授業	予習：テキストから次の授業内容箇所を探して読む(2h) 復習：リアクションペーパー(ミニレポート)・ノート作りに取り組む(2h)
8	8回目	・支援者としての自らの資質の理解 ・社会的養護実践における課題と展望 ・第2期長崎県社会的養育推進計画の取り組み状況 ・授業まとめ	面接授業	予習：テキストから次の授業内容箇所を探して読む(2h) 復習：ノート作りに取り組む・テスト対策(3h)
9		定期試験(60分)		授業内学修時間：12時間 授業外学修時間：33時間

その他

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項	データを読む・説明する・扱う,社会で活用されているデータ
教科書	【教科書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など
	浦田雅夫(2023)『よりそい支える社会的養護Ⅱ〔第2版〕』教育情報出版
参考書	【教科書】ISBN
	9.78491E+12
参考書	【参考書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など
	<ul style="list-style-type: none"> 橋本好市・原田旬哉(2019)『学ぶ・わかる・みえるシリーズ 保育と現代社会 演習・保育と社会的養護実践—社会的養護Ⅱ—』みらい 安藤和彦・石田慎二・山川宏和(2020)『社会的養護演習』建帛社 辰巳隆・岡本真幸(2020)『新版 保育士をめざす人の社会的養護Ⅱ』みらい 小川恭子・坂本健(2023)『シリーズ・保育の基礎を学ぶ④実践に活かす社会的養護Ⅱ』ミネルヴァ書房 松本峰雄(2024)『よくわかる!保育エクササイズ⑬社会的養護Ⅰ・Ⅱ演習ブック』ミネルヴァ書房 社会福祉法人全国社会福祉協議会全国児童養護施設協議会(2011)「この子を受けとめて、育むために 育てる・育ちあういとなみ 児童養護における養育のあり方に関する特別委員会報告書」 こども家庭庁(2026)「資料集「社会的養育の推進に向けて」」 長崎県(2025)「第2期長崎県社会的養育推進計画」
参考書	<ul style="list-style-type: none"> 9784860154707 9784767951232 9784860154943 9784623089222 9784623096176
履修条件	
履修上の注意	<ul style="list-style-type: none"> 指定された座席で受講すること。 教科書、B5ノート(もしくはB5のルーズリーフが綴れるファイル)、はさみ、のりなどを持参すること。 授業時間のうち、15分以上退室すると欠席扱いとなる。 欠席した場合は、次回授業の準備に不足が無いよう、自ら考えて行動すること(事前に欠席連絡もするように)。 遅刻や授業態度の悪さなど減点の対象とする。 予習→授業→復習のサイクルを確立し、授業外においても学ぶ意欲を持ち続けること。 課題のフィードバックは次回以降の授業においてできる限り取扱う、もしくはGoogle Classroomで行う。 グループワークを行うことがあるため、不安がある方は事前に申し出を。 児童養護施設職員にも話をしてもらおう予定にしているため、まもなく社会人となるものとして失礼のない態度で受講すること。
オフィスアワー	<p>疑問・質問・追加で教えてほしいこと、いつでも構わないので、講師メール(nagayoshi@njcawesome.education もしくは wakatak e-nagayoshi4121@outlook.com)または電話をすること。</p> <p>適宜、クラスルームより指示を出すため、確認を。</p>

備考・メッセージ	<p>B5ノート（もしくはB5のルーズリーフが綴れるファイル）を用意し、教科書の内容や適宜配布するA4用紙2段組みのプリントを切り貼りして整理をし、さらには自ら調べたことなどをノートにまとめる。この自作のノートのみ定期試験に持込可とする（プリントを切り貼りせずにファイルに綴じている場合は、テストへの持ち込みを禁ずる）。</p> <p>1年次履修の社会的養護Ⅰの内容の「原理」的要素や保育実習Ⅰ（施設）での自らの実践を再確認したうえで、受講していただきたい。「保育所・幼稚園・認定こども園へ就職を希望するから施設に関連する学習が不要だ」と考える方もいる。しかし、こども虐待は増加の一途をたどっており、セーフティネット機能としての社会的養護がますます重要な役割として期待されている。施設に就職をしないから“関係ない”ではなく、こども・親とかかわる第一線である保育・教育現場での就労を目指す者として「さまざまなリスクを未然に防ぐ」ためには当該科目は必須の内容である。</p> <p>また授業内外を通して、「こどもの生活基盤を安定させ、発達・成長を保護することが大切である」と理解し、リアクションペーパー（ミニレポート）やノート整理を通じて、少しでも「この人なら頼ることができる！」「安心して任せることができる！」と思える保育者への道を歩んでもらいたい。</p>
----------	--

子育て支援

更新日：2026/05/19 15:14:51

開講年度	2026	開講期	2Q/6Q	ナンバリング	CM306
担当教員	花城 暢一				

配当	学部/学科	短期大学 長崎短期大学 保育学科			
	配当年	単位	科目必選区分	授業形態	
	2年	1	選択	演習	

アクティブラーニングの類型	①発見学習（事実を発見する過程から学習者に体験させる手法）	<input checked="" type="checkbox"/>
	②問題解決学習（PBL：自ら問題を発見し解決する能力を養うことを目的とした教育法）	<input checked="" type="checkbox"/>
	③体験学習（実際の活動体験を通して学ぶことを狙った学習形態）	
	④調査学習（課題について調査し結論をまとめる学習法）	
	⑤グループ・ディスカッション（議論まで）	
	⑥ディベート（特定の論題について、あえて異なる立場に分かれて議論をする手法）	
	⑦グループ・ワーク（議論+成果物（プレゼンなど）	

授業概要

授業では、以下の事項を踏まえ、保育相談支援を担う保育者に求められる専門的な知識や技能を様々な演習を通して習得することを目標とする。

- ①保護者に対する相談・助言、情報提供等の支援について、その専門的な特性と展開について具体的に理解する。
- ②保育士の行う子育て支援について、様々な場面や対象に即した支援の内容と方法及び技術を、実践事例等を通して具体的に理解する。

授業における到達目標

1	保育者に求められる役割や資質について理解を深めることができる。
2	保育相談支援に必要な方法・技術についての理解を深めることができる。
3	子どもや保護者等とのコミュニケーションについて理解を深めることができる。
4	事例分析等を用いて保育相談支援の具体的展開について理解を深めることができる。
5	保育者として社会生活上の諸問題に関心を高めることができる。

評価方法

資質・能力	授業における到達目標（番号のみ記載）	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力	1	レポート課題	レポート・事例検討・グループ協議30%
確かな専門的知識や技能	2	事例検討 定期試験	定期試験60% レポート・事例検討・グループ協議30% 学習に取り組む姿勢10%
コミュニケーション能力	3	レポート課題 定期試験	定期試験60% レポート・事例検討・グループ協議30%
課題解決能力	4	事例検討 定期試験	定期試験60% レポート・事例検討・グループ協議30% 学習に取り組む姿勢10%
主体的に学ぶ力	5	定期試験 グループ討議	定期試験60% レポート・事例検討・グループ協議30%
合計			100%

補足事項

- 授業内で実施するレポート課題・事例検討（30%）
- 定期試験（60%）
- 授業全体を通じた学習に取り組む姿勢（10%）を総合して評価を行う。
- 課題のフィードバックは授業内またはGoogle Classroomで行う。

授業計画

	授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1	1回目	オリエンテーション 講義のねらいと進め方についての説明	面接授業	予習：シラバスを読み授業内容を確認する（2時間） 復習：配布資料を読む（2時間）
2	2回目	保育士の行う子育て支援の特性1 子どもの保育とともに行う保護者の支援	面接授業	予習：保育士の役割について考察する（2時間） 復習：配布資料を読む（2時間）
3	3回目	保育士の行う子育て支援の特性2 保護者や家庭の抱える支援のニーズへの気づきと多面的な理解	面接授業	予習：保護者が抱える生活課題について考える（2時間） 復習：配布資料を読む（2時間）
4	4回目	保育士の行う子育て支援の特性3 子ども・保護者が多様な他者と関わる機会や場の提供	面接授業	予習：子育て支援のネットワークについて考察する（2時間） 復習：配布資料を読む（2時間）
5	5回目	保育士の行う子育て支援の展開1 支援計画と環境構成、実践・記録・評価・カンファレンス	面接授業	予習：（2時間） 復習：配布資料を読む（2時間） 予習：保育士に求められる援助の視点について考察する（2時間） 復習：配布資料を読む（2時間）
6	6回目	保育士の行う子育て支援とその実際1 保育所等における支援、地域の子育て家庭に対する支援	面接授業	予習：保育士に求められる援助の視点について考察する（2時間） 復習：配布資料を読む（2時間）
7	7回目	保育士の行う子育て支援とその実際3 障がいのある子ども及びその家庭に対する支援特別な配慮を要する子ども及びその家庭に対する支援	面接授業	予習：配慮を必要とする子どもについて実習体験を振り返る（2時間） 復習：配布資料を読む（2時間）
8	8回目	子育て支援と保育者 授業の振り返りとまとめ	面接授業	予習：いままでの資料を復習する（2時間） 復習：配布資料を読む（2時間）
9	16回目	定期試験		授業外学修 32時間

その他

科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項	社会で活用されているデータ
教科書	<p>【教科書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など</p> <p>【教科書】ISBN</p> <p>配布資料：参考資料をその都度配布します。</p>
参考書	<p>【参考書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など</p> <p>【参考書】ISBN</p>
履修条件	
履修上の注意	原則、指定された座席で受講すること。（席の移動を希望する場合はご相談下さい） 授業時間のうち、15分以上退室すると欠席扱いとなります。 課題のフィードバックは授業内またはGoogle Classroomで行います。
オフィスアワー	授業、会議、実習巡回、出張等が入っていない場合は随時対応します。
備考・メッセージ	授業の出欠確認は出席カード（感想記入シート等）を活用して実施します。

保育相談

更新日：2026/05/19 15:14:37

開講年度	2026	開講期	前期	ナンバリング	UC303
担当教員	安永 香織				

担当	学部/学科	短期大学 長崎短期大学 保育学科			
	配当年	単位	科目必選区分	授業形態	
	2年	2	選択	講義	

アクティブラーニングの類型	①発見学習（事実を発見する過程から学習者に体験させる手法）	
	②問題解決学習（PBL：自ら問題を発見し解決する能力を養うことを目的とした教育法）	
	③体験学習（実際の活動体験を通して学ぶことを狙った学習形態）	
	④調査学習（課題について調査し結論をまとめる学習法）	
	⑤グループ・ディスカッション（議論まで）	
	⑥ディベート（特定の論題について、あえて異なる立場に分かれて議論をする手法）	
	⑦グループ・ワーク（議論+成果物（プレゼンなど））	

授業概要

現代の日本では、都市化による地域の変化、女性の社会進出に伴う家族の在り方の変化、核家族や少子化など保育をとりまく社会環境は大きく変わり、「子育て支援」への関心が高まっている。保育者はそのような社会背景を理解し、子ども理解と子育てに関わる親への支援、地域との連携、保育者のメンタルヘルスなどについて学んでいく必要がある。

本講義では保育者の資質として必要な教育相談（カウンセリングマインド）の必要性について理解し、保育実践の今日的課題に向き合うための基本的知識、子育てに関する教育相談（カウンセリング）理論・技法・応用について学ぶ。

授業における到達目標

1	保育、教育相談の意義を理解し、幼児理解と支援、カウンセリングマインドの重要性について説明できる
2	カウンセリングマインドを用いた子どもの理解と支援を言語化できる
3	保育現場で必要とする協働する態度をもち、課題に取り組む意欲を維持できる
4	カウンセリングマインドを用いた子どもの課題理解と保育者の役割について考え、適切な解決方法を述べることができる
5	他者の意見を参考に自分の考えを再構築（修正・追加）することができる

評価方法

資質・能力	授業における到達目標（番号のみ記載）	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力			
確かな専門的知識や技能	1,2	ケースシートの提出	50
コミュニケーション能力	3	授業後の課題提出	20
課題解決能力	4	授業後の課題提出	20
主体的に学ぶ力	5	授業への参加態度	10
合計			100

補足事項

- ・授業は基本的には対面授業とするが、補講にあたる授業はオンデマンド配信授業とする。（変更する場合がある）
- ・授業に関する質問は直接またはGoogle classで受け付け、以降の授業回またはGoogle classで回答する。
- ・Google classにて配信されたオンデマンド音声授業は履修者が必要な際に復習できる。
- ・評価は、課題シート5枚の提出50%、コメントに対するフィードバック10%、授業内課題の提出40%とする。
- ・課題シートは授業内回収とし、指定日の17時まで受け付ける。（Google classにて提出の場合は写真で提出）
- ・オンデマンド配信された内容は、履修者が復習できるよう閲覧可能な形態とする。

授業計画

	授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1	1回目	授業の目的、進め方、評価について説明 保育・教育相談、カウンセリングマインドとは何か（第1章）	対面授業	予習：教科書 pp. 10～17（2時間） 復習：カウンセリングマインドの定義をまとめる（1時間）
2	2回目	発達理解と相談・支援 保育・教育相談を行うための発達理解（第2章）	対面授業	予習：発達段階の整理（1時間） 復習：教科書 pp. 18-31の内容をまとめる（2時間）
3	3回目	子ども理解のための発達理論とカウンセリング的アプローチ（第5章）	対面授業	予習：誰かに話を聞いてもらいたいと思う時のエピソードを振り返ってノートに記入する（1時間） 復習：教科書 pp. 61-71の内容をまとめる（2時間）
4	4回目	カウンセリングの基礎理解（第5章）課題提出	対面授業	復習：ケースシートの仕上げ、教科書 pp. 72-85の内容をまとめる（3時間）

5	5回目	保育現場でのカウンセリング技法の法則（第6章）	対面授業	予習：子どもの頃のケンカについて振り返りノートにまとめる（1時間） 復習：ケースシートの修正・教科書 pp. 110-124の内容をまとめる（3時間）
6	6回目	発達障害や気になる子どもとその保護者へのかかわり（第4章）	対面授業	予習：教科書130-133をまとめる（1時間） 復習：ケースシートの仕上げ・教科書 pp. 99-109の内容をまとめる（3時間）
7	7回目	保護者への対応事例（第3章） 課題提出	対面授業	予習：教科書130-133をまとめる（1時間） 復習：ケースシートの修正・教科書 pp. 126-129の内容をまとめる（3時間）
8	8回目	保護者の要望と園の方針との間で（第3章）	対面授業	予習：教科書134-137をまとめる（1時間） 復習：ケースシートの仕上げる（3時間）
9	9回目	すぐに暴力を振るう子ども FB 「保護者との信頼関係、立場の違い」	対面授業	予習：教科書134-137をまとめる（1時間） 復習：ケースシートの修正・内容をまとめる（3時間）
10	10回目	しつけの問題 演題提出	対面授業	予習：教科書138-141をまとめる（1時間） 復習：ケースシートの仕上げる（3時間）
11	11回目	園・地域における専門家との連携による相談・支援（第7章）	対面授業	予習：教科書138-141をまとめる（1時間） 復習：ケースシートの修正・内容をまとめる（3時間）
12	12回目	保育者の専門性と相談活動（第8章）	対面授業	予習：教科書158-161をまとめる（1時間） 復習：ケースシートの仕上げる（3時間）
13	13回目	気になる子「保育者をわざと怒らせようとする子どもの気持ち」 課題提出	対面授業	予習：教科書158-161をまとめる（1時間） 復習：ケースシートの修正・内容をまとめる（3時間）
14	14回目	障害のある子ども「自閉症児に対するクラスの子どものたのしみ」 課題提出	対面授業	予習：役割の確認（1時間） 復習：ケースシートの修正・内容をまとめる（3時間）
15	15回目	授業のまとめ 保育者の専門性	対面授業	予習：これまでのケースシート内容と対応を整理する（2時間） 復習：点数の低かったケースシートについてオンデマンド配信で振り返る（6時間）
16				授業外学修 60時間

その他

科目（教職課程用）	③道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	⑪教育相談の理論及び方法	
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項		
教科書	【教科書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【教科書】ISBN
	小田豊・秋田喜代美 編『子どもの理解と保育・教育相談』（株）みらい 2014 第2版	9.78486E+12
参考書	【参考書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【参考書】ISBN
履修条件		
履修上の注意		
オフィスアワー	授業の前後で、Googleclassroom教室、研究室で質問を受け付ける	
備考・メッセージ	授業についてのあなたの意見、疑問、授業内容についての新たな理解、授業への要望などを書いてください。次回の授業で扱います	

総合保育技術Ⅰ

更新日：2026/05/19 15:15:22

開講年度	2026	開講期	通年	ナンバリング	CM102
担当教員	友廣 憲子, 戸田 恵理子, 吉元 千加里, 高以良 結衣				

配当	学部/学科	短期大学 長崎短期大学 保育学科			
	配当年	単位	科目必選区分	授業形態	
	1年	1	選択	演習	

アクティブラーニングの類型	①発見学習（事実を発見する過程から学習者に体験させる手法）	
	②問題解決学習（PBL：自ら問題を発見し解決する能力を養うことを目的とした教育法）	<input checked="" type="checkbox"/>
	③体験学習（実際の活動体験を通して学ぶことを狙った学習形態）	<input checked="" type="checkbox"/>
	④調査学習（課題について調査し結論をまとめる学習法）	
	⑤グループ・ディスカッション（議論まで）	
	⑥ディベート（特定の論題について、あえて異なる立場に分かれて議論をする手法）	
	⑦グループ・ワーク（議論+成果物（プレゼンなど））	<input checked="" type="checkbox"/>

授業概要

- ①幼稚園教育要領・保育所保育指針・幼保連携型認定こども園教育要領に示されたねらいや内容を踏まえ、表現力を学ぶ。
- ②幼児教育における育みたい脂質・能力を踏まえ、様々な表現方法を理解する。
- ③表現技術を学び理解することにより、幼児との主体的、対話的なかわり方を学ぶ。
- ④表現あそびの指導法と援助方法を理解する。
- ⑤様々な保育教材を作成し、プレ実習活用する。

授業における到達目標

1	対象の子どもの年齢に応じた活動を考案し、実践に向けた知識と技術を身につける事ができる。
2	グループで創作した活動を保育現場で発表することができる。
3	様々な意見を傾聴し、仲間と協力して活動することができる。
4	様々な問題を解決できる能力や方法を身に付けることができる。
5	積極的活動に取り組むことができる。

評価方法

資質・能力	授業における到達目標（番号のみ記載）	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力			
確かな専門的知識や技能	1.2	保育現場での発表	85%
コミュニケーション能力	3	授業への参加・態度 ・活動内容に関する学生間の協働	5%
課題解決能力	4	授業への参加・態度 ・実践活動を通じた振り返り（レポート）	5%
主体的に学ぶ力	5	授業への参加・態度	5%
合計			
補足事項			

授業計画

	授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1	1	オリエンテーション 授業スケジュールの説明	対面授業	到達目標、到達課題の設定 (予習復習で60分)
2	2	『幼稚園教育要領』のねらいと内容について	対面授業	『幼稚園教育要領』を読む (予習復習で60分)
3	3	年少児の音楽的感性と身体的発達	対面授業	年少児の身体的発達を調べる (予習復習で60分)
4	4	年少児対象の音楽あそびと実践	対面授業	年少児の音楽あそびについて調べる(予習復習で60分)
5	5	年中、年長児の音楽的感性と身体的発達	対面授業	年中、年長について調べる (予習復習で60分)
6	6	年中、年長児対象の音楽あそびの実践	対面授業	年中、年長児の音楽あそびについて調べる(予習復習 で60分)
7	7	グループ活動(保育現場で発表)	対面授業	グループ活動での活動について調べる。授業の振り返りを行う。 (予習復習で60分)

8	8	グループ活動(保育現場で発表)	対面授業	グループ活動での活動について調べる。授業の振り返りを行う。 (予習復習で60分)
9	9	グループ活動(保育現場で発表)	対面授業	グループ活動での活動について調べる。授業の振り返りを行う。 (予習復習で60分)
10	10	グループ活動(保育現場で発表)	対面授業	グループ活動での活動について調べる。授業の振り返りを行う。 (予習復習で60分)
11	11	グループ活動(保育現場で発表)	対面授業	グループ活動での活動について調べる。授業の振り返りを行う。 (予習復習で60分)
12	12	グループ活動(保育現場で発表)	対面授業	グループ活動での活動について調べる。授業の振り返りを行う。 (予習復習で60分)
13	13	グループ活動(保育現場で発表)	対面授業	グループ活動での活動について調べる。授業の振り返りを行う。 (予習復習で60分)
14	14	グループ活動(保育現場で発表)	対面授業	グループ活動での活動について調べる。授業の振り返りを行う。 (予習復習で60分)
15	15	グループ活動(保育現場で発表)	対面授業	グループ活動での活動について調べる。授業の振り返りを行う。 (予習復習で60分)
16				授業外学修 15時間

その他

科目(教職課程用)	①領域及び保育内容の指導法に関する科目	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	②保育内容の指導法	
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項	データ・AIの活用領域	
教科書	【教科書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など 必要に応じてプリントを配布します。	【教科書】ISBN
参考書	【参考書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【参考書】ISBN
履修条件		
履修上の注意	1) 受講時の基本姿勢(マナー) 受講時は、私語を慎み、授業に集中すること。 (2) 遅刻・欠席・早退の扱い 遅刻・早退の場合は申し出ること。15分を超える遅刻は欠席とし、20分を超える早退は欠席扱いとする。欠席した場合は、配布資料等を受け取ること。 (3) 課題や発表について 課題の発表や提出の期日を厳守すること。	
オフィスアワー	授業の前後に対応します。	
備考・メッセージ		

総合保育技術Ⅱ 令和8（2026）年度不開講

更新日：

開講年度	2026	開講期	後期	ナンバリング	CM205
担当教員	友廣 憲子, 戸田 恵理子, 高以良 結衣, 吉元 千加里				

配当	学部/学科	短期大学 長崎短期大学 保育学科			
	配当年	単位	科目必選区分	授業形態	
	1	1	選択	演習	

アクティブラーニングの類型	①発見学習（事実を発見する過程から学習者に体験させる手法）	
	②問題解決学習（PBL：自ら問題を発見し解決する能力を養うことを目的とした教育法）	
	③体験学習（実際の活動体験を通して学ぶことを狙った学習形態）	
	④調査学習（課題について調査し結論をまとめる学習法）	
	⑤グループ・ディスカッション（議論まで）	
	⑥ディベート（特定の論題について、あえて異なる立場に分かれて議論をする手法）	
	⑦グループ・ワーク（議論+成果物（プレゼンなど））	

授業概要

授業における到達目標

評価方法

資質・能力	授業における到達目標 （番号のみ記載）	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力			
確かな専門的知識や技能			
コミュニケーション能力			
課題解決能力			
主体的に学ぶ力			
合計			
補足事項			

授業計画

その他

科目（教職課程用）		
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等		
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項		
教科書	【教科書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【教科書】ISBN
参考書	【参考書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【参考書】ISBN
履修条件		
履修上の注意		
オフィスアワー		
備考・メッセージ		

総合保育技術Ⅲ a

更新日：2026/05/19 15:15:23

開講年度	2026	開講期	前期	ナンバリング	CM307
担当教員	内田 奈美				

配当	学部/学科	短期大学 長崎短期大学 保育学科			
	配当年	単位	科目必選区分	授業形態	
	2年	1	選択	演習	

アクティブラーニングの類型	①発見学習（事実を発見する過程から学習者に体験させる手法）	
	②問題解決学習（PBL：自ら問題を発見し解決する能力を養うことを目的とした教育法）	
	③体験学習（実際の活動体験を通して学ぶことを狙った学習形態）	
	④調査学習（課題について調査し結論をまとめる学習法）	
	⑤グループ・ディスカッション（議論まで）	<input checked="" type="checkbox"/>
	⑥ディベート（特定の論題について、あえて異なる立場に分かれて議論をする手法）	
	⑦グループ・ワーク（議論+成果物（プレゼンなど））	<input checked="" type="checkbox"/>

授業概要

オペレッタの作品を作り上げる過程を通して、歌唱、演技、大道具、小道具、衣装作成に慣れてゆく。そのために、①演目の選択、②台本作成、③基礎練習と音取り、④グループ練習、⑤役割分担による制作を実践する。

授業における到達目標

1	様々な人間関係の中で1つの演目を作り上げるということを通して協調性、忍耐力、達成感を感じることができる
2	基礎練習の積み重ね、制作実施により、必要な技術を習得することができる
3	グループ練習で動きや振り付け等話し合い、助け合いながら作ってゆくことができる
4	お互いが知恵や自分の特技を出し合い助け合いながら作ってゆくことができる
5	自分の役割分担を責任と想像力を駆使して遂行できる

評価方法

資質・能力	授業における到達目標（番号のみ記載）	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力	1	授業への参加態度 振り返りレポート	20
確かな専門的知識や技能	2	授業への参加態度	20
コミュニケーション能力	3	グループ練習での発言や制作態度	20
課題解決能力	4	分担作業	20
主体的に学ぶ力	5	グループ練習、役、係への取り組み	20
合計			100
補足事項			
課題のフィードバックは授業内またはGoogle Classroomで行う。			

授業計画

	授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1	1回目	オリエンテーション	面接授業	予習：シラバスの確認（1時間） 復習：演目を探す（1時間）
2	2回目	昨年度の作品鑑賞 演目選定	面接授業	予習：演目を探す（1時間） 復習：音取り練習（1時間）
3	3回目	発声練習・音取り練習 台本作成	面接授業	予習：台本作成（1時間） 復習：音取り練習（1時間）
4	4回目	発声練習・音取り練習	面接授業	予習：音取り練習（1時間） 復習：音取り練習（1時間）
5	5回目	発声練習・音取り練習・台本読み合わせ	面接授業	予習：音取り練習（1時間） 復習：音取り練習（1時間）
6	6回目	発声練習・音取り練習 配役オーディション	面接授業	予習：音取り練習（1時間） 復習：音取り練習（1時間）
7	7回目	発声練習・音取り練習	面接授業	予習：音取り練習（1時間） 復習：音取り練習（1時間）
8	8回目	発声練習・音取り練習	面接授業	予習：音取り練習（1時間） 復習：音取り練習（1時間）

9	9回目	発声練習・立ち稽古	面接授業	予習：音取り練習（1時間） 復習：音取り練習（1時間）
10	10回目	発声練習・立ち稽古	面接授業	予習：音取り練習（1時間） 復習：音取り練習（1時間）
11	11回目	発声練習・立ち稽古	面接授業	予習：音取り練習（1時間） 復習：音取り練習（1時間）
12	12回目	制作物役割分担の話し合い、立ち稽古	面接授業	予習：制作物を考えてくる（1時間） 復習：自主練習（1時間）
13	13回目	係ごとに必要な制作物を考える 立ち稽古	面接授業	予習：材料の調達（1時間） 復習：自主練習（1時間）
14	14回目	係ごとに必要な制作物を作る 立ち稽古	面接授業	予習：自分が担当した制作物を作る（1時間） 復習：自主練習（1時間）
15	15回目	係ごとに必要な制作物を作る 立ち稽古	面接授業	予習：制作自分が担当した制作物を作る物を作る（1時間） 復習：自主練習（1時間）
16	16回目			授業外学修 30時間

その他

科目（教職課程用）	①領域及び保育内容の指導法に関する科目	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	②保育内容の指導法	
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項		
教科書	【教科書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【教科書】ISBN
	選択した作品をコピーして使う	
参考書	【参考書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【参考書】ISBN
履修条件		
履修上の注意		
オフィスアワー	授業の前後で対応します	
備考・メッセージ	多くのオペレッタの作品に関心をもつようにする	

総合保育技術Ⅳa

更新日：2026/05/19 15:15:27

開講年度	2026	開講期	後期	ナンバリング	CM404
担当教員	内田 奈美				

配当	学部/学科	短期大学 長崎短期大学 保育学科			
	配当年	単位	科目必選区分	授業形態	
	2年	1	選択	演習	

アクティブラーニングの類型	①発見学習（事実を発見する過程から学習者に体験させる手法）	
	②問題解決学習（PBL：自ら問題を発見し解決する能力を養うことを目的とした教育法）	
	③体験学習（実際の活動体験を通して学ぶことを狙った学習形態）	
	④調査学習（課題について調査し結論をまとめる学習法）	
	⑤グループ・ディスカッション（議論まで）	<input checked="" type="checkbox"/>
	⑥ディベート（特定の論題について、あえて異なる立場に分かれて議論をする手法）	
	⑦グループ・ワーク（議論+成果物（プレゼンなど））	<input checked="" type="checkbox"/>

授業概要

オペレッタ制作を通して①歌唱技術を習得する。②振り付けを考える。③グループで話し合い創作や、制作をする。④集いに向けて計画的に取り組む。⑤発表を通して表現活動をすることや、それによる達成感を体感する。

授業における到達目標

1	様々な人間関係の中で一つの作品を作り上げ、乗り切ることにより、協調性、忍耐力達成感を感ずることができる
2	基礎練習で技術を確保し、実践に移すことができる
3	グループ練習で、動きや振り付け等、話し合いながら作ってゆくことができる
4	お互いが知恵や経験、自分の特技を出し合う事により、様々な問題を解決することができる
5	自分の役割分担を責任と想像力を駆使して遂行できる

評価方法

資質・能力	授業における到達目標（番号のみ記載）	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力	1	「集い」へ楽しく参加する	60
確かな専門的知識や技能	2	授業への参加態度	10
コミュニケーション能力	3	グループ練習態度	10
課題解決能力	4	制作時の態度	10
主体的に学ぶ力	5	自主練習の成果	10
合計			100
補足事項			
課題のフィードバックは授業内またはGoogle Classroomで行う。			

授業計画

	授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1	1回目	前期の復習	面接授業	予習：自主練習（1時間） 復習：自主練習（1時間）
2	2回目	立ち稽古、部分通し稽古①	面接授業	予習：自主練習（1時間） 復習：自主練習（1時間）
3	3回目	制作	面接授業	予習：自主練習（1時間） 復習：持ち帰り制作（1時間）
4	4回目	部分通し稽古②	面接授業	予習：自主練習（1時間） 復習：持ち帰り制作（1時間）
5	5回目	制作	面接授業	予習：自主練習（1時間） 復習：持ち帰り制作（1時間）
6	6回目	部分通し稽古③	面接授業	予習：自主練習（1時間） 復習：持ち帰り制作（1時間）
7	7回目	制作と、出来上がり作品のチェック	面接授業	予習：自主練習（1時間） 復習：持ち帰り制作（1時間）
8	8回目	部分通し稽古④	面接授業	予習：自主練習（1時間） 復習：持ち帰り制作（1時間）
9	9回目	制作	面接授業	予習：自主練習（1時間） 復習：持ち帰り制作（1時間）

10	10回目	部分通し稽古⑤	面接授業	予習：自主練習（1時間） 復習：持ち帰り制作（1時間）
11	11回目	制作物を使って通し稽古①	面接授業	予習：自主練習（1時間） 復習：自主練習（1時間）
12	12回目	制作物を使って通し稽古②	面接授業	予習：自主練習（1時間） 復習：自主練習（1時間）
13	13回目	制作物を使って通し稽古③	面接授業	予習：自主練習（1時間） 復習：自主練習（1時間）
14	14回目	制作物を使って通し稽古④本番積み込み準備	面接授業	予習：自主練習（1時間） 復習：自主練習（1時間）
15	15回目	鑑賞と振り返り	面接授業	予習：演目の振り返り（1時間） 復習：今後の自分の課題への振り返り（1時間）
16				授業外学修 30時間

その他

科目（教職課程用）	①領域及び保育内容の指導法に関する科目	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	②保育内容の指導法	
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項		
教科書	【教科書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【教科書】ISBN
	選択した作品をコピー	
参考書	【参考書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【参考書】ISBN
履修条件		
履修上の注意		
オフィスアワー	授業の前後で対応します	
備考・メッセージ		

総合保育技術III b

更新日：2026/05/19 15:15:25

開講年度	2026	開講期	前期	ナンバリング	CM308
担当教員	釜元 晶子				

配当	学部/学科	短期大学 長崎短期大学 保育学科			
	配当年	単位	科目必選区分	授業形態	
	2年	1	選択	演習	

アクティブラーニングの種類	①発見学習（事実を発見する過程から学習者に体験させる手法）	
	②問題解決学習（PBL：自ら問題を発見し解決する能力を養うことを目的とした教育法）	
	③体験学習（実際の活動体験を通して学ぶことを狙った学習形態）	
	④調査学習（課題について調査し結論をまとめる学習法）	
	⑤グループ・ディスカッション（議論まで）	<input checked="" type="checkbox"/>
	⑥ディベート（特定の論題について、あえて異なる立場に分かれて議論をする手法）	
	⑦グループ・ワーク（議論+成果物（プレゼンなど））	<input checked="" type="checkbox"/>

授業概要

本演習では、身体表現に必要なダンスの基礎を学び、自分にふさわしい表現方法で、「音楽と動きのつどい」に参加できることをねらいとしている。本演習では、①基本的なダンステクニックを学ぶ、②多様なダンスの表現方法を学ぶ、③ダンス創作方法を学ぶ、④ダンスの創作活動を通してコミュニケーションについて学ぶ、ことを目標とする。

授業における到達目標

1	ダンスを通して身体をコントロールする楽しさが分かる
2	ダンスを通して身体で表現することの楽しさが分かる
3	ダンスを通して人と交流する楽しさが分かる
4	子どもにダンスを教えるために必要な知識と技術が分かる
5	ダンスが人に伝える手段であることが分かる
6	ダンス技術習得過程や創作活動中の問題などに対してどのように対処したら良いか考えて取り組むことができる
7	ダンス技術やダンス作品をよりよくしようと積極的に取り組むことができる

評価方法

資質・能力	授業における到達目標（番号のみ記載）	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力	1,2,3	作品発表会	10
確かな専門的知識や技能	4	レポート	10
コミュニケーション能力	5	グループディスカッション	20
課題解決能力	6	課題作品	15
		創作作品	15
主体的に学ぶ力	7	授業への参加・態度	30
合計			100

補足事項

課題作品 15%、創作作品 15%、グループディスカッション 20%、作品発表会 10%、レポート 10%、授業への参加・態度 30%を評価する。それらについては、都度指導及び評価についてフィードバックを行う。その際は Web 等で個別に対応もおこなう。本授業では、遅刻 3 回で欠席 1 回とする。

授業計画

	授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1	1回目	過年度作品の鑑賞 授業（a、b、cの選択）	面接授業	予習：シラバス及び参考図書などを読む（0.5時間） 復習：自分の選択したコースの活動を調べる（0.5時間）
2	2回目	子どもと一緒に踊ることができるダンスを踊り、その特徴を考える。	面接授業	予習：子どもと踊れるダンスを調べる（0.5時間） 復習：子どもと一緒に踊れるダンスの特徴をまとめる（0.5時間）
3	3回目	課題の動きを覚える （0秒～40秒） 動きの力性について学ぶ	面接授業	予習：子どもと踊れるダンスを練習する（0.5時間） 復習：動きの力性についてまとめる（0.5時間）
4	4回目	課題の動きを覚える （40秒～1分20秒） 動きの時間性について学ぶ	面接授業	予習：課題の動きを練習する（0.5時間） 復習：動きの時間性についてまとめる（0.5時間）

5	5回目	課題の動きを覚える (1分20秒~2分00秒) 動きの空間性について学ぶ	面接授業	予習：課題の動きを練習する(0.5時間) 復習：動きの空間性についてまとめる(0.5時間)
6	6回目	課題の動きを覚える (2分00秒~2分40秒) 動きの関係性について学ぶ 対比・カノンなど	面接授業	予習：課題の動きを練習する(0.5時間) 復習：動きの関係性についてまとめる(0.5時間)
7	7回目	課題の動きを覚える (2分40秒~3分20秒) ダイナミックな動きについて	面接授業	予習：課題の動きを練習する(0.5時間) 復習：ダイナミックな動きについてまとめる(0.5時間)
8	8回目	課題の動きを覚える (3分20秒~4分00分) メリハリのある動きについて 体の前面・背面の使い方など	面接授業	予習：課題の動きを練習する(0.5時間) 復習：ダイナミックな動きについてまとめる(0.5時間)
9	9回目	グループ決めと作品の選択	面接授業	予習：課題の動きを練習する(0.5時間) 復習：いろいろなダンス作品を鑑賞する(0.5時間)
10	10回目	テーマ決めと作品の構想	面接授業	予習：いろいろなダンス作品を鑑賞し、作品の構想を調べる(0.5時間) 復習：作品の構想をまとめる(0.5時間)
11	11回目	主題となる動きやイメージの抽出	面接授業	予習：いろいろなダンス作品を鑑賞し、動きやイメージについて調べる(0.5時間) 復習：動きやイメージについてまとめる(0.5時間)
12	12回目	効果的な音の選択・編集	面接授業	予習：いろいろなダンス作品を鑑賞し、効果的な音について調べる(0.5時間) 復習：効果的な音についてまとめる(0.5時間)
13	13回目	ひとながれの動きづくり	面接授業	予習：いろいろなダンス作品を鑑賞し、モチーフとなる動きについて調べる(0.5時間) 復習：モチーフとなった動きをまとめる(0.5時間)
14	14回目	ひとまとまりの動きづくり	面接授業	予習：いろいろなダンスを鑑賞し、連続した動きについて調べる(0.5時間) 復習：連続した動きをまとめる(0.5時間)
15	15回目	作品の見せあい 意見交流会	面接授業	予習：創作作品、課題作品の練習(0.5時間) 復習：自分の意見をレポートにまとめる(0.5時間)
16	16回目			授業外学修 15時間

その他

科目(教職課程用)	①領域及び保育内容の指導法に関する科目	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	②保育内容の指導法	
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項		
教科書	【教科書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【教科書】ISBN
	必要に応じてプリントを配布する	
参考書	【参考書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【参考書】ISBN
	水村真由美(著)『ダンスのかがかく』、昭和システム、2013	9.7848E+12
履修条件		
履修上の注意		
オフィスアワー	授業の前後で対応可	
備考・メッセージ	円滑なグループ活動を進められるよう、協力的な態度で臨むこと	

総合保育技術Ⅳb

更新日：2026/05/19 15:15:28

開講年度	2026	開講期	後期	ナンバリング	CM405
担当教員	釜元 晶子				

配当	学部/学科	短期大学 長崎短期大学 保育学科			
	配当年	単位	科目必選区分	授業形態	
	2年	1	選択	演習	

アクティブラーニングの種類	①発見学習（事実を発見する過程から学習者に体験させる手法）	
	②問題解決学習（PBL：自ら問題を発見し解決する能力を養うことを目的とした教育法）	
	③体験学習（実際の活動体験を通して学ぶことを狙った学習形態）	
	④調査学習（課題について調査し結論をまとめる学習法）	
	⑤グループ・ディスカッション（議論まで）	<input checked="" type="checkbox"/>
	⑥ディベート（特定の論題について、あえて異なる立場に分かれて議論をする手法）	
	⑦グループ・ワーク（議論+成果物（プレゼンなど））	<input checked="" type="checkbox"/>

授業概要

本演習では、身体表現に必要なダンスの基礎を学び、自分にふさわしい表現方法で、「音楽と動きのつどい」に参加できることをねらいとしている。本演習では、①基本的なダンステクニックを習得する、②多様なダンスの表現方法を習得する、③ダンス創作方法を習得する、④ダンスの創作活動を通してコミュニケーション能力を習得することを目標にする。

授業における到達目標

1	ダンスを通して身体をコントロールすることができる
2	ダンスを通して身体で表現することができる
3	ダンスを通して人と交流することができる
4	子どもにダンスを教えるために必要な知識と技術が習得できる
5	自分の思いや考えを身体で表現することができる
6	ダンス技術習得過程や創作活動中の問題などに対してどのように対処すべきか考えて取り組むことができる
7	ダンス技術やダンス作品を修正し、より良くしようと積極的に取り組むことができる

評価方法

資質・能力	授業における到達目標（番号のみ記載）	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力	1,2,3	作品発表会	10
確かな専門的知識や技能	4	成果レポート	10
コミュニケーション能力	5	グループディスカッション	20
課題解決能力	6	課題作品	15
		創作作品	15
主体的に学ぶ力	7	授業への参加・態度	30
合計			100

補足事項

課題作品 15%、創作作品 15%、グループディスカッション 20%、作品発表会 10%、成果レポート10%、授業への参加・態度 30%を評価する。それらについては、都度指導及び評価についてフィードバックを行う。その際は Web 等で個別に対応もおこなう。本授業では、遅刻 3 回で欠席 1 回とする。本授業では、遅刻 3 回で欠席 1 回とする。

授業計画

	授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1	1回目	創作作品前半の動き決め 踊る	面接授業	予習：前期の内容を復習する（0.5 時間） 復習：前半の動きをまとめる（0.5 時間）
2	2回目	創作作品後半の動き決め 踊る	面接授業	予習：前半の動きを練習する（0.5 時間） 復習：後半の動きをまとめる（0.5 時間）
3	3回目	創作作品前半の動き通し練習	面接授業	予習：前半の動きを練習する（0.5 時間） 復習：前半の動きを踊り込む（0.5 時間）
4	4回目	創作作品後半の動き通し練習	面接授業	予習：後半の動きを練習する（0.5 時間） 復習：後半の動きを踊り込む（0.5 時間）
5	5回目	課題作品前半の構成決め 修正手直し	面接授業	予習：いろいろなダンス作品を鑑賞し、構成について調べる（0.5 時間） 復習：課題作品前半の構成をまとめる（0.5時間）

6	6回目	課題作品前半の構成決め 修正手直し	面接授業	予習：いろいろなダンス作品を鑑賞し、構成について調べる（0.5時間） 復習：創作作品前半の構成をまとめる（0.5時間）
7	7回目	課題作品後半の構成決め 修正手直し	面接授業	予習：いろいろなダンス作品を鑑賞し、構成について調べる（0.5時間） 復習：創作作品後半の構成をまとめる（0.5時間）
8	8回目	課題作品後半の構成決め 修正手直し	面接授業	予習：いろいろなダンス作品を鑑賞し、構成について調べる（0.5時間） 復習：創作作品後半の構成をまとめる（0.5時間）
9	9回目	課題作品の通し練習 修正手直し	面接授業	予習：課題作品を練習する（0.5時間） 復習：課題作品を復習する（0.5時間）
10	10回目	創作作品の通し練習 踊りこみ	面接授業	予習：創作作品を練習する（0.5時間） 復習：創作作品を復習する（0.5時間）
11	11回目	衣装製作 踊りこみ	面接授業	予習：衣装のデザインを考える（0.5時間） 復習：衣装を完成させる（0.5時間）
12	12回目	小道具制作 踊りこみ	面接授業	予習：小道具のデザインを考える（0.5時間） 復習：小道具を完成させる（0.5時間）
13	13回目	作品の演出（音響・照明など） 踊りこみ	面接授業	予習：いろいろな作品を鑑賞し、音響や照明について調べる（0.5時間） 復習：音響案、照明案をまとめる（0.5時間）
14	14回目	完成発表（踊りこみ）	面接授業	予習：舞台発表に必要なものを準備する（0.5時間） 復習：準備物の見直し、踊りの復習を行う（0.5時間）
15	15回目	つどいの反省と総括	面接授業	予習：つどいの映像等を見て自分の意見をまとめる（0.5時間） 復習：成果レポートを作成する（2時間）
16	16回目			授業外学修 16.5時間

その他

科目（教職課程用）	①領域及び保育内容の指導法に関する科目	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	②保育内容の指導法	
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項		
教科書	【教科書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【教科書】ISBN
	必要に応じてプリントを配布する	
参考書	【参考書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【参考書】ISBN
	水村真由美（著）『ダンスのかがかく』、昭和システム、2013	9.7848E+12
履修条件		
履修上の注意		
オフィスアワー	授業の前後で対応可	
備考・メッセージ	円滑なグループ活動を進められるよう、積極的な態度で臨むこと	

総合保育技術Ⅲc

更新日：2026/05/19 15:15:26

開講年度	2026	開講期	前期	ナンバリング	CM309
担当教員	中村 明夫				

担当	学部/学科	短期大学 長崎短期大学 保育学科			
	当年度	単位	科目必選区分	授業形態	
	2年	1	選択	演習	

アクティブラーニングの類型	①発見学習（事実を発見する過程から学習者に体験させる手法）	
	②問題解決学習（PBL：自ら問題を発見し解決する能力を養うことを目的とした教育法）	
	③体験学習（実際の活動体験を通して学ぶことを狙った学習形態）	<input checked="" type="checkbox"/>
	④調査学習（課題について調査し結論をまとめる学習法）	
	⑤グループ・ディスカッション（議論まで）	
	⑥ディベート（特定の論題について、あえて異なる立場に分かれて議論をする手法）	
	⑦グループ・ワーク（議論+成果物（プレゼンなど））	<input checked="" type="checkbox"/>

授業概要

吹奏楽、またそれに類似する器楽合奏の実践力、指導力を身につける。
この演習では演奏の基礎・基本の習得をしつつ、以下の3つに重点を置く。

- ①楽器演奏の基礎、基本を身につける
- ②楽曲分析、演奏指導のスキルを身につける
- ③合奏の指導スキルを身につける

授業における到達目標

1	楽器演奏の基礎、基本を身につける
2	楽曲分析、演奏指導のスキルを身につける
3	合奏の指導スキルを身につける

評価方法

資質・能力	授業における到達目標 （番号のみ記載）	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力	2	授業への参加・態度	10%
確かな専門的知識や技能	1	実技試験	60%
コミュニケーション能力	3	授業への参加・態度	10%
課題解決能力	3	授業への参加・態度	10%
主体的に学ぶ力	3	授業への参加・態度	10%
合計			100%
補足事項			

授業計画

	授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1	1	管弦打楽器、各種楽器特性を知る	面接授業	予習：楽器について調べる（1時間） 復習：楽器の種類の確認（1時間）
2	2	管弦打楽器、各種楽器の基本奏法を学ぶ	面接授業	予習：楽器について調べる（1時間） 復習：奏法の確認（1時間）
3	3	担当楽器を選択し、奏法を学ぶ	面接授業	予習：楽器の選択（1時間） 復習：楽器の練習（1時間）
4	4	担当楽器の基礎練習を行う	面接授業	予習：楽器の練習（1時間） 復習：楽器の練習（1時間）
5	5	担当楽器の基礎練習を行う	面接授業	予習：楽器の練習（1時間） 復習：楽器の練習（1時間）
6	6	担当楽器の基礎練習を行う	面接授業	予習：楽器の練習（1時間） 復習：楽器の練習（1時間）
7	7	担当楽器にて楽曲の練習を行う	面接授業	予習：楽器の練習（1時間） 復習：楽器の練習（1時間）
8	8	担当楽器にて楽曲の練習を行う	面接授業	予習：楽器の練習（1時間） 復習：楽器の練習（1時間）
9	9	担当楽器にて楽曲の練習を行う	面接授業	予習：楽器の練習（1時間） 復習：楽器の練習（1時間）

10	10	担当楽器にて楽曲の練習を行う	面接授業	予習：楽器の練習（1時間） 復習：楽器の練習（1時間）
11	11	担当楽器にて楽曲の練習を行い、合奏練習に取り組む	面接授業	予習：楽器の練習（1時間） 復習：楽器の練習（1時間）
12	12	担当楽器にて楽曲の練習を行い、合奏練習に取り組む	面接授業	予習：楽器の練習（1時間） 復習：楽器の練習（1時間）
13	13	担当楽器にて楽曲の練習を行い、合奏練習に取り組む	面接授業	予習：楽器の練習（1時間） 復習：楽器の練習（1時間）
14	14	担当楽器にて楽曲の練習を行い、合奏練習に取り組む	面接授業	予習：楽器の練習（1時間） 復習：楽器の練習（1時間）
15	15	担当楽器にて楽曲の練習を行い、合奏練習に取り組む	面接授業	予習：楽器の練習（1時間） 復習：楽器の練習（1時間）
16				授業外学修 30時間

その他

科目（教職課程用）	①領域及び保育内容の指導法に関する科目	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	②保育内容の指導法	
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項		
教科書	【教科書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【教科書】ISBN
参考書	【参考書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【参考書】ISBN
履修条件		
履修上の注意	楽器経験者が望ましいが、未経験者も受け入れる	
オフィスアワー	質問等は授業の前後に教室にてまたはメール等で受け付ける。	
備考・メッセージ	器楽合奏は保育の現場でも多く取り上げられています。この講座で実際に体験してみて、知識や技術を身につけるだけでなく、音楽のもつ無限大の可能性と楽しさを感じてください！	

総合保育技術Ⅳc

更新日：2026/05/19 15:15:29

開講年度	2026	開講期	後期	ナンバリング	CM406
担当教員	中村 明夫				

配当	学部/学科	短期大学 長崎短期大学 保育学科			
	配当年	単位	科目必選区分	授業形態	
	2年	1	選択	演習	
アクティブラーニングの類型	①発見学習（事実を発見する過程から学習者に体験させる手法）				
	②問題解決学習（PBL：自ら問題を発見し解決する能力を養うことを目的とした教育法）				
	③体験学習（実際の活動体験を通して学ぶことを狙った学習形態）				
	④調査学習（課題について調査し結論をまとめる学習法）				
	⑤グループ・ディスカッション（議論まで）				
	⑥ディベート（特定の論題について、あえて異なる立場に分かれて議論をする手法）				
	⑦グループ・ワーク（議論+成果物（プレゼンなど））				

授業概要

吹奏楽、またそれに類似する器楽合奏の実践力、指導力を身につける。
この演習では演奏の基礎・基本の習得をしつつ、以下の3つに重点を置く。

- ①楽器演奏の応用力を身につける
- ②楽曲分析、演奏指導のスキルを高める
- ③合奏の指導スキルを高める

授業における到達目標

1	楽器演奏の応用力を身につける
2	楽曲分析、演奏指導のスキルを高める
3	合奏の指導スキルを高める

評価方法

資質・能力	授業における到達目標 (番号のみ記載)	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力	2	授業への参加・態度	10%
確かな専門的知識や技能	1	実技試験	60%
コミュニケーション能力	3	授業への参加・態度	10%
課題解決能力	3	授業への参加・態度	10%
主体的に学ぶ力	3	授業への参加・態度	10%
合計			100%
補足事項			

授業計画

	授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1	1	発表会の内容を決定し、楽曲練習に取り組む	面接授業	予習：楽曲の選定（1時間） 復習：楽器の練習（1時間）
2	2	発表会の内容を決定し、楽曲練習に取り組む	面接授業	予習：楽器の練習（1時間） 復習：楽器の練習（1時間）
3	3	発表会の内容を決定し、楽曲練習に取り組む	面接授業	予習：楽器の練習（1時間） 復習：楽器の練習（1時間）
4	4	楽曲分析を行い、練習の内容を検討し、実行する	面接授業	予習：楽器の練習（1時間） 復習：楽器の練習（1時間）
5	5	楽曲分析を行い、練習の内容を検討し、実行する	面接授業	予習：楽器の練習（1時間） 復習：楽器の練習（1時間）
6	6	楽曲分析を行い、練習の内容を検討し、実行する	面接授業	予習：楽器の練習（1時間） 復習：楽器の練習（1時間）
7	7	楽曲分析を行い、練習の内容を検討し、実行する	面接授業	予習：楽器の練習（1時間） 復習：楽器の練習（1時間）
8	8	楽曲分析を行い、練習の内容を検討し、実行する	面接授業	予習：楽器の練習（1時間） 復習：楽器の練習（1時間）
9	9	担当楽器にて合奏練習に取り組み、演奏を仕上げる	面接授業	予習：楽器の練習（1時間） 復習：楽器の練習（1時間）

10	10	担当楽器にて合奏練習に取り組み、演奏を仕上げる	面接授業	予習：楽器の練習（1時間） 復習：楽器の練習（1時間）
11	11	担当楽器にて合奏練習に取り組み、演奏を仕上げる	面接授業	予習：楽器の練習（1時間） 復習：楽器の練習（1時間）
12	12	担当楽器にて合奏練習に取り組み、演奏を仕上げる	面接授業	予習：楽器の練習（1時間） 復習：楽器の練習（1時間）
13	13	担当楽器にて合奏練習に取り組み、演奏を仕上げる	面接授業	予習：楽器の練習（1時間） 復習：楽器の練習（1時間）
14	14	担当楽器にて合奏練習に取り組み、演奏を仕上げる	面接授業	予習：楽器の練習（1時間） 復習：楽器の練習（1時間）
15	15	担当楽器にて合奏練習に取り組み、演奏を仕上げる	面接授業	予習：楽器の練習（1時間） 復習：楽器の練習（1時間）
16				授業外学修 30時間

その他

科目（教職課程用）	①領域及び保育内容の指導法に関する科目	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	②保育内容の指導法	
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項		
教科書	【教科書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【教科書】ISBN
参考書	【参考書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【参考書】ISBN
履修条件		
履修上の注意	楽器経験者が望ましいが、未経験者も受け入れる	
オフィスアワー	質問等は授業の前後に教室にてまたはメール等で受け付ける。	
備考・メッセージ	器楽合奏は保育の現場でも多く取り上げられています。この講座で実際に体験してみて、知識や技術を身につけるだけでなく、音楽のもつ無限大の可能性と楽しさを感じてください！	

保育内容演習Ⅱ（保育教材研究a）

更新日：2026/06/17 08:48:04

開講年度	2026	開講期	後期	ナンバリング	CM206
担当教員	吉元 千加里				

配当	学部/学科	短期大学 長崎短期大学 保育学科			
	配当年	単位	科目必選区分	授業形態	
	1年	1	選択	演習	

アクティブラーニングの類型	①発見学習（事実を発見する過程から学習者に体験させる手法）	
	②問題解決学習（PBL：自ら問題を発見し解決する能力を養うことを目的とした教育法）	
	③体験学習（実際の活動体験を通して学ぶことを狙った学習形態）	<input checked="" type="checkbox"/>
	④調査学習（課題について調査し結論をまとめる学習法）	
	⑤グループ・ディスカッション（議論まで）	
	⑥ディベート（特定の論題について、あえて異なる立場に分かれて議論をする手法）	
	⑦グループ・ワーク（議論+成果物（プレゼンなど））	<input checked="" type="checkbox"/>

授業概要

保育における教材の意義や役割について理解を深め、子どもの発達や興味・関心に応じた教材の活用方法を学ぶ。また、身近な素材を活用した手作り教材や絵本、ペープサートなど多様な教材について知識を深め、実習で活用できる教材製作にも取り組みながら、実践的な指導力を養う。

授業における到達目標

1	保育教材の種類と特徴について理解する。
2	子どもの発達段階や興味・関心に基づいた教材選択ができる。
3	季節の自然や文化・行事に触れ、子どもの感性を育む教材について理解することができる。
4	子どもの世界に共感するとともに、活動や援助における保育者としての役割について理解することができる。
5	仲間のアイデアを受容し、多様な意見や考え方を取り入れていくことができる。
6	他者からのアドバイスを分析し、自身のアイデアをより良いものにしていくことができる。
7	意欲的に学び、より深い学びに繋げていこうと積極的に取り組むことができる。

評価方法

資質・能力	授業における到達目標（番号のみ記載）	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力	4	絵本ノート	10%
確かな専門的知識や技能	1, 2, 3	課題作品、実践動画 レポート	50% 10%
コミュニケーション能力	5	レポート	5%
課題解決能力	6	課題作品 レポート	10% 5%
主体的に学ぶ力	7	課題作品	10%
合計			100%

補足事項

授業内評価とし、課題作品30%、実践動画20%、レポート20%、絵本ノート10%で評価を行う。
課題のフィードバックは授業内またはGoogleClassroomで行う。
15分以上の遅刻または離席（退室）があった場合は欠席とみなす。
やむを得ない事情以外での提出遅れなどは減点対象とする。

授業計画

	授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1	第1回	「オリエンテーション/保育教材とは」 ・授業の概要について ・準備物について ・保育教材について	対面	シラバスの確認、保育教材について調べる（30分）
2	第2回	「子どもの発達と教材の関係」 ・子どもの発達とは ・幼少期の遊びについて ・教材選択のポイントについて ・グループワーク（年齢別教材について）	対面	自身の幼少期の遊びについて振り返り、メモに記入する（30分）
3	第3回	「子どもと絵本」 ・子どもにとって絵本とは ・絵本ノートの制作①	対面	3～5歳児を対象とした絵本を2冊選び、読む（30分）

4	第4回	「保育における導入とは」 ・絵本ノート①の提出 ・ペープサートの制作	対面	0～2歳、3～5歳を対象としたペープサートの考案（30分）
5	第5回	「子どもにとっての遊びとは」 ・遊びの意味や重要性について ・子どもの遊びにおける保育者の役割について ・感触遊び（スライムづくり）	対面	乳幼児期の遊びについて調べる（30分）
6	第6回	「保育教材の意義と役割」 ・子どもの姿をとらえる視点 ・季節や行事について（秋） ・保育教材制作（9～11月）	対面	9～11月の自然や文化・行事について調べる（30分）
7	第7回	「子どもと絵本」 ・絵本ノートの制作②	対面	3～5歳児を対象とした絵本を2冊選び、読む（30分）
8	第8回	「保育教材の安全性について」 ・絵本ノート②の提出 ・子どもたちを意識した安全面への配慮について 「保育教材制作」 ・年齢や場面に応じた保育教材の考案・制作	対面	教材の考案、必要物品の準備（30分）
9	第9回	「実践と振り返り」 ・保育教材の使用実践と振り返り ・レポート作成（グループディスカッション） 「保育教材制作」 ・季節や行事について（冬） ・保育教材制作（12～2月）	対面	教材の使用実践について振り返りをメモに残しておく（30分）
10	第10回	「保育教材制作」 ・季節や行事について（春・夏） ・保育教材制作（3～5月、6～8月） 「シアター制作について」 ・シアターの種類	対面	3～8月の自然や文化・行事について調べる（45分）
11	第11回	「保育教材制作」	対面	制作に必要な素材や道具の準備（30分）
12	第12回	「保育教材制作」	対面	制作に必要な素材や道具の準備（90分）
13	第13回	「保育教材制作」	対面	制作に必要な素材や道具の準備（90分）
14	第14回	「保育教材制作」 「グループ内発表の準備」 ・計画シートの作成	対面	制作に必要な素材や道具の準備（90分）
15	第15回	「グループ内発表」 ・教材の制作理由やテーマ、使用方法について小グループ内で発表する。 ・レポート作成 「学習のまとめ」	対面	制作に必要な素材や道具の準備（90分） レポート作成（195分）
16	第16回	授業内評価（定期試験なし） ・計画シート、動画の提出	クラスルーム	授業外学修 15時間

その他

科目（教職課程用）		
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等		
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項		
教科書	【教科書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【教科書】ISBN
参考書	【参考書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【参考書】ISBN
	幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領、遊びの指導	
履修条件		
履修上の注意	授業に必要な道具・用具の準備を行い受講すること。	
オフィスアワー	授業、会議、出張（実習巡回含む）等が入っていない場合は随時対応可。※事前に連絡をすること。	
備考・メッセージ	実習で活用できる教材の一つでも多く製作できるよう自ら好奇心・探求心をもって積極的に受講すること。	

保育内容演習Ⅱ（マーチングa）

更新日：2026/05/19 15:15:00

開講年度	2026	開講期	後期	ナンバリング	CM209
担当教員	中村 明夫				

担当	学部/学科	短期大学 長崎短期大学 保育学科				
	配当年	単位	科目必選区分	授業形態		
	1年	1	選択	演習		
アクティブラーニングの類型	①発見学習（事実を発見する過程から学習者に体験させる手法）					
	②問題解決学習（PBL：自ら問題を発見し解決する能力を養うことを目的とした教育法）					
	③体験学習（実際の活動体験を通して学ぶことを狙った学習形態）					☑
	④調査学習（課題について調査し結論をまとめる学習法）					
	⑤グループ・ディスカッション（議論まで）					
	⑥ディベート（特定の論題について、あえて異なる立場に分かれて議論をする手法）					
	⑦グループ・ワーク（議論+成果物（プレゼンなど））					☑

授業概要

保育現場で多く取り入れられている「マーチング」を自ら行うことで、マーチングの実践力、指導力を身につける。
この演習では基礎・基本の習得をしつつ、以下の3つに重点を置く。

- ①マーチングの基礎用語・基本動作を学ぶ
- ②スカードによるフォーメーションの基本動作を身につける
- ③楽器演奏を伴った基本動作の実践を行う

授業における到達目標

1	マーチングの基礎用語・基本動作を習得し、指導ができる
2	スカードによるフォーメーションの基本動作を習得し、指導ができる
3	フォーメーション作成・楽曲編曲の能力を習得し、指導ができる

評価方法

資質・能力	授業における到達目標 (番号のみ記載)	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力	2	授業への参加・態度	10%
確かな専門的知識や技能	1	実技試験	60%
コミュニケーション能力	3	授業への参加・態度	10%
課題解決能力	3	授業への参加・態度	10%
主体的に学ぶ力	3	授業への参加・態度	10%
合計			100%
補足事項			

授業計画

	授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1	1	マーチングの基礎用語、基本動作	面接授業	予習：用語の確認（1時間） 復習：動作の確認（1時間）
2	2	マーチングの基礎用語、基本動作	面接授業	予習：用語の確認（1時間） 復習：動作の確認（1時間）
3	3	マーチングの基礎用語、基本動作	面接授業	予習：用語の確認（1時間） 復習：動作の確認（1時間）
4	4	マーチングの基礎用語、基本動作	面接授業	予習：用語の確認（1時間） 復習：動作の確認（1時間）
5	5	マーチングの基礎用語、基本動作	面接授業	予習：用語の確認（1時間） 復習：動作の確認（1時間）
6	6	スカードによる基本動作	面接授業	予習：動作の確認（1時間） 復習：動作の習得（1時間）
7	7	スカードによる基本動作	面接授業	予習：動作の確認（1時間） 復習：動作の習得（1時間）
8	8	スカードによる基本動作	面接授業	予習：動作の確認（1時間） 復習：動作の習得（1時間）
9	9	スカードによる基本動作	面接授業	予習：動作の確認（1時間） 復習：動作の習得（1時間）

10	10	スカードによる基本動作	面接授業	予習：動作の確認（1時間） 復習：動作の習得（1時間）
11	11	簡易なフォーメーション考案と実践	面接授業	予習：動作の作成（1時間） 復習：動作の修正（1時間）
12	12	簡易なフォーメーション考案と実践	面接授業	予習：動作の作成（1時間） 復習：動作の修正（1時間）
13	13	簡易なフォーメーション考案と実践	面接授業	予習：動作の作成（1時間） 復習：動作の修正（1時間）
14	14	簡易なフォーメーション考案と実践	面接授業	予習：動作の作成（1時間） 復習：動作の修正（1時間）
15	15	簡易なフォーメーション考案と実践	面接授業	予習：動作の作成（1時間） 復習：動作の修正（1時間）
16				授業外学修 30時間

その他

科目（教職課程用）	①領域及び保育内容の指導法に関する科目	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	②保育内容の指導法	
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項		
教科書	【教科書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【教科書】ISBN
参考書	【参考書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【参考書】ISBN
履修条件		
履修上の注意	運動のしやすい服装で受講する。	
オフィスアワー	質問等は授業の前後に教室にてまたはメール等で受け付ける。	
備考・メッセージ	マーチングは音と動きの総合芸術です。この講座で実際に体験してみて、知識や技術を身につけるだけでなく、音楽と動きのもつ無限大の可能性と楽しさを感じてください！	

保育内容演習Ⅱ（マーチングb）

更新日：2026/05/19 15:15:02

開講年度	2026	開講期	前期	ナンバリング	CM312
担当教員	中村 明夫				

配当	学部/学科	短期大学 長崎短期大学 保育学科			
	配当年	単位	科目必選区分	授業形態	
	2年	1	選択	演習	
アクティブラーニングの類型	①発見学習（事実を発見する過程から学習者に体験させる手法）				
	②問題解決学習（PBL：自ら問題を発見し解決する能力を養うことを目的とした教育法）				
	③体験学習（実際の活動体験を通して学ぶことを狙った学習形態）				☑
	④調査学習（課題について調査し結論をまとめる学習法）				
	⑤グループ・ディスカッション（議論まで）				
	⑥ディベート（特定の論題について、あえて異なる立場に分かれて議論をする手法）				
	⑦グループ・ワーク（議論+成果物（プレゼンなど））				☑

授業概要

保育現場で多く取り入れられている「マーチング」を自ら行うことで、マーチングの実践力、指導力を身につける。
この演習では基礎・基本の習得をしつつ、以下の3つに重点を置く。

- ①マーチングの基本動作を応用し指導方法を学ぶ
- ②スカードによるフォーメーションの作成スキルを身につける
- ③楽器演奏を伴ったマーチング演奏演技の実践を行う

授業における到達目標

1	マーチングの基本動作を実践し、指導ができる
2	スカードによるフォーメーションの基本動作を実践し、指導ができる
3	フォーメーション作成・楽曲編曲を実践し、指導ができる

評価方法

資質・能力	授業における到達目標 （番号のみ記載）	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力	2	授業への参加・態度	10%
確かな専門的知識や技能	1	実技試験	60%
コミュニケーション能力	3	授業への参加・態度	10%
課題解決能力	3	授業への参加・態度	10%
主体的に学ぶ力	3	授業への参加・態度	10%
合計			100%
補足事項			

授業計画

	授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1	1	マーチングの個人による基本動作、演技練習	面接授業	予習：動作の確認（1時間） 復習：動作の習得（1時間）
2	2	スカードによるマーチングの動作、演技練習	面接授業	予習：動作の確認（1時間） 復習：動作の習得（1時間）
3	3	スカードによるマーチングの動作、演技練習	面接授業	予習：動作の確認（1時間） 復習：動作の習得（1時間）
4	4	スカードによるマーチングの動作、演技練習	面接授業	予習：動作の確認（1時間） 復習：動作の習得（1時間）
5	5	スカードによるマーチングの動作、演技練習	面接授業	予習：動作の確認（1時間） 復習：動作の習得（1時間）
6	6	フォーメーション作成と実践	面接授業	予習：動作の作成（1時間） 復習：動作の修正（1時間）
7	7	フォーメーション作成と実践	面接授業	予習：動作の作成（1時間） 復習：動作の修正（1時間）
8	8	フォーメーション作成と実践	面接授業	予習：動作の作成（1時間） 復習：動作の修正（1時間）
9	9	フォーメーション作成と実践	面接授業	予習：動作の作成（1時間） 復習：動作の修正（1時間）

10	10	フォーメーション作成と実践	面接授業	予習：動作の作成（1時間） 復習：動作の修正（1時間）
11	11	マーチング演技、演技指導の実践	面接授業	予習：動作の作成（1時間） 復習：動作の修正（1時間）
12	12	マーチング演技、演技指導の実践	面接授業	予習：動作の作成（1時間） 復習：動作の修正（1時間）
13	13	マーチング演技、演技指導の実践	面接授業	予習：動作の作成（1時間） 復習：動作の修正（1時間）
14	14	マーチング演技、演技指導の実践	面接授業	予習：動作の作成（1時間） 復習：動作の修正（1時間）
15	15	マーチング演技、演技指導の実践	面接授業	予習：動作の作成（1時間） 復習：動作の修正（1時間）
16				授業外学修 30時間

その他

科目（教職課程用）	①領域及び保育内容の指導法に関する科目	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	②保育内容の指導法	
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項		
教科書	【教科書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【教科書】ISBN
参考書	【参考書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【参考書】ISBN
履修条件		
履修上の注意	運動のしやすい服装で受講する。	
オフィスアワー	質問等は授業の前後に教室にてまたはメール等で受け付ける。	
備考・メッセージ	マーチングは音と動きの総合芸術です。この講座で実際に体験してみて、知識や技術を身につけるだけでなく、音楽と動きのもつ無限大の可能性と楽しさを感じてください！	

子どもと表現（ピアノ・楽典Ⅰa）

更新日：2026/05/19 15:15:03

開講年度	2026	開講期	前期	ナンバリング	CM103
担当教員	友廣 憲子, 西沢 素登子, 黒田 照子, 濱崎 典子				

配当	学部/学科	短期大学 長崎短期大学 保育学科			
	配当年	単位	科目必選区分	授業形態	
	1年	1	選択	演習	

アクティブラーニングの類型	①発見学習（事実を発見する過程から学習者に体験させる手法）	
	②問題解決学習（PBL：自ら問題を発見し解決する能力を養うことを目的とした教育法）	<input checked="" type="checkbox"/>
	③体験学習（実際の活動体験を通して学ぶことを狙った学習形態）	<input checked="" type="checkbox"/>
	④調査学習（課題について調査し結論をまとめる学習法）	
	⑤グループ・ディスカッション（議論まで）	
	⑥ディベート（特定の論題について、あえて異なる立場に分かれて議論をする手法）	
	⑦グループ・ワーク（議論+成果物（プレゼンなど））	

授業概要

個人レッスンとグループレッソンを実施し、保育活動に必要なピアノテクニックを身に付けることを目的とする。ハ長調、ト長調のスケール、教則本(バイエル他)、童謡曲の弾き歌いを学習していく。また、コードで伴奏する力を育成するために楽典も学習していく。

授業における到達目標

1	童謡課題曲を5曲弾き歌い歌いすることができる。
2	ハ長調、ト長調のスケールとトニック、ドミナント、サブドミナントを理解して演奏することができる。
3	教則本を1曲演奏することができる。
4	課題以外の童謡曲を弾き歌いすることができる。
5	楽典(コード)に対する基礎を理解することができる。

評価方法

資質・能力	授業における到達目標（番号のみ記載）	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力	4	課題曲以外の童謡曲の弾き歌い	10%
確かな専門的知識や技能	1,2,3,5	童謡の弾き歌い スケールとカデンツ 教則本 楽典	実技試験 実技試験 実技試験 15回目の授業時
コミュニケーション能力			
課題解決能力			
主体的に学ぶ力	5	主体的に学ぼうとする意欲(課題に向き合う姿勢)を評価する	5%
合計			100%
補足事項			

授業計画

	授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1	1回目	オリエンテーション。実技試験に向けて、選曲を行う。楽典は別授業にて実施	対面授業	予習:ピアノ楽器について調べる。復習:課題の復習を行う(予習復習で60分)
2	2回目	読譜の確認および楽曲構造について検討。楽典	対面授業	予習:課題の練習 復習:レッスンの復習(予習復習で60分)
3	3回目	指づかいに着目し、合理的かつ効果的なものを考える 1 楽典	対面授業	予習:課題の練習 復習:レッスンの復習(予習復習で60分)
4	4回目	指づかいに着目し、合理的かつ効果的なものを考える 2 楽典	対面授業	予習:課題の練習 復習:レッスンの復習(予習復習で60分)
5	5回目	指づかいに着目し、合理的かつ効果的なものを考える 3 楽典	対面授業	予習:課題の練習 復習:レッスンの復習(予習復習で60分)
6	6回目	全体的な表現について考え、自分ならではの表現を追求する。	対面授業	予習:課題の練習 復習:レッスンの復習(予習復習で60分)

7	7回目	フレーズに着目して演奏する。楽典	対面授業	予習:課題の練習 復習:レッスンの復習 (予習復習で60分)
8	8回目	フレーズや強弱などの理解を深め、表現につなげる1 楽典	対面授業	予習:課題の練習 復習:レッスンの復習 (予習復習で60分)
9	9回目	フレーズや強弱などの理解を深め、表現につなげる2 楽典	対面授業	予習:課題の練習 復習:レッスンの復習 (予習復習で60分)
10	10回目	フレーズや強弱などの理解を深め、表現につなげる3 楽典	対面授業	予習:課題の練習 復習:レッスンの復習 (予習復習で60分)
11	11回目	グルーブレッスンを行い弾き歌いする1 楽典	対面授業	予習:課題の練習 復習:レッスンの復習 (予習復習で60分)
12	12回目	グルーブレッスンを行い弾き歌いする2(自分の歌声に 着目する) 楽典	対面授業	予習:課題の練習 復習:レッスンの復習 (予習復習で60分)
13	13回目	個人レッスン 全体的な表現について考え、自分ならではの表現を追求する。 楽典	対面授業	予習:課題の練習 復習:レッスンの復習 (予習復習で60分)
14	14回目	定期試験に向けた最終確認。楽典	対面授業	予習:課題の練習 復習:レッスンの復習 (予習復習で60分)
15	15回目	定期試験に向けた最終確認。 楽典(試験)	対面授業	予習:課題の練習 復習:レッスンの復習 (予習復習で60分)
16				授業外学修 15時間

その他

科目(教職課程用)	①領域及び保育内容の指導法に関する科目	
教育職員免許法施行 規則に定める科目区 分または事項等	②保育内容の指導法	
数理・データサイエ ンス・AI教育プロ グラムに関する事項	データ・AIの活用領域	
教科書	【教科書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【教科書】ISBN
	幼児のための「音楽教育」教育芸術社	9784877888220c3073
参考書	【参考書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【参考書】ISBN
履修条件		
履修上の注意	ピアノの演奏技術習得には毎日の練習が大切です。自発的な表現を目指すために、最低限の練習時間は確保するようにしましょう。	
オフィスアワー	授業の前後に対応する	
備考・メッセージ		

子どもと表現（ピアノ・楽典Ⅰb）

更新日：2026/05/19 15:15:05

開講年度	2026	開講期	後期	ナンバリング	CM208
担当教員	友廣 憲子, 西沢 素登子, 黒田 照子, 濱崎 典子				

配当	学部/学科	短期大学 長崎短期大学 保育学科			
	配当年	単位	科目必選区分	授業形態	
	1年	1	選択	演習	

アクティブラーニングの類型	①発見学習（事実を発見する過程から学習者に体験させる手法）	
	②問題解決学習（PBL：自ら問題を発見し解決する能力を養うことを目的とした教育法）	<input checked="" type="checkbox"/>
	③体験学習（実際の活動体験を通して学ぶことを狙った学習形態）	<input checked="" type="checkbox"/>
	④調査学習（課題について調査し結論をまとめる学習法）	
	⑤グループ・ディスカッション（議論まで）	
	⑥ディベート（特定の論題について、あえて異なる立場に分かれて議論をする手法）	
	⑦グループ・ワーク（議論+成果物（プレゼンなど））	

授業概要

子どもと表現(ピアノ、楽典Ⅰa)で修得した技術と知識を礎にし、更に向上するためのカリキュラムに取り組み、保育活動に必要なピアノテクニックを身に付けることを目的にへ長調、二長調のスケール、教則本(バイエル他)、童謡曲の弾き歌いを学習していく。また、伴奏力を育成するために楽典も学習していく。

授業における到達目標

1	童謡の弾き歌いが5曲できる。
2	教則本を1曲演奏することができる
3	へ長調と二長調のスケールとトニック、ドミナント、サブドミナントを理解して演奏することができる。
4	課題以外の童謡曲を弾き歌いすることができる。
5	和音に対する基礎を理解し、保育に活かすことができる。

評価方法

資質・能力	授業における到達目標（番号のみ記載）	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力	4	課題曲以外の童謡曲の弾き歌い	10%
確かな専門的知識や技能	1,2,3	童謡の弾き歌い スケールとカデンツ 教則本 楽典	実技試験 実技試験 実技試験 15回目の授業時 テスト 35% 10% 25% 15%
コミュニケーション能力			
課題解決能力			
主体的に学ぶ力	5	主体的に学ぼうとする意欲(課題に向き合う姿勢)を評価する	5%
合計			100%
補足事項			

授業計画

	授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1	1	オリエンテーション。実技試験に向けて、選曲を行う。楽典は別の授業にて実施	対面授業	予習:ピアノ楽器について調べる。復習:課題の復習を行う(予習復習で60分)
2	2	読譜の確認および楽典構造について検討。 楽典	対面授業	予習:課題の練習 復習:レッスンの復習 (予習復習で60分)
3	3	指づかいに着目し、合理的かつ効果的なものを考える 1 楽典	対面授業	予習:課題の練習 復習:レッスンの復習 (予習復習で60分)
4	4	指づかいに着目し、合理的かつ効果的なものを考える 2 楽典	対面授業	予習:課題の練習 復習:レッスンの復習 (予習復習で60分)
5	5	指づかいに着目し、合理的かつ効果的なものを考える 3 楽典	対面授業	予習:課題の練習 復習:レッスンの復習 (予習復習で60分)

6	6	指づかいに着目し、合理的かつ効果的なものを考える 4 楽典	対面授業	予習:課題の練習 復習:レッスンの復習 (予習復習で60分)
7	7	指づかいに着目し、合理的かつ効果的なものを考える 5 楽典	対面授業	予習:課題の練習 復習:レッスンの復習 (予習復習で60分)
8	8	フレーズに着目して演奏する1 楽典	対面授業	予習:課題の練習 復習:レッスンの復習 (予習復習で60分)
9	9	フレーズに着目して演奏する2 楽典	対面授業	予習:課題の練習 復習:レッスンの復習 (予習復習で60分)
10	10	フレーズに着目して演奏する3 楽典	対面授業	予習:課題の練習 復習:レッスンの復習 (予習復習で60分)
11	11	フレーズに着目して演奏する4 楽典	対面授業	予習:課題の練習 復習:レッスンの復習 (予習復習で60分)
12	12	全体的な表現について考え、自分ならではの表現を追求する。 楽典	対面授業	予習:課題の練習 復習:レッスンの復習 (予習復習で60分)
13	13	全体的な表現について考え、自分ならではの表現を追求する。 楽典	対面授業	予習:課題の練習 復習:レッスンの復習 (予習復習で60分)
14	14	定期試験に向けた最終確認。楽典	対面授業	予習:課題の練習 復習:レッスンの復習 (予習復習で60分)
15	15	定期試験に向けた最終確認。 楽典(試験)	対面授業	予習:課題の練習 復習:レッスンの復習 (予習復習で60分)
16				授業外学修 15時間

その他

科目(教職課程用)	①領域及び保育内容の指導法に関する科目	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	②保育内容の指導法	
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項	データ・AIの活用領域	
教科書	【教科書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【教科書】ISBN
	幼児のための「音楽教育」 教育芸術社	9784877888220c3073
参考書	【参考書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【参考書】ISBN
履修条件		
履修上の注意	ピアノの演奏技術習得には毎日の練習が大切です。自発的な表現を目指すために、最低限の練習時間は確保するようにしましょう。	
オフィスアワー	授業の前後に対応します。	
備考・メッセージ		

子どもと表現（ピアノ・楽典Ⅱa）

更新日：2026/05/19 15:15:06

開講年度	2026	開講期	前期	ナンバリング	CM311
担当教員	友廣 憲子, 西沢 素登子, 黒田 照子, 濱崎 典子				

配当	学部/学科	短期大学 長崎短期大学 保育学科			
	配当年	単位	科目必選区分	授業形態	
	2年	1	選択	演習	

アクティブラーニングの類型	①発見学習（事実を発見する過程から学習者に体験させる手法）	
	②問題解決学習（PBL：自ら問題を発見し解決する能力を養うことを目的とした教育法）	<input checked="" type="checkbox"/>
	③体験学習（実際の活動体験を通して学ぶことを狙った学習形態）	<input checked="" type="checkbox"/>
	④調査学習（課題について調査し結論をまとめる学習法）	
	⑤グループ・ディスカッション（議論まで）	
	⑥ディベート（特定の論題について、あえて異なる立場に分かれて議論をする手法）	
	⑦グループ・ワーク（議論+成果物（プレゼンなど）	

授業概要

子どもと表現(ピアノ、楽典Ⅱb)で修得した技術と知識を礎にし、更に向上するための課題に取り組み、保育の活動に必要なピアノテクニックを身に付けることを目的に変り長調のスケール、教則本(バイエル他)、童謡曲(実習課題曲を含む)の弾き歌いを学習していく。また、保育活動に活かす伴奏(コード)について学習していく。

授業における到達目標

1	童謡の弾き歌いが5曲できる。(実習課題曲を含む)
2	変り長調のスケールとトニック、ドミナント、サブドミナントを理解して演奏することができる。
3	教則本を1曲演奏することができる
4	課題以外の童謡曲を弾き歌いすることができる。
5	メロディー伴奏の応用を理解することができる。

評価方法

資質・能力	授業における到達目標（番号のみ記載）	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力	4	課題曲以外の童謡曲の弾き歌い	10%
確かな専門的知識や技能	1.2.3.5	童謡の弾き歌い スケールとカデンツ 教則本 楽典 実技試験 実技試験 実技試験 15回目の授業時 テスト	35% 10% 25% 15%
コミュニケーション能力			
課題解決能力			
主体的に学ぶ力	1.5	主体的に学ぼうとする意欲(課題に向き合う姿勢)を評価する	5%
合計			100%
補足事項			

授業計画

	授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1	1	オリエンテーション。実技試験に向けて、選曲を行う。楽典は別授業にて実施	対面授業	予習:ピアノの楽器について調べる。復習:課題の復習を行う(予習復習で60分)
2	2	読譜の確認および楽曲構造について検討。楽典	対面授業	予習:課題の練習 復習:レッスンの復習 (予習復習で60分)
3	3	指づかいに着目し、合理的かつ効果的なものを考える 1 楽典	対面授業	予習:課題の練習 復習:レッスンの復習 (予習復習で60分)
4	4	指づかいに着目し、合理的かつ効果的なものを考える 2 楽典	対面授業	予習:課題の練習 復習:レッスンの復習 (予習復習で60分)
5	5	指づかいに着目し、合理的かつ効果的なものを考える 3 楽典	対面授業	予習:課題の練習 復習:レッスンの復習 (予習復習で60分)

6	6	指づかいに着目し、合理的かつ効果的なものを考える 4 楽典	対面授業	予習:課題の練習 復習:レッスンの復習 (予習復習で60分)
7	7	指づかいに着目し、合理的かつ効果的なものを考える 5 楽典	対面授業	予習:課題の練習 復習:レッスンの復習 (予習復習で60分)
8	8	フレーズに着目して演奏する1 楽典	対面授業	予習:課題の練習 復習:レッスンの復習 (予習復習で60分)
9	9	フレーズに着目して演奏する2 楽典	対面授業	予習:課題の練習 復習:レッスンの復習 (予習復習で60分)
10	10	フレーズに着目して演奏する3 楽典	対面授業	予習:課題の練習 復習:レッスンの復習 (予習復習で60分)
11	11	フレーズに着目して演奏する4 楽典	対面授業	予習:課題の練習 復習:レッスンの復習 (予習復習で60分)
12	12	全体的な表現について考え、自分ならではの表現を追求する。 楽典	対面授業	予習:課題の練習 復習:レッスンの復習 (予習復習で60分)
13	13	全体的な表現について考え、自分ならではの表現を追求する。 楽典	対面授業	予習:課題の練習 復習:レッスンの復習 (予習復習で60分)
14	14	定期試験に向けた最終確認。楽典	対面授業	予習:課題の練習 復習:レッスンの復習 (予習復習で60分)
15	15	定期試験に向けた最終確認。 楽典(試験)	対面授業	予習:課題の練習 復習:レッスンの復習 (予習復習で60分)
16				授業外学修 15時間

その他

科目(教職課程用)	①領域及び保育内容の指導法に関する科目	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	②保育内容の指導法	
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項	データ・AIの活用領域	
教科書	【教科書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【教科書】ISBN
	幼児のための「音楽教育」 教育芸術社	9784877888220c3073
参考書	【参考書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【参考書】ISBN
履修条件		
履修上の注意	ピアノの演奏技術習得には毎日の練習が大切です。自発的な表現を目指すために、最低限の練習時間は確保するようにしましょう。	
オフィスアワー	授業の前後に対応します。	
備考・メッセージ		

子どもと表現（ピアノ・楽典Ⅱb）

更新日：2026/05/19 15:15:07

開講年度	2026	開講期	後期	ナンバリング	CM407
担当教員	友廣 憲子				

配当	学部/学科	短期大学 長崎短期大学 保育学科			
	配当年	単位	科目必選区分	授業形態	
	2年	1	選択	演習	

アクティブラーニングの類型	①発見学習（事実を発見する過程から学習者に体験させる手法）	
	②問題解決学習（PBL：自ら問題を発見し解決する能力を養うことを目的とした教育法）	<input checked="" type="checkbox"/>
	③体験学習（実際の活動体験を通して学ぶことを狙った学習形態）	<input checked="" type="checkbox"/>
	④調査学習（課題について調査し結論をまとめる学習法）	
	⑤グループ・ディスカッション（議論まで）	
	⑥ディベート（特定の論題について、あえて異なる立場に分かれて議論をする手法）	
	⑦グループ・ワーク（議論+成果物（プレゼンなど）	

授業概要

子どもと表現(ピアノ、楽典Ⅱa)で修得した技術と知識を礎にし、更に向上するための課題に取り組み、保育活動に必要なピアノテクニックを身に付ける。イ長調のスケールを演奏する。実技試験で童謡コースと学習成果発表コースの2コースがあり、選択して受講することができる。また、楽典の授業で保育活動に活かす伴奏(コード)の応用編を学習していく。

授業における到達目標

1	ピアノ作品について正しい読譜や、様々な伴奏形で表現ができる。
2	ピアノ演奏における技能を修得し、演奏表現力を向上させることができる。
3	他者の前で学習の成果を発揮し、自分の音楽を奏でられる。
4	課題曲以外の童謡曲の弾き歌いができる。
5	童謡課題曲を弾き歌いすることができる。

評価方法

資質・能力	授業における到達目標（番号のみ記載）	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力	4	課題曲以外の童謡曲の弾き歌い	10%
確かな専門的知識や技能	5	童謡の弾き歌い	35%
	2.3	学習成果発表	35%
	1	楽典	15%
コミュニケーション能力			
課題解決能力			
主体的に学ぶ力	1.2.3	主体的に学ぼうとする意欲(課題に向き合う姿勢)を評価する	5%
合計			
補足事項			

授業計画

	授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1	1	オリエンテーション。実技試験に向けて、選曲を行う。楽典は別の授業にて実施	対面授業	予習:ピアノ楽器について調べる。復習:課題の復習を行う(予習復習で60分)
2	2	読譜の確認および楽曲構造について検討。楽典	対面授業	予習:課題の練習 復習:レッスンの復習(予習復習で60分)
3	3	指づかいに着目し、合理的かつ効果的なものを考える 1 楽典	対面授業	予習:課題の練習 復習:レッスンの復習(予習復習で60分)
4	4	指づかいに着目し、合理的かつ効果的なものを考える 2 楽典	対面授業	予習:課題の練習 復習:レッスンの復習(予習復習で60分)
5	5	指づかいに着目し、合理的かつ効果的なものを考える 3 楽典	対面授業	予習:課題の練習 復習:レッスンの復習(予習復習で60分)
6	6	指づかいに着目し、合理的かつ効果的なものを考える 4 楽典	対面授業	予習:課題の練習 復習:レッスンの復習(予習復習で60分)

7	7	指づかいに着目し、合理的かつ効果的なものを考える 5 楽典	対面授業	予習:課題の練習 復習:レッスンの復習 (予習復習で60分)
8	8	フレーズに着目して演奏する1 楽典	対面授業	予習:課題の練習 復習:レッスンの復習 (予習復習で60分)
9	9	フレーズに着目して演奏する2 楽典	対面授業	予習:課題の練習 復習:レッスンの復習 (予習復習で60分)
10	10	フレーズに着目して演奏する3 楽典	対面授業	予習:課題の練習 復習:レッスンの復習 (予習復習で60分)
11	11	フレーズに着目して演奏する4 楽典	対面授業	予習:課題の練習 復習:レッスンの復習 (予習復習で60分)
12	12	全体的な表現について考え、自分ならではの表現を追求する。 楽典	対面授業	予習:課題の練習 復習:レッスンの復習 (予習復習で60分)
13	13	全体的な表現について考え、自分ならではの表現を追求する。 楽典	対面授業	予習:課題の練習 復習:レッスンの復習 (予習復習で60分)
14	14	定期試験に向けた最終確認。楽典	対面授業	予習:課題の練習 復習:レッスンの復習 (予習復習で60分)
15	15	定期試験に向けた最終確認。 楽典(試験)	対面授業	予習:課題の練習 復習:レッスンの復習 (予習復習で60分)
16				授業外学修 15時間

その他

科目(教職課程用)	①領域及び保育内容の指導法に関する科目	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	②保育内容の指導法	
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項	データ・AIの活用領域	
教科書	【教科書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【教科書】ISBN
	幼児のための「音楽教育」 教育芸術社	9784877888220c3073
参考書	【参考書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【参考書】ISBN
履修条件	ピアノの演奏技術習得には毎日の練習が大切です。自発的な表現を目指すために、最低限の練習時間は確保するようにしましょう。	
履修上の注意		
オフィスアワー	授業の前後に対応します。	
備考・メッセージ		

子どもと表現（歌唱）

更新日：2026/05/19 15:15:08

開講年度	2026	開講期	前期	ナンバリング	CM104
担当教員	内田 奈美				

配当	学部/学科	短期大学 長崎短期大学 保育学科			
	配当年	単位	科目必選区分	授業形態	
	1年	1	選択	演習	

アクティブラーニングの類型	①発見学習（事実を発見する過程から学習者に体験させる手法）	
	②問題解決学習（PBL：自ら問題を発見し解決する能力を養うことを目的とした教育法）	
	③体験学習（実際の活動体験を通して学ぶことを狙った学習形態）	<input checked="" type="checkbox"/>
	④調査学習（課題について調査し結論をまとめる学習法）	
	⑤グループ・ディスカッション（議論まで）	
	⑥ディベート（特定の論題について、あえて異なる立場に分かれて議論をする手法）	
	⑦グループ・ワーク（議論+成果物（プレゼンなど））	

授業概要

保育者として必要な音楽理論、基礎知識及び技能を習得する。また、活動を通し、声の持つ表現の多様性、歌うことの楽しさを子どもに指導できる技術を身に付ける。

授業における到達目標

1	様々な音楽を、表情豊かに、子供たちに伝わるように歌うことができる
2	呼吸法や発声法を習得し、楽譜を正しく読み、音楽を表現することができる
3	重唱・合唱において他者とのハーモニーを感じとり、豊かな音楽を表現することができる
4	他者の演奏の良い点を見つけることができる
5	歌唱やソルフェージュの未達成部分に対し、努力し改善できる
6	音程、リズム練習を通して、自分で楽譜を読むことができる

評価方法

資質・能力	授業における到達目標（番号のみ記載）	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力	1	実技演奏	10
確かな専門的知識や技能	2	定期試験実技演奏	60
コミュニケーション能力	3,4	実技演奏	10
課題解決能力	5	小テスト実技演奏	10
主体的に学ぶ力	6	授業への参加・態度	10
合計			100

補足事項

- ・本授業では、実技演奏80%、小テスト10%、授業への参加・態度10%で評価を行う。
- ・小テストは、2回行う。全て授業開始時に行い、既習内容（ソルフェージュ理解度）の筆記試験とする。
- ・対面授業を中心に実施し、zoomやオンデマンドで行う場合もある。
- ・授業に関する質問は授業の前後ほかClassroomでも受け付け、web上あるいは以降の授業回で答える。
- ・本授業では、遅刻3回を欠席1回でカウントする。

授業計画

	授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1	1回目	「オリエンテーション」 ・授業の進め方について ・幼児のための音楽教育 ・ボディパーカッション	面接授業	予習：シラバスとテキスト2冊に目を通しておく（1時間） 復習：この授業の概要を整理しておく（1時間）
2	2回目	・幼児のための音楽教育より 4月教材／手遊び ・ボディパーカッション	面接授業	予習：授業内で出された課題を読譜・練習する（1時間） 復習：授業内で未達成の部分の練習をする（1時間）
3	3回目	・幼児のための音楽教育より 5月教材／手遊び ・ボディパーカッション	面接授業	予習：授業内で出された課題を読譜・練習する（1時間） 復習：授業内で未達成の部分の練習をする（1時間）
4	4回目	・幼児のための音楽教育より 6月教材／手遊び ・ボディパーカッション	面接授業	予習：授業内で出された課題を読譜・練習する（1時間） 復習：授業内で未達成の部分の練習をする（1時間）

5	5回目	・幼児のための音楽教育より 7月教材／手遊び ・ボディパーカッション	面接授業	予習：授業内で出された課題を読譜・練習する（1時間） 復習：授業内で未達成の部分の練習をする（1時間）
6	6回目	・小テスト（1回目） ・幼児のための音楽教育より 8月教材／手遊び ・ボディパーカッション	面接授業	予習：小テストのための既習楽典内容の学習（1時間） 復習：授業内で未達成の部分の練習をする（1時間）
7	7回目	・小テストフィードバック ・幼児のための音楽教育より 9月教材／手遊び ・ボディパーカッション	面接授業	予習：授業内で出された課題を読譜・練習する（1時間） 復習：授業内で未達成の部分の練習をする（1時間）
8	8回目	・幼児のための音楽教育より 10月教材／手遊び ・ボディパーカッション	面接授業	予習：授業内で出された課題を読譜・練習する（1時間） 復習：授業内で未達成の部分の練習をする（1時間）
9	9回目	・幼児のための音楽教育より 11月教材／手遊び ・ボディパーカッション	面接授業	予習：授業内で出された課題を読譜・練習する（1時間） 復習：授業内で未達成の部分の練習をする（1時間）
10	10回目	・幼児のための音楽教育より 12月教材／手遊び ・ボディパーカッション	面接授業	予習：授業内で出された課題を読譜・練習する（1時間） 復習：授業内で未達成の部分の練習をする（1時間）
11	11回目	・小テスト（2回目） ・幼児のための音楽教育より 1月教材／手遊び ・ボディパーカッション	面接授業	予習：小テストのための既習楽典内容の学習（1時間） 復習：授業内で未達成の部分の練習をする（1時間）
12	12回目	・小テストフィードバック ・定期試験課題曲発表 ・幼児のための音楽教育より 2月教材／手遊び ・ボディパーカッション	面接授業	予習：授業内で出された課題を読譜・練習する（1時間） 復習：授業内で未達成の部分の練習をする（1時間）
13	13回目	・幼児のための音楽教育より 3月教材／手遊び ・課題曲を1人ずつ歌唱確認	面接授業	予習：課題曲の中から1曲を選び練習（1時間） 復習：授業内で未達成の部分の練習をする（1時間）
14	14回目	・定期試験課題曲練習・リハーサル 導線確認	面接授業	予習：既習曲の見直し（1時間） 復習：試験課題曲のポイントを整理する（1時間）
15	15回目	・授業内で定期試験	面接授業	予習：課題曲の練習（1時間） 復習：試験の振り返り（1時間）
16				授業外学修 30時間

その他

科目（教職課程用）		
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等		
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項		
教科書	【教科書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【教科書】ISBN
	幼児のための音楽教育（教育芸術社） ピアノで使用するので、この授業での購入は必要なし	9.78488E+12
参考書	【参考書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【参考書】ISBN
	ボディパーカッションdeクラスづくり	9.78419E+12
履修条件		
履修上の注意	講義中の携帯電話・スマートフォンの使用、撮影、録音録画は原則禁止とします。	
オフィスアワー	授業の前後で対応します。	
備考・メッセージ	次回の学習曲は毎回提示しますので、授業にスムーズに入れるよう譜読みをしてきて下さい。	

子どもと表現（造形a）

更新日：2026/05/19 15:15:10

開講年度	2026	開講期	後期	ナンバリング	CM109
担当教員	陣内 敦				

配当	学部/学科	短期大学 長崎短期大学 保育学科			
	配当年	単位	科目必選区分	授業形態	
	1年	1	選択	演習	

アクティブラーニングの類型	①発見学習（事実を発見する過程から学習者に体験させる手法）	
	②問題解決学習（PBL：自ら問題を発見し解決する能力を養うことを目的とした教育法）	
	③体験学習（実際の活動体験を通して学ぶことを狙った学習形態）	<input checked="" type="checkbox"/>
	④調査学習（課題について調査し結論をまとめる学習法）	
	⑤グループ・ディスカッション（議論まで）	
	⑥ディベート（特定の論題について、あえて異なる立場に分かれて議論をする手法）	
	⑦グループ・ワーク（議論+成果物（プレゼンなど））	<input checked="" type="checkbox"/>

授業概要

- ①自分を表現したい心を理解する 相手に伝えたい心を理解する 感じる心を理解する
- ②自然の中にある形を発見する感覚を理解する 偶然による形から発想する感覚を理解する 素材を構成する技術を修練する
- ③幼児の描画概念の発達段階を理解する 幼児の描画道具の扱い方について理解する 幼児への言葉かけ等の支援方法について考察する
- ④壁画装飾がもたらす幼児への効用を理解する 季節を表す素材について理解する 室内環境が与える保育活動の効用を考察する
- ⑤個人の個性の享受と意見の構築の方法を理解する 自分の役割を見つけ達成することの大切さを理解する

授業における到達目標

1	・絵画の原理について理解する
2	・絵画技術と幼児の絵画活動について理解する
3	・幼児の絵画活動に対する保育者の支援方法を理解する
4	・保育施設で保育者がおこなう造形に関連する役割を理解する
5	・保育者が備えるべき造形教育の資質を高める（共同制作について）

評価方法

資質・能力	授業における到達目標（番号のみ記載）	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力	1		
確かな専門的知識や技能	2	作品の成果	60%
コミュニケーション能力	3	作品の成果	20%
課題解決能力	4		
主体的に学ぶ力	5	学修の取り組み	20%
合計			100%
補足事項			

授業計画

	授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1	1	オリエンテーション 子どもと造形についてのイントロダクション 「子どもたちへの自己紹介」制作 ※課題提出方法ならびに提出日は別途指示する	面接授業	予習：造形の意味について、自分なりの考えを持つ（0.5時間） 復習：造形の意義について確認する（0.5時間）
2	2	モダンテクニック（1） フロッターージュによる絵画制作（こすり絵）	面接授業	予習：フロッターージュについて予備知識を得る（0.5時間） 復習：フロッターージュ技法の可能性について考える（0.5時間）
3	3	モダンテクニック（2） コラージュによる絵画制作「私の夢」 ※課題提出方法ならびに提出日は別途指示する	面接授業	予習：コラージュについて予備知識を得る（0.5時間） 復習：コラージュ技法の可能性について考える（0.5時間）
4	4	折り紙 「カエル」「小箱」他の制作 ※課題提出方法ならびに提出日は別途指示する	面接授業	予習：折り紙の予備知識を得る（0.5時間） 復習：他の折り紙についても体験してみる（0.5時間）

5	5	切り紙 「切り紙あそび」伝統的なもん切り遊びを体験する ※課題提出方法ならびに提出日は別途指示する	面接授業	予習：切り紙について予備知識を得る（0.5時間） 復習：切り紙技法の可能性について考える（0.5時間）
6	6	ちぎり絵（1） 童謡をテーマにしたちぎり絵の制作 テーマ設定 下絵 配色計画	面接授業	予習：ちぎり絵について予備知識を得る（0.5時間） 復習：自作品の構想を考える（0.5時間）
7	7	ちぎり絵（2） 童謡をテーマにしたちぎり絵の制作	面接授業	予習：制作途中の自作品を見直す（0.5時間） 復習：自作品の構想を考える（0.5時間）
8	8	ちぎり絵（3） 童謡をテーマにしたちぎり絵の制作	面接授業	予習：制作途中の自作品を見直す（0.5時間） 復習：自作品の構想を考える（0.5時間）
9	9	ちぎり絵（4） 童謡をテーマにしたちぎり絵の制作 ※課題提出方法ならびに提出日は別途指示する	面接授業	予習：制作途中の自作品を見直す（0.5時間） 復習：自作品の構想を考える（0.5時間）
10	10	インスタレーション 「おかおつくっちゃお」 身近な日用品に目鼻等を色紙等で作り遊ぶ ※課題提出方法ならびに提出日は別途指示する	面接授業	予習：子どもの視点で周囲を観察する（0.5時間） 復習：想像遊びについての省察をおこなう（0.5時間）
11	11	染紙 短冊づくり 七夕の笹にに願い事を書く うちわの和紙づくり	面接授業	予習：染め紙の活用法について想像する（0.5時間） 復習：染め紙の他の活用について考える（0.5時間）
12	12	うちわ作り 染紙をうちわに貼ってオリジナルうちわの制作 ※課題提出方法ならびに提出日は別途指示する	面接授業	予習：日本の伝統工芸を知る（0.5時間） 復習：作業工程の事後反省をおこなう（0.5時間）
13	13	ぶんぶんごま ダンボールとタコ糸を用いてぶんぶんごまを制作 ※課題提出方法ならびに提出日は別途指示する	面接授業	予習：色彩の調和を想像する（0.5時間） 復習：作業工程の事後反省をおこなう（0.5時間）
14	14	指人形（1） 保育で使える指人形の制作 トイレットペーパー、紙粘土、色和紙で工作する	面接授業	予習：作品の全体図を構想する（0.5時間） 復習：作業工程の事後反省をおこなう（0.5時間）
15	15	指人形（2） 保育で使える指人形の制作 顔などを絵具で着彩する ※課題提出方法ならびに提出日は別途指示する	面接授業	予習：指人形を用いる保育の場面を構想する（0.5時間） 復習：保育活動を想定し練習する（0.5時間）
16				授業外学修 15時間

その他

科目（教職課程用）	①領域及び保育内容の指導法に関する科目	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	①領域に関する専門的事項	
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項		
教科書	【教科書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【教科書】ISBN
参考書	【参考書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【参考書】ISBN
履修条件	特になし	
履修上の注意	自らの創造力を活性化させるよう、感性を磨くことに心掛けること。	
オフィスアワー	授業時間前後に教室で質問を受け付ける。任意に研究室を訪ね質問することも可能である。	
備考・メッセージ	課題ごとの材料と道具は、一括購入する物と各自準備する物との別があり、事前連絡に留意すること。 また、課題ごとに設けた作品提出期限を厳守すること。	

子どもと表現（造形b）

更新日：2026/05/19 15:15:11

開講年度	2026	開講期	後期	ナンバリング	CM408
担当教員	陣内 敦				

配当	学部/学科	短期大学 長崎短期大学 保育学科			
	配当年	単位	科目必選区分	授業形態	
	2年	1	選択	演習	

アクティブラーニングの類型	①発見学習（事実を発見する過程から学習者に体験させる手法）	
	②問題解決学習（PBL：自ら問題を発見し解決する能力を養うことを目的とした教育法）	
	③体験学習（実際の活動体験を通して学ぶことを狙った学習形態）	<input checked="" type="checkbox"/>
	④調査学習（課題について調査し結論をまとめる学習法）	
	⑤グループ・ディスカッション（議論まで）	
	⑥ディベート（特定の論題について、あえて異なる立場に分かれて議論をする手法）	
	⑦グループ・ワーク（議論+成果物（プレゼンなど））	<input checked="" type="checkbox"/>

授業概要

- ①熟達する喜びを理解する 工夫することの喜びを理解する 造り上げる喜びを理解する
- ②素材の材質感や特徴を理解する 素材の加工方法を理解する 発想を構築していく方法を修練する
- ③幼児の工作概念の発達段階を理解する 幼児の工作道具の扱い方について理解する 幼児への言葉かけ等の支援方法について考察する
- ④手作りの造形がもたらす幼児への効用を理解する 手作りの造形の種類と構造について理解する
- ⑤絵本や人形劇の児童文化財の価値を理解する 人形劇における話の展開方法を理解する 人形劇によって幼児に伝達される内容について考察する

授業における到達目標

1	・工作の原理について理解する
2	・工作技術と幼児の工作活動について理解する
3	・幼児の工作活動に対する保育者の支援方法を理解する
4	・保育施設で保育者がおこなう造形に関連する役割を理解する
5	・保育者が備えるべき造形教育の資質を高める（児童文化財について）

評価方法

資質・能力	授業における到達目標（番号のみ記載）	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力	1		
確かな専門的知識や技能	2	作品の成果	60%
コミュニケーション能力	3	作品の成果	20%
課題解決能力	4		
主体的に学ぶ力	5	学修の取り組み	20%
合計			100%
補足事項			

授業計画

	授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1	1	オリエンテーション 子どもと造形についての講話「折り紙」制作 ※課題提出方法ならびに提出日は別途指示する	面接授業	予習：造形の意味について、自分なりの考えを持つ（0.5時間） 復習：造形の意義について確認する 折り紙の楽しさを感じる（0.5時間）
2	2	粘土の工作（1） 技法の詳解を見る（ビデオ鑑賞）	面接授業	予習：粘土の工作について予備知識を得る（0.5時間） 復習：粘土の技法について確認する（0.5時間）
3	3	粘土の工作（2） 粘土作品を素手やへらを用いながら成形する	面接授業	予習：制作する作品のイメージを作る（0.5時間） 復習：素材について感じたものを味わう（0.5時間）
4	4	粘土の工作（3） 粘土作品の装飾をひっかきや釉薬によってほどこす ※課題提出方法ならびに提出日は別途指示する	面接授業	予習：装飾についてイメージを作る（0.5時間） 復習：粘土の工作の可能性について考える（0.5時間）
5	5	紙の工作（1） 技法の詳解を聞く 自作品の構想を作る	面接授業	予習：制作するもののイメージを作る（0.5時間） 復習：アイディアスケッチから制作工程について計画する（0.5時間）

6	6	紙の工作(2) 新聞紙と和紙で成形	面接授業	予習:紙の成形方法について計画する(0.5時間) 復習:成形手順について再構想と修正をおこなう(0.5時間)
7	7	紙の工作(3) 新聞紙と和紙で成形	面接授業	予習:自作品の成形手順について計画する(0.5時間) 復習:成形手順について修正をおこなう(0.5時間)
8	8	紙の工作(4) 新聞紙と和紙で成形	面接授業	予習:成形手順を再構成する(0.5時間) 復習:自作品の立体的な構造等について鑑賞する(0.5時間)
9	9	紙の工作(5) 部分的に色和紙を貼り装飾する ※課題提出方法ならびに提出日は別途指示する	面接授業	予習:色彩案を作る(0.5時間) 復習:色和紙の調和を鑑賞し、紙の工作の肌合いを楽しむ(0.5時間)
10	10	人形劇制作(共同制作)(1) 童話を選び劇の展開を考える	面接授業	予習:人形劇の体験を思い出す(0.5時間) 復習:話の展開について修正する(0.5時間)
11	11	人形劇制作(共同制作)(2) 下絵を描く	面接授業	予習:展開をまとめる(0.5時間) 復習:話の内容と感情表現などを登場人物の表情や情景に活かす方法を考える(0.5時間)
12	12	人形劇制作(共同制作)(3) 人形に描画し着彩をほどこす	面接授業	予習:色彩の計画をおこなう(0.5時間) 復習:着彩の修正をおこなう(0.5時間)
13	13	人形劇制作(共同制作)(4) 画面側に描画し着彩をほどこす 背景の下絵を描く	面接授業	予習:色彩の調和を想像する(0.5時間) 復習:色彩による画面の空間表現について再検討をおこなう(0.5時間)
14	14	人形劇制作(共同制作)(5) 背景の着彩をほどこす	面接授業	予習:話の展開やせりふを推敲する(0.5時間) 復習:人形の動きとせりふが整合していることを確認する(0.5時間)
15	15	人形劇制作(共同制作)(6) 教室内でグループごとに劇の実演をおこなう	面接授業	予習:人形劇実演の練習をおこなう(0.5時間) 復習:人形劇の楽しさを味わう(0.5時間)
16				授業外学修 15時間

その他

科目(教職課程用)	①領域及び保育内容の指導法に関する科目	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	①領域に関する専門的事項	
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項		
教科書	【教科書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【教科書】ISBN
参考書	【参考書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【参考書】ISBN
履修条件	特になし	
履修上の注意	自らの創造力を活性化させるよう、感性を磨くことに心掛けること。	
オフィスアワー	授業時間前後に教室で質問を受け付ける。任意に研究室を訪ね質問することも可能である。	
備考・メッセージ	課題ごとの材料と道具は、一括購入する物と各自準備する物との別があり、事前連絡に留意すること。 また、課題ごとに設けた作品提出期限を厳守すること。	

子どもと表現（リズム）

更新日：2026/05/19 15:15:12

開講年度	2026	開講期	前期	ナンバリング	CM105
担当教員	釜元 晶子				

配当	学部/学科	短期大学 長崎短期大学 保育学科			
	配当年	単位	科目必選区分	授業形態	
	1年	1	選択	演習	

アクティブラーニングの類型	①発見学習（事実を発見する過程から学習者に体験させる手法）	
	②問題解決学習（PBL：自ら問題を発見し解決する能力を養うことを目的とした教育法）	
	③体験学習（実際の活動体験を通して学ぶことを狙った学習形態）	
	④調査学習（課題について調査し結論をまとめる学習法）	
	⑤グループ・ディスカッション（議論まで）	
	⑥ディベート（特定の論題について、あえて異なる立場に分かれて議論をする手法）	
	⑦グループ・ワーク（議論+成果物（プレゼンなど））	<input checked="" type="checkbox"/>

授業概要

本演習は、子どもと表現・リズム遊びを中心に、幼児期にふさわしい運動内容を学び、さらにその適切な指導法と援助方法を理解することをねらいとしている。本演習では、①リズム・表現遊びの実践ができる、②リズム・表現遊びの計画ができる、③リズム・表現遊びの指導や援助方法が分かる、④小作品を作り発表することで立ち位置、場の使い方を学ぶ、ことをねらいとしている。

授業における到達目標

1	子どもにとって表現・リズム遊びの必要性を説明できるようになる。
2	子どもにふさわしい表現・リズム遊びの活動が分かる。
3	表現・リズム遊びの指導法と援助方法を説明できるようになる。
4	表現・リズム遊びの実践を通して、いろいろな人と交流し、意見を交わすことができる。
5	分からなかったことなどを調べて解決することができる
6	学んだ成果をまとめ堂々と発表する。

評価方法

資質・能力	授業における到達目標（番号のみ記載）	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力			
確かな専門的知識や技能	1,2,3	授業への参加・態度 成果レポート	40
コミュニケーション能力	4	創作などのグループ活動	30
課題解決能力	5	課題レポート	20
主体的に学ぶ力	6	作品発表	10
合計			100

補足事項

課題レポート、作品発表、創作活動、授業への参加・態度を評価する。
課題については都度指導し、評価についてはフィードバックを行う。その際はオンラインで個別に対応もおこなう。
本授業は、遅刻3回で欠席1回とする。

授業計画

	授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1	1回目	授業のねらいと内容について	面接授業	予習：リズム・表現遊びとは何か調べる（0.5 h） 復習：リズム・表現遊びについてまとめる（0.5h）
2	2回目	「内的リズム」についてリズムを使った遊びの実践	面接授業	予習：リズムとは何か調べる（0.5 h） 復習：リズムを使った遊びをまとめる（0.5 h）
3	3回目	「表現性」「力性」「空間性」「関係性」について4つのキーワードで動く遊びの実践	面接授業	予習：動きとは何か調べる（0.5 h） 復習：4つのキーワードで動く遊びをまとめる（0.5 h）
4	4回目	ボールを使って動きを広げよう ボールを使って動く遊びの実践	面接授業	予習：ボールの使った遊びを調べる（0.5 h） 復習：ボールを使った遊びをまとめる（0.5 h）
5	5回目	フープを使って動きを広げよう フープを使って動く遊びの実践	面接授業	予習：フープを使った遊びを調べる（0.5 h） 復習：フープを使った遊びをまとめる（0.5 h）
6	6回目	紙を使って動きを広げよう 紙を使って動く遊びの実践	面接授業	予習：紙を使った遊びを調べる（0.5h） 復習：紙を使った遊びをまとめる（0.5 h）

7	7回目	イメージを使って動きを広げよう イメージを使って動く遊びの実践 小作品作り（1分以内）	面接授業	予習：イメージを使った遊びを調べる（0.5h） 復習：イメージを使った遊びをまとめる（0.5h）
8	8回目	子どもの手本になる良い動きとは何か考える 子どもの立ち位置、場の使い方を知る 小作品作り（1分程度）	面接授業	予習：良い動きについて調べる（0.5h） 復習：授業で学習した動きを復習する（0.5h）
9	9回目	自分の表したいイメージを動きで表現する 場の使い方（空間、平面、前後） 小作品作り（1～2分）	面接授業	予習：自分の動きをひとまとまりの動きにする（0.5h） 復習：授業で学習した動きの練習をする（0.5h）
10	10回目	イメージで表現した動きをつなげて、連続した動きにする 小作品作り（1～2分）	面接授業	予習：自分の動きをまとめる（0.5h） 復習：授業で学習した動きを復習する（0.5h）
11	11回目	表現あそび中の子どもへの声かけなど、適切な指導にふさわしい言葉がけについて考える 小作品作り（1～2分）	面接授業	予習：声かけ、言葉がけについて調べる（0.5h） 復習：指導言語についてまとめる（0.5h）
12	12回目	連続した動きにメリハリをつけて、ダイナミックな動きに変化させる。中作品作り（2～3分）	面接授業	予習：自分の動きをデフォルメする（0.5h） 復習：授業で学習した動きを練習する（0.5h）
13	13回目	子どもが好きな音楽を使って作品を作る⇒発表⇒鑑賞⇒相互評価 中作品作り（2～3分）	面接授業	予習：作品の動きを覚える（0.5h） 復習：完成した動きを練習する（0.5h）
14	14回目	子どものための作品作り⇒発表⇒鑑賞⇒相互評価 中作品作り（2～3分）	面接授業	予習：作品の動きを練習する（0.5h） 復習：発表会を振り返る（0.5h）
15	15回目	子どもの表現をどのように評価すれば良いのか考える 子どものための作品作り⇒発表⇒鑑賞⇒相互評価 中作品作り（2～3分）	面接授業	予習：評価について調べる（0.5h） 復習：成果レポートを作成する（3h）
16	16回目			授業外学修 17.5時間

その他

科目（教職課程用）	①領域及び保育内容の指導法に関する科目	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	①領域に関する専門的事項	
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項		
教科書	【教科書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【教科書】ISBN
	必要に応じてプリントを配布する	
参考書	【参考書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【参考書】ISBN
	岩崎洋子（編著）『保育と幼児期の運動あそび』、萌文書林、2018	978-4893472748
	高野牧子（編著）『うきうきわくわく 身体表現遊び 一豊かに広げよう！こどもの表現世界ー』、同文書院、2015	978-4810314410
	小谷隆真 『あたらしい表現遊び』、すずき出版、1994	978-4790271314
履修条件		
履修上の注意	自分の体感から学びが広げられるよう、積極的に取り組むこと 運動できる服装、体育館シューズで受講すること	
オフィスアワー	授業の前後で対応可	
備考・メッセージ		

子どもと健康

更新日：2026/05/19 15:15:13

開講年度	2026	開講期	2Q/6Q	ナンバリング	CM106
担当教員	中尾 健一郎				

配当	学部/学科	短期大学 長崎短期大学 保育学科			
	配当年	単位	科目必選区分	授業形態	
	1年	1	選択	演習	

アクティブラーニングの類型	①発見学習（事実を発見する過程から学習者に体験させる手法）	
	②問題解決学習（PBL：自ら問題を発見し解決する能力を養うことを目的とした教育法）	
	③体験学習（実際の活動体験を通して学ぶことを狙った学習形態）	
	④調査学習（課題について調査し結論をまとめる学習法）	
	⑤グループ・ディスカッション（議論まで）	<input checked="" type="checkbox"/>
	⑥ディベート（特定の論題について、あえて異なる立場に分かれて議論をする手法）	
	⑦グループ・ワーク（議論+成果物（プレゼンなど））	

授業概要

領域『健康』に関する専門的事項」として専門的事項や理論を踏まえた根拠に基づく指導ができるよう以下を目標にして知識や技術を学ぶ。

- ①健康の定義について理解する 健康で安全な生活や乳幼児期にふさわしい生活について理解する
- ②子どもの身体の発育・発達について理解する 乳幼児期の生活習慣の形成について理解する 乳幼児の生活と食について理解する
- ③乳幼児期の運動について理解する 体を動かす遊びの環境について理解する 乳幼児期の遊びと運動について理解する
- ④乳幼児期の安全教育とけがの予防について理解する 健康を育む園外環境について理解する
- ⑤体を良く動かす子どもを育てるために必要なことを理解する 健康をめぐる現代的問題について理解する

授業における到達目標

1	乳幼児期の健康の意義を説明できる
2	乳幼児期の基本的な生活習慣の形成の意義について説明できる
3	安全教育・安全管理の基本的な考え方を説明できる
4	領域「健康」のねらい・内容について説明できる
5	保育者を目指す者として、健康を意識し積極的な学習ができる

評価方法

資質・能力	授業における到達目標（番号のみ記載）	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力			
確かな専門的知識や技能	1,2,3,4	定期試験 小テスト	60% 20%
コミュニケーション能力			
課題解決能力			
主体的に学ぶ力	5	リフレクションカード 授業への参加・態度	10% 10%
合計			100%

補足事項

<p>オンライン・オンデマンド配信授業については、課題提出で出席とみなす</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎回、授業のポイント、意見・質問、授業態度の自己評価をリフレクションカードとして提出 ・リフレクションカードの意見・質問はgoogleclassroom等や授業内にてコメントする。 ・定期試験60%、小テスト20%、リフレクションカード10%、授業への参加・態度10%の割合で評価する ・小テストについては、授業内で実施し、結果をその時間内で解説してフィードバックする。 <p>【面接授業における遅刻、早退、欠席について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業開始15分までを遅刻とし、それ以降は欠席とする。また、早退については75分間授業を受けていない場合は欠席とする。遅刻3回で1回の欠席としてカウントする

授業計画

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1	「健康とは何か」 健康の定義について学び、健康で安全な生活や乳幼児期にふさわしい生活、体を良く動かす子どもを育てるために必要なことを学ぶ	面接授業 (オンライン等の対応可能)	予習：シラバスに目を通しておくこと「健康の定義」について調べておくこと(0.5時間) 復習：配布資料に目を通し、理解できなかったところを調べておくこと(0.5時間)

2	「子どもの身体の発育・発達について」乳幼児の形態的発達と生理的機能の発達について学ぶ	面接授業 (オンライン等の対応可能)	予習：「子どもの身体の発育・発達」について調べておくこと(0.5時間) 復習：教科書及び配布資料に目を通し、理解できなかったところを調べておくこと(0.5時間)
3	乳幼児期の運動について」発達段階に応じた運動発達と環境について、運動遊びへのかかわりについて学ぶ	面接授業 (オンライン等の対応可能)	予習：「発達段階に応じた運動発達と環境、運動遊びへのかかわり」について調べておくこと(0.5時間) 復習：教科書及び配布資料に目を通し、理解できなかったところを調べておくこと(0.5時間)
4	「乳幼児期の安全教育とけがの予防について」けが・事故の実態と予防・安全管理について学ぶ	面接授業 (オンライン等の対応可能)	予習：「けが・事故の実態と予防・安全管理」について調べておくこと(0.5時間) 復習：教科書及び配布資料に目を通し、理解できなかったところを調べておくこと(0.5時間)
5	「乳幼児期の生活習慣の形成について」発達段階に応じた生活習慣形成と環境について学ぶ	面接授業 (オンライン等の対応可能)	予習：「発達段階に応じた生活習慣形成と環境」について調べておくこと(0.5時間) 復習：教科書及び配布資料に目を通し、理解できなかったところを調べておくこと(0.5時間)
6	「乳幼児期の遊びと運動について」豊かな遊びと動きの体験と運動遊びの意義、日常生活の動きの経験について学ぶ	面接授業 (オンライン等の対応可能)	予習：「豊かな遊びと動きの体験」について調べておくこと(0.5時間) 復習：教科書及び配布資料に目を通し、理解できなかったところを調べておくこと(0.5時間)
7	「乳幼児の生活と食について」生活リズムと食および乳幼児期の食の大切さについて学ぶ	面接授業 (オンライン等の対応可能)	予習：「生活リズムと食および乳幼児期の食の大切さ」について調べておくこと(0.5時間) 復習：教科書及び配布資料に目を通し、理解できなかったところを調べておくこと(0.5時間)
8	「領域「健康」について」幼児教育の基本と領域の考え方および幼稚園教育要領、保育所保育指針、教育・保育要領における領域「健康」について学ぶ	面接授業 (オンライン等の対応可能)	予習：「幼児教育の基本と領域の考え方、幼稚園教育要領、保育所保育指針、教育・保育要領における領域「健康」について調べておくこと(0.5時間) 復習：教科書及び配布資料に目を通し、理解できなかったところを調べておくこと(0.5時間)
9	定期試験		授業外学修時間 8時間

その他

科目（教職課程用）	①領域及び保育内容の指導法に関する科目	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	①領域に関する専門的事項	
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項	データを読む・説明する・扱う,社会で活用されているデータ,データ・AIの活用領域	
教科書	【教科書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【教科書】ISBN
	演習保育内容健康-基礎的事項の理解と指導法-(第6版)/河邊貴子・吉田伊津美編著(2024) 建帛社	9.78477E+12
参考書	【参考書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【参考書】ISBN
	乳幼児教育・保育シリーズ 保育内容健康/吉田伊津美他編著(2018) 光生館	9.78433E+12
履修条件		
履修上の注意	オンライン等の授業についてはPC、タブレット（パソコン）等を準備し、対応できるようにすること	
オフィスアワー	質問等は授業の前後に教室にてまたはgoogle classroom等で受け付ける	
備考・メッセージ	オンライン等の授業についてはPC、タブレット（パソコン）等を準備し、対応できるようにすること 保育者を目指す者として、自分の健康も意識し積極的な学習をすること	

子どもと言語

更新日：2026/05/19 15:15:14

開講年度	2026	開講期	前期	ナンバリング	CM107
担当教員	新井 悦子				

配当	学部/学科	短期大学 長崎短期大学 保育学科			
	配当年	単位	科目必選区分	授業形態	
	1年	1	選択	演習	

アクティブラーニングの類型	①発見学習（事実を発見する過程から学習者に体験させる手法）	
	②問題解決学習（PBL：自ら問題を発見し解決する能力を養うことを目的とした教育法）	
	③体験学習（実際の活動体験を通して学ぶことを狙った学習形態）	
	④調査学習（課題について調査し結論をまとめる学習法）	
	⑤グループ・ディスカッション（議論まで）	<input checked="" type="checkbox"/>
	⑥ディベート（特定の論題について、あえて異なる立場に分かれて議論をする手法）	
	⑦グループ・ワーク（議論+成果物（プレゼンなど））	

授業概要

幼児教育において育みたい資質・能力を理解し、かつ幼稚園教育要領に示された領域のねらい・内容を理解し、幼児の発達に則した保育を構想する方法を身に付ける。具体的には、子どもの言葉を育む児童文化財として、絵本・紙芝居を中心に学ぶ。どのような絵本や紙芝居があるのか、集団への読み語りの方、発達段階や目的にあった選び方など班活動を中心にグループで討議しながら身につける。各自が集団への読み語りに適切な絵本を1冊ずつ選び読み語りを実演し、最終的には班単位でおはなし会を企画、実演する。

授業における到達目標

1	絵本と紙芝居の児童文化財としての特徴と教育的意義の理解ができる
2	子どもの発達や目的に合った絵本・紙芝居を選ぶことができる
3	子どもの発達や目的を考慮し、適切に読み語りすることができる
4	グループ内で協力し、おはなし会を企画・運営できる
5	自分の意見を持ち、積極的に意見を言うことができる

評価方法

資質・能力	授業における到達目標（番号のみ記載）	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力			
確かな専門的知識や技能	1,2,3	レポート 絵本の読み語り発表	50 20
コミュニケーション能力	4	グループディスカッション	20
課題解決能力			
主体的に学ぶ力	5	グループディスカッション	10
合計			100
補足事項			
本授業では、レポート（授業内、授業後）50%、グループ活動・ディスカッション 30%、発表 20%の割合で評価する。 課題のフィードバックは授業内またはGoogle Classroomで行う。			

授業計画

	授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1	1回目	オリエンテーション ・授業のねらい ・進め方 ・評価・アンケートについての説明	面接授業	復習：授業のねらいや進め方などについて振り返る(0.5時間) 予習：言葉を育む児童文化の概要・絵本について考える(0.5時間)
2	2回目	児童文化の概要 ・言葉を育む児童文化の概要 ・絵本について特徴と留意点	面接授業	復習：言葉を育む児童文化の概要・絵本に関する学習内容の確認(1時間) 予習：集団への読み語りについて考える(1時間)
3	3回目	絵本研究 ・集団への読み語りについて	面接授業	復習：集団への読み語りについて振り返る(1時間) 予習：絵本の種類について調べる(1時間)
4	4回目	絵本研究 ・絵本の種類	面接授業	復習：絵本の種類に関する学習内容の確認(1時間) 予習：子どもの発達と絵本について考える(1時間)
5	5回目	絵本研究 ・子どもの発達と絵本	面接授業	復習：子どもの発達と絵本に関する学習内容を振り返る(1時間) 予習：読み語りにふさわしい絵本の準備(1時間)

6	6回目	絵本の読み語り ・読み語りの練習（小グループでの読み語りの練習）	面接授業	復習：読み語りの練習(1時間) 予習：読み語りの発表準備(1.5時間)
7	7回目	絵本の読み語り ・読み語りの練習と発表（1） ・紙芝居の活用	面接授業	復習：紙芝居の活用について振り返る(1時間) 予習：読み語りの発表準備(1.5時間)
8	8回目	絵本の読み語り ・読み語りの練習と発表（2） ・課題別研究	面接授業	復習：課題別絵本について振り返る(1時間) 予習：読み語りの発表準備(1時間)
9	9回目	絵本の読み語り ・読み語りの練習と発表（3）	面接授業	復習：課題別絵本について振り返る(1時間) 予習：読み語りの発表準備(1時間)
10	10回目	絵本の読み語り ・読み語りの練習と発表（4） ・素話の活用	面接授業	復習：素話の活用について振り返る(1時間) 予習：読み語りの発表準備(1時間)
11	11回目	絵本の読み語り ・読み語りの練習と発表（5） ・保育絵本の活用	面接授業	復習：保育絵本の活用について振り返る(1時間) 予習：読み語りの発表準備(1時間)
12	12回目	絵本の読み語り ・読み語りの練習と発表（6） ・手遊びの活用	面接授業	復習：読み語り発表と手遊びの活用について振り返る(1時間) 予習：おはなし会について調べる(1時間)
13	13回目	おはなし会の研究（1） ・おはなし会の準備・指導案作り	面接授業	復習：おはなし会の指導案について振り返る(1時間) 予習：おはなし会の準備(1.5時間)
14	14回目	おはなし会の研究（2） ・おはなし会の実施	面接授業	復習：おはなし会を振り返る(1時間) 予習：おはなし会の準備(1.5時間)
15	15回目	おはなし会の研究（3） ・おはなし会の実施	面接授業	復習：おはなし会を振り返る(1時間)
16				授業外学修 30時間

その他

科目（教職課程用）	①領域及び保育内容の指導法に関する科目	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	①領域に関する専門的事項	
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項		
教科書	【教科書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【教科書】ISBN
	「保育内容・言葉」 太田光洋編著 岸井勇雄・武藤隆・柴崎正行監修 同文書院	9.78481E+12
参考書	【参考書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【参考書】ISBN
	幼稚園教育要領 保育所保育指針 幼保連携型認定子ども園教育・保育要領	
履修条件		
履修上の注意		
オフィスアワー	授業の前後で対応します。	
備考・メッセージ	2回目の講義後、読み語り発表用の絵本を準備すること。読み語りの練習、おはなし会の練習が重要になる。	

子どもの心 令和8（2026）年度不開講

更新日：2026/05/19 15:15:14

開講年度	2026	開講期	4Q/8Q	ナンバリング	CM108
担当教員	下池 洸史朗				

配当	学部/学科	短期大学 長崎短期大学 保育学科			
	配当年	単位	科目必選区分	授業形態	
	2	1	選択	演習	

アクティブラーニングの類型	①発見学習（事実を発見する過程から学習者に体験させる手法）	
	②問題解決学習（PBL：自ら問題を発見し解決する能力を養うことを目的とした教育法）	<input checked="" type="checkbox"/>
	③体験学習（実際の活動体験を通して学ぶことを狙った学習形態）	<input checked="" type="checkbox"/>
	④調査学習（課題について調査し結論をまとめる学習法）	
	⑤グループ・ディスカッション（議論まで）	<input checked="" type="checkbox"/>
	⑥ディベート（特定の論題について、あえて異なる立場に分かれて議論をする手法）	
	⑦グループ・ワーク（議論+成果物（プレゼンなど））	<input checked="" type="checkbox"/>

授業概要

この授業では、子どものそだちにかかわる保育者として、子どものこころの発達に関する基本的な知識とその内容を多角的から視点で捉えられる専門性の基礎を養うことを目指します。また、授業のなかで、子どもの遊びを通して、その活動の楽しさとその中で育まれる育ちについて体験を学んでいきます。この授業が終了した際に、受講者のみなさんが次のような知識、技能、態度を身につけることを目標とします。

- ①子どものこころの発達の基礎的な知識について説明できる。
- ②子どもにかかわる保育者としての基本的な視点を説明することができる。
- ③遊びの実践を通して、積極的に他者とのコミュニケーションを行い、活動を楽しむことができる。
- ④子どもの発達に関する問題について資料等を用いて解決策を見出すことができる。

授業における到達目標

1	子どもの心に関する基礎的な知識について説明できる。
2	子どもにかかわる保育者として基本的な視点を説明することができる。
3	遊びの実践を通して、積極的に他者とのコミュニケーションを行い、活動を楽しむことができる。
4	子どもの発達に関する問題について、資料等を用いて解決策を見出すことができる。

評価方法

資質・能力	授業における到達目標（番号のみ記載）	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力			
確かな専門的知識や技能	①、②	定期試験	60%
コミュニケーション能力	③	参加・取り組み	20%
課題解決能力	④	課題・レポート	20%
主体的に学ぶ力			
合計			100%

補足事項

授業に関する質問は、直接のほか Google classroom でも受け付け、Web上または授業回で答える。
 本授業は、定期試験70%、参加・取り組み20%、課題・レポート10%の割合で評価する。
 課題の作成には、MicrosoftのWord・Excelを積極的に使ってください。
 各授業で出された課題について、授業終了時に回収します。また、課題の内容については、授業内で取り扱います

授業計画

	授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1	1回目	子どもの育ちと保育者の役割・子どもの世界と大人のかかわり	面接授業 オンライン授業対応可	予習：事前に配布された課題に取り組む。(1時間) 復習：授業内で配布された資料を復習する。(1時間)
2	2回目	子どもの発達理論	面接授業 オンライン授業対応可	予習：事前に配布された課題に取り組む。(1時間) 復習：授業内で配布された資料を復習する。(1時間)
3	3回目	子どもの育ちと親子関係・子どもの主体性と保育者の役割	面接授業 オンライン授業対応可	予習：事前に配布された課題に取り組む。(1時間) 復習：授業内で配布された資料を復習する。(1時間)
4	4回目	子どもの遊び	面接授業	予習：事前に配布された課題に取り組む。(1時間) 復習：授業内で配布された資料を復習する。(1時間)
5	5回目	子どもの遊び	面接授業	予習：授業で行う活動の準備をする。(1時間) 復習：授業で行った活動の振り返りを行う。(1時間)
6	6回目	子どもと遊び	面接授業	予習：授業で行う活動の準備をする。(1時間) 復習：授業で行った活動の振り返りを行う。(1時間)

7	7回目	子どもの育ちと環境	面接授業 オンライン授業対応可	予習：事前に配布された課題に取り組む。(1時間) 復習：授業内で配布された資料を復習する。(1時間)
8	8回目	心理劇を通じた親子関係の体験 授業全体の総括	面接授業	予習：事前に配布された課題に取り組む。(1時間) 復習：授業内で配布された資料を復習する。(1時間)

その他

科目（教職課程用）	①領域及び保育内容の指導法に関する科目	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	①領域に関する専門的事項	
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項		
教科書	【教科書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【教科書】ISBN
参考書	【参考書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など 新保育ライブラリー 子どもを知る 乳幼児心理学，無藤隆・岩立京子編著，北大路書房	【参考書】ISBN 978-4-7628-2629-0
履修条件		
履修上の注意		
オフィスアワー	授業時間後の時間もしくは教員の空き時間等に対応します（研究室）	
備考・メッセージ	授業を受講するにあたり、他の受講者の権利を阻害する行為、もしくは受講する学生としての規範を逸脱する行為を行った場合はそれ相応の対応を行います。	

保育実習Ⅰ 施設

更新日：2026/05/19 15:14:38

開講年度	2026	開講期	通年	ナンバリング	CE201
担当教員	花城 暢一, 戸田 恵理子				

配当	学部/学科	短期大学 長崎短期大学 保育学科			
	配当年	単位	科目必選区分	授業形態	
	1年～2年	4	選択	実習	

アクティブラーニングの類型	①発見学習（事実を発見する過程から学習者に体験させる手法）	<input checked="" type="checkbox"/>
	②問題解決学習（PBL：自ら問題を発見し解決する能力を養うことを目的とした教育法）	<input checked="" type="checkbox"/>
	③体験学習（実際の活動体験を通して学ぶことを狙った学習形態）	<input checked="" type="checkbox"/>
	④調査学習（課題について調査し結論をまとめる学習法）	<input checked="" type="checkbox"/>
	⑤グループ・ディスカッション（議論まで）	
	⑥ディベート（特定の論題について、あえて異なる立場に分かれて議論をする手法）	
	⑦グループ・ワーク（議論+成果物（プレゼンなど））	

授業概要

施設実習を通して、保育士資格の取得のために必要な専門的知識・技術の習得、実習生としての姿勢を学習していく。本実習では以下の事項を学習の目標とする。

- ①社会福祉施設の役割・機能などを実践現場で体験を通して理解する。
- ②既習の教科全体の知識・技能を基礎とし、これらを総合的に実践する応用力を身につける。
- ③子どもに直接に関わることを通して、子どもや子どもを取り巻く環境について理解を深めることができる。
- ④保育の計画、観察、記録及び自己評価等について具体的に理解し、実践できる。
- ⑤保育士としての職業倫理と子どもの最善の利益の具体的内容について理解する。

授業における到達目標

1	実習の意義・目的を理解し、保育者に求められる専門性や専門職としての資質を身につけることができる。
2	保育者の役割と仕事内容を理解し、保育者に求められる専門的な知識や技能について習得することができる。
3	関係者との協働を通して、児童や利用者の状況を理解しながら支援していく姿勢を身につけることができる。
4	児童および利用者の人権と最善の利益の考察、プライバシーの保護と守秘義務等について理解し、課題解決に必要な実践力を身につけることができる。
5	実習の計画・実践・観察・記録・評価の方法や内容について具体的に理解し、実習の目標および自己課題を明確にしながら主体的に実習に臨むことができる。

評価方法

資質・能力	授業における到達目標（番号のみ記載）	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力	1	・実習中の取り組み ・事前事後指導	15% 5%
確かな専門的知識や技能	2	・実習施設からの評価 ・実習日誌	15% 5%
コミュニケーション能力	3	・実習施設からの評価	20%
課題解決能力	4	・実習施設からの評価	15%
主体的に学ぶ力	5	・実習中の取り組み ・事前事後指導 ・実習日誌	15% 5% 5%
合計			100%

補足事項

- 実習日誌（10%）
- 実習施設からの評価（80%）
- 事前事後指導内容（10%）を総合評価しておこなう。
- ※「保育実習Ⅰ」の全体評価は、「保育所実習（50%）」と「施設実習（50%）」で総合評価する。

授業計画

	授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1		<福祉施設での実習> (1日8時間以上×10日間以上)		
2	1	実習施設の役割と機能について学ぶ。		
3	2	観察や記録を通し子どもを理解し、個々の状態に応じた援助やかかわりを学ぶ。		

4	3	養護内容や生活環境について学ぶ。		
5	4	生活や援助などの一部分を担当し、養護技術を習得する。		
6	5	職員間の役割とチームワークについて理解する。		
7	6	記録や保護者とのコミュニケーションなどを通して家庭・地域社会を理解する。		
8	7	安全及び疾病予防への配慮について理解する。		
9	8	専門職として保育士の役割と職業倫理について学ぶ。		

その他

科目（教職課程用）			
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等			
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項	データを読む・説明する・扱う,社会で活用されているデータ		
教科書	【教科書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【教科書】ISBN	
参考書	【参考書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【参考書】ISBN	
履修条件	オリエンテーションを事前におこない、実習生カードの提出や必要であれば車両通勤許可を得て、オリエンテーション報告書を学校に提出し、持参する必要書類（腸内検査等含む）を揃え、実習遵守事項を確認の上捺印し本実習にのぞむ。		
履修上の注意	遵守事項に抵触する場合は、実習中止の協議をする場合があります。		
オフィスアワー	授業、会議、実習巡回、出張等が入っていない場合は随時対応します。		
備考・メッセージ	実習中は遅刻・欠席がないように心がけましょう。報告・連絡・相談を徹底し、日々の振り返りを通して、課題を見極め、学びを積み重ねてください。		

保育実習Ⅱ

更新日：2026/05/19 15:14:39

開講年度	2026	開講期	通年	ナンバリング	CE401
担当教員	戸田 恵理子				

配当	学部/学科	短期大学 長崎短期大学 保育学科			
	配当年	単位	科目必選区分	授業形態	
	2年	2	選択	実習	

アクティブラーニングの類型	①発見学習（事実を発見する過程から学習者に体験させる手法）	<input checked="" type="checkbox"/>
	②問題解決学習（PBL：自ら問題を発見し解決する能力を養うことを目的とした教育法）	<input checked="" type="checkbox"/>
	③体験学習（実際の活動体験を通して学ぶことを狙った学習形態）	<input checked="" type="checkbox"/>
	④調査学習（課題について調査し結論をまとめる学習法）	
	⑤グループ・ディスカッション（議論まで）	
	⑥ディベート（特定の論題について、あえて異なる立場に分かれて議論をする手法）	
	⑦グループ・ワーク（議論+成果物（プレゼンなど）	

授業概要

保育所実習を通して、

1. 保育所・認定こども園の生活を知り、乳幼児への理解を深め、保育所の機能・保育士の職務について学ぶ
2. 既習の教科全体の知識・技能を基礎として、これらを総合的に実践する応用力を身につける
3. 子どもに直接関わることを通して、子どもや子どもを取り巻く環境について理解を深める
4. 保育の計画、観察、記録及び自己評価等について具体的に理解する
5. 保育士としての職業倫理と子どもの最善の利益の具体的内容について理解することを学習の目標とする。

授業における到達目標

1	・対人援助職である保育士の仕事に携わる者として、明るく柔らかな態度と責任感を持ちながら行動できる
2	・保育に関する専門的知識・技能を実習現場で生かしながら、保育者からの指導助言を柔軟に受け止め、自身の知識・技術向上につなげることができる
3	・保育者の子どもや保護者との関係性に着目しながら、状況に応じたコミュニケーションの方法を習得することができる
4	・1日1日の実習を丁寧に振り返ることや、子ども・保育者との継続的な関係性のもとに成り立つ保育中の様々な場面を多面的に分析・考察することができる
5	・保育士としての職業倫理と子どもの最善の利益の具体的内容について理解しながら積極的に実習に臨むことができる。

評価方法

資質・能力	授業における到達目標（番号のみ記載）	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力	1	・実習施設からの評価 ・事前事後指導	15% 5%
確かな専門的知識や技能	2	・実習施設からの評価 ・実習日誌	15% 5%
コミュニケーション能力	3	・実習施設からの評価	20%
課題解決能力	4	・実習施設からの評価	15% 5% 5%
主体的に学ぶ力	5	・実習施設からの評価 ・事前事後指導 ・実習日誌	15% 5% 5%
合計			100%

補足事項

○実習施設からの評価 80% ○実習日誌 10% ○事前事後指導内容 10% を総合して評価を行う。

授業計画

	授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1		保育全般に参加し、保育技術を修得する。	実践実習	1日 実習時間8時間×10日間
2		子どもの個人差について理解し、対応方法を理解する。特に発達の遅れや生活環境にともなう子どものニーズを理解し、その対応について具体的に学ぶ。	実践実習	
3		子どもの年齢・発達段階に応じた指導計画を立案し実践する。	実践実習	

4	子どもの家族とのコミュニケーションの方法を具体的に習得する。	実践実習	
5	地域社会に対する理解を深め、連携の方法について具体的に学ぶ。	実践実習	
6	子どもの最善の利益への配慮を学ぶ。	実践実習	
7	保育士としての職業倫理を理解する。	実践実習	
8	保育所の保育士に求められる資質・能力・技術に照らしあわせて自己の課題を明確化する	実践実習	

その他

科目（教職課程用）	④教育実践に関する科目		
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	⑫教育実習		
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項	データを読む・説明する・扱う,社会で活用されているデータ,データ・AIの活用領域		
教科書	【教科書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【教科書】ISBN	
参考書	【参考書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【参考書】ISBN	
履修条件	<ul style="list-style-type: none"> ・保育実習Ⅰ（保育実習）を履修すること ・実習施設でのオリエンテーションを事前に行い、実習生カードの提出や必要であれば車両通勤許可を得ること ・オリエンテーション報告書を作成し、巡回担当教員への提出及び事前指導の日程調整を行うこと ・持参する必要書類（腸内検査等含む）を揃え、誓約書・実習遵守事項等書類を確認（捺印）し本実習に臨むこと ・実習の目的・内容を確認して必要な準備を確実に行うこと ・実習の事前・事後指導において、明確になった自己課題の解決に向けて真摯な姿勢で取り組むこと 		
履修上の注意	<ul style="list-style-type: none"> ・実習前後及び実習期間中の健康管理には十分留意する ・実習に関わる準備を丁寧に行う ・実習前の実習指導の授業出席3分の2以上の場合、実習参加を可とする 		
オフィスアワー	授業・実習巡回・会議研修などの業務以外は随時対応する		
備考・メッセージ	積極的な姿勢で実習に臨み、実践を通し自らの気づきや学びを深めること		

保育実習Ⅲ

更新日：2026/05/19 15:14:40

開講年度	2026	開講期	通年	ナンバリング	CE402
担当教員	花城 暢一				

配当	学部/学科	短期大学 長崎短期大学 保育学科			
	配当年	単位	科目必選区分	授業形態	
	2年	2	選択	実習	

アクティブラーニングの類型	①発見学習（事実を発見する過程から学習者に体験させる手法）	<input checked="" type="checkbox"/>
	②問題解決学習（PBL：自ら問題を発見し解決する能力を養うことを目的とした教育法）	<input checked="" type="checkbox"/>
	③体験学習（実際の活動体験を通して学ぶことを狙った学習形態）	<input checked="" type="checkbox"/>
	④調査学習（課題について調査し結論をまとめる学習法）	<input checked="" type="checkbox"/>
	⑤グループ・ディスカッション（議論まで）	
	⑥ディベート（特定の論題について、あえて異なる立場に分かれて議論をする手法）	
	⑦グループ・ワーク（議論+成果物（プレゼンなど））	

授業概要

1年時の保育実習Ⅰ（施設）で学んだ実習内容を踏まえ、専門的知識・技術の習得、保育士の資質等を学習していく。本実習では以下の事項を学習の目標とする。

- ①「保育実習Ⅰ」で体験し、習得した知識や理解内容をもとに、さらに施設保育士に必要な知恵や指導技術を身につけることができる。
- ②児童福祉施設（保育所以外）、その他社会福祉施設の役割や機能について実際に実践し、保育士として必要な資質・能力・技術を習得することができる。
- ③家庭と地域の生活に触れて、子ども、家庭福祉ニーズに対する理解力・判断力を養うとともに、子育てを支援するために必要とされる能力を身につけることができる。
- ④児童に直接的に関わることを通して、児童や児童を取り巻く環境について理解を深めることができる。
- ⑤保育士としての自己の課題を明確化することができる。

授業における到達目標

1	家庭と地域の生活に触れて、子ども、家庭福祉ニーズに対する理解力・判断力を養うとともに、子育てを支援するために必要とされる能力を身につけることができる。
2	児童福祉施設（保育所以外）その他社会福祉施設の役割や機能について実際に実践し、保育士として必要な資質を習得することができる。
3	「保育実習Ⅰ」で体験し、習得した知識や理解内容をもとに、さらに施設保育士に必要な知識や指導技術を身につけることができる。
4	児童および利用者の生活課題を踏まえ、課題解決に必要な実践力を身につけることができる。
5	実習の目標および自己課題を明確にしなが主体的に実習に臨む姿勢を身につけることができる。

評価方法

資質・能力	授業における到達目標（番号のみ記載）	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力	1	・実習中の取り組み ・巡回指導訪問	10% 5%
確かな専門的知識や技能	2	・実習施設からの評価 ・実習日誌	10% 10%
コミュニケーション能力	3	・実習施設からの評価	20%
課題解決能力	4	・実習施設からの評価 ・実習日誌	10% 10%
主体的に学ぶ力	5	・実習中の取り組み ・振り返りレポート	10% 15%
合計			100%
補足事項			
○実習中の取り組み（20%）、○実習日誌（20%）、○実習施設からの評価（40%） ○振り返りレポート（15%）、○巡回訪問指導（5%）を総合評価して行なう。			

授業計画

	授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1		<保育所以外での施設実習> (1日8時間以上×10日間以上)		
2		実習施設事前オリエンテーション		
3		実習施設の理解① 目的、沿革、運営方針、環境（地理的、物的、人的）、1日の生活の流れ、児童の姿、子ども・利用者の姿		

4		実習施設の理解② 実習中の行事、実習計画（担当予定など）、実習中の心得（持ち物、服装等）、準備するものなど		
5	-1	養護全般に参加し、養護技術を習得する。		
6	-2	個人差や生活環境に伴う子ども・利用者のニーズの把握とその理解。		
7	-3	子ども・利用者の観察や関わりを通して、児童の発達・利用者の援助を理解する。		
8	-4	子どもの最善の利益を具体化する方法について学ぶ。		
9	-5	子どもの家族とのコミュニケーションの方法を具体的に習得する。		
10	-6	保育士としての倫理を具体的に学ぶ。		
11	-7	児童福祉施設等の保育士に求められる資質・能力・技術に照らし合わせて、自己の課題を明確化する。		
12	-8	多様な専門職との連携や、地域社会との連携について学ぶ。		

その他

科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項	データを読む・説明する・扱う,社会で活用されているデータ
教科書	【教科書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など 【教科書】ISBN
参考書	【参考書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など 【参考書】ISBN
履修条件	オリエンテーションを事前におこない、実習生カードの提出や必要であれば車両通勤許可を得て、オリエンテーション報告書を学校に提出し、持参する必要書類（腸内検査等含む）を揃え、実習遵守事項を確認の上捺印し本実習にのぞむ。
履修上の注意	
オフィスアワー	授業、会議、実習巡回、出張等が入っていない場合は随時対応します。
備考・メッセージ	実習中は遅刻・欠席がないように心がけましょう。

教育実習

更新日：2025/12/22 16:33:28

開講年度	2026	開講期	通年	ナンバリング	CE301
担当教員	吉元 千加里				

配当	学部/学科	短期大学 長崎短期大学 保育学科			
	配当年	単位	科目必選区分	授業形態	
	1年～2年	4	選択	実習	

アクティブラーニングの類型	①発見学習（事実を発見する過程から学習者に体験させる手法）	
	②問題解決学習（PBL：自ら問題を発見し解決する能力を養うことを目的とした教育法）	
	③体験学習（実際の活動体験を通して学ぶことを狙った学習形態）	
	④調査学習（課題について調査し結論をまとめる学習法）	
	⑤グループ・ディスカッション（議論まで）	
	⑥ディベート（特定の論題について、あえて異なる立場に分かれて議論をする手法）	
	⑦グループ・ワーク（議論+成果物（プレゼンなど））	

授業概要

授業における到達目標

評価方法

資質・能力	授業における到達目標 （番号のみ記載）	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力			
確かな専門的知識や技能			
コミュニケーション能力			
課題解決能力			
主体的に学ぶ力			
合計			
補足事項			

授業計画

その他

科目（教職課程用）		
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等		
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項		
教科書	【教科書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【教科書】ISBN
参考書	【参考書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【参考書】ISBN
履修条件		
履修上の注意		
オフィスアワー		
備考・メッセージ		

実習指導（保育実習指導Ⅰ・教育実習指導）1年生

更新日：2026/05/31 22:06:38

開講年度	2026	開講期	前期	ナンバリング	CE202
担当教員	戸田 恵理子, 吉元 千加里, 花城 暢一, 下池 洸史朗, 高以良 結衣				

配当	学部/学科	短期大学 長崎短期大学 保育学科		
	配当年	単位	科目必選区分	授業形態
	1年～2年	2	選択	演習

アクティブラーニングの類型	①発見学習（事実を発見する過程から学習者に体験させる手法）	<input checked="" type="checkbox"/>
	②問題解決学習（PBL：自ら問題を発見し解決する能力を養うことを目的とした教育法）	<input checked="" type="checkbox"/>
	③体験学習（実際の活動体験を通して学ぶことを狙った学習形態）	<input checked="" type="checkbox"/>
	④調査学習（課題について調査し結論をまとめる学習法）	<input checked="" type="checkbox"/>
	⑤グループ・ディスカッション（議論まで）	
	⑥ディベート（特定の論題について、あえて異なる立場に分かれて議論をする手法）	
	⑦グループ・ワーク（議論+成果物（プレゼンなど））	

授業概要

資格取得のために必要な専門的知識・技術の習得、実習生としての姿勢を習得していく。本授業では以下の事項を学習の目的とする。

- ① 教育実習の意義・目的を理解する
- ② 実習内容を理解し、実習生としての心構えを学び、自らの実習課題を明確化する
- ③ 子どもとの関わりを通して、子どもや子どもを取り巻く環境について理解する
- ④ 子どもの人権と最善の利益の尊重の具現化について理解する
- ⑤ 実習の事前・事後指導を通して、実習の総括と自己評価を行い、今後の学習に向けた課題や目標を明確にする

授業における到達目標

1	実習の意義・目的を理解し、保育者に求められる専門性や専門職としての資質を述べることができる
2	保育者の役割と仕事内容を理解し、保育者に求められる専門的な知識や技能について述べることができる
3	教育・保育施設における関係者との協働を通して、入園・入所している子どもの状況を理解しながら援助していくために必要なことがらを述べるができる
4	幼稚園・保育所・認定こども園における実習の目的・内容・方法を理解することができる
5	「事前指導」では、各自の学習内容や課題を明確にすることができる
6	「事後指導」では、実習で得た学習内容を振り返り、多面的に検討する視点を持つことができる
7	実習での反省・評価を行うことを通して課題解決に必要な知識について述べるができる
8	実習の計画・実践・観察・記録・評価の方法や内容について具体的に理解し、実習の目標および自己課題を明確にしなが主体的に実習に臨むことができる

評価方法

資質・能力	授業における到達目標（番号のみ記載）	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力	1	・学習に取り組む姿勢	5%
確かな専門的知識や技能	2	・漢字テスト ・確認テスト ・指導案 ・レポート	10% 20% 10%
コミュニケーション能力	3	・グループワーク	5%
課題解決能力	4,5,6,7	・課題 ・確認テスト	5% 10%
主体的に学ぶ力	8	・確認テスト ・事前準備	10% 5%
合計			100%

補足事項

確認テスト40%・指導案20%・漢字テスト10%・レポート10%・グループワーク5%・事前準備・課題10%・学習に取り組む姿勢5%を総合して評価します。

保育者としての自分を認識するため予習・復習をして受講して下さい。

- ①授業における資料・課題はクラスルーム「資料」にて保存したものを使用または授業時に配布します。
- ②授業で使用したプリントなどはファイリングを確実にしながら実習準備を進めていきます。
- ③オンライン授業時は、カメラは基本的に「ON」、発言時以外は、マイク「OFF」で受講して下さい。
- ④レポート等の課題提出方法の確認を行い対応してください（Google Classroomにおける提出・指定場所への提出など）
※AIなどを利用したと判断された課題等は、評価の対象にならない場合があります
- ⑤授業開始から15分経過した遅刻、授業開始から15分以前の早退及び授業時間中15分以上離席した際は欠席扱いとし、遅刻3回で欠席1回とみなします。

授業計画

	授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1	1回目	オリエンテーション ・実習スケジュール ・実習決定までの流れの確認 ・実習前準備	面接授業	予習：シラバスの確認（2時間） 復習：実習先の選定（2時間）
2	2回目	実習委託及び体験型オリエンテーションについて ・実習委託依頼のための電話のかけ方 ・体験型オリエンテーションの確認 ・身だしなみチェックリスト	面接授業	予習：希望する実習先の入力確認（2時間） 復習：実習希望施設への連絡と訪問時期の入力（2時間）
3	3回目	実習について ・実習規定 ・実習体験内容 ・実習承諾証及び体験型オリエンテーション受入書類の提出 ・実習に関する連絡先の確認	面接授業	予習：実習希望施設の承諾証及び体験型オリエンテーション内諾書類の管理（2時間） 復習：実習施設の連絡先と今後の実習スケジュールの再確認（2時間）
4	4回目	実習に向けた体験型オリエンテーションについて ・体験型オリエンテーションの内容 ・体験型オリエンテーション実施のための電話連絡	面接授業	予習：体験型オリエンテーションのための事前確認（2時間） 復習：電話のかけ方のプリントを参照し電話対応の練習と確認内容の再確認（2時間）
5	5回目	実習に向けた体験型オリエンテーションの記録について ・記録の意義 ・初日・2日目・3日目の記録の書き方	面接授業	予習：テキストを参照し、保育の記録のとり方や記入時の留意事項を確認しておく（2時間） 復習：テキストの参考例をもとに記録の書き方の練習問題に取り組む（2時間）
6	6回目	教育・保育施設の理解Ⅰ 「保育の仕事」合同面談会への参加 ・幼稚園、保育所・こども園の理解	面接授業	予習：実習施設に関する事前学習（2時間） 復習：合同面談会参加後、各園の特色ある教育・保育について理解出来たことを整理する（2時間）
7	7回目	教育・保育施設の理解Ⅱ ・保育施設説明会への参加	面接授業	予習：実習施設に関する事前学習（2時間） 復習：保育施設説明会参加後、保育者に必要な資質・能力についてレポートを作成する（2時間）
8	8回目	教育実習Ⅰ（幼稚園）について ・教育実習の内容 ・教育実習Ⅰの到達目標 ・実習課題の立て方	面接授業	予習：体験型オリエンテーションのレポートから学びの視点を整理する（2時間） 復習：体験型オリエンテーションの学びを踏まえ教育実習Ⅰ（幼稚園）に向けた実習課題を立てる（2時間）
9	9回目	実習日誌について ・実習日誌の構成と内容の理解 ・日誌の書き方について ・パソコンでの日誌作成	面接授業	予習：テキストを参考に日誌記入時の留意事項を理解する（2時間） 復習：実習中の記録（日誌の構成と内容）について理解を深める。（2時間）
10	10回目	指導案について ・指導案の構成と内容の理解 ・指導案立案について ・パソコンでの立案	面接授業	予習：テキストを参考に指導案立案時の留意事項を理解する（2時間） 復習：実習中の保育実践に向けて子どもの年齢・興味関心に応じた活動をいくつか考えておく（2時間）
11	11回目	実習に伴う事前準備について ・実習生カード ・諸証明の発行 ・腸内検査、糞虫検査 ・保育実践	面接授業	予習：実習生カードの作成や書証明の発行手続きを済ませておく（2時間） 復習：担当クラスにおける指導案作成に取り組む（2時間）
12	12回目	保育実習内容の理解について（確認テスト） ・保育実習の目的等の理解 等	面接授業	予習：テキストやプリント内容確認（2時間） 復習：設問内容をもとにテキスト・プリントの再確認（2時間）
13	13回目	実習内容の確認 ・確認テストの振り返り ・実習にかかわる誓約書、遵守事項内容の再確認	面接授業	予習：実習内容・遵守事項等の再確認（2時間） 復習：模範解答を踏まえた設問内容の再確認（2時間）
14	14回目	実習初日持参書類確認及び実習後の手続きについて ・評価表・出勤簿 ・日誌の提出及び受取 ・お礼状 ・実習にかかわる誓約書、遵守事項内容の再確認	面接授業	予習：初日に持参する書類や日誌表紙及び施設の概要等、事前に記入する箇所の確認を行う（2時間） 復習：教育実習における留意点・遵守事項の内容等について再度確認を行う（2時間）
15	15回目	教育実習Ⅰ 事後指導について	面接授業	予習：実習時の記録を振り返り、自己の課題を明確にしておく（2時間） 復習：振り返りを基に己課題をまとめる（2時間）

その他

科目（教職課程用）	④教育実践に関する科目
-----------	-------------

教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	⑫教育実習	
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項		
教科書	【教科書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【教科書】ISBN
	1年前期 『改訂版 幼稚園・保育所・認定こども園実習パーフェクトガイド』小櫃 智子ほか著（2023）わかば社	9784907270414
	『実習日誌・実習指導案パーフェクトガイド』小櫃 智子ほか著（2015）わかば社	9784907270155
	『幼稚園教育要領 保育所保育指針 幼保連携型認定こども園教育・保育要領<原本>令和5年度最新版』チャイルド本社（2024）チャイルド本社	9784805403303
参考書	【参考書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【参考書】ISBN
	関連資料 実習日誌	
履修条件		
履修上の注意	<p>実習指導は実習準備の大切な授業である。そのため、本授業では以下の事に十分注意する事。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・欠席時は、事前に教科担当者へ欠席とその理由の報告を行う。 ・特段の理由（病気や出席停止に該当するもの）無く、3回以上欠席した場合は、実習が可能か否かを学科で協議する場合がある。 ・遅刻や提出物の不備が続いた場合も減点の対象となり、場合によっては実習が可能か否かを協議することがある。 ・欠席した場合は、次回授業の準備に不足が無いよう、自ら考えて行動する事。 ・授業で毎時配布するプリントは、必要箇所の記入をすませ、まとめて綴じておく。 ・授業時間のうち、15分以上退室すると欠席扱いとなる。 	
オフィスアワー	授業、会議、実習巡回、出張等が入っていない場合は随時対応します	
備考・メッセージ	レポートや実習に必要な書類などの提出期限厳守	

実習指導（保育実習指導Ⅰ・教育実習指導）2年生

更新日：2026/05/19 15:15:21

開講年度	2026	開講期	通年	ナンバリング	CE202
担当教員	花城 暢一, 戸田 恵理子, 吉元 千加里, 高以良 結衣				

配当	学部/学科	短期大学 長崎短期大学 保育学科			
	配当年	単位	科目必選区分	授業形態	
	1年～2年	2	選択	演習	

アクティブラーニングの類型	①発見学習（事実を発見する過程から学習者に体験させる手法）	
	②問題解決学習（PBL：自ら問題を発見し解決する能力を養うことを目的とした教育法）	<input checked="" type="checkbox"/>
	③体験学習（実際の活動体験を通して学ぶことを狙った学習形態）	<input checked="" type="checkbox"/>
	④調査学習（課題について調査し結論をまとめる学習法）	<input checked="" type="checkbox"/>
	⑤グループ・ディスカッション（議論まで）	
	⑥ディベート（特定の論題について、あえて異なる立場に分かれて議論をする手法）	<input checked="" type="checkbox"/>
	⑦グループ・ワーク（議論+成果物（プレゼンなど））	<input checked="" type="checkbox"/>

授業概要

資格取得のために必要な専門的知識・技術の習得、実習生としての姿勢を習得していく。本授業では以下の事項を学習の目的とする。

- ① 保育者としての職業倫理を理解する実習園の概要を理解する実習園の保育の目標を理解する。
- ② 実習記録の意義と方法を習得する指導計画立案をする模擬保育等を行い多様な保育技術の習得を目指す。
- ③ 実習の自己課題を明確にする子どもの発達を理解する実習に必要な書類の確認・提出や遵守事項に沿った実習内容に取り組む。
- ④ 実習後の自己点検・自己評価をするグループディスカッションやロールプレイによって実習の振り返りをおこない、実習の成果や新たな学習課題を確認する。
- ⑤ 保育者の仕事の現状を丹念に把握しながら保育者としての資質向上への意欲を持つ。

授業における到達目標

1	実習の意義・目的を理解し、保育者に求められる専門性や専門職としての資質を身に付けることができる
2	保育者の役割と仕事内容を理解し、保育者に求められる専門的な知識や技能について述べるができる
3	保育施設における関係者との協働を通して、入園・入所している子どもの状況を理解しながら援助していくために必要なことがらを述べるができる
4	幼稚園・保育所・認定こども園における実習の目的・内容・方法を理解することができる。
5	「事前指導」では、各自の学習内容や課題を明確にする。
6	「事後指導」では、実習で得た学習内容を振り返り、多面的に検討する視点を持つことができる。
7	実習での反省・評価を行うことを通して課題解決に必要な知識について述べるができる。
8	実習の計画・実践・観察・記録・評価の方法や内容について具体的に理解し、実習の目標および自己課題を明確にしなが主体的に実習に臨むことができる。

評価方法

資質・能力	授業における到達目標（番号のみ記載）	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力	1	・課題 ・学習に取り組む姿勢	5%
確かな専門的知識や技能	2	・漢字テスト ・確認テスト ・指導案 ・レポート	10% 20% 10%
コミュニケーション能力	3	・グループワーク	10%
課題解決能力	4,5,6,7	・課題 ・確認テスト	5% 10%
主体的に学ぶ力	8	・確認テスト	10%
合計			100%

補足事項

確認テスト40%、指導案20%、漢字テスト10%、レポート10%、グループワーク10%、事前準備10%を総合して評価する。

- ①資料・課題はオンラインで実施する前に配布します。
保育者としての自分を認識するため予習・復習をして受講して下さい。
- ②対面授業時に説明及び自己採点と解釈をします。定期試験後に解答を開示します。
- ③オンライン授業時は、カメラは基本的に「ON」、発言時以外は、マイクは「OFF」で受講して下さい。
- ④課題やレポートはGoogle Classroom、WordやExcelを必要に応じて活用して下さい。
- ⑤授業開始から15分経過した遅刻、授業開始から15分以前の早退及び授業時間中15分以上離席した際は欠席扱いとし、遅刻3回で欠席1回とみなします

授業計画

	授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1	1回目	保育実習Ⅰ（保育所）の意義・目的について ・確認シートの内容を理解し、実習の目的及び自己課題について説明できる ・実習遵守事項を確認し、実習に臨む準備ができる ・守秘義務について理解する	面接授業	予習：テキスト指定 ページを読んでおく（2時間） 復習：授業を振り返り、重要事項を確認する（2時間）
2	2回目	実習オリエンテーションに向けて ・オリエンテーションの内容 ・実習生カード作成の目的や記入内容 ・保育所・認定こども園（乳児部）のデイリープログラム ・保育内容及び実習のねらいなど日誌の記入項目の理解	面接授業	予習：配布資料の確認を行い、必要事項の下書きを済ませておく（2時間） 復習：授業を振り返り、重要事項を確認する（2時間）
3	3回目	指導案作成について ・指導計画の立て方について学ぶ ・製作や活動に必要な材料等の準備及び工夫・改善	面接授業	予習：対象年齢に応じた活動の考案をしておく（2時間） 復習：実習に必要な指導案を立案する（2時間）
4	4回目	実習書類に関する書類の作成について ・評価表・出勤簿の作成や持参書類（証明書等の申請）を確認する ・実習通勤方法や実習期間中の連絡・相談方法について説明できる ・実習にかかわる誓約書、遵守事項の内容について理解する	面接授業	予習：配布資料の確認を行い、必要事項の下書きをしておく（2時間） 復習：授業を振り返り、重要事項を確認する（2時間）
5	5回目	保育実習内容の理解について（確認テスト） ・保育実習の目的等について理解できる	面接授業	予習：子どもの保健の教科書やプリントを見て、復習をしておく（2時間） 復習：確認テストの出題内容を確認し整理する（2時間）
6	6回目	子どものあそび・発達段階の理解 ・3歳未満児へのかかわりについて理解する ・0歳児・1歳児・2歳児の年齢・発達の個人差・興味関心に応じた活動について説明できる	面接授業	予習：テキスト指定 ページを読んでおく（2時間） 復習：配布プリントの内容について調べておく（2時間）
7	7回目	子どものあそび・発達段階の理解 ・保育実践に必要な用具・準備内容をイメージした指導計画立案・見本作成 ・保育実践のシュミレーションを行い、保育者に必要な対応力を身につける	面接授業	予習：テキスト指定 ページを読んでおく（2時間） 復習：配布プリントの内容について調べておく（2時間）
8	8回目	保育実習Ⅰ（保育所）直前指導 ・確認チェックシートの項目を確認し、健康観察カード及び腸内検査結果票の同封等をリーダーと共に確認することができる	面接授業	予習：実習書類の確認を行う（2時間） 復習：確認チェックシートを活用し、持参物の確認を実習生同士で確認し合う（2時間）
9	9回目	実習直後の振り返り・自己評価 ・「実習報告会」の中で自身の実習体験の報告と、保育実習Ⅱに向けた具体的な自己課題の設定ができる	面接授業	予習：振り返りシートをもとに保育実習Ⅰ（保育所）の自己明確を明確にする（2時間） 復習：振り返りをもとに今後の実習に向けた準備事項を整理する（2時間）
10	10回目	幼稚園教育実習Ⅱの意義・目的について ・確認シートの内容を理解し、実習の目的及び自己課題について説明できる ・実習遵守事項を確認し、実習に臨む準備ができる ・守秘義務について理解する	面接授業	予習：テキスト指定 ページを読んでおく（2時間） 復習：授業を振り返り、重要事項を確認する（2時間）
11	11回目	幼稚園教育実習Ⅱに向けて ・幼稚園教育実習Ⅱに向けた具体的な自己課題の設定ができる ・保育及び実習のねらいなど日誌記入項目について説明できる（再確認）	面接授業	予習：配布資料の確認を行い、必要事項の下書きを済ませておく（2時間） 復習：授業を振り返り、重要事項を確認する（2時間）
12	12回目	実習オリエンテーションに向けて ・オリエンテーションの内容 ・実習生カード作成の目的や記入内容 ・幼稚園・認定こども園（幼児部）の1日の流れ ・教育・保育内容及び実習のねらいなど日誌の記入項目の理解	面接授業	予習：配布資料の確認を行い、必要事項の下書きを済ませておく（2時間） 復習：授業を振り返り、重要事項を確認する（2時間）
13	13回目	子どものあそび・発達段階の理解Ⅰ ・子どもの年齢・発達段階に応じた保育活動を考案することができる ・対象年齢に応じた指導案（15～45分の活動設定）を立案することができる	面接授業	予習：対象年齢に応じた活動の考案をしておく（2時間） 復習：実習に必要な指導案を立案する（2時間）

14	14回目	子どものあそび・発達段階の理解II ・保育実践に必要な用具・準備内容をイメージした指導計画立案・見本作成 ・保育実践のシュミレーションを行い、保育者に必要な対応力を身につける	面接授業	予習：対象年齢に応じた指導案の立案と活動に必要な用具・材料等を準備しておく（2時間） 復習：立案した指導案の内容をシュミレーションする（2時間）
15	15回目	実習書類に関する書類の作成について ・評価表・出勤簿の作成や持参書類（証明書等の申請）の確認 ・実習通勤方法や実習期間中の連絡・相談方法について説明できる ・実習にかかわる誓約書、遵守事項の内容について理解する	面接授業	予習：実習書類の確認を行う（2時間） 復習：確認チェックシートを活用し、持参物の確認を実習生同士で確認し合う（2時間）
16	16回目	筆記試験		実施なし 授業外学修 60時間

その他

科目（教職課程用）	④教育実践に関する科目	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	⑫教育実習	
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項	社会で活用されているデータ、データ・AIの活用領域	
教科書	【教科書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【教科書】ISBN
	通年で使用するテキスト ①『改訂版 幼稚園・保育所・認定こども園実習パーフェクトガイド』小櫃 智子ほか著（2023）わかば社 ②『実習日誌・実習指導案パーフェクトガイド』小櫃 智子ほか著（2015）わかば社 ③『幼稚園教育要領 保育所保育指針 幼保連携型認定こども園教育・保育要領<原本>令和5年度最新版』チャイルド本社（2024）チャイルド本社	
参考書	【参考書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【参考書】ISBN
	関連資料 実習日誌	
履修条件		
履修上の注意	実習指導は実習準備の大切な授業である。そのため、本授業では以下の事に十分注意する事。 ・欠席時は、事前に教科担当者へ欠席とその理由の報告を行う。 ・特段の理由（病気や出席停止に該当するもの）無く、3回以上欠席した場合は、実習が可能か否かを学科で協議する場合がある。 ・遅刻や提出物の不備が続いた場合も減点の対象となり、場合によっては実習が可能か否かを協議することがある。 ・欠席した場合は、次回授業の準備に不足が無いよう、自ら考えて行動する事。 ・授業で毎時配布するプリントは、必要箇所の記入をすませ、まとめて綴じておく。 ・授業時間のうち、15分以上退室すると欠席扱いとなる。	
オフィスアワー	授業、会議、実習巡回、出張等が入っていない場合は随時対応します	
備考・メッセージ	授業内でのレポートや実習に必要な書類の準備等の提出期限厳守すること 日頃より報告・連絡・相談を心掛けや取り組む姿勢を意識すること	

保育実習指導Ⅱ

更新日：2026/05/19 15:15:16

開講年度	2026	開講期	通年	ナンバリング	CE302
担当教員	戸田 恵理子				

配当	学部/学科	短期大学 長崎短期大学 保育学科			
	配当年	単位	科目必選区分	授業形態	
	2年	1	選択	演習	

アクティブラーニングの類型	①発見学習（事実を発見する過程から学習者に体験させる手法）	
	②問題解決学習（PBL：自ら問題を発見し解決する能力を養うことを目的とした教育法）	<input checked="" type="checkbox"/>
	③体験学習（実際の活動体験を通して学ぶことを狙った学習形態）	<input checked="" type="checkbox"/>
	④調査学習（課題について調査し結論をまとめる学習法）	
	⑤グループ・ディスカッション（議論まで）	<input checked="" type="checkbox"/>
	⑥ディベート（特定の論題について、あえて異なる立場に分かれて議論をする手法）	
	⑦グループ・ワーク（議論+成果物（プレゼンなど））	<input checked="" type="checkbox"/>

授業概要

資格取得のために必要な専門的知識・技術の習得、実習生としての姿勢を習得していく。本授業では以下の事項を学習の目的とする。

- 1 保育者としての職業倫理を理解する実習園の概要を理解する実習園の保育の目標を理解する。
- 2 実習記録の意義と方法を習得する指導計画立案をする模擬保育等を行い多様な保育技術の習得をする。
- 3 実習の自己課題を明確にする子どもの発達を理解する実習に必要な書類の確認・提出や遵守事項に沿った実習内容に取り組む。
- 4 実習後の自己点検・自己評価をするグループディスカッションやロールプレイによって実習の振り返りをおこない、実習の成果や新たな学習課題を確認する。
- 5 保育者の仕事の現状を丹念に把握しながら保育者としての資質向上への意欲を持つ。

授業における到達目標

1	実習の意義・目的を理解し、保育者に求められる専門性や専門職としての資質を身に付けることができる
2	保育者の役割と仕事内容を理解し、保育者に求められる専門的な知識や技能について述べることができる
3	保育施設における関係者との協働を通して、入園・入所している子どもの状況を理解しながら援助していくために必要なことがらを述べるができる
4	幼稚園・保育所・認定こども園における実習の目的・内容・方法を理解することができる
5	「事前指導」では、各自の学習内容や課題を明確にすることができる
6	「事後指導」では、実習で得た学習内容を振り返り、多面的に検討する視点を持つことができる
7	実習での反省・評価を行うことを通して課題解決に必要な知識について述べるができる
8	実習の計画・実践・観察・記録・評価の方法や内容について具体的に理解し、実習の目標および自己課題を明確にしなが主体的に実習に臨むことができる

評価方法

資質・能力	授業における到達目標（番号のみ記載）	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力	1	・課題	5%
確かな専門的知識や技能	2	・漢字テスト ・確認テスト ・指導案 ・レポート	10% 20% 20% 10%
コミュニケーション能力	3	・グループワーク	10%
課題解決能力	4,5,6,7	・課題 ・確認テスト	5% 10%
主体的に学ぶ力	8	・確認テスト	10%
合計			100%

補足事項
<p>確認テスト40%・指導案20%・漢字テスト10%・レポート10%・グループワーク10%・実習準備課題10%を総合して評価します。</p> <p>保育者としての自分を認識するため予習・復習をして受講して下さい。</p> <p>①授業における資料・課題はクラスルーム「資料」にて保存したものを使用または授業時に配布します。</p> <p>②授業で使用したプリントなどはファイリングを確実にしながら実習準備を進めていきます。</p> <p>③オンライン授業時は、カメラは基本的に「ON」、発言時以外は、マイク「OFF」で受講して下さい。</p> <p>④レポート等の課題提出方法の確認を行い対応してください（Google Classroomにおける提出・指定場所への提出など）</p> <p>※AIなどを利用したと判断された課題等は、評価の対象にならない場合があります</p> <p>⑤授業開始から15分経過した遅刻、授業開始から15分以前の早退及び授業時間中15分以上離席した際は欠席扱いとし、遅刻3回で欠席1回とみなします。</p>

授業計画

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1	保育実習Ⅱ（保育所）の意義・目的について ・保育実習Ⅱの内容及び到達目標について理解することができる ・確認シートの内容を理解し、実習の目的及び自己課題について説明できる・実習遵守事項を確認し、実習に臨む準備ができる ・守秘義務について理解する	面接授業・オンライン可	予習：シラバス参照し保育所実習の内容にて確認する（2時間） 復習：確認シートの完成（2時間）
2	実習オリエンテーションに向けて ・オリエンテーションの内容について ・今後の実習に向けたオリエンテーションを通して必要な書類、準備について理解する ・実習生カード及びオリエンテーション報告書を作成することができる	面接授業・オンライン可	予習：実習先とのオリエンテーション内容を再確認する（2時間） 復習：実習生カード及びオリエンテーション報告書作成 ・必要な書類・証明書等の発行手続きを行う（2時間）
3	保育実習Ⅱに向けて ・保育実習Ⅰでの学びを踏まえ、子どもの最善の利益を考慮した保育について説明できる	面接授業・オンライン可	予習：保育所保育指針の再確認（2時間） 復習：子ども一人ひとりの育ちに応じた保育者の必要な援助について日誌を通して再確認する（2時間）
4	計画と観察、記録、自己評価Ⅰ ・保育の全体計画に基づく具体的な計画と実践について理解できる	面接授業・オンライン可	予習：日誌を通して、子ども・保育者・実習生に関する記述を抽出する（2時間） 復習：保育場面の捉え方、記録の方法などについて振り返り、実習シートにまとめる。
5	計画と観察、記録、自己評価Ⅱ ・保育の観察、記録、自己評価に基づく保育の改善について理解できる	面接授業・オンライン可	予習：保育者の観察の視点や具体的な援助の内容及び方法について整理する（2時間） 復習：保育実践に関する活動内容を考え、指導案立案につなげる（2時間）
6	保育の実践力の育成Ⅰ（保育実践） ・子どもの姿に応じた適切な保育者の援助について説明できる ・実践に必要な準備・内容を理解し協力して取り組むことができる	面接授業・オンライン可	予習：実践グループにおいて活動内容の共有を図る（準備・確認）（2時間） 復習：保育実践内容について振り返りを行う（2時間）
7	保育の実践力の育成Ⅱ（保育実践） ・子どもの姿に応じた適切な保育者の援助について説明できる ・実践に必要な準備・内容を理解し協力して取り組むことができる	面接授業・オンライン可	予習：立案の際、保育者の具体的な援助の内容及び方法について熟考する（2時間） 復習：担当年齢の指導案立案において内容の共有をメンバーと共に十分に行う（2時間）
8	保育の実践力の育成Ⅲ（保育実践） ・子どもの姿に応じた適切な保育者の援助について説明できる ・実践に必要な準備・内容を理解し協力して取り組むことができる	面接授業・オンライン可	予習：模擬保育において主担当・補助の保育士との連携をはかる（2時間） 復習：2歳児の模擬保育を通して振り返りを行う（2時間）
9	保育の実践力の育成Ⅳ（保育実践） ・子どもの姿に応じた適切な保育者の援助について説明できる ・実践に必要な準備・内容を理解し協力して取り組むことができる	面接授業・オンライン可	予習：模擬保育において主担当・補助の保育士との連携をはかる（2時間） 復習：4歳児の模擬保育を通して振り返りを行う（2時間）
10	保育の実践力の育成Ⅴ（保育実践） ・子どもの姿に応じた適切な保育者の援助について説明できる ・実践に必要な準備・内容を理解し協力して取り組むことができる	面接授業・オンライン可	予習：模擬保育において主担当・補助の保育士との連携をはかる（2時間） 復習：5歳児の模擬保育を通して振り返りを行う（2時間）
11	計画と観察、記録、自己評価Ⅱ ・保育の観察、記録、自己評価に基づく保育の改善について理解できる ・保育実践の振り返りを通して、子どもの姿に応じた保育者の配慮・援助事項に気づき説明することができる。	面接授業・オンライン可	予習：実践を通して、保育者の観察の視点や具体的な援助の内容及び方法について改善点を整理しておく（2時間） 復習： ・担当クラスにおける保育実践内容を再考し指導案作成に繋げる（工夫・改善） ・感想レポートの作成・提出（2時間）
12	保育士の専門性と職業倫理について （佐世保市保育士会等） ・保育士の業務内容や職業倫理について理解することができる	面接授業・オンライン可	予習：保育士倫理綱領に目を通しておく（2時間） 復習：現場保育者の講話から自身が目指す保育者や保育に関連するレポートを作成する（2時間）

13	実習書類に関する書類の作成について ・評価表・出勤簿の作成や持参書類（証明書等の申請）を確認する。 ・実習通勤方法や実習期間中の連絡・相談方法について説明できる。 ・実習にかかわる誓約書、遵守事項の内容について理解する。	面接授業・オンライン可	予習：実習期間や実習内容について確認する（2時間） 復習：車両通勤許可証や申請書類等について実習初日の提出物などのリストを作成する（2時間）
14	事後指導における実習の総括と評価Ⅰ （保育実習Ⅰの振り返りと教育実習Ⅱ直前指導） ・保育実習Ⅰ（保育所）の自己評価を通して実習内容を振り返ることができる ・教育実習Ⅱに向けた自己課題を設定し、実習に必要な準備内容について説明できる	面接授業・オンライン可	予習： ・保育実習Ⅰの日誌から子どもを捉える視点の変化を整理する ・事後指導を踏まえた上で次回の実習に向けた実習課題を設定する（2時間） 復習：自己課題解決のための、具体的内容を掲げる（2時間）
15	事後指導における実習の総括と評価Ⅰ ＜保育実習Ⅰの振り返りと教育実習Ⅱ直前指導＞ ・保育実習Ⅰ（保育所）の自己評価を通して実習内容を振り返ることができる ・教育実習Ⅱに向けた自己課題を設定し、実習に必要な準備内容について説明できる	面接授業・オンライン可	予習： ・教育実習Ⅰの日誌から子どもを捉える視点の変化を整理する ・事後指導を踏まえた上で次回の実習に向けた実習課題を設定する（2時間） 復習：自己課題解決のための、具体的内容を掲げる（2時間）
16	定期試験		授業外学修 60時間

その他

科目（教職課程用）	④教育実践に関する科目	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	⑫教育実習	
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項	社会で活用されているデータ	
教科書	【教科書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【教科書】ISBN
	○改訂版 幼稚園・保育所・認定こども園実習パーフェクトガイド ○実習日誌・実習指導案パーフェクトガイド ○令和5年度最新版 幼児期までのこどもの育ちに係る基本的なビジョン/幼稚園教育要領/保育所保育指針/幼保連携型認定こども園教育・保育要領<原本>	
参考書	【参考書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【参考書】ISBN
履修条件	実習前の実習指導の授業出席3分の2以上の場合、実習参加を可とする	
履修上の注意	実習指導は実習準備の大切な授業である。そのため、本授業では以下の事に十分注意する事。 ・欠席時は、事前に教科担当者へ欠席とその理由の報告を行う。 ・特段の理由（病気や出席停止に該当するもの）無く、3回以上欠席した場合は、実習が可能か否かを学科で協議する可能性がある。 ・遅刻や提出物の不備が続いた場合も減点の対象となり、場合によっては実習が可能か否かを協議することがある。 ・欠席した場合は、次回授業の準備に不足が無いよう、自ら考えて行動する。 ・授業で配布するプリントは、必要箇所の記入を行い、必ずファイルに綴じて管理しておく。 ・授業においても遅刻・欠席がないように努めることで、学外実習に臨む姿勢・態度を日頃から身に付けておく。	
オフィスアワー	授業、会議、実習巡回等が入っていない場合は随時対応する	
備考・メッセージ	授業内でのレポートや実習に必要な書類の準備等の提出期限厳守すること 日頃より報告・連絡・相談を心掛けや取り組む姿勢を意識すること	

保育実習指導Ⅲ

更新日：2026/05/19 15:15:17

開講年度	2026	開講期	通年	ナンバリング	CE303
担当教員	花城 暢一				

配当	学部/学科	短期大学 長崎短期大学 保育学科			
	配当年	単位	科目必選区分	授業形態	
	2年	1	選択	演習	

アクティブラーニングの類型	①発見学習（事実を発見する過程から学習者に体験させる手法）	<input checked="" type="checkbox"/>
	②問題解決学習（PBL：自ら問題を発見し解決する能力を養うことを目的とした教育法）	<input checked="" type="checkbox"/>
	③体験学習（実際の活動体験を通して学ぶことを狙った学習形態）	<input checked="" type="checkbox"/>
	④調査学習（課題について調査し結論をまとめる学習法）	<input checked="" type="checkbox"/>
	⑤グループ・ディスカッション（議論まで）	
	⑥ディベート（特定の論題について、あえて異なる立場に分かれて議論をする手法）	
	⑦グループ・ワーク（議論+成果物（プレゼンなど））	

授業概要

授業では、保育士 資格の取得のために必要な 施設実習について専門的な 知識・技術、実習生としての姿勢を学習していく。本授業 では 保育実習Ⅰ（施設）で習得した知識や技術をさらに向上していくために以下の事項を学習の目標とする。

- ① 保育実習Ⅲ（施設）の意義と目的を理解し、保育について総合的に理解する。
- ② 実習内容および実習課題を明確化する。
- ③ 保育の観察、記録及び自己評価等を踏まえた保育の改善について、実践や事例を通して理解する。
- ④ 子どもおよび利用者の最善の利益と職業倫理について理解する。
- ⑤ 実習の事後指導を通して、実習の総括と自己評価を行い、保育に対する課題や認識を明確にする。
- ⑥ 社会資源と関係機関との連携を理解する。
- ⑦ 実習の事後指導を通して、実習の総括と自己評価を行い、保育に対する課題や認識を明確にする。

授業における到達目標

1	家庭と地域の生活に触れて、子ども、家庭福祉ニーズに対する理解力・判断力を養うとともに、子育てを支援するために必要とされる能力を身につけることができる。
2	児童福祉施設（保育所以外）その他社会福祉施設の役割や機能について実際に実践し、保育士として必要な資質を習得することができる。
3	「保育実習Ⅰ」で体験し、習得した知識や理解内容をもとに、さらに施設保育士に必要な知識や指導技術を身につけることができる。
4	児童および利用者の生活課題を踏まえ、課題解決に必要な実践力を身につけることができる。
5	児童および利用者の生活課題を踏まえ、課題解決に必要な実践力を身につけることができる。

評価方法

資質・能力	授業における到達目標（番号のみ記載）	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力	1	・学習に取り組む姿勢	40%
確かな専門的知識や技能	2	・レポート課題	10%
コミュニケーション能力	3	・レポート課題	10%
課題解決能力	4	・レポート課題	20%
主体的に学ぶ力	5	・レポート課題	20%
合計			100%
補足事項			
○授業内レポート（40%） ○振り返りレポート（20%） ○授業の取り組み（40%）を総合評価しておこなう。			

授業計画

	授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1	1回目	オリエンテーション・保育実習Ⅰの振り返りと自己課題の明確化保育実習Ⅲ（施設）の意義と目的について、保育実習Ⅰにおける反省と自己課題の設定	面接授業	予習：授業内容に合わせた振り返りをする（2時間） 復習：配布資料や授業内容をまとめ、ファイルに整理する（2時間）
2	2回目	保育実習Ⅲ実習先についての内容と理解各実習施設を理解する	面接授業	予習：授業内容に合わせた振り返りをする（2時間） 復習：配布資料や授業内容をまとめ、ファイルに整理する（2時間）
3	3回目	施設種別毎の理解と実習内容保育実習Ⅲの実習施設について理解する	面接授業	予習：授業内容に合わせた振り返りをする（2時間） 復習：配布資料や授業内容をまとめ、ファイルに整理する（2時間）

4	4回目	施設種別毎の理解と実習内容 保育実習Ⅲの実習施設について理解する	面接授業	予習：授業内容に合わせた振り返りをする（2時間） 復習：配布資料や授業内容をまとめ、ファイルに整理する（2時間）
5	5回目	実習先の決定 実習施設を決める	面接授業	予習：授業内容に合わせた振り返りをする（2時間） 復習：配布資料や授業内容をまとめ、ファイルに整理する（2時間）
6	6回目	養護技術を習得する 施設実習での生活援助について学ぶ	面接授業	予習：授業内容に合わせた振り返りをする（2時間） 復習：配布資料や授業内容をまとめ、ファイルに整理する（2時間）
7	7回目	子ども・利用者の個人差・ニーズについて理解する 子ども・利用者のニーズについて学ぶ	面接授業	予習：授業内容に合わせた振り返りをする（2時間） 復習：配布資料や授業内容をまとめ、ファイルに整理する（2時間）
8	8回目	実習計画を立案する 保育実習Ⅰの内容を基に実習Ⅲの計画の立案を行う	面接授業	予習：授業内容に合わせた振り返りをする（2時間） 復習：配布資料や授業内容をまとめ、ファイルに整理する（2時間）
9	9回目	保育技術の発表と反省・評価① 指導案立案・実践・振り返り①	面接授業	予習：授業内容に合わせた振り返りをする（2時間） 復習：配布資料や授業内容をまとめ、ファイルに整理する（2時間）
10	10回目	保育技術の発表と反省・評価② 指導案立案・実践・振り返り②	面接授業	予習：授業内容に合わせた振り返りをする（2時間） 復習：配布資料や授業内容をまとめ、ファイルに整理する（2時間）
11	11回目	関係機関との連携方法を具体的事例で学ぶ 事例検討（グループワーク）	面接授業	予習：授業内容に合わせた振り返りをする（2時間） 復習：配布資料や授業内容をまとめ、ファイルに整理する（2時間）
12	12回目	地域社会との連携について学ぶ 事例検討（グループワーク）	面接授業	予習：授業内容に合わせた振り返りをする（2時間） 復習：配布資料や授業内容をまとめ、ファイルに整理する（2時間）
13	13回目	実習先事前訪問の理解 オリエンテーションの準備	面接授業	予習：授業内容に合わせた振り返りをする（2時間） 復習：配布資料や授業内容をまとめ、ファイルに整理する（2時間）
14	14回目	お礼状の書き方・反省会について 実習の振り返りについて	面接授業	予習：授業内容に合わせた振り返りをする（2時間） 復習：配布資料や授業内容をまとめ、ファイルに整理する（2時間）
15	15回目	施設実習直前の全体的事前指導 実習内容、心得注意等	面接授業	予習：授業内容に合わせた振り返りをする（2時間） 復習：配布資料や授業内容をまとめ、ファイルに整理する（2時間）
16	1			授業外学修 60時間

その他

科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項	データを読む・説明する・扱う,社会で活用されているデータ
教科書	【教科書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など 『施設実習 パーフェクトガイド』守巧他 著 わかば社
参考書	【参考書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など 関連資料 実習日誌
履修条件	
履修上の注意	1回目～4回目の授業は、5Qの5月～7月に実施する。（予定） 実習指導は実習準備の大切な授業である。そのため、本授業では以下の事に十分注意する事。 ・欠席時は、事前に教科担当者へ欠席とその理由の報告を行う。 ・特段の理由（病気や出席停止に該当するもの）無く、3回以上欠席した場合は、実習が可能か否かを学科で協議する場合がある。 ・遅刻や提出物の不備が続いた場合も減点の対象となり、場合によっては実習が可能か否かを協議することがある。 ・欠席した場合は、次回授業の準備に不足が無いよう、自ら考えて行動する事。 ・授業で毎時配布するプリントは、必要箇所の記入をすませ、まとめて綴じておく。 ・授業時間のうち、15分以上退室すると欠席扱いとなる。
オフィスアワー	授業、会議、実習巡回、出張等が入っていない場合は随時対応します。
備考・メッセージ	レポートや実習に必要な書類などの提出期限厳守

保育実践演習（教職実践演習）（幼稚園）

更新日：2025/12/22 16:33:28

開講年度	2026	開講期	後期	ナンバリング	CE403
担当教員	中尾 健一郎				

配当	学部/学科	短期大学 長崎短期大学 保育学科			
	配当年	単位	科目必選区分	授業形態	
	2年	2	選択	演習	

アクティブラーニングの類型	①発見学習（事実を発見する過程から学習者に体験させる手法）	
	②問題解決学習（PBL：自ら問題を発見し解決する能力を養うことを目的とした教育法）	
	③体験学習（実際の活動体験を通して学ぶことを狙った学習形態）	
	④調査学習（課題について調査し結論をまとめる学習法）	
	⑤グループ・ディスカッション（議論まで）	
	⑥ディベート（特定の論題について、あえて異なる立場に分かれて議論をする手法）	
	⑦グループ・ワーク（議論+成果物（プレゼンなど））	

授業概要

授業における到達目標

評価方法

資質・能力	授業における到達目標（番号のみ記載）	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力			
確かな専門的知識や技能			
コミュニケーション能力			
課題解決能力			
主体的に学ぶ力			
合計			
補足事項			

授業計画

その他

科目（教職課程用）		
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等		
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項		
教科書	【教科書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【教科書】ISBN
参考書	【参考書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【参考書】ISBN
履修条件		
履修上の注意		
オフィスアワー		
備考・メッセージ		

卒業研究Ⅰ

更新日：2026/05/19 15:15:18

開講年度	2026	開講期	前期	ナンバリング	CE304
担当教員	中尾 健一郎, 陣内 敦, 友廣 憲子, 中村 明夫, 花城 暢一, 滝川 由香里, 園田 文香, 戸田 恵理子, 下池 洸史朗, 吉元 千加里				

配当	学部/学科	短期大学 長崎短期大学 保育学科			
	配当年	単位	科目必選区分	授業形態	
	2年	1	選択	演習	

アクティブラーニングの類型	①発見学習（事実を発見する過程から学習者に体験させる手法）	<input checked="" type="checkbox"/>
	②問題解決学習（PBL：自ら問題を発見し解決する能力を養うことを目的とした教育法）	<input checked="" type="checkbox"/>
	③体験学習（実際の活動体験を通して学ぶことを狙った学習形態）	<input checked="" type="checkbox"/>
	④調査学習（課題について調査し結論をまとめる学習法）	<input checked="" type="checkbox"/>
	⑤グループ・ディスカッション（議論まで）	<input checked="" type="checkbox"/>
	⑥ディベート（特定の論題について、あえて異なる立場に分かれて議論をする手法）	
	⑦グループ・ワーク（議論+成果物（プレゼンなど））	<input checked="" type="checkbox"/>

授業概要

- ①自ら課題にするゼミナールを選択する。地域活動や講演会等に参加し問題意識を持つ。文献などから現代の保育・教育に関する課題を理解する。
- ②子育て支援機関の現状を知る。子育て支援機関の役割について考察する。保育・教育関連機関の連携の現状について理解を深める。
- ③ゼミ活動における議論を通し自らの興味関心を探る。自己の保育観・保育者観を見つめる。ゼミで取り組むテーマを見つける。
- ④地域の保育・教育機関を訪問し調査する。実地研修に参加する。調査の方法を習得する。
- ⑤調査した結果や研修で学んだことをまとめる。調査結果や研修にて修得したことをもとに議論し、理解を深める。新たな課題を見つけ解決策を模索する。

授業における到達目標

1	保育に関する現代の社会的課題について問題 意識を持つことができる
2	保育の現場で実際に起こっている課題を捉え、 それについて考えることができる
3	情報収集力を高めるため、タブレット等を活用 し、自らの追求すべき研究課題を発見することができる
4	地域の保育実践現場を見学し、課題の現状分析を行うことができる
5	保育の現場で得た学習内容とこれまでの学習 内容を有機的に関連付けることができる

評価方法

資質・能力	授業における到達目標（番号のみ記載）	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力			
確かな専門的知識や技能			
コミュニケーション能力			
課題解決能力	1,2,3,4,5	授業への参加・態度 取り組みへの積極性・協調性	40% 60%
主体的に学ぶ力			
合計			100%

補足事項

授業への参加・態度40%、取り組みへの積極性・協調性60%の割合で、ゼミごとに評価する
課題のフィードバックは授業内またはGoogle Classroomで行う

授業計画

	授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1	分野1 陣内	造形を通した子育て支援 造形ワークショップ実践による子どもと子育て事情の理解について ・造形活動における子どもの情操と創造性の発達についての理解 ・子どもいっしょに作って遊べる造形教材の開発 ※課題提出方法ならびに提出日は別途指示する	面接授業 最低開講人数1人	予習:シラバスに目を通して、各ゼミの活動内容を調べておく(0.5時間) 復習:毎回の活動内容を振り返り、改善点をまとめておくこと(0.5時間)
2	分野2 中尾	子どもの健康について考える ～運動と食育活動を通して～ ・健康と運動の関係について体験を通して理解する ・健康と食育の関係について体験を通して理解する ・地域の運動遊びの環境、食育活動について体験を通して理解する。 ※課題提出方法ならびに提出日は別途指示する	面接授業 最低開講人数 5人	予習:毎回の活動内容に関する資料を収集し、調べておく(0.5時間) 復習:毎回の活動内容を振り返り、改善点をまとめておくこと(0.5時間)

3	分野3 花城	地域の子育て環境について考える ～地域交流・フィールドワークを通して～ ・地域の「社会資源」（子育て環境や様々な取組み等）について考える ・地域の子育て環境を調査し、子育てと環境の関わりについて考察する ・地域の環境を活用した教材開発を通して保育者に必要な資質を身に付ける ※課題提出方法ならびに提出日は別途指示する	面接授業 最低開講人数 5人	予習:毎回の活動内容に関する資料を収集し、調べておく(0.5時間) 復習:毎回の活動内容を振り返り、改善点をまとめておくこと(0.5時間)
4	分野4 友廣	保育における音楽教育を考える ・保育における音楽活動について理解する ・保護者や子どもたちとの交流を通じた音楽活動を実践する ・様々な身体表現を理解する ※課題提出方法ならびに提出日は別途指示する	面接授業 最低開講人数 3人	予習:毎回の活動内容に関する資料を収集し、調べておく(0.5時間) 復習:毎回の活動内容を振り返り、改善点をまとめておくこと(0.5時間)
5	分野5 戸田	子どもとあそびについて ・子どもが「あそぶ」ことについて ・子どもの年齢・発達などに応じた保育教材を考え制作する ・「子ども」や「保育」に関するワークショップ等に参加し、様々な保育資源を知る ※課題提出方法ならびに提出日は別途指示する	面接授業 最低開講人数 3人	予習:毎回の活動内容に関する資料を収集し、調べておく(0.5時間) 復習:毎回の活動内容を振り返り、改善点をまとめておくこと(0.5時間)
6	分野6 吉元	保育者と保護者の関わりについて ・保育者の役割について学ぶ ・保護者との関わりについて体験を通して学ぶ ・地域の子育て環境について体験を通して知る ※課題提出方法ならびに提出日は別途指示する	面接授業 最低開講人数 ()人	予習:毎回の活動内容に関する資料を収集し、調べておく(0.5時間) 復習:毎回の活動内容を振り返り、改善点をまとめておくこと(0.5時間)
7	分野7 滝川 園田 下池	子どものを取り巻く課題の探求 ・地域における子どもを取り巻く課題を先行研究や現場の状況から抽出し、探求する方法を学ぶ ・先行研究の調べ方を習得し、先行研究から課題の抽出をする ・先行研究を理解するための統計学的知識、批判的吟味について学ぶ ※課題提出方法ならびに提出日は別途指示する	面接授業	予習:毎回の活動内容に関する資料を収集し、調べておく(0.5時間) 復習:毎回の活動内容を振り返り、改善点をまとめておくこと(0.5時間)

その他

科目（教職課程用）		
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等		
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項	データを読む・説明する・扱う,社会で活用されているデータ,データ・AIの活用領域	
教科書	【教科書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【教科書】ISBN
	各担当の教員の内容において、必要に応じて資料などを配布する	
参考書	【参考書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【参考書】ISBN
	各担当の教員の内容において、必要に応じて資料などを配布する	
履修条件	ゼミ選択者が5名以上の時に開講する	
履修上の注意	自らの保育研究の課題解決のために、主体的な学修姿勢を心掛けること	
オフィスアワー	ゼミ担当教員が授業の前後に質問を受け付ける	
備考・メッセージ	ゼミの活動においては主体的な学修姿勢をもち、地域に必要とされる保育人材になるため資質向上に努めること	

卒業研究Ⅱ

更新日：2026/05/19 15:15:19

開講年度	2026	開講期	後期	ナンバリング	CE404
担当教員	中尾 健一郎, 陣内 敦, 友廣 憲子, 中村 明夫, 花城 暢一, 滝川 由香里, 園田 文香, 戸田 恵理子, 下池 洸史朗, 吉元 千加里				

配当	学部/学科	短期大学 長崎短期大学 保育学科			
	配当年	単位	科目必選区分	授業形態	
	2年	1	選択	演習	

アクティブラーニングの類型	①発見学習（事実を発見する過程から学習者に体験させる手法）	<input checked="" type="checkbox"/>
	②問題解決学習（PBL：自ら問題を発見し解決する能力を養うことを目的とした教育法）	<input checked="" type="checkbox"/>
	③体験学習（実際の活動体験を通して学ぶことを狙った学習形態）	<input checked="" type="checkbox"/>
	④調査学習（課題について調査し結論をまとめる学習法）	<input checked="" type="checkbox"/>
	⑤グループ・ディスカッション（議論まで）	<input checked="" type="checkbox"/>
	⑥ディベート（特定の論題について、あえて異なる立場に分かれて議論をする手法）	
	⑦グループ・ワーク（議論+成果物（プレゼンなど））	<input checked="" type="checkbox"/>

授業概要

- ①設定したテーマについて調査学習する 関連事項について文献資料などを収集し熟読する各教科が横断的に関連していることを理解する
- ②議論の際に他者の意見を聞く姿勢を学ぶ 結論を導き出していく過程を学ぶ 情報リテラシーについて理解する
- ③問題を解決するために様々な視点の情報を収集する 様々な立場からの意見を聞く 自己の意見を再構成する方法を学ぶ
- ④取り組んで行く課題を自己の問題として考察する 調べた内容をまとめ発表する お互いに発表要項をまとめる
- ⑤活動報告会で発表内容について理解を深める ゼミ仲間と協力して取り組んだことを振り返る

授業における到達目標

1	保育に関する自発的、科目横断的な学習能力を身につけている
2	課題解決のための対応・判断方法などについて 検討する力を身につけている
3	情報収集能力を高めるために、タブレット等を活用し、多視的な観点によって課題を考察することができる
4	地域の保育現場で活用するための知識・技能を 習得し、自らその習得内容を確認することができる
5	表現力や人間関係力を向上させ、他者理解を広げることができる

評価方法

資質・能力	授業における到達目標（番号のみ記載）	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力			
確かな専門的知識や技能			
コミュニケーション能力			
課題解決能力	1,2,3,4,5	授業への参加・態度 課題発表またはレポート課題	40% 60%
主体的に学ぶ力			
合計			100%

補足事項

授業への参加・態度40%、活動報告資料30%、活動報告会の発表30%の割合で、ゼミごとに評価する
課題のフィードバックは授業内またはGoogle Classroomで行う。

授業計画

	授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1	分野1 陣内	造形を通じた子育て支援 造形ワークショップ実践による子どもと子育て事情の理解について ・造形活動における子どもの情操と創造性の発達についての理解 ・子どもいっしょに作って遊べる造形教材の開発 ・子どもや保護者とのコミュニケーション能力の涵養	面接授業	予習:シラバスを確認し、活動内容を調べておく(0.5時間) 復習:毎回の活動内容を振り返り、改善点をまとめておくこと(0.5時間)
2	分野2 中尾	運動遊び・食育活動の企画・実践 ・活動の体験を活かし、食育活動を企画し実践する ・活動の体験を生かし、運動遊びを企画し、実践する ・体験を通して、子どもや保護者との関わりについて理解する	面接授業	予習:毎回の活動内容に関する資料を収集し、調べておく(0.5時間) 復習:毎回の活動内容を振り返り、改善点をまとめておくこと(0.5時間)

3	分野3 花城	地域の子育て環境について考える ～地域交流・フィールドワークを通して～ ・地域の子育て環境や様々な取組みについて考える ・地域の自然や公園等を調査し、子育てと自然環境の関わりについて考察する ・地域の自然環境を活かした遊びの教材開発を通して保育者に必要な資質を身に付ける ・地域の子ども達との交流活動を企画運営し、フィールドワークを実施する	面接授業	予習:毎回の活動内容に関する資料を収集し、調べておく(0.5時間) 復習:毎回の活動内容を振り返り、改善点をまとめておくこと(0.5時間)
4	分野4 友廣	保育における音楽教育を考える ・保育における音楽活動について理解する ・保護者や子どもたちとの交流を通じた音楽活動を実践する ・様々な身体表現を理解する ・保育現場で子どもたちに音楽活動を実践する	面接授業	予習:毎回の活動内容に関する資料を収集し、調べておく(0.5時間) 復習:毎回の活動内容を振り返り、改善点をまとめておくこと(0.5時間)
5	分野5 戸田	子どもとあそびについて ・子どもが「あそぶ」ことについて ・子どもの年齢・発達などに応じた保育教材を考え制作する ・子どもの主体的なあそびに大切な保育の環境を考える ・制作した保育教材を保育場面において活用し、改良点等の再考(再製作)を行う ・「子ども」や「保育」に関するワークショップ等に参加し習得した保育者に必要な要素をまとめる	面接授業	予習:毎回の活動内容に関する資料を収集し、調べておく(0.5時間) 復習:毎回の活動内容を振り返り、改善点をまとめておくこと(0.5時間)
6	分野6 吉元	保育者と保護者の関わりについて ・保育の場における保護者のニーズを調査する ・調査結果をもとに子どもたちとの交流活動を企画する	面接授業	予習:毎回の活動内容に関する資料を収集し、調べておく(0.5時間) 復習:毎回の活動内容を振り返り、改善点をまとめておくこと(0.5時間)
7	分野7 下池	子どもの発達と障害 ・子どもの発達に関する学習や調査を通して、子どもの発達の様相を理解する ・様々な活動の実践を通して子どもの発達を体験的に学ぶ ・障害児の育ちに合わせた関わりや支援について学ぶ	面接授業	予習:毎回の活動内容に関する資料を収集し、調べておく(0.5時間) 復習:毎回の活動内容を振り返り、改善点をまとめておくこと(0.5時間)
8	分野8 滝川 中村 園田	「未来につなげる私のポートフォリオ」 ・社会に求められる人材とは何か、自分はどうに行動していくのか、様々な情報や多様な価値観を収集し、分析する	面接授業	予習:毎回の活動内容に関する資料を収集し、調べておく(0.5時間) 復習:毎回の活動内容を振り返り、改善点をまとめておくこと(0.5時間)

その他

科目(教職課程用)		
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等		
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項	データを読む・説明する・扱う,社会で活用されているデータ,データ・AIの活用領域	
教科書	【教科書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【教科書】ISBN
	各担当の教員の内容において、必要に応じて資料などを配布する	
参考書	【参考書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【参考書】ISBN
	各担当の教員の内容において、必要に応じて資料などを配布する	
履修条件	特になし	
履修上の注意	自らの保育研究の課題解決のために、主体的な学修姿勢を心掛けること	
オフィスアワー	ゼミ担当教員が授業の前後に質問を受け付ける	
備考・メッセージ	ゼミの活動においては主体的な学修姿勢をもち、地域に必要とされる保育人材になるため資質向上に努めること	

教育原理 2年生

更新日：2026/05/19 15:14:32

開講年度	2026	開講期	前期	ナンバリング	EP301
担当教員	澤田 忠義				

配当	学部/学科	短期大学 長崎短期大学 保育学科			
	配当年	単位	科目必選区分	授業形態	
	2	2	必修	講義	

アクティブラーニングの類型	①発見学習（事実を発見する過程から学習者に体験させる手法）	
	②問題解決学習（PBL：自ら問題を発見し解決する能力を養うことを目的とした教育法）	
	③体験学習（実際の活動体験を通して学ぶことを狙った学習形態）	
	④調査学習（課題について調査し結論をまとめる学習法）	
	⑤グループ・ディスカッション（議論まで）	<input checked="" type="checkbox"/>
	⑥ディベート（特定の論題について、あえて異なる立場に分かれて議論をする手法）	
	⑦グループ・ワーク（議論+成果物（プレゼンなど））	

授業概要

- ①人間について考察し、人はなぜ教育を必要とするのか等、教育の意味・意義についての理解を深める。
- ②現在の日本、欧米、アジアにおける幼稚園、保育所、学校に関する教育の歴史・思想について知り、将来の在り方を探る。
- ③学校（幼児教育・保育を含む）における教育（保育）計画、評価、カリキュラムの歴史について具体的に理解する。
- ④ケアリングとしての教育や発達障害と特別支援教育等、幼稚園、保育所、学校における今日的課題について考える。
- ⑤教師の仕事、子どもや家庭が望む教師像、教師と権威について考え、自己の教師像を確認する。

授業における到達目標

1	教育原理のねらいを十分に理解し、教育者として必要な資質・能力について自分の考えを述べることができる
2	講義内容についての知識・技能を身につけ、教育についての意識を高めることができる
3	指名や指示に対して、あいさつや返事が出来たり、自分の考えを発表することができる
4	授業で課題提示された内容について、その解決に向けて、ディスカッションを通して共に考え、自らの考えを述べるができる
5	人はなぜ教育を必要とするのか等、教育の意味や意義についての理解を深め、幼児教育について自分の考えを持ち積極的に学修ができる
6	多様な教育方法の知識を身に付け、実践的に遂行できる

評価方法

資質・能力	授業における到達目標（番号のみ記載）	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力	1	受講者の発表	5%
確かな専門的知識や技能	2	授業での小テスト	30%
コミュニケーション能力	3	発問に対する応答	5%
課題解決能力	4	受講者の発表	10%
主体的に学ぶ力	5,6	授業ごとの小論文 講義全体のまとめのレポート	30% 20%
合計			100%

補足事項

- ・ 授業に関する質問等は直接のほかGoogle Classroomで受け付け、直接あるいは以降の授業回で答える。
- ・ 本授業では、授業ごとの小論文30%、講義全体のまとめのレポート20%、各授業への参加態度・発表50%の割合で評価する。
- ・ レポートは紙媒体とする。
- ・ 授業に遅刻したり、授業を早退したりする場合は、事前又は事後に届け出ること。

授業計画

	授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1	1回目	・「リインテリション」授業の進め方と授業内容の概要を説明する。 ・「原理としての教育」について学習し、教育の必要性について考察する。	面接授業	シラバスをよく読み、本講義の内容を理解しておく。 (1.5時間)、人間と教育に関する学習内容を理解する (2.5時間)。
2	2回目	・「育ち・学びと教育」について学習し、人間と教育に関する関連性を考察する。	面接授業	講義内容を復習し(2時間)、学習課題「虐待について」を考察し授業に備える(2時間)。
3	3回目	・「学校の歴史」について学習し、学校の歴史とこれからについて考察する。	面接授業	講義内容を復習し(2時間)、学習課題「学校の歴史とこれから」を考察し授業に備える(2時間)
4	4回目	・「学校のしくみ」について学習し、学校を取り巻く様々な環境について考察する。	面接授業	講義内容を復習し(2時間)、学習課題「学校を取り巻く様々な環境について」を考察し授業に備える(2時間)。

5	5回目	・「学習・教育課程」について学習し、学ぶことの意義を考察する。	面接授業	講義内容を復習し（2時間）、学習課題「学ぶということ」を考察し授業に備える（2時間）。
6	6回目	・「学習指導要領・教科書・評価・学力」について学習し、指導と学力の関連について考察する。	面接授業	講義内容を復習し（2時間）、学習課題「学力について」を考察し授業に備える（2時間）。
7	7回目	・「教えるという仕事」について学習し、教師としての在り方を考察する。	面接授業	講義内容を復習し（2時間）、学習課題「学級担任とは」を考察し授業に備える（2時間）。
8	8回目	・「教えるという仕事と学校文化」について学習し、生徒指導や学級の在り方を考察する。	面接授業	講義内容を復習し（2時間）、学習課題「学級集団について」を考察し授業に備える（2.5時間）。
9	9回目	・「教師としての成長」について学習し、子どもたちと共に成長する教師の在り方を考察する。	面接授業	講義内容を復習し（2時間）、学習課題「どんな教師に」を考察し授業に備える（2時間）。
10	10回目	・「子どもへの支援と学校」について学習し、学校と臨床教育学、発達障害と特別支援教育について考察する。	面接授業	講義内容を復習し（2時間）、学習課題「特別支援教育について」を考察し授業に備える（2時間）。
11	11回目	・「子どもへの支援と学校」について学習し、不登校、いじめ、学級崩壊、非行問題などについて考察する。	面接授業	講義内容を復習し（2時間）、学習課題「いじめについて」を考察し授業に備える（2時間）。
12	12回目	・「地域・社会と学校」について学習し、地域の役割について考察する。	面接授業	講義内容を復習し（2時間）、学習課題「地域の役割について」を考察し授業に備える（2時間）。
13	13回目	・「地域・社会と学校」について学習し、学校の安全とリスクマネジメントについて考察する。	面接授業	講義内容を復習し（2時間）、学習課題「学校の安全」を考察し授業に備える（2時間）。
14	14回目	・集団討論会「研究発表（1）」 教育に関するテーマについて個人研究を行い、研究レポートにまとめる。 5人程度の小グループで話し合い、互いの考えを深め合う。	面接授業	既習事項だけでなく、自分が気になっている教育課題などを取り上げ（1時間）、研究し、レポートにまとめる（4時間）。
15	15回目	・集団討論会「研究発表（2）」 小グループでの研究協議の内容について、主なものをグループの代表が全体に発表する。 集団討論を行い、研究内容を共有する。	面接授業	これまでの学修を振り返り（1時間）、目指す教師像についてまとめる（2時間）。
16	16回目			授業外学修 60時間

その他

科目（教職課程用）	②教育の基礎的理論に関する科目	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	③教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項		
教科書	【教科書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【教科書】ISBN
参考書	【参考書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など やわらかアカデミズム・〈わかる〉シリーズ『よくわかる教育原理』 幼稚園教育要領 保育所保育指針 幼保連携型認定子ども園教育・保育要領 小・中学校学習指導要領総則	9.78462E+12
履修条件		
履修上の注意	講義終了後は、教育原理に関する知識の定着や自分の考えをまとめるなど、予習・復習を十分に行い次の講義に備えること。	
オフィスアワー	授業の前後で対応します。	
備考・メッセージ	幼稚園等での実習経験をふまえ、日常生活の中で自ら教育に対する考えをもち授業に臨むこと。	

子どもの健康と安全 2年生

更新日：2026/05/19 15:14:48

開講年度	2026	開講期	前期	ナンバリング	CM301
担当教員	井田 裕子				

配当	学部/学科	短期大学 長崎短期大学 保育学科			
	配当年	単位	科目必選区分	授業形態	
	2	1	必修	演習	

アクティブラーニングの類型	①発見学習（事実を発見する過程から学習者に体験させる手法）	
	②問題解決学習（PBL：自ら問題を発見し解決する能力を養うことを目的とした教育法）	
	③体験学習（実際の活動体験を通して学ぶことを狙った学習形態）	<input checked="" type="checkbox"/>
	④調査学習（課題について調査し結論をまとめる学習法）	
	⑤グループ・ディスカッション（議論まで）	
	⑥ディベート（特定の論題について、あえて異なる立場に分かれて議論をする手法）	
	⑦グループ・ワーク（議論+成果物（プレゼンなど））	

授業概要

1. 乳幼児の日常生活の養護の実際を学び実習する。
2. バイタルサインの測定・記録および評価の実際、体調不良や障害が発生した場合の対応とケアについて学ぶ。
3. 感染予防の3原則を理解する。排泄物の処理方法を理解する。効果的な手洗い・うがいを体験する。
4. 子どもの事故と発生要因を理解する。気道内異物時の模擬演習、心肺蘇生法の模擬演習、包帯法などを実習する。
5. 集団保育における年間保健安全計画、施設設備の消毒、保育者自身の生活習慣の整え方と健康管理にふれる。

授業における到達目標

1	保育における保健的観点を踏まえた保育環境や援助について理解する。
2	保育における衛生管理・事故防止および安全対策・危機管理・災害対策について、具体的に理解する。
3	子どもの体調不良等に対する適切な対応について、具体的に理解できる。
4	保育における感染症対策について、具体的に理解する。
5	保育における保健的対応の基本的な考え方を踏まえ、関連するガイドラインや近年のデータ等に基づく子どもの発達や状態等に即した適切な対応について具体的に理解する。
6	子どもの健康および安全の管理に関わる組織的取組や保健活動の計画および評価等について、具体的に理解する。
7	積極的に授業に参加できる。

評価方法

資質・能力	授業における到達目標（番号のみ記載）	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力			
確かな専門的知識や技能	1,2,3,4,5,6	筆記試験 実習・提出物	50 40
コミュニケーション能力			
課題解決能力			
主体的に学ぶ力	7	学習への取り組み・態度	10
合計			
補足事項	筆記試験（50%）、実習・提出物（40%）、学習への取り組み・態度（10%）を総合して評価を行う。 課題のフィードバックは授業内またはGoogle Classroomで行う。		

授業計画

	授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1	1回目	保育的観点を踏まえた保育環境及び援助	面接授業	予習:授業内容の部分を読んでおく(1時間) 復習:授業で学習したところをまとめておく(2時間)
2	2回目	保育における健康及び安全管理①	面接授業	予習:授業内容の部分を読んでおく(1時間) 復習:授業で学習したところをまとめておく(2時間)
3	3回目	保育における健康及び安全管理②	面接授業	予習:授業内容の部分を読んでおく(1時間) 復習:授業で学習したところをまとめておく(2時間)
4	4回目	保育における健康及び安全管理③	面接授業	予習:授業内容の部分を読んでおく(1時間) 復習:授業で学習したところをまとめておく(2時間)
5	5回目	感染症対策 (感染症の種類・症状を知る)	面接授業	予習:授業内容の部分を読んでおく(1時間) 復習:授業で学習したところをまとめておく(2時間)

6	6回目	子どもの体調不良に対する適切な対応①	面接授業	予習:授業内容の部分を読んでおく(1時間) 復習:授業で学習したところをまとめておく(2時間)
7	7回目	子どもの体調不良に対する適切な対応②	面接授業	予習:授業内容の部分を読んでおく(1時間) 復習:授業で学習したところをまとめておく(2時間)
8	8回目	子どもの体調不良に対する適切な対応③	面接授業	まとめを作成・提出(2時間)
9	9回目	保育における保健的対応①	面接授業	お人形で練習(1時間)
10	10回目	保育における保健的対応②	面接授業	お人形で練習(1時間)
11	11回目	保育における保健的対応③	面接授業	お人形で練習(1時間)
12	12回目	保育における保健的対応④	面接授業	パンフレット作成、提出(3時間)
13	13回目	保育における保健的対応⑤	面接授業	予習:授業内容の部分を読んでおく(1時間) 復習:授業で学習したところをまとめておく(2時間)
14	14回目	保育における保健的対応⑥	面接授業	予習:授業内容の部分を読んでおく(1時間) 復習:授業で学習したところをまとめておく(2時間)
15	15回目	健康および安全の管理の実施体制	面接授業	保健活動の年間計画の作成 学習したことを振り返りまとめておく(5時間)
16	16回目	定期試験		授業外学修 40時間

その他

科目(教職課程用)		
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等		
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項		
教科書	【教科書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【教科書】ISBN
	「子どもの健康と安全」中根淳子/佐藤直子 編著 ななみ書房	9.7849E+12
参考書	【参考書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【参考書】ISBN
	「子どもの健康と安全 演習ノート」小林美由紀 編著 診断と治療社	9.78479E+12
履修条件		
履修上の注意	子どもの保健をふまえておく	
オフィスアワー	前期:月曜日3・4限目	
備考・メッセージ	実技の練習を自分で実践したり、教科書をよく復習しておくこと。	

特別支援教育概論 2年生

更新日：2026/05/19 15:15:33

開講年度	2026	開講期	前期	ナンバリング	CM403
担当教員	下池 洸史朗				

配当	学部/学科	短期大学 長崎短期大学 保育学科			
	配当年	単位	科目必選区分	授業形態	
	2	2	選択	演習	

アクティブラーニングの類型	①発見学習（事実を発見する過程から学習者に体験させる手法）	
	②問題解決学習（PBL：自ら問題を発見し解決する能力を養うことを目的とした教育法）	
	③体験学習（実際の活動体験を通して学ぶことを狙った学習形態）	<input checked="" type="checkbox"/>
	④調査学習（課題について調査し結論をまとめる学習法）	
	⑤グループ・ディスカッション（議論まで）	<input checked="" type="checkbox"/>
	⑥ディベート（特定の論題について、あえて異なる立場に分かれて議論をする手法）	<input checked="" type="checkbox"/>
	⑦グループ・ワーク（議論+成果物（プレゼンなど））	<input checked="" type="checkbox"/>

授業概要

この授業では、障害のある子どもおよび保育における気になる子どもについて専門的な知識と理解、援助の方法について身につけていきます。また、障害のある子どもの保護者に対する理解と支援や、障害のある子どもを取り巻く社会・医療・福祉・教育のつながりについても取り扱っていきます。この授業が終了した際に、受講者のみなさんが次のような知識、技能、態度を身につけることを目標とします。

- ①障害児の教育や保育についての基本的な理念を説明できる。
- ②障害のある子どもについての専門的な知識および援助方法を説明できる。
- ③障害のある子どもの活動および環境構成について計画・記録を行うことができる。
- ④障害のある子どもに関連する機関、家庭、園との協働について説明できる。
- ⑤障害のある子どもとその保護者に対して積極的な関心を向けることができる。

授業における到達目標

1	障害のある子どもや保護者についての基本的な知識および理解、援助について説明できる。
2	障害のある子ども・その家族への支援・援助について効果的な方法を考えることができる。
3	インクルーシブ保育・特別支援教育について積極的に関心を向けることができる。

評価方法

資質・能力	授業における到達目標（番号のみ記載）	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力			
確かな専門的知識や技能	①	定期試験	60%
コミュニケーション能力			
課題解決能力	②	課題	20%
主体的に学ぶ力	③	レポート	20%
合計			100%

補足事項

授業に関する質問は、直接のほか Google classroom でも受け付け、Web上または授業回で答える。
 本授業は、定期試験60%、課題20%、レポート20%の割合で評価する。
 課題に取り組む際は、スマホ・PC・タブレットを積極的に活用して行うこと。
 各授業で出された課題について、授業終了時に回収します。また、課題の内容については、授業内で取り扱います。

授業計画

	授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1	1回目	オリエンテーション 障害児保育・特別支援教育の基本	面接授業 オンライン授業対応可	予習：事前に配布された課題に取り組む。(2時間) 復習：授業内で配布された資料を復習する。(2時間)
2	2回目	子どもの育ちと発達のアセスメント	面接授業 オンライン授業対応可	予習：事前に配布された課題に取り組む。(2時間) 復習：授業内で配布された資料で復習する。(2時間)
3	3回目	知的発達症の理解と保育での援助	面接授業 オンライン授業対応可	予習：事前に配布された課題に取り組む。(2時間) 復習：授業内で配布された資料で復習する。(2時間)
4	4回目	自閉スペクトラム症の理解と保育での援助	面接授業 オンライン授業対応可	予習：事前に配布された課題に取り組む。(2時間) 復習：授業内で配布された資料で復習する。(2時間)
5	5回目	注意欠如多動症の理解と保育での援助	面接授業 オンライン授業対応可	予習：事前に配布された課題に取り組む。(2時間) 復習：授業内で配布された資料で復習する。(2時間)
6	6回目	限局性学習症の理解と保育での援助	面接授業 オンライン授業対応可	予習：事前に配布された課題に取り組む。(2時間) 復習：授業内で配布された資料で復習する。(2時間)

7	7回目	言語症の理解と保育での援助	面接授業 オンライン授業対応可	予習：事前に配布された課題に取り組む。(2時間) 復習：授業内で配布された資料で復習する。(2時間)
8	8回目	肢体不自由（運動障害）の理解と保育での援助	面接授業 オンライン授業対応可	予習：事前に配布された課題に取り組む。(2時間) 復習：授業内で配布された資料で復習する。(2時間)
9	9回目	視覚障害・聴覚障害の理解と保育	面接授業 オンライン授業対応可	予習：事前に配布された課題に取り組む。(2時間) 復習：授業内で配布された資料で復習する。(2時間)
10	10回目	多様な支援を必要とする子どもの特徴と保育での支援 ①	面接授業 オンライン授業対応可	予習：事前に配布された課題に取り組む。(2時間) 復習：授業内で配布された資料で復習する。(2時間)
11	11回目	多様な支援を必要とする子どもの特徴と保育での支援 ②	面接授業 オンライン授業対応可	予習：事前に配布された課題に取り組む。(2時間) 復習：授業内で配布された資料で復習する。(2時間)
12	12回目	保護者支援と家庭・関係機関との連携	面接授業 オンライン授業対応可	予習：事前に配布された課題に取り組む。(2時間) 復習：授業内で配布された資料で復習する。(2時間)
13	13回目	子ども理解に基づく計画の作成と記録・評価 個々の 発達を促す生活や遊びの環境	面接授業 オンライン授業対応可	予習：事前に配布された課題に取り組む。(2時間) 復習：授業内で配布された資料で復習する。(2時間)
14	14回目	事例検討	面接授業 オンライン授業対応可	予習：事前に配布された課題に取り組む。(2時間) 復習：授業内で配布された資料で復習する。(2時間)
15	15回目	全体の総括	面接授業 オンライン授業対応可	予習：事前に配布された課題に取り組む。(2時間) 復習：授業内で配布された資料で復習する。(2時間)
16	16回目	定期試験		授業外学修時間 60時間

その他

科目（教職課程用）	②教育の基礎的理論に関する科目	
教育職員免許法施行 規則に定める科目区 分または事項等	⑦特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	
数理・データサイエ ンス・AI教育プログ ラムに関する事項		
教科書	【教科書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【教科書】ISBN
参考書	【参考書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など よくわかる障害児教育【第4版】石部元雄（編集）、上田征三（編集）、高橋実（編集）、柳本雄 次（編集） ミネルヴァ書房	978-4-623-08983-3
履修条件		
履修上の注意		
オフィスアワー	授業時間後の時間もしくは教員の空き時間等に対応します（研究室）	
備考・メッセージ	授業を受講するにあたり、他の受講者の権利を阻害する行為、もしくは受講する学生としての規範を逸脱する行為を行った場合は厳しい対応を行います。	

保育実習Ⅰ 保育園

更新日：2026/05/31 08:59:53

開講年度	2026	開講期	前期	ナンバリング	CE201
担当教員	戸田 恵理子, 花城 暢一, 下池 洸史朗, 吉元 千加里				

配当	学部/学科	短期大学 長崎短期大学 保育学科			
	配当年	単位	科目必選区分	授業形態	
	1年～2年	4	選択	演習	

アクティブラーニングの類型	①発見学習（事実を発見する過程から学習者に体験させる手法）	<input checked="" type="checkbox"/>
	②問題解決学習（PBL：自ら問題を発見し解決する能力を養うことを目的とした教育法）	<input checked="" type="checkbox"/>
	③体験学習（実際の活動体験を通して学ぶことを狙った学習形態）	<input checked="" type="checkbox"/>
	④調査学習（課題について調査し結論をまとめる学習法）	<input checked="" type="checkbox"/>
	⑤グループ・ディスカッション（議論まで）	
	⑥ディベート（特定の論題について、あえて異なる立場に分かれて議論をする手法）	
	⑦グループ・ワーク（議論+成果物（プレゼンなど）	

授業概要

保育所実習を通して、保育士資格の取得のために必要な専門的知識・技術の習得、実習生としての姿勢を学習していく。本実習では以下の事項を学習の目標とする。

- ①保育所・認定こども園の生活を知り、乳幼児への理解を深め、保育所の機能・保育士の職務について学ぶ
- ②既習の教科全体の知識・技能を基礎として、これらを総合的に実践する応用力を身につける
- ③子どもに直接関わることを通して、子どもや子どもを取り巻く環境について理解を深める
- ④保育の計画、観察、記録及び自己評価等について具体的に理解する
- ⑤保育士としての職業倫理と子どもの最善の利益の具体的内容について理解することを学習の目標とする。

授業における到達目標

1	実習の意義・目的を理解し、子どもたちとの関わりを楽しみながら実習に臨むことができる。
2	保育士に必要な、保育に関する専門的知識・技能を積極的に習得することができる。
3	子どもとの関わりを通して、子どもの年齢や発達に応じた声かけや援助の方法を身につけることができる。
4	子どもの最善の利益を保障する日々の保育を理解し、場面に応じた課題解決法を見出すことができる。
5	日々の実習において、自己課題を明確にし、主体的に実習に臨むことができる。

評価方法

資質・能力	授業における到達目標（番号のみ記載）	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力	1	・実習中の取り組み ・事前事後指導	15% 5%
確かな専門的知識や技能	2	・実習施設からの評価 ・実習日誌	15% 5%
コミュニケーション能力	3	・実習施設からの評価	20%
課題解決能力	4	・実習施設からの評価	15%
主体的に学ぶ力	5	・実習中の取り組み ・事前事後指導 ・実習日誌	15% 5% 5%
合計			100%
補足事項			
○実習日誌（10%） ○実習施設からの評価（80%） ○事前事後指導内容（10%） の総合評価 ※「保育実習Ⅰ」の全体評価は、「施設実習：50%」と「保育所実習（50%）」で総合評価する。			

授業計画

	授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1	1	施設及び保育所・認定こども園の役割と機能について学ぶ		
2	2	観察や記録を通し子どもを理解し、適切な援助や関わりを学ぶ		
3	3	発達過程に応じた保育内容・保育環境について理解する。		
4	4	生活や援助などの一部分を担当し、養護技術を習得する		
5	5	保育計画立案、実践、反省、改善ができる		

6	6	施設及び保育所、認定こども園と家庭・地域社会との連携を理解する		
7	7	安全及び疾病予防への配慮について理解する		
8	8	専門職としての保育士の役割と職業倫理について学ぶ		

その他

科目（教職課程用）			
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等			
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項	データを読む・説明する・扱う,社会で活用されているデータ		
教科書	【教科書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【教科書】ISBN	
参考書	【参考書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【参考書】ISBN	
履修条件	<ul style="list-style-type: none"> ・保育実習Ⅰ（施設実習）を履修すること ・実習施設でのオリエンテーションを事前に行い、実習生カードの提出や必要であれば車両通勤許可を得ること ・オリエンテーション報告書を作成し、巡回担当教員への提出及び事前指導の日程調整を行うこと ・持参する必要書類（腸内検査等含む）を揃え、誓約書・実習遵守事項等書類を確認（捺印）し本実習に臨むこと ・実習の目的・内容を確認して必要な準備を確実にすること ・実習の事前・事後指導において、明確になった自己課題の解決に向けて真摯な姿勢で取り組むこと 		
履修上の注意	<ul style="list-style-type: none"> ・実習前後及び実習期間中の健康管理には十分留意する ・実習に関わる準備を丁寧に行う ・実習前の実習指導の授業出席3分の2以上の場合、実習参加を可とする 		
オフィスアワー	・授業、会議、実習巡回、出張等が入っていない場合は随時対応		
備考・メッセージ	・積極的な姿勢で実習に臨み、実践を通し自らの気づきや学びを深めること		